

**TOKYO  
MARATHON  
2023**

東京がひとつになる日。

# TOKYO MARATHON 2023

## MEDIA GUIDE

東京マラソン2023 2023年3月5日[日]開催



兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 兼 ブダベスト2023世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 兼 杭州2022アジア競技大会 日本代表選手選考競技会  
兼 マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ 兼 アポット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズXV



第10回を迎えた2016大会より起用。このロゴの異なる色の線のひとつひとつは、東京マラソンに参加するランナーやボランティア、観衆のひとりひとりを表し、様々なストーリーが織り重なることでひとつの大きな感動を生み出す東京マラソンの大会コンセプト「東京がひとつになる日。」を表現しています。



TOKYO  
MARATHON  
2023

The logo was renewed in 10th annual Tokyo Marathon in 2016. These colored lines woven together represents all the participating runners, volunteers, spectators and their individual stories to express the event theme, "The Day We Unite".

## 東京がひとつになる日。

## The Day We Unite.

世界のトップアスリートを間近に観て感動する。また、トップアスリートとともに走る市民ランナーも、個々の目標・目的を持って、唯一無二のマラソンというドラマのストーリーを完結する。38,000人全員が主役になる一日に。

今日初めて会った仲間と一緒に、さまざまなやりがいを感じながら笑顔でランナーを支える。見ず知らずのランナーの頑張る姿をみて自然に手が伸びた。支える喜びが誇りへと変わる一日に。

家族の応援に来たのに、いつの間にか見ず知らずの人を応援していた。その懸命な姿に感動を感じる。足がふらつくランナーをいつの間にか声がかれるまで応援する心の高揚を感じる一日に。

### 走る喜び

Joy of Running



### 支える誇り

Pride in Supporting



### 応援する楽しみ

Delight of Cheering

While it's inspiring to see the world-leading athletes up close, recreational runners running alongside elite runners can also run the marathon in their own unique way according to their individual goals. It's the day when 38,000 people all get to play the lead role.

Uniting with fellow supporters that you meet for the first time to support runners with a smile. They may be complete strangers, but you can't help but reach out to runners who are trying their best. It is the day when the joy of helping other people changes into a sense of pride.

You only came along to cheer on your family, but you eventually find yourself cheering on complete strangers as well. It's inspiring to see someone trying their best. It's the day when emotions run high, as you cheer on runners until you lose your voice.



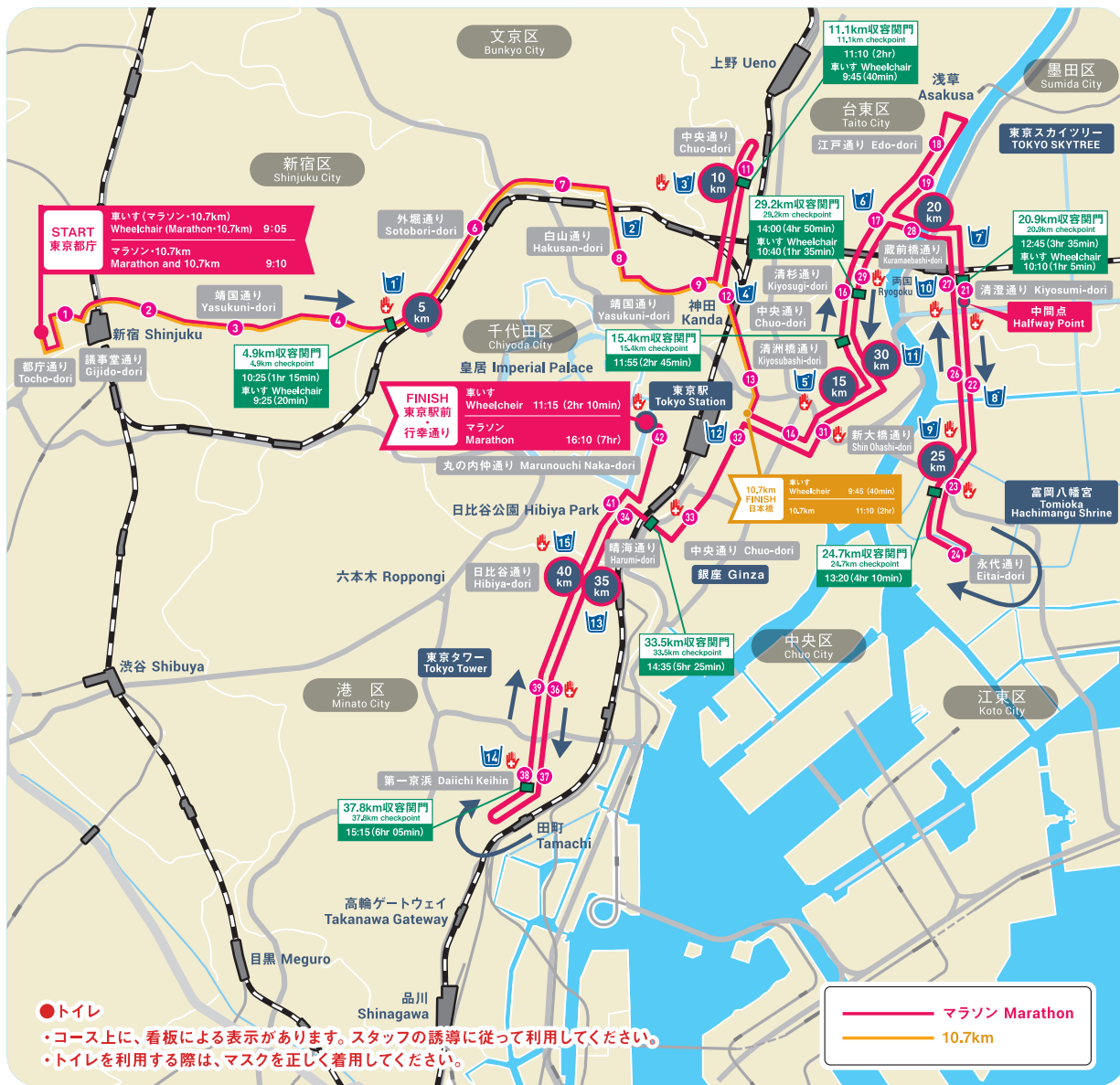
## デザインコンセプト

2022年3月、「もう一度、東京がひとつになる日。」をキャッチコピーとして、2年ぶりの東京マラソンをみなさんとともにやり遂げました。そして今、走る人・支える人・応援する人の視線の先にあるのは「ONE STEP AHEAD」のメッセージ。このデザインは、ひとりひとりが、それぞれのやり方で少しずつでも先へと進む、前向きな気持ちを表現しています。皆さんと「走る楽しさ」のその先に向かうために、東京マラソンも一歩ずつ進んでいきます。

## Design Concept

In March 2022, we came together to hold the first in-person Tokyo Marathon in two years, with the slogan "The Day We Unite." Now, runners, volunteers, spectators and supporters all have their eyes set on the event's next theme, "ONE STEP AHEAD." This design symbolizes how each and every person enthusiastically advances step by step, in their own unique way. The Tokyo Marathon is also steadily moving forward to provide people with the joy of running and what lies beyond it.

# コース全体図(東京都庁～東京駅前・行幸通り)・コース高低図



## 東京マラソン2023 沿道協力企業・団体一覧

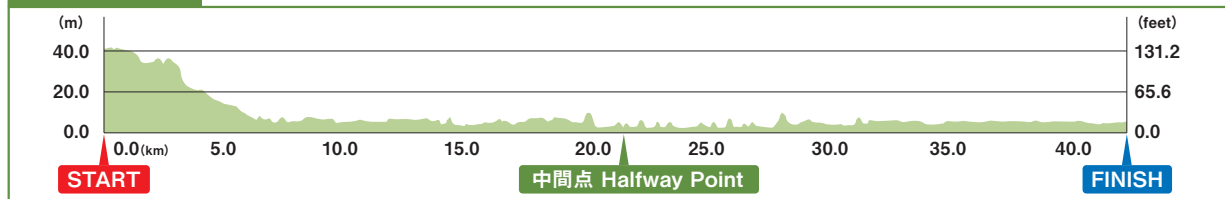
東京マラソン2023は、コース沿道の各企業・団体様にご協力いただいております。

新宿センタービル/株式会社新宿アイランド/新宿三井ビルディング/西武新宿ベベ/大東京信用組合 新宿支店/東京理科大学/日本大学経済学部/東山ビルディング/株式会社セントラルプラザ/首都高速道路株式会社/首都高速道路サービス株式会社/株式会社バンダイ/宮沢模型株式会社/ミドリ安全株式会社/千歳精糖株式会社/花王株式会社・澁澤倉庫株式会社/八重洲地下街株式会社/環境省自然環境局皇居外苑管理事務所/国土交通省東京国事事務所/株式会社鈴木/東京電力パワーグリッド株式会社 江東支社/NICO/東京東信用金庫

〈沿道区〉 新宿区/文京区/千代田区/台東区/中央区/墨田区/江東区/港区

敬称略・コース順 2023年1月21日現在

## コース高低図



# 収容関門時間・救護所・給水所・リカバリーステーション

## 収容関門時間

km 地点	距離ポイント	関門閉鎖時刻	
	地点名	マラソン	車いす
4.9km	市谷見附交差点	10:25	9:25
11.1km	外神田五丁目交差点	11:10	9:45
15.4km	久松町交差点	11:55	—
20.9km	緑一丁目交差点	12:45	10:10
24.7km	深川一丁目交差点	13:20	—
29.2km	浅草橋交差点	14:00	10:40
33.5km	数寄屋橋交差点	14:35	—
37.8km	芝五丁目交差点	15:15	—
42.195km	東京駅前・行幸通り	16:10	11:15

## 救護所

名称	km 地点	設置場所
スタート救護所		新宿中央公園水の広場
5km医務室	4.9km	市谷見附交差点
11km救護所	11.1km	外神田五丁目交差点
15km救護所	15.4km	久松町交差点
21km救護所	20.9km	緑一丁目交差点東
23km救護所	23.2km	深川一丁目交差点東
25km救護所	24.7km	深川一丁目交差点西
27km救護所	27.0km	緑一丁目交差点西
29km救護所	29.2km	浅草橋交差点
31km救護所	31.2km	花王本社ビル横
33km救護所	33.5km	数寄屋橋交差点付近
36km救護所	35.9km	港区役所前交差点付近
38km救護所	37.9km	東京都障害者福祉会館前
40km医務室	40.2km	西新橋交差点西
フィニッシュ救護所	42.195km	フィニッシュ地点
10.7kmフィニッシュ救護所		コンgresクエア日本橋横
丸の内救護所		フィニッシュエリア
馬場先門救護所		フィニッシュエリア
皇居外苑救護所		フィニッシュエリア

## リカバリーステーション

名称	設置場所
大手町フィナンシャルシティ	大手町フィナンシャルシティ内
大手町ブレイス	大手町ブレイスカンファレンスセンター内
MY PLAZA	丸の内MY PLAZA内
東京国際フォーラム	東京国際フォーラム内

## 給水所

※給食の内容は変更になる場合があります。

地点	水	スポーツドリンク	ようかん	ブドウ糖	塩飴	カロリーメイトゼリー
1	5km給水所	○	○			
2	7km給水所	○				
3	10km給水所	○	○			
4	12km給水所	○				
5	15km給水所	○	○			
6	17km給水所	○		○		○
7	20km給水所	○	○			
8	22km給水所	○			○	○
9	25km給水所	○	○			
10	27km給水所	○		○		
11	30km給水所	○	○			
12	32km給水所	○		○	○	
13	35km給水所	○	○			
14	38km給水所	○		○		
15	40km給水所	○	○			





## 概要 OVERVIEW

コースマップ Course Map	003	東京マラソンに関する数字 Facts and Figures	014	ジャパン マラソン チャンピオンシップシリーズ Japan Marathon Championship Series	028
大会要項 Race Information	006	チャリティ寄付先34事業 34 Charity Recipient Programs	016	マラソングランドチャンピオンシップ チャレンジ (MGCチャレンジ) Marathon Grand Championship Challenge	029
東京マラソン2023オフィシャルパートナー Tokyo Marathon 2023 Official Partners	010	ボランティア Volunteers	017	World Athletics (ワールドアスレティックス) World Athletics Platinum Label	030
ランナーデータ Participants Data	011	賞金 Prize Purse	018		
公式日程 Official Schedule	012	アボット・ワールドマラソンメジャーズ Abbott World Marathon Majors	019		

# 大会要項

## OVERVIEW

大会名称	東京マラソン2023 (英文名: Tokyo Marathon 2023) 兼 ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 兼 ブダベスト2023 世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会 兼 杭州 2022 アジア競技大会 日本代表選手選考競技会 兼 マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ 兼 アポット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズ XV
主催	一般財団法人東京マラソン財団
共催	公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、フジテレビジョン、産経新聞社、読売新聞社、日本テレビ放送網、東京新聞
後援	スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本バススポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、ニッポン放送、報知新聞社、ラジオ日本、東京中日スポーツ
主管	公益財団法人東京陸上競技協会
運営協力	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会
特別協賛	東京地下鉄株式会社
協賛	スターツ、イフイング株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、近畿日本ツーリスト、セイコーグループ株式会社、第一生命保険株式会社、東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、全国労働者共済生活協同組合連合会、久光製薬株式会社、花王株式会社、株式会社バスクリン、凸版印刷株式会社、大和証券グループ、日本光電工業株式会社、コーユーレンティア株式会社、株式会社 Fanplus、株式会社シミスオクト、TANAKA ホールディングス株式会社、佐川急便株式会社、株式会社フォトクリエイト、KDDI 株式会社
協力	国土館大学、首都高速道路株式会社、ヒビノ株式会社、一般社団法人豊洲市場協会、一般社団法人東京道路清掃協会、京王プラザホテル、一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会、プライドハウス東京、NPO法人日本医師ジョガーズ連盟
開催日	2023年3月5日(日)
テレビ放映	フジテレビ系全国ネット
コース	(1) マラソン: 東京都庁～水道橋～上野広小路～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～田町～日比谷～東京駅前・行幸通り (日本陸上競技連盟/公認コース、ワールドアスレティックス・AIMS/ 認証コース) (2) 10.7km: 東京都庁～水道橋～神田～日本橋 ※記録は公認されない
種目	(1) マラソン: 男子・女子、車いす男子・女子 (2) 10.7km: ジュニア&ユース・視覚障がい者・知的障がい者・移植者・車いすの各男子・女子
競技時間	(1) マラソン マラソン: 7 時間 (9 時 10 分から 16 時 10 分まで) ※競技時間は号砲を基準とします。 車いす : 2 時間 10 分 (9 時 05 分から 11 時 15 分まで) (2) 10.7km 10.7km : 2 時間 00 分 (9 時 10 分から 11 時 10 分まで) ※競技時間は号砲を基準とします。 車いす : 40 分 (9 時 05 分から 9 時 45 分まで)  ※競技開始時刻は下記を予定しております。 車いす(マラソン・10.7km) 9時05分 マラソン・10.7km 9時10分 ※交通・警備、競技運営上、関門閉鎖時刻を設ける。関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。
参加資格	以下の条件にあてはまる者で、主催者が出場を認めた者(東京マラソン 出走権利移行者を含む)。 (1) マラソン 大会当日満19歳以上 ① 一般 6時間30分以内に完走できる者(主催者が開催するイベント等で資格を得た者を含む)。 ② 準エリート 「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023」に定める参加基準に達する者。 ③ エリート 2022年度日本陸上競技連盟登録競技者で、別途定める参加基準に達する者。招待選手(主催者または日本陸上競技連盟が推薦する国内・海外の者)。 ④ 車いす一般 レース仕様車で2時間10分以内に完走できる者。



## OVERVIEW

参加資格	⑤ 車いすエリート	2022年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ2022年IPC登録競技者で、大会当日にWorld Para Athletics 国際クラス T53・T54 でクラスステイタス R または C を所持している者。なおかつWorld Para Athletics 公認大会で、男子1時間50分以内、女子2時間以内の記録を有する者。 招待選手（主催者または日本パラ陸上競技連盟が推薦する国内・海外の者）。
	(2) 10.7km 大会当日満16歳以上	
	① ジュニア&ユース	大会当日満16歳から満18歳までの1時間45分以内に完走できる者。 (2004年3月6日以降、2007年3月5日までに生まれた者) ※東京マラソン 出走権利移行者については、年齢条件の対象外とする。 ※東京都が東日本大震災復興支援を目的として企画する事業に参加する者を含む。
	② 視覚障がい者	1時間45分以内に完走できる者。
	③ 知的障がい者	1時間45分以内に完走できる者。
	④ 移植者	1時間45分以内に完走できる者。
	⑤ 車いす	レース仕様車で40分以内に完走できる者。
	※車いすのレース仕様車とは、大会当日に適用される最新のWorld Para Athletics 競技規則に定められた規格の車いすのことを指す。	
定員	38,000名(マラソン:37,500名、10.7km:500名)	
競技規則	(1) 2022年ワールドアスレティックス(World Athletics) 並びに日本陸上競技連盟規則及び本大会規定による。なお本大会は、ワールドアスレティックスが認定するエリートプラチナラベルであるので、World Athletics Road Race Label Regulations (ワールドアスレティックス・ロードレースラベリング規定) も適用される。また、ワールドアスレティックスの規則により、ドーピング検査を実施する。 (2) 車いすマラソンに関しては、World Para Athletics 競技規則及び本大会規定による。なお、World Para Athletics の規則により、ドーピング検査を実施する。	
参加費	(1) マラソン: 国内23,300円、海外25,300円 (2) 10.7km: 国内12,400円、海外13,500円 ※参加料、事前検査費用、参加費等返金保険料、事務手数料、消費税込み。 ※新型コロナウイルス感染症対策として実施予定の事前検査について、今後感染症法上の取り扱い変更等により、検査を実施しないこととなった場合には、参加費の一部を返金します。	
申込方法	インターネットによる申込み	
申込期間	2022年8月1日(月) から ※参加申込区分により申込期間は異なる。 ※定員を超えた場合は抽選とする。 ※寄付金及びチャリティランナーの申込みは7月11日(月) から行う。	
表彰	(1) マラソン ①総合:男女各1~3位 ②車いす:男女各1~3位 ③RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023 "Wild Card Award": 準エリート男女各1~3位 ④Next Generation Athlete Award 2023: 日本学生陸上競技連合登録競技者男女各1位 (2) 10.7km ①ジュニア&ユース/視覚障がい者/知的障がい者/移植者/車いす: 男女各1~3位 ※上記各賞はネットタイムで表彰を行う。	
ランナー受付・EXPO	(1) 期間 2023年3月2日(木)・3日(金) 10時00分~20時30分 2023年3月4日(土) 10時00分~17時30分 ※上記受付期間内に、必ずランナー本人が受付を行ってください。 ※大会当日は、ランナー受付を行いません。 (2) 会場 東京ビッグサイト南展示棟 東京都江東区有明3-11-1	
大会開催可否	(1) 大会中止の基準 ①行政機関から本大会の開催中止要請が発せられた場合。 ②自然災害の発生等により安全な大会運営が困難となった場合。	
その他	(1) 参加費の返金についてはエントリー規約に定める。 (2) 新型コロナウイルス感染症に関する遵守事項・注意事項については、感染症対策等に関する規約にて定める。 (3) 日本政府または東京都が示すイベントに関する制限緩和等により、大会要項・各規約等を変更する場合があります。 (4) 本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。 (5) この大会要項は、東京マラソン2023のものであります。	

# Race Information

## OVERVIEW

<b>Race Name</b>	Tokyo Marathon 2023 also serves as: <ul style="list-style-type: none"> <li>• Japan Marathon Championship Series</li> <li>• Selection Trials for the World Athletics Championships Budapest 2023</li> <li>• Selection Trials for the 19th Asian Games Hangzhou 2022</li> <li>• Marathon Grand Championship Challenge</li> <li>• Abbott World Marathon Majors Series XV</li> </ul>
<b>Organizer</b>	Tokyo Marathon Foundation
<b>Co-organizers</b>	JAAF (Japan Association of Athletics Federations); Tokyo Metropolitan Government; Fuji Television Network, Inc.; Sankei Shimbun Co., Ltd.; The Yomiuri Shimbun; Nippon Television Network Corporation; The Tokyo Shimbun.
<b>Supporting Organizations</b>	JAPAN SPORTS AGENCY; Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism; Japan Tourism Agency; Metropolitan Tokyo Mayors' Council; Japan Sports Association; Japanese Olympic Committee; Japanese Para Sports Association; Japan Para Athletics; Nippon Keidanren (Japan Business Federation); KEIZAI DOYUKAI (Japan Association of Corporate Executives); The Tokyo Chamber of Commerce and Industry; Tokyo Medical Association; Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association; Tokyo Private Ambulance Call Center Registered Companies Liaison Council; TOKYO NURSING ASSOCIATION; Tokyo Convention & Visitors Bureau; Tokyo Federation of Neighborhood Associations; Tokyo Federation of Shopping Center Promotion Associations & Tokyo Federation of Shopping Centers; Tokyo Sports Association; Community Sport Leaders Tokyo; Sankei Sports; Yukan Fuji; Nippon Broadcasting System, Inc.; The Hochi Shimbun; Radio Nippon Co., Ltd.; The Tokyo Chunichi Sports.
<b>Managing Organization</b>	Tokyo Athletics Association
<b>Operation Supporter</b>	Tokyo Sports Association for the Disabled; Kanto Para Athletics.
<b>Presenting Partner</b>	Tokyo Metro Co., Ltd.
<b>Official Partners</b>	STARTS CORPORATION INC.; IFING Co., Ltd.; ASICS Japan Corp.; Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.; KINTETSU INTERNATIONAL; SEIKO GROUP CORPORATION; The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited; Toray Industries, Inc.; McDonald's Company (Japan), Ltd.; Mizuho Bank, Ltd.; Kokumin Kyosai co-op (National Federation of Workers and Consumers Kyosai Cooperatives); Hisamitsu Pharmaceutical Co., Inc.; Kao Corporation; BATHCLIN CORPORATION; TOPPAN INC.; Daiwa Securities Group; NIHON KOHDEN CORPORATION; KOYOU RENTIA Co.,Ltd.; Fanplus, Inc.; Shimizu Octo, Inc.; TANAKA Holdings Co., Ltd.; SAGAWA EXPRESS CO., LTD.; Photocreate Co.,Ltd.; KDDI CORPORATION;
<b>Official Suppliers</b>	Kokushikan University; Metropolitan Expressway Company Limited; Hibino Corporation; TOYOSU MARKET ASSOCIATION; Tokyo Road Management Association; Keio Plaza Hotel Tokyo; The Council for Area Development and Management of Otemachi, Marunouchi, and Yurakucho; Pride House Tokyo; Japan Medical Joggers Association;
<b>Date</b>	Sunday, March 5, 2023
<b>Course</b>	(1) Marathon: Tokyo Metropolitan Government Building – Suidobashi – Ueno-hirokoji – Kanda – Nihombashi – Asakusa Kaminarimon Gate – Ryogoku – Monzen-nakacho – Ginza – Tamachi – Hibiya – Tokyo Station/Gyoko-dori Ave. (This course is certified by the JAAF, AIMS and World Athletics.) (2) 10.7km Race: Tokyo Metropolitan Government Building – Suidobashi – Kanda – Nihombashi (Results are considered unofficial. Finishing place is determined by net time.)
<b>Events</b>	(1) Marathon (Men, Women, Wheelchair Men, Wheelchair Women). (2) 10.7km Race (Men and Women for Junior & Youth, Visually Impaired, Intellectually Challenged, Organ Transplant Recipients and Wheelchair).
<b>Cut-off Times &amp; Start Times</b>	Cut-off Times: (1) Marathon: Marathon: 7 hours (9:10 a.m. - 4:10 p.m.) *The time limit will be based on the starting gun. Wheelchair: 2 hours and 10 minutes (9:05 a.m. - 11:15 a.m.) (2) 10.7km Race: 10.7km Race: 2 hours (9:10 a.m. - 11:10 a.m.) *The time limit will be based on the starting gun. Wheelchair: 40 minutes (9:05 a.m. - 9:45 a.m.)  Start Times (provisional): Wheelchair (Marathon,10.7km Race): 9:05 a.m. Marathon, 10.7km Race: 9:10 a.m. * Runners who fail to pass through the checkpoint before the cut-off time will be removed from the race. Furthermore, runners who lag excessively behind the cut-off time pace may be stopped to leave the course at anytime.
<b>Eligibility</b>	Those who fulfill the following conditions, and whose participation is approved by the organizer (including those who deferred their entry to the 2023 event): 1) Marathon: Must be at least 19 years of age on the race day. ..... 1-1) General - Runners who are capable of completing the race within 6 hours and 30 minutes. ..... 1-2) Semi-Elite Athletes - Athletes who satisfy the requirements set forth by the "RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023". ..... 1-3) Elite Athletes - Athletes, registered with the JAAF in fiscal 2022 who satisfy the special requirements set forth by the JAAF. ..... - Invited Athletes: National and international runners nominated by the organizer and/or the JAAF.



## OVERVIEW

<b>Eligibility</b>	1-4) General Wheelchair - Participants who are capable of completing the race within 2 hours and 10 minutes using a racing wheelchair. 1-5) Elite Wheelchair - Athletes registered with the JPA in fiscal 2022, and to be registered with the IPC in fiscal 2022. - Athletes who are in the sport classes T53 – 54 of World Para Athletics Classification and has Class Status R or C. - Athletes who have the following record in the tournament of the World Para Athletics certified races: 1 hour and 50 minutes or under (Men). 2 hours or under (Women). - Invited Athletes: National and international athletes nominated by the organizer and/or the JPA.
	2) 10.7km Race: Must be at least 16 years of age on the race day. 2-1) Junior & Youth - Runners between 16 and 18 years of age on the race day, who are capable of finishing the race in 1 hour 45 min. (runners born between March 6, 2004 and March 5, 2007 are eligible). * Age restrictions do not apply to entrants who have deferred their entry to this event. * Including those runners who are selected separately by the Tokyo Metropolitan Government under the projects related to the Great East Japan Earthquake Recovery support. 2-2) Visually Impaired - Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1 hour 45 min. 2-3) Intellectually Challenged - Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1 hour 45 min. 2-4) Organ Transplant Recipients - Runners aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race within 1 hour 45 min. 2-5) Wheelchair - Participants aged 16 and above on the race day, capable of finishing the race in 40 minutes on a racing wheelchair. * Racing wheelchair requirements are specified in the latest "Rules and Regulations" applicable to the event day set forth by the World Para Athletics.
<b>Field Size</b>	38,000 (Marathon: 37,500 runners; 10.7km Race: 500 runners)
<b>Competition Rules</b>	(1) The races will be conducted in accordance with the rules and regulations of the World Athletics, JAAF and the Race Organizer. World Athletics Road Race Label Regulations also applies to the Tokyo Marathon, which has been certified by the World Athletics as a Elite Platinum Label. Doping control will be conducted abiding to World Athletics Anti-Doping Regulations. (2) World Para Athletics Rules and Regulations and the competition rules of the Tokyo Marathon applies to the wheelchair marathon. Doping control is conducted under World Para Athletics Anti-Doping Regulations.
<b>Event Fee</b>	(1) Marathon: Japan residents - 23,300 JPY (from overseas - 25,300 JPY) (2) 10.7km Race: Japan residents - 12,400 JPY (from overseas - 13,500 JPY) * Entry, Covid testing, event fee refund insurance, handling and tax included. * As part of the COVID-19 countermeasures, pre-race testing is planned to be conducted. However, if the testing doesn't take place due to any changes in countermeasures planned in accordance with the laws on infectious diseases, the event fee will be partially refunded.
<b>How to Enter</b>	Register online
<b>Entry Period</b>	Registration will open on August 1, 2022 (Mon) * The registration period may differ depending on the eligibility group. * Selection will be made by random drawing if the entry exceeds the field size. * Donation and Charity Runner applications open from July 11 (Mon).
<b>Award</b>	(1) Marathon 1-1) Overall: the top three male and female 1-2) Wheelchair: the top three male and female 1-3) RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023 "Wild Card Award": Semi-elite top three male and female 1-4) Next Generation Athlete Award 2023: the top male and runner belonging to The Inter-University Athletics Union of Japan. (2) 10.7km Race 2-1) Junior & youth, wheelchair, visually impaired, intellectually challenged, organ-transplant recipient: the top three male and female from each category * Placings will be determined by the net time.
<b>Packet Pick-Up/ EXPO</b>	(1) Date & Time March 2 (Thu) and March 3 (Fri), 2023 Hours: 10:00 a.m. - 8:30 p.m. March 4 (Sat), 2023 Hours: 10:00 a.m. - 5:30 p.m. * All hours are based on JST. * The registered runner must conduct Packet Pick-up in person. * Packet pick-up is not available on the race day. (2) Location Tokyo Big Sight South Exhibition Halls 3-11-1 Ariake, Koto, Tokyo, Japan
<b>Event Cancellation Guideline</b>	(1) Event Cancellation Guideline 1-1) The event is subject to cancellation if a cancellation request is received from respective authorities and agencies. 1-2) The event is subject to cancel due to natural disaster or in a situation in which delivering a safe event is difficult.
<b>Others</b>	(1) Refunds of event fees will be specified in the Entry Regulation. (2) The COVID-19 Regulation shall outline the rules and protocols pertaining to COVID-19. (3) Race information and related regulations are subject to change based on national government or Tokyo Metropolitan rules and regulations. (4) This event shall adhere to all national laws and regulations. (5) This outlined information is set forth for the Tokyo Marathon 2023.

# 東京マラソン2023オフィシャルパートナー

OVERVIEW

Tokyo Marathon 2023 Official Partners

## プレミアパートナー Premier Partner

東京地下鉄株式会社  
Tokyo Metro Co., Ltd.

## メジャーパートナー Major Partners

スターツ  
STARTS CORPORATION INC.

イフイング株式会社  
IFING Co., Ltd.

アシックスジャパン株式会社  
ASICS Japan Corp.

大塚製薬株式会社  
Otsuka Pharmaceutical Co., Ltd.

## メインパートナー Main Partners

近畿日本ツーリスト  
KINTETSU INTERNATIONAL

セイコーグループ株式会社  
SEIKO GROUP CORPORATION

第一生命保険株式会社  
The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited

東レ株式会社  
Toray Industries, Inc.

日本マクドナルド株式会社  
McDonald's Company (Japan), Ltd.

## アクティブパートナー Active Partners

株式会社みずほ銀行  
Mizuho Bank, Ltd.

全国労働者共済生活協同組合連合会  
Kokumin Kyosai co-op  
(National Federation of Workers and Consumers Kyosai Cooperatives)

久光製薬株式会社  
Hisamitsu Pharmaceutical Co., Inc.

花王株式会社  
Kao Corporation

株式会社バスクリン  
BATHCLIN CORPORATION

凸版印刷株式会社  
TOPPAN INC.

大和証券グループ  
Daiwa Securities Group

## サポーターパートナー Supporting Partners

日本光電  
NIHON KOHDEN CORPORATION

コーユーレンティア株式会社  
KOYOU RENTIA Co., Ltd.

株式会社 Fanplus  
Fanplus, Inc.

株式会社シミズオクト  
Shimizu Octo, Inc.

TANAKAホールディングス株式会社  
TANAKA Holdings Co., Ltd.

佐川急便株式会社  
SAGAWA EXPRESS CO., LTD.

株式会社フォトクリエイト  
Photocreate Co., Ltd.

KDDI株式会社  
KDDI CORPORATION



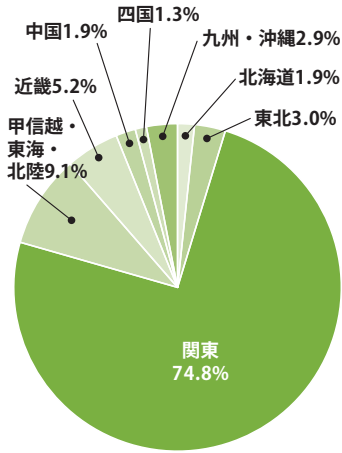
# ランナーデータ

## OVERVIEW

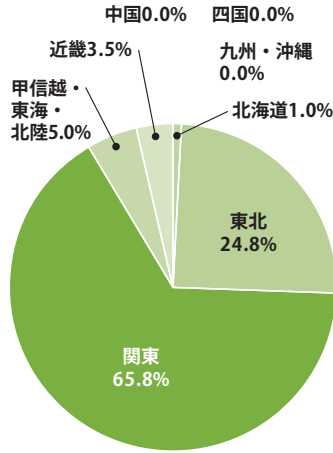
## Participants Data

### ■ マラソン参加者・年代別集計 / Participants by Age Group - Marathon

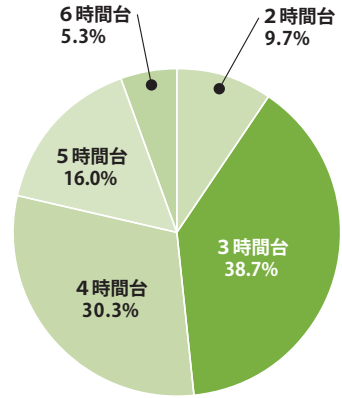
マラソン地域別参加者  
Entrants by Region - Marathon



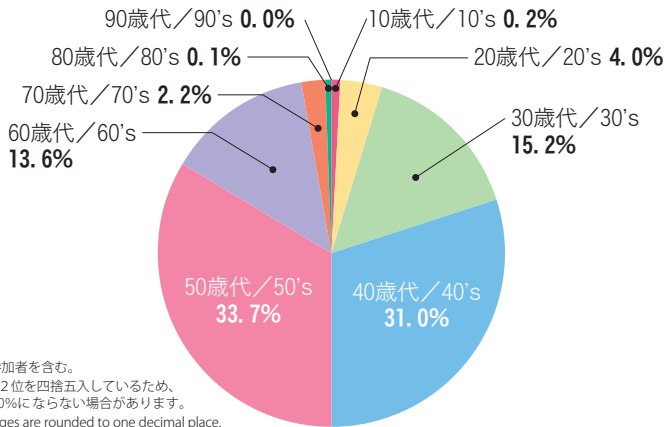
10.7km地域別参加者  
Entrants by Region-10.7km



マラソン予想タイム別集計  
Estimated Finish Times



※10.7kmと車いすは対象外。



※10.7km参加者を含む。  
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。  
※ Percentages are rounded to one decimal place.

### ■ 種目別最高年齢 / Oldest Participants

#### 国内 Japan

男子 MAN

マラソン Marathon  
Age **89**  
(東京都 TOKYO)

10.7km  
Age **76**  
(栃木県 TOCHIGI)

女子 WOMAN

マラソン Marathon  
Age **87**  
(東京都 TOKYO)

10.7km  
Age **72**  
(東京都 TOKYO)

#### 海外 Overseas

男子 MAN

マラソン Marathon  
Age **80**  
(アルゼンチン ARG)

10.7km  
Age **61**  
(タイ THA)

女子 WOMAN

マラソン Marathon  
Age **84**  
(カナダ CAN)

10.7km  
Age **54**  
(タイ THA)

# 公式日程

## OVERVIEW

2月17日(金)～ 3月17日(金)	—	東京マラソンバーチャルEXPO 2023	仮想都市空間サービスREV WORLDS 「東京マラソンEXPO会場駅」
2月18日(土)～ 3月19日(日)	—	バーチャル東京マラソン2023	世界各国にてアプリから参加
2月25日(土)～ 3月5日(日)	—	東京マラソンフレンドシップラン2023	世界各国にてアプリから参加
2月25日(土)～ 3月31日(金)	—	東京ランニングフェスタ	都内協力施設
2月28日(火)	14:00	選手村開村	京王プラザホテル
3月2日(木)	10:00 - 21:00	東京マラソンEXPO 2023	東京ビッグサイト南展示棟 南1～4ホール ※ランナー受付及びEXPO会場への入場は 終了30分前までとなります。
	10:00 - 20:30	東京マラソン ランナー受付	
	10:00 - 20:30	東京マラソン ボランティア受付	東京ビッグサイト南展示棟4F 南4ホール (東京マラソンEXPO 2023会場内)
	15:00 - 17:00	2023 ジャパンレースディレクターミーティング (JRDM)	オンライン会議 (ZOOM)
3月3日(金)	10:30 - 15:00	プレスカンファレンス(出場選手記者会見など)	10:30～車いす、13:00～マラソン (京王プラザホテル南館5F エミネンスホール)
	10:00 - 21:00	東京マラソンEXPO 2023	東京ビッグサイト南展示棟 南1～4ホール ※ランナー受付及びEXPO会場への入場は 終了30分前までとなります。
	10:00 - 20:30	東京マラソン2023 ランナー受付	
	10:00 - 20:30	東京マラソン2023 ボランティア受付	東京ビッグサイト南展示棟4F 南4ホール (東京マラソンEXPO 2023会場内)
3月4日(土)	9:00 - 17:00	東京マラソンフレンドシップラン2023 (リアルフィニッシュin浅草)	隅田公園リバーサイドギャラリー
	10:00 - 18:00	東京マラソンEXPO 2023	東京ビッグサイト南展示棟 南1～4ホール ※ランナー受付及びEXPO会場への入場は 終了30分前までとなります。
	10:00 - 17:30	東京マラソン ランナー受付	
	10:00 - 17:30	東京マラソン ボランティア受付	東京ビッグサイト南展示棟4F 南4ホール (東京マラソンEXPO 2023会場内)
	13:00 - 16:30	マラソンエリート・車いすマラソンエリート選手受付	京王プラザホテル
3月5日(日)	5:00	大会の開催最終情報	大会公式ウェブサイト等
	6:00 - 7:00	招待選手・エリート選手スペシャルドリンク受付	京王プラザホテル
	6:30 - 7:00	車いすマラソン選手受付	京王プラザホテル
	8:59	スタートセレモニー開始	
	9:05	車いす(マラソン・10.7km) スタート	都庁第一本庁舎前
	9:10	マラソン・10.7km スタート	
	9:20 - 10:30	東京マラソンファミリーラン2023	第一生命日比谷ファースト～東京駅前・行幸通り
	10:30頃	車いすマラソン男子 フィニッシュ/簡易表彰	フィニッシュエリア
	10:45頃	車いすマラソン女子 フィニッシュ/簡易表彰	
	11:10	10.7km競技終了	コングレスクエア日本橋
	11:10	10.7km表彰式	
	11:15頃	マラソン男子 フィニッシュ/簡易表彰	フィニッシュエリア
	11:35頃	マラソン女子 フィニッシュ/簡易表彰	
12:00 - 12:50	各レースディレクター会見、陸連総括会見	丸ビル 7F メディアセンター	
13:15 - 15:45	表彰式・RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023 "Wild Card Award"		丸ビル 7F メディアセンター
	車いすマラソン男女表彰式～会見		
	マラソン男女表彰式～会見		
	16:10	Next Generation Athlete Award 2023	
	16:10	マラソン競技終了	東京駅前・行幸通り
3月6日(月)	11:00	選手村閉村	京王プラザホテル



# Official Schedule

## OVERVIEW

February 17- March 17	-	-	Tokyo Marathon Virtual EXPO 2023	Virtual Cityscape Service REV WORLDS "Tokyo Marathon EXPO Event Station"
February 18- March 19	-	-	Virtual Tokyo Marathon 2023	Participate from anywhere in the world via app
February 25- March 5	-	-	Tokyo Marathon Friendship Run 2023	Participate from anywhere in the world via app
February 25- March 31	-	-	Tokyo Running Festa	Locations featuring Tokyo Marathon Week
February 28	Tue	2:00 p.m.	Opening of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel
March 2	Thu	10:00 a.m. - 9:00 p.m.	Tokyo Marathon EXPO 2023	Tokyo Big Sight South Halls 1-4 *Last entry to EXPO is 30min prior to closing.
		10:00 a.m. - 8:30 p.m.	Tokyo Marathon Packet Pick-up	
		10:00 a.m. - 8:30 p.m.	Tokyo Marathon Volunteer check-in	Tokyo Big Sight South Hall 4 (inside the Tokyo Marathon EXPO 2023)
		3:00 p.m. - 5:00 p.m.	2023 Japan Race Director Meeting (JRDM)	Online meeting (ZOOM)
March 3	Fri	10:30 a.m. - 3:00 p.m.	Press conference (Elite athletes)	10:30 a.m.~Wheelchair, 1:00 p.m.~Marathon Keio Plaza Hotel, South Tower, 5F, Eminence hall
		10:00 a.m. - 9:00 p.m.	Tokyo Marathon EXPO 2023	Tokyo Big Sight South Halls 1-4 *Last entry to EXPO is 30min prior to closing.
		10:00 a.m. - 8:30 p.m.	Tokyo Marathon 2023 Packet Pick-up	
		10:00 a.m. - 8:30 p.m.	Tokyo Marathon 2023 Volunteer check-in	Tokyo Big Sight South Hall 4 (inside the Tokyo Marathon EXPO 2023)
March 4	Sat	9:00 a.m. - 5:00 p.m.	Tokyo Marathon Friendship Run 2023 (Virtual Run & In-person Finish Line Event in Asakusa)	Sumida Park Riverside Gallery, etc.
		10:00 a.m. - 6:00 p.m.	Tokyo Marathon EXPO 2023	Tokyo Big Sight South Halls 1-4 *Last entry to EXPO is 30min prior to closing.
		10:00 a.m. - 5:30 p.m.	Tokyo Marathon Packet Pick-up	
		10:00 a.m. - 5:30 p.m.	Tokyo Marathon Volunteer check-in	Tokyo Big Sight South Hall 4 (inside the Tokyo Marathon EXPO 2023)
		1:00 p.m. - 4:30 p.m.	Elite runner and elite wheelchair registration	Keio Plaza Hotel,
March 5	Sun	5:00 a.m.	Announcement of the final go/no-go decision on the event	Official Website, etc.
		6:00 a.m. - 7:00 a.m.	Elite athletes personal drink drop-off	Keio Plaza Hotel,
		6:30 a.m. - 7:00 a.m.	Wheelchair athlete check-in	Keio Plaza Hotel,
		8:59 a.m.	Start ceremony	
		9:05 a.m.	Wheelchair (Marathon・10.7km) start	Front of Metropolitan Gov. Building No.1
		9:10 a.m.	Marathon・10.7km Start	
		9:20 a.m. - 10:30 a.m.	Tokyo Marathon Family Run 2023	Dai - Ichi Life Hibiya First~Tokyo Station/ Gyoko-dori Ave.
		10:30 a.m.	Wheelchair Men - Winner ceremony	Award stage at Finish line
		10:45 a.m.	Wheelchair Women - Winner ceremony	
		11:10 a.m.	10.7km Finish	CongresSquare Nihonbashi
		11:10 a.m.	10.7km awards ceremony	
		11:15 a.m.	Marathon Men - Winner ceremony	Award stage at Finish line
		11:35 a.m.	Marathon Women - Winner ceremony	
		12:00 p.m. - 12:50 p.m.	Press Conference: Race directors interview/JAAF interview	Marunouchi Building, 7F (MARUBIRU HALL)
		1:15 p.m. - 3:45 p.m.	Awards ceremony・RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023 "Wild Card Award"	Marunouchi Building, 7F (MARUBIRU HALL)
			Wheelchair Marathon top finishers award ceremony & post-race press conference	
Marathon top finishers award ceremony & post-race press conference				
	Next Generation Athlete Award 2023			
4:10 p.m.	Closing of the Tokyo Marathon 2023	Tokyo Station/ Gyoko-dori Ave.		
March 6	Mon	11:00 a.m.	Closing of Athletes' Village	Keio Plaza Hotel

# 東京マラソンに関する数字

## OVERVIEW

★ご提供元 オフィシャルパートナー ☆ご提供元 協力

給水等	給水所	15カ所 [コース約2.5kmごと] ※給食は5カ所 [17km以降約5kmごと]
	スポーツドリンク	約472,900杯分 ポカリスエット ※1杯120ml ★大塚製薬
	水	約549,060杯分 クリスタルガイザー※1杯120ml ★大塚製薬 ※緊急時対応として10カ所 [15km以降各給水所]のバックアップ水源
	給水コップ	約612,500個 (水用)
	紙コップ	約312,910個 (スポーツドリンク用)
	ぶどう糖	約28,000粒 [27km、38km] ☆千歳精糖株式会社
	栄養食品	約66,880本 [アミノバリュー 顆粒 -スタート、カロリーメイトゼリー -22km、 ポディメンテゼリー -10.7kmフィニッシュ、マラソンフィニッシュ] ★大塚製薬
	塩飴	約24,000粒 [17、22、32km] ☆ミドリ安全株式会社
	ようかん	約22,800個 [17、32km]
設備・物品	仮設トイレ	1,114基 [スタート650基、コース上397基、マラソンフィニッシュ67基]
救護	救護所	25カ所 [スタート～コース上15カ所《20kmまで5kmごと、以降約2kmごと》、フィニッシュエリア 《医務室・リカバリーステーションを含む》]
	AED	150台 [スタート～コース救護所15台、フィニッシュエリア24台、モバイル隊24台、BLS隊40台、BLS サポート隊42台、選手村他5台] ★日本光電
	BLS隊	40隊 80名 [救護所、コース上約1km間隔に40隊配置]
	BLSサポート隊	37隊 79名 [救護所、BLS隊の間約500m付近を2人以上でサポート]
	モバイル隊	24隊 48名 [コース上を自転車で走行するAED対応のメディカルスタッフ]
	ドクター等	医師66名、看護師110名、トレーナー144名、その他(東陸、ボランティア)約274名、ランドクター50名
	救護車両	40台 [スタート、各救護所1-2台、《サポートキャブ含む》]
沿道対策	交通規制	銀座 5時間35分、芝 6時間、丸の内仲通り 7時間25分(長時間のエリア) 交通規制チラシ約28万枚、交通規制チラシDM約26万戸、 ポスター約2,000枚、ラジオ告知347回
ボランティア	予定数	9,815名 (延べ人数)
EXPO	出展社数	75社(団体)
競技	ペースメーカー	5名 【エリート対象】大会で定めたレースペースで選手を引っ張る役目の走者: 男子レースペースメーカー3名、女子レースペースメーカー2名
警備/誘導	警備員/誘導員数	約6,000名
	金属探知機台数	48台[スタート]
その他	スタッフウェア	約12,600着(ボランティア及び大会関係者) ★アシックス/東レ

2023年2月1日現在

Supported by ★ Official Partners ☆ Official Suppliers

<b>Fluid &amp; Foods</b>	<b>Aid Stations</b>	15 stations (every 2.5km) food aid stations (every 5km after 17km)
	<b>Sports drinks</b>	Approx. 472,900 cups (POCARI SWEAT) ※1 cup = 120 ml ★Otsuka
	<b>Water</b>	Approx. 549,060 cups (Crystal Geyser) ※1 cup = 120 ml ★Otsuka ※10 spots of backup water sources
	<b>Water cups</b>	Approx. 612,500 cups
	<b>Paper cups</b>	Approx. 312,910 cups (For Sports drink)
	<b>Glucose sugar drops</b>	Approx. 28,000 (27km, 38km) ☆Chitose-Sugar
	<b>Nutrition foods</b>	Approx. 66,880 (AMINO VALUE GLANULE-Start Calorie Mate JELLY-22km, BODYMENTÉ Jelly - 10.7km Finish, Marathon Finish) ★Otsuka
		<b>Salt candies</b>
	<b>Sweet bean jelly</b>	Approx. 22,800 (17km, 32km)
<b>Facilities</b>	<b>Portable toilets</b>	1,114 (650 – Start, 397 – Course, 67 – Marathon Finish)
<b>Medical</b>	<b>Medical Stations</b>	25 Stations (15 stations at the start and throughout the course; 1 per every 5km until 20km and 1 per every 2km from 20km till finish. 24 at the Finish area.)
	<b>AEDs</b>	150 *AED = Automated External Defibrillator ★NIHON KOHDEN For detail →P112
	<b>BLS Teams</b>	40 two-person teams (At medical stations and along the course every 1km) *BLS = Basic Life Support
	<b>BLS Support Teams</b>	79 staffs (37 teams of at least 2 staffs support for BLS teams deployed in between medical stations and BLS teams)
	<b>AED Bike Teams</b>	48 staffs (24 teams of medical staffs on bikes, equipped with AED)
	<b>Medical staffs</b>	66 doctors, 110 nurses, 144 trainers, 50 run doctors and approx. 274 other staffs (including Medical Station's volunteers)
	<b>Emergency vehicles</b>	40 (1-2 at Start and each medical station)
<b>Traffic Control</b>	<b>Road closure</b>	Primary closures: Ginza 5h 35min, Shiba 6h, Marunouchi Naka Do-ri 7h 25min Approx. 280,000 flyers, 260,000 flyers for direct mail Approx. 2,000 posters (including ads on train/bus), 347 radio announces
<b>Volunteers</b>		9,815 (total count)
<b>EXPO</b>	<b>Exhibitors booths</b>	75
<b>Race</b>	<b>Pacemakers</b>	5 *The runners who run with the designated lap time for elite runners. 3 for Men's race; 2 for Women's race
<b>Security &amp; Guard</b>	<b>Security guards</b>	Approx. 6,000
	<b>Metal detectors</b>	48 (Start area)
<b>Others</b>	<b>Staff wears</b>	Approx. 12,600 for volunteers and staffs ★ASICS/Toray

As of Feb 1, 2023



# チャリティ寄付先34事業

## OVERVIEW

## 34 Charity Recipient Programs

# TOKYO MARATHON 2023 CHARITY



東京マラソンを走り・支え・応援してくださる人々に、チャリティやスポーツ振興・環境保全・世界の難民支援・難病の子どもたちへのサポート・動物愛護といった社会貢献について考えるきっかけを届け、ひとりひとりのハートと社会を繋げていきたい。そんな願いを込めて東京マラソンチャリティは運営されています。東京マラソンチャリティは、各寄付先団体と一般財団法人東京マラソン財団が協働で運営しています。

The Tokyo Marathon Charity program helps to provide more chances for those who support the Tokyo Marathon (either by running, volunteering or cheering) to think about social activities (such as preserving the global environment, supporting refugees worldwide, supporting children suffering from intractable diseases, animal protection, and promoting sports), which eventually "unites" the hearts of each and every person with society. The Tokyo Marathon manages this charity program with such hopes in mind. The Tokyo Marathon Charity is operated in cooperation with the recipient program charities and the Tokyo Marathon Foundation.

東京マラソン2023は、チャリティを通して  
国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の  
実現に取り組んでいます。



**一般財団法人東京マラソン財団**  
SPORTS LEGACY  
Tokyo Marathon Sports Legacy Program  
事業→1 スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承  
事業→2 東日本大震災被災地の育英事業(お手帳・監視機・福島県)  
3 4 5 11

**公益財団法人 プラン・インターナショナル・ジャパン**  
Plan International Japan  
世界の女の子に、生きていく力を。教育や自立を支援して早すぎる結婚にNOを!  
1 4 5 10  
**公益財団法人 東京都農林水産振興財団**  
Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries  
花物の少ない森づくりと地球温暖化防止を目指し、健全な森林を次世代に継承  
7 13 15

**特定非営利活動法人 SHAPLA NEER**  
シャプラニール〜市民による海外協力の会  
SHAPLA NEER=Queens Committee in Japan for Overseas Support  
途越え児童労働からの解放へ、ハンダグラデュで働く少女たちに教育や技術研修の機会を  
5 8 16  
**認定NPO法人 グッド・エイジング・エールズ**  
good aging yells  
日本初のGTO+センター「プライドハウス東京」が初の設立とLGBTQ+ユース支援提供  
5 10

**公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン**  
Ronald McDonald House Charities Japan  
病気の子どものための滞在施設「ドナルド・マクドナルド・ハウスの運営」  
3  
**認定特定非営利活動法人 ビースウィズ・ジャパン**  
Peace winds JAPAN  
犬たちの命を救ひ分らぬための保護・譲渡活動、災害救助犬・セラピー犬などの育成  
3 11

**認定特定非営利活動法人 ケア・インターナショナル・ジャパン**  
Kamonohashi Project  
「子どもが誇れない世界を、インドでも」被害者に寄り添い、社会の仕組みを変える  
5 8 16  
**認定特定非営利活動法人 Teach For Japan**  
Teach For Japan  
すべての子どもが、素晴らしい教育を受けることができる世界の実現を目指す  
3 11

**公益財団法人 ケア・インターナショナル・ジャパン**  
CARE International Japan  
ウクライナなどの紛争地域や途上国で、今、困難を生きる女性や子どもを支援  
1 2 4 5 6 13 16 17  
**公益財団法人 がんの子どもを守る会**  
Children's Cancer Association of Japan  
小児がん患児の家族に対する療育費等の援助事業  
5

**公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本**  
Special Olympics Nippon Foundation  
知的障害のある人たちのスポーツ活動の振興・普及  
3 4 5 8 10 11 16 17  
**特定非営利活動法人 国連UNHCR協会**  
Japan for UNHCR (UNHCR: The Office of the United Nations High Commissioner for Refugees)  
紛争や迫害を逃れた難民の子ども・若者の生き生きとした育英スポーツ・教育支援  
1 3 6 16

**認定特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会**  
JMDRC  
骨髄バンクの普及啓発とドナー募集支援、白血病の相談や患者への経済的支援  
5 8 17  
**認定特定非営利活動法人 育て上げネット**  
Sodategaie Net  
韓国・いじめ・孤食・発達障害、生きづらいつらな子供たちを守る  
1 4 8

**公益財団法人 日本対がん協会**  
Japan Cancer Society  
がん患者の無料相談、患者交流イベント、コミュニティの提供、がん予防の啓発  
1 2 3 4 5 8 9 10 17  
**認定NPO法人 ルーム・トゥ・リード・ジャパン**  
Room to Read Japan  
非読字やジェンダーの不平等がない世界を目指し、低所得地域の子どもの読字教育・女子教育を提供  
1 3 4 5

**認定特定非営利活動法人 ファミリーハウス**  
Family House  
重い病気の子どもの治療を要する間の患者と家族への滞在施設の提供とケア  
3  
**公益財団法人 そらぶらキッズキャンプ**  
Solaputra Kids' Camp  
難病とたたかう子どもと家族を、夢の医療ケア付キャンプ場へ招待  
3 4

**認定NPO法人 国境なき子どもたち**  
Kokyo naki Kodomotachi (Children without Borders)  
カンボジアやフィリピンの難しくて学ばない子どもたちに教育の機会を  
1 4 5  
**特定非営利活動法人 難民支援協会**  
Japan Association for Refugees (JAR)  
紛争や迫害から日本に逃れてきた難民へ、緊急支援を提供  
1 3 10 16

**公益財団法人 日本環境教育フォーラム**  
Japan Environmental Education Forum  
日常生活を営む上で環境や心配を抱える子ども・大人に、自然体験や遊びの機会を提供  
4 13 14 15  
**認定NPO法人 フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー・JAPAN**  
Friends Without A Border Japan  
ラオスに届く医療を、小さな命に寄り添い、心こもった医療を届ける  
3 4

**公益財団法人 日本バスケットボール協会**  
JAPANESE PARA SPORTS ASSOCIATION  
バスケットの理解促進及び広範に関する事業(共生社会実現に向けた国民の意識変革の促進のため)  
3 5 10 11 16  
**認定特定非営利活動法人 ACE**  
Action against Child Exploitation  
遊ぶ、学ぶ、笑う。すべての子どもたちが過酷な1 2 4 15 8 12 16 17

**東京おもちゃ美術館(芸術遊び創造協会)**  
Association for the Arts, Toy and Playing Activities (TOKYO TOY MUSEUM)  
【東京おもちゃ美術館】森の恵みと手仕事体験によって笑顔が咲く交流の場を実現  
3 4  
**認定NPO法人 キッズドア**  
NPO kidsdoor  
困難家庭の中産生や中途者が、安心して勉強し学べるための習い事や進学講座を提供  
1 2 4

**公益財団法人 日本対がん協会**  
Japan Cancer Society  
がん患者の無料相談、患者交流イベント、コミュニティの提供、がん予防の啓発  
1 2 3 4 5 8 9 10 17  
**認定NPO法人 ACE**  
Action against Child Exploitation  
遊ぶ、学ぶ、笑う。すべての子どもたちが過酷な1 2 4 15 8 12 16 17

**認定特定非営利活動法人 フロレンス**  
Florence  
貧困・虐待など日本の親子を取り巻く社会課題を解決し、新しいあたりまえを創る  
1 3 4 16  
**認定NPO法人 ゴールドリボンネットワーク**  
Gold Ribbon Network  
奨学金、ひとり親世帯支援など、小児がん患児や障害者が生き生きと社会を担った活動  
1 3 5 10 17

**公益財団法人 東京防災救急協会**  
Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association  
防災および応急処置に関する知識・技術の普及による安心して暮らせる社会の実現  
3 11  
**公益財団法人 チャンス・フォー・チルドレン**  
Chance for Children  
経済的困難を抱える子どもに塾や習い事等で利用できる「スタディクーポン」を提供  
1 3 10

**詳しくはこちらで**  
<https://www.runwithheart.jp>

# VOLUNTEER

## TOKYO MARATHON 2023

あなたの笑顔がTOKYOと世界のキズナになる。  
Your smile unites the world

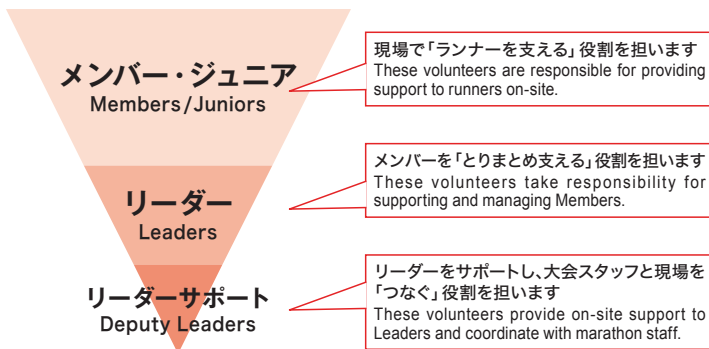
東京マラソンを支えるボランティアはホスピタリティあふれる東京マラソンの象徴のような存在です。スタートからフィニッシュへ続く長い道程を、あたたかい心と笑顔でランナーを支え、観衆など大会に関わるすべての人々へもホスピタリティあふれる対応で大会を盛り上げています。

Helpful Tokyo Marathon volunteers are full of hospitality and a symbol of the Tokyo Marathon. They support runners, as well as all the people involved in the event, including spectators and staffs, from the start line all the way to the finish with friendly smiles.

### ボランティア体制 Operational Structure

ボランティア活動が円滑に行われるために、ボランティアを「メンバー・ジュニア」、「リーダー」、「リーダーサポート」の3つの役割で活動し、組織化を図っています。

In order to carry out volunteer activities more smoothly, volunteers are organized into 3 groups; members, juniors, leaders and deputy volunteer leaders.



### 参加者データ (大会当日のみ) / Applicants Data

2023年1月20日現在 / As of January 20, 2023

年代	人数	割合	在住地域	人数	割合	職業	人数	割合	性別	人数	割合
10代*	101	1.3%	関東	7,485	95.5%	会社員・公務員	4,265	54.5%	男性	3,474	44.3%
20代	326	4.2%	中部	184	2.3%	主婦	1,155	14.7%	女性	4,367	55.7%
30代	394	5.0%	近畿	64	0.8%	アルバイト・パート	833	10.6%	合計	7,841	100%
40代	1,297	16.5%	東北	67	0.9%	無職	642	8.2%			
50代	3,039	38.8%	北海道	10	0.1%	自営業	429	5.5%			
60代	1,962	25.0%	四国	4	0.0%	学生	239	3.0%	参加人数	人数	割合
70代	682	8.7%	中国	15	0.2%	その他	278	3.5%	初めて	324	39.0%
80代	40	0.5%	九州・沖縄	12	0.2%				経験あり	507	61.0%
合計	7,841	100%	合計	7,841	100%	合計	7,841	100%	合計	831	100%

\*15歳以上の方(中学生は参加不可) ※ジュニア(小学生から中学生)13名含む。

### 東京マラソン過去大会実績データ Statistics from Past Races

開催年 Year	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020 (COVID-19)	2021	
ボランティア 配置人数 Number of Volunteers	全体 Total	10,049 (+都立高校生 2,621)	8,297 (+都立高校生 3,618)	9,946 (+都立高校生 3,100)	9,208	10,450	10,726	10,888	11,003	11,611	11,469	13,369	13,232	12,923	1,012	7,715
	男性 Men	—	3,953	4,903	4,849	5,560	5,129	5,682	5,899	5,338	6,357	5,787	5,663	5,544	707	3,603
	女性 Women	—	4,344	5,043	4,359	4,890	5,597	5,206	5,104	6,273	5,112	7,582	7,569	7,379	305	4,112

\*大会規模縮小に伴い、東京マラソン2020及び関連イベントのボランティアエントリーを全てキャンセル

# 賞金

## OVERVIEW

## Prize Purse

### 1 マラソン Marathon

#### (1) 賞金

Prize Purse (単位/Unit:円/JPY)

順位	Place	賞金 Prize Purse	
		男子 Men	女子 Women
1位	1st	11,000,000	11,000,000
2位	2nd	4,000,000	4,000,000
3位	3rd	2,000,000	2,000,000
4位	4th	1,000,000	1,000,000
5位	5th	750,000	750,000
6位	6th	500,000	500,000
7位	7th	400,000	400,000
8位	8th	300,000	300,000
9位	9th	200,000	200,000
10位	10th	100,000	100,000
計	Total	40,500,000	

世界記録 (WR)		
男子 Men	エリウド・キプキョゲ(ケニア) KIPCHOGE, Eliud (KEN)	2:01:09 (2022年ベルリン・Berlin)
女子 Women	ブリジット・コスゲイ(ケニア) KOSGEI, Brigid (KEN)	2:14:04 (2019年シカゴ・Chicago)
日本記録 (NR)		
男子 Men	鈴木 健吾 SUZUKI, Kengo	2:04:56 (2021年びわ湖・Biwako)
女子 Women	野口 みずき NOGUUCHI, Mizuki	2:19:12 (2005年ベルリン・Berlin)
大会記録 (CR)		
男子 Men	エリウド・キプキョゲ(ケニア) KIPCHOGE, Eliud (KEN)	2:02:40 (2022年東京2021・Tokyo2021)
女子 Women	ブリジット・コスゲイ(ケニア) KOSGEI, Brigid (KEN)	2:16:02 (2022年東京2021・Tokyo2021)

#### (2) 記録ボーナス

Record Bonuses

(単位:円/Unit:JPY)

項目 Term	記録ボーナス Record Bonuses		備考 Remarks
	男子 Men	女子 Women	
世界記録 World Record (WR)	30,000,000	30,000,000	男女1位のみ 1st place only
日本記録 Japan National Record (NR)	5,000,000	5,000,000	男女国内1位のみ 1st-place Japanese only
大会記録 Course Record (CR)	3,000,000	3,000,000	男女1位のみ 1st place only
計 Total	76,000,000		

### 2 車いすマラソン Wheelchair Marathon

#### (1) 賞金

Prize Purse (単位/Unit:円/JPY)

順位	Place	賞金 Prize Purse	
		男子 Men	女子 Women
1位	1st	2,000,000	2,000,000
2位	2nd	1,000,000	1,000,000
3位	3rd	700,000	700,000
4位	4th	350,000	350,000
5位	5th	250,000	250,000
6位	6th	160,000	160,000
7位	7th	120,000	120,000
8位	8th	60,000	60,000
計	Total	9,280,000	

世界記録 (WR)		
男子 Men	マルセル・フグ(スイス) HUG, Marcel (SUI)	1:17:47 (2021年大分国際・Oita)
女子 Women	マヌエラ・シャー(スイス) SCHÄR, Manuela (SUI)	1:35:42 (2019年大分国際・Oita)
日本記録 (NR)		
男子 Men	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	1:18:37 (2021年大分国際・Oita)
女子 Women	喜納 翼 KINA, Tsubasa	1:35:50 (2019年大分国際・Oita)
大会記録 (CR)		
男子 Men	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	1:21:52 (2020年東京・Tokyo)
女子 Women	喜納 翼 KINA, Tsubasa	1:40:00 (2020年東京・Tokyo)

#### (2) 記録ボーナス

Record Bonuses

(単位:円/Unit:JPY)

項目 Term	賞金 Prize Purse		備考 Remarks
	男子 Men	女子 Women	
世界記録 World Record (WR)	1,000,000	1,000,000	男女1位のみ 1st place only
日本記録 Japan National Record (NR)	500,000	500,000	男女国内1位のみ 1st-place Japanese only
大会記録 Course Record (CR)	200,000	200,000	男女1位のみ 1st place only
計 Total	3,400,000		

#### (3) 大会記録更新スプリットタイムボーナス

Split Time Bonus (単位:円/Unit:JPY)

順位	Place	賞金 Prize Purse	
		男子 Men	女子 Women
1位	1st	150,000	150,000
2位	2nd	100,000	100,000
3位	3rd	50,000	50,000
計	Total	600,000	

### 3 総額 Grand Total (単位:円/Unit:JPY)

項目 Term	賞金 Prize Purse
賞金合計 Total Prize Purse	49,780,000
ボーナス合計 Total Time Bonuses	80,000,000
総額 Grand Total	129,780,000

※金額はいずれも税込みです。  
 ※賞金は協賛企業各社からのご協力により実施いたします。  
 \* Tax will be deducted.  
 \* All prize purses come from the official partner's cooperation.



# アボット・ワールドマラソンメジャーズ

» OVERVIEW »

Abbott World Marathon Majors



## 東京マラソンは、 世界6大マラソンのひとつです。

### The Tokyo Marathon is One of the World's Greatest Six Marathons

#### アボット・ワールドマラソンメジャーズとは

アボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM) は世界で最も名高く大規模な6つのマラソン大会 (東京、ボストン、ロンドン、ベルリン、シカゴ、ニューヨークシティマラソン) で構成されています。

大会の主催者たちが一致団結し、マラソン競技の発展とエリート選手の認知向上を目指すと同時に、様々な年代・走力のマラソンランナーのグローバルなコミュニティの輪を広げていきます。

AbbottWMMは、エリート選手、エリート車いす選手による1年間のシリーズのみならず、チャンピオンとして称えるにふさわしい世界中の一般ランナーたちの偉業や情熱も称賛します。

AbbottWMM Six Star Systemはウェブサイト上のリアルタイムデータベースで、シリーズ大会のうち1大会 (星1つ) でも完走しているランナーを称え、6大会制覇に向けて星を増やし ("Reach for the Stars")、Six Starを目指すシステムです。

AbbottWMMは2018年にAbbottWMM Wanda Age Group World Rankingsをスタート。第2回AbbottWMM Wanda Age Group World Championshipsは2022年10月2日のTCSロンドンマラソンと併催にて開催。2023年のWorld ChampionshipsはBank of Americaシカゴマラソンと併催にて開催されます。

AbbottWMM Global Run Clubは、バーチャルのプラットフォームでグローバルなマラソンランナーコミュニティを一つにすべく、2020年8月にスタートしました。

#### シリーズ形式

他に類を見ない厳しいアンチ・ドーピング規定のもとで開催されるAbbottWMMシリーズ対象大会を通じ、1年間の総合ポイントでチャンピオンが決定します。シリーズXVはここ東京マラソンで開幕し、11月のTCSニューヨークシティマラソンで終了します。シリーズは、AbbottWMM 6大会およびオリンピック/パラリンピックまたはWorld Athletics/ World Para Athletics世界選手権 (\*シリーズ期間中に開催される場合) で構成されています。

#### About the Abbott World Marathon Majors

The Abbott World Marathon Majors is a series of six of the largest and most renowned marathons in the world: Tokyo Marathon, Boston Marathon, TCS London Marathon, BMW BERLIN-MARATHON, Bank of America Chicago Marathon and TCS New York City Marathon.

The organizers of the events are united in their effort to advance the sport, raise awareness of its elite athletes, and grow the global base of marathon runners of all ages and abilities.

Encompassing an annual series for elite runners and elite wheelchair athletes AbbottWMM also applauds the achievements and passion of everyday champions from around the world.

The AbbottWMM Six Star System is an online results hub that celebrates every runner who has completed from one to six of the races in the series and encourages them to 'Reach for the Stars'.

The AbbottWMM launched the AbbottWMM Wanda Age Group World Rankings in 2018 and the second AbbottWMM Wanda Age Group World Championships race was staged on 02 October 2022 as part of the TCS London Marathon. The 2023 World Championships will be part of the Bank of America Chicago Marathon.

The AbbottWMM Global Run Club launched in August 2020 and aims to bring together the global community of marathon runners on a virtual platform.

#### Series Format

The AbbottWMM champions are determined through a one-year cycle of Qualifying Races featuring unprecedented anti-doping protocols. Series XV begins here at the Tokyo Marathon and concludes at the TCS New York City Marathon in November. The AbbottWMM series cycle consists of the six Majors along with the Olympic/Paralympic Marathon and the World Athletics/ World Para Athletics Championships Marathon in the years they occur.

**ポイントシステム:** 1年間のスコアリング期間中、対象レースで最も多くポイントを獲得した男女選手がAbbottWMMシリーズチャンピオンとなります。スコアリング期間中、最大2つの対象大会でのポイントが加算されます。シリーズタイトルを獲得するには、少なくとも2つの対象大会に出場する必要があります。3つ以上の大会でポイントを得た場合は、より良い成績を残した2大会分のみポイントが加算されます。車いすマラソンの場合には、最大4大会分/5大会分（パラリンピックまたは世界選手権が含まれないシリーズでは、より成績の良い4大会。それが含まれるシリーズではより成績の良い5大会分）のポイントが加算されます。

**Point System:** The champions of the AbbottWMM series are the male and female athletes who score the greatest number of points from Qualifying Races during the series. During each scoring period, points from a maximum of two Qualifying Races will be scored. An athlete must start in two Qualifying Races over the Series cycle to be eligible for the championship. If an athlete earns points in more than two events, the athlete's highest two finishes will be scored. The wheelchair series follows the same rules, but points from an athlete's best four races count towards the total, or best five during years with a Paralympic Games or World Championships.

各大会において、下記ポイントが与えられます。

Points are allocated following each race as follows:

1位 / 1st place	2位 / 2nd place	3位 / 3rd place	4位 / 4th place	5位 / 5th place
25 points	16 points	9 points	4 points	1 point

**ドーピング違反:** AbbottWMM 規定のもと、World Athletics（世界陸連）、世界アンチ・ドーピング機構（WADA）、各国の陸上連盟および各AbbottWMM大会により定められたアンチ・ドーピング規定に違反した選手には、AbbottWMMシリーズタイトルを獲得する資格が無いものと見なします。選手はAbbottWMM行動規範を遵守するものとします。

**Doping Violations:** Under AbbottWMM rules, no athlete who has been found guilty of any anti-doping rules enforced by World Athletics, World Anti-Doping Association (WADA), National Federations, or any of the individual AbbottWMM races is eligible to win the AbbottWMM championship title. Athletes must comply with the AbbottWMM Code of Conduct.

## PAST SERIES CHAMPIONS

過去シリーズチャンピオン

Series	Men	Women
Series I (2006-07)	CHERUIYOT, Robert K. (KEN)	WAMI, Gete (ETH)
Series II (2007-08)	LEL, Martin (KEN)	MIKITENKO, Irina (GER)
Series III (2008-09)	WANJIRU, Samuel (KEN)	MIKITENKO, Irina (GER)
Series IV (2009-10)	WANJIRU, Samuel (KEN)	MIKITENKO, Irina (GER)
Series V (2010-11)	MUTAI, Emmanuel (KEN)	KIPLAGAT, Edna (KEN)
Series VI (2011-12)	MUTAI, Geoffrey (KEN)	KEITANY, Mary (KEN)
Series VII (2012-13)	KEBEDE, Tsegaye (ETH)	JEPTOO, Priscah (KEN)
Series VIII (2013-14)	KIPSANG, Wilson (KEN)	KIPLAGAT, Edna (KEN)
Series IX (2015-16)	KIPCHOGE, Eliud (KEN)	KEITANY, Mary (KEN)
Series X (2016-17)	KIPCHOGE, Eliud (KEN)	KIPLAGAT, Edna (KEN)
Wheelchair Series X (2016-17)	HUG, Marcel (SUI)	MCFADDEN, Tatyana (USA)
Series XI (2017-18)	KIPCHOGE, Eliud (KEN)	KEITANY, Mary (KEN)
Wheelchair Series XI (2017-18)	HUG, Marcel (SUI)	SCHÄR, Manuela (SUI)
Series XII (2018-19)	KIPCHOGE, Eliud (KEN)	KOSGEI, Brigid (KEN)
Wheelchair Series XII (2018-19)	ROMANCHUK, Daniel (USA)	SCHÄR, Manuela (SUI)
Series XIII (2019-21)	KORIR, Albert (KEN)	JEPKOSGEI, Joyciline (KEN) AND JEPCHIRCHIR, Peres (KEN)
Wheelchair Series XIII (2019-21)	HUG, Marcel (SUI)	SCHÄR, Manuela (SUI)
Series XIV (2022)	KIPCHOGE, Eliud (KEN) HUG, Marcel (SUI)	GEBRESLASE, Gotytom (ETH) SCARONI, Susannah (USA)



**Abbott World Marathon Majors Races - Series XV (Elite and Wheelchair Elite Series)**

アボット・ワールドマラソンメジャーズ大会 - シリーズ XV (エリートおよび車いすエリートシリーズ)

Race	Date
Tokyo Marathon	Sunday, March 5, 2023
Boston Marathon	Monday, April 17, 2023
TCS London Marathon	Sunday, April 23, 2023
BMW BERLIN-MARATHON	Sunday, September 24, 2023
Bank of America Chicago Marathon	Sunday, October 8, 2023
TCS New York City Marathon	Sunday, November 5, 2023

**Abbott World Marathon Majors Series XIV Final Leaderboards**

AbbottWMM シリーズ XIV 最終リーダーボード

**Men**

1 . KIPCHOGE, Eliud (KEN)	50 pts.
1 . CHEBET, Evans (KEN)	50 pts.
3 . KIPRUTO, Amos (KEN)	41 pts.
4 . TOLA, Tamirat (ETH)	34 pts.
4 . KIPRUTO, Benson (KEN)	34 pts.
6 . ABDI, Bashir (BEL)	18 pts.
7 . KITATA, Shura (ETH)	17 pts.
8 . CHERONO, Lawrence (KEN)	16 pts.
8 . GEREMEW, Mosinet (ETH)	16 pts.
8 . ABDIWAK TURA, Seifu (ETH)	16 pts.
8 . KORIR, Mark (KEN)	16 pts.
8 . GEBRESILASE, Leul (ETH)	16 pts.

**Women**

1 . GEBRESLASE, Gotytom (ETH)	34 pts.
2 . CHEPNGETICH, Ruth (KEN)	25 pts.
2 . CHEMTAI SALPETER, Lonah (ISR)	25 pts.
2 . KOSGEI, Brigid (KEN)	25 pts.
2 . JEPCHIRCHIR, Peres (KEN)	25 pts.
2 . ASSEFA, Tigist (ETH)	25 pts.
2 . YEHUALAW, Yalemzerf (ETH)	25 pts.
2 . LOKEDI, Sharon (KEN)	25 pts.
9 . KORIR, Judith (KEN)	20 pts.
10 . YESHANEH, Ababel (ETH)	16 pts.
10 . BEKERE, Ashete (ETH)	16 pts.
10 . JEPKOSGEI, Joyciline (KEN)	16 pts.
10 . WANJIRU, Rosemary (KEN)	16 pts.
10 . SISSON, Emily (USA)	16 pts.

**Men's Wheelchair**

1 . HUG, Marcel (SUI)	124 pts.
2 . ROMANCHUK, Daniel (USA)	89 pts.
3 . PIKE, Aaron (USA)	34 pts.
4 . SUZUKI, Tomoki (JPN)	20 pts.
5 . WEIR, David (GBR)	18 pts.
6 . PLAT, Jetze (NED)	14 pts.
7 . NISHIDA, Hiroki (JPN)	9 pts.
7 . SMITH, Johnboy (GBR)	9 pts.
9 . WATANABE, Sho (JPN)	5 pts.
10 . HOKINOUE, Kota (JPN)	4 pts.
10 . HIGUCHI, Masayuki (JPN)	4 pts.

**Women's Wheelchair**

1 . SCARONI, Susannah (USA)	98 pts.
2 . DEBRUNNER, Catherine (USA)	66 pts.
3 . SCHÄR, Manuela (SUI)	65 pts.
4 . KINA, Tsubasa (JPN)	33 pts.
5 . DE ROZARIO, Madison (AUS)	18 pts.
6 . TSUCHIDA, WAKAKO (JPN)	16 pts.
6 . MCFADDEN, TATYANA (USA)	16 pts.
8 . HOANG, YEN (USA)	12 pts.
9 . FESEMEYER, JENNA (USA)	11 pts.
10 . RAINBOW-COOPER, EDEN (GBR)	9 pts.

# 東京マラソン Tokyo Marathon



## 東京マラソンについて

東京マラソン財団主催の東京マラソンは、2007年2月18日に第一回大会が開催され、「東京がひとつになる日。」というテーマのもと毎年、ボランティア、観客をひとつにして来ました。

2010年からは独自のチャリティを始め、現在は「RUN with HEART」チャリティとして寄付者は様々な事業に貢献することができます。

10回記念大会からはロゴを一新。ランナー、ボランティア、応援する人を象徴するデザインで「東京がひとつになる日。」を表現。また、2017大会から東京駅前でフィニッシュする新コースで開催され、2018大会では、16年ぶりとなる日本新記録が誕生した。

東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会として開催された東京マラソン2020は、新型コロナウイルス感染症対策としてエリートのみで開催する中、大迫傑選手の日本新記録(2:05:29)をはじめ、多くの大会新記録が誕生。2022年には2年振りにリアル大会(定員は削減)が開催され、男女ともに素晴らしい大会新記録が誕生した。「ONE STEP AHEAD」がキャッチコピーの2023大会は、通常の定員となる38,000人で2023年3月5日に開催予定。

## ABOUT THE TOKYO MARATHON

Organized by the Tokyo Marathon Foundation, the inaugural Tokyo Marathon was held on February 18, 2007. Through its theme, "The Day We Unite" the Tokyo Marathon has gathered together runners, volunteers and spectators every year.

The Foundation started its own charity program in 2010, which is now called "RUN with HEART". Through this program, donors can contribute to various charitable activities, through which donors can contribute to various charitable activities.

Since the 10th anniversary event in Tokyo Marathon 2016, the official race logo has been renewed to represent the portrayed images of the runners, volunteers and cheering crowds along the course, which signifies the race theme "The Day We Unite." In addition, Tokyo Marathon 2017 began a new course that finishes in front of the Tokyo station area, and in 2018 saw a new Japanese record set for the first time in 16 years.

The Tokyo Marathon 2020 was held by reducing the entries to elite and wheelchair elite in response to COVID-19. As the event served as the Olympic trial for the Tokyo 2020, many record-breaking times were established, such as the new national record (2:05:29) set by Suguru Osako. And in 2022, an in-person race (Tokyo Marathon 2021) returned after 2 years with reduced field size, where astonishing course records were set for both men and women. The Tokyo Marathon 2023, whose theme is "ONE STEP AHEAD," is scheduled to be held on March 5, 2023 with a normal field size of 38,000.

### 初回開催年 / Inaugural Running

2007

### 最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

35,460 – 2019

### 年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2014	34,126	27,203	6,923
2015	34,049	26,827	7,222
2016	34,697	27,121	7,576
2017	33,974	26,278	7,696
2018	34,542	26,637	7,905
2019	35,460	27,253	8,207
2020*	165	118	47
2021	18,272	15,061	3,211

\*コロナウイルス感染症対策としてエリートのみで開催。

\*As preventive measures against the spread of COVID-19, the 2020 race was held for the elites and wheelchair elites only.

### 賞金総額

49,780,000 円

(男子・女子優勝はそれぞれ11,000,000円、男子車いす・女子車いす優勝は2,000,000円)、記録ボーナス有

### Prize Purse

JPY 49,780,000 \*Approx \$455,000

(JPY 11,000,000 (\$101,000) apiece for male and female champions, JPY 2,000,000 (\$18,000) apiece for male and female wheelchair champions) + record bonuses

### 公式チャリティ

東京マラソン2023チャリティ

(東京マラソン財団によるスポーツレガシー事業他、32の寄付先事業)

### Official Charities

Tokyo Marathon 2023 Charity

(Sports Legacy Program by the Tokyo Marathon Foundation, and 32 charity partner programs.)

### 大会記録 / Course Records

Men's Runners: 2:02:40 (KIPCHOGE, Eliud (KEN) 2022)

Women's Runners: 2:16:02 (KOSGEI, Brigid (KEN) 2022)

Men's Wheelchair Athletes: 1:21:52 (SUZUKI, Tomoki (JPN) 2020)

Women's Wheelchair Athletes: 1:40:00 (KINA, Tsubasa (JPN) 2020)



# ボストンマラソン Boston Marathon



## ボストンマラソンについて

1896年アテネで初開催されたオリンピックに触発され、翌1897年、Boston Athletic Association (B.A.A., ボストン体育協会)のメンバーによってマラソン大会が創設されました。ボストンマラソンは創設以来毎年開催され(1918年度は第一次世界大戦の影響で軍隊のリレーを主体に開催、2020大会はバーチャル大会として開催され)、今日では世界で最も歴史のあるマラソン大会です。時を経てスタートとフィニッシュの位置に多少の変更はありましたが、コースの大部分は当初のまま維持されています。第127回大会は2023年4月17日に開催します。

1924年から、ホプキントンをスタートとして、アシュランド、フレーミングハム、ナティック、そしてウェルズリーへと下るコースとなりました。ニュートンに差し掛かると、有名な“心臓破りの丘”へと徐々に上りコースとなります。ランナーは丘の頂上に到達して初めてそこから4マイル離れたボストンの街を目にすることができます。ブルックラインを走り抜けると、コースはフィニッシュとなる歴史あるボイルストンストリートに入ります。そのコースと長い歴史に加え、ランナーの、性別・年代別参加基準タイムが設けられていることも、ボストンマラソンの特徴となっています。

## ABOUT THE BOSTON MARATHON

Inspired by their experience at the 1896 Olympic Games, several members of the Boston Athletic Association founded their own marathon in 1897. The race has been run every year since and is recognized as the world's oldest annual marathon (the 1918 edition featured a military relay and the 2020 edition was run as a Virtual Experience). Both the start and finish lines have moved slightly over the years, but much of the course remains exactly as it was originally designed. The 127th running will be held on April 17, 2023.

Since 1924, the race has begun in the town of Hopkinton, and from there the point-to-point course descends through Ashland, Framingham, Natick and Wellesley. Upon entering Newton, the course gradually rises to the famous Heartbreak Hill. As runners reach the top, they can see downtown Boston for the first time, four miles in the distance. After running through Brookline, the course enters Boston where it finishes on historic Boylston Street. Runners must qualify for entry by meeting time standards corresponding to gender and age, which is another aspect—besides its course and longevity—unique to the Boston Marathon.

### 初回開催年 / Inaugural Running

1897

### 最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

35,868 – 1996

### 年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female
2014	31,923	17,581	14,342
2015	26,597	14,580	12,017
2016	26,629	14,463	12,166
2017	26,581	14,570	12,011
2018	25,831	14,203	11,628
2019	26,762	14,760	12,002
2020*	16,183	8,744	7,439
2021 In-Person	15,473	8,003	7,470
2021 Virtual	22,890	10,514	12,376
2022	24,834	14,262	10,572

\*2020大会はコロナウイルス感染症拡大の影響を受けバーチャル大会として開催されました。2021大会はリアル大会とバーチャル大会を併催しました。

\*The 2020 race was held as a Virtual Experience due to the COVID-19 pandemic. The 2021 race was held as both an in-person and virtual race.

### 観衆人数 / Estimated Number of Spectators

500,000

### 賞金総額

\$876,500

(マラソン一般、マスターズ、車いす、パラ選手の賞金を含む)  
男子・女子マラソン優勝はそれぞれ150,000ドル、男子・女子車いすマラソン優勝はそれぞれ25,000ドル。  
大会記録ボーナス(マラソン・車いすマラソンともに)50,000ドル。

### Prize Purse

\$876,500

(includes Open, Masters, Wheelchair, and Para Athletes Prize Money)  
\$150,000 apiece for the male and female open champions, and \$25,000 apiece for the male and female wheelchair champions. Additional \$50,000 course record bonus for open and wheelchair divisions.

### 公式チャリティ

42団体

### Official Charities

42

### 大会記録 / Course Records

Men's Runners: 2:03:02 (MUTAI, Geoffrey (KEN) 2011)  
Women's Runners: 2:19:59 (DEBA, Buzunesh (ETH) 2014)  
Men's Wheelchair Racers: 1:18:04 (HUG, Marcel (SUI) 2017)  
Women's Wheelchair Racers: 1:28:17 (SCHÄR, Manuela (SUI) 2017)

# ロンドンマラソン TCS London Marathon



## TCSロンドンマラソンについて

1979年にJohn Disleyと今は亡きChris Brasherはニューヨークシティマラソンを走ったことをきっかけに、「ニューヨークのような大会をロンドンでできないだろうか?」と考えました。「ロンドンにもコースはある……。しかし、世界中のランナーを受け入れるためのホスピタリティはあるだろうか?」。翌年Brasherは、1970年代後半のランニングブームが到来したばかりのアメリカを訪れ、ボストンマラソンを目の当たりにし、再びニューヨークシティマラソンにも訪れました。そこで大会の組織運営や資金調達などを学び、帰国後すぐに、BrasherとDisleyはGillette(ジレット)と75,000ポンド(約1,060万円)で3年間のスポンサー契約を締結し、チャリティの仕組みも創設、そして大会における6つの指針を定めました。第1回大会は1981年3月29日に開催され、20,000人以上の申込みがあり、7,747人が参加しました。完走者6,255人の先頭に立って優勝したのは、男子が、手をつなぎながら同着フィニッシュしたアメリカのDick BeardsleyとノルウェーのInge Simonsen、女子はイギリス記録も更新したJoyce Smithでした。

ロンドンマラソンは、1981年の初回大会からの完走者総数が100万人を超え、集められた寄付金の総額は10億ポンドを超えます。レースは196ヶ国以上で視聴され、イギリスではBBC放送で400~500万人が視聴しています。

2021年のロンドンマラソンは、35,838人のランナーが、グリニッジからロンドン中心部のウェストミンスターへ続く従来のコースでフィニッシュした一方、23,193人が世界各国からバーチャルのロンドンマラソンに参加し、世界最大のマラソンとなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により近年10月開催となっていたロンドンマラソンですが、2023年の大会は、元通りの4月開催となります。

## ABOUT THE TCS LONDON MARATHON

In 1979, after running the New York City Marathon with John Disley, Chris Brasher questioned whether London could stage such a festival: "We have the course . . . but do we have the heart and hospitality to welcome the world?" Later that year, Brasher travelled to America, where the running boom of the late 1970s had started. He witnessed the Boston Marathon and revisited the New York City race. He studied both races' organizations and finances. On his return, Brasher and Disley secured a three-year contract with Gillette for £75,000, established the organization's charitable status, and set down six main aims for the event. The first London Marathon was held on March 29, 1981. More than 20,000 people wanted to run; 7,747 were accepted. There were 6,255 finishers, led home by American Dick Beardsley and Norwegian Inge Simonsen who crossed the finish line hand in hand. Joyce Smith broke the British record to win the women's race.

The London Marathon has subsequently raised more than £1billion for charity since its first race in 1981 and had more than one million finishers. The race is viewed in more than 196 countries worldwide and watched by between four and five million viewers in the UK via the BBC.

In 2021, the London Marathon became the biggest marathon ever staged anywhere in the world when 35,838 participants finished the traditional mass route from Greenwich to Westminster in the centre of London and another 23,193 people participated in the virtual London Marathon, wherever they were in the world.

After three years of the London Marathon being held in October due to the Covid-19 pandemic, the event will return to its traditional slot of April in 2023.

**初回開催年 / Inaugural Running**  
**最多完走者数 / Largest Field (total finishers)**  
**年次別完走者数 / Recent Participation**

1981			
42,549 – 2019			
Year	Finishers	Male	Female
2014	35,800	22,608	13,272
2015	37,671	23,281	14,390
2016	39,140	24,020	15,120
2017	39,487	23,978	15,509
2018	40,272	23,771	16,501
2019	42,549	24,804	17,788
2020 (virtual)	37,966	19,223	18,743
2021 (mass)	35,838	21,436	14,402
2021 (virtual)	23,193	11,601	12,312
2022 (mass)	40,627	23,739	16,888
2022 (virtual)	7,493	3,734	3,759

**観衆人数 / Estimated Number of Spectators**

750,000

### 賞金総額

エリート男女: 313,000ドル(男子・女子優勝はそれぞれ55,000ドル)、タイムボーナス・記録ボーナス有  
 車いすエリート男女: 199,500ドル(男子・女子優勝はそれぞれ35,000ドル)、記録ボーナス有

### Prize Purse

Elite men and women: \$313,000 (\$55,000 apiece for the male and female champions) + time and record bonuses  
 Wheelchairs: \$199,500 (\$35,000 apiece for the male and female champions) + record bonuses

### 公式チャリティ

Great Ormond Steet Hospital Children's Charity

### Official Charities

Great Ormond Steet Hospital Children's Charity

### 大会記録 / Course Records

Men's Runners: 2:02:38 (KIPCHOGE, Eliud (KEN) 2019)  
 Women's Runners: 2:17:01 (KEITANY, Mary (KEN) 2017) (women only)  
 2:15:25 (RADCLIFFE, Paula (GBR) 2003) (mixed)  
 Men's Wheelchair Racers: 1:24:38 (HUG, Marcel (SUI) 2022)  
 Women's Wheelchair Racers: 1:38:24 (DEBRUNNER, Catherine (SUI) 2022)

# ベルリンマラソン BMW Berlin Marathon



## BMW ベルリンマラソンについて

ドイツで最も有名な陸上クラブの一つである SC Charlottenburg のランナーたちを、ホルスト・ミルドが率いる形で 1974 年にベルリンマラソンを初開催しました。大会コースは、1981 年にグラーネヴァルト(大きな森)から西ベルリンの中心街へと変更。西ベルリンを占領していたイギリス、フランス、アメリカ軍の支援もあり急速な発展を遂げた大会は、ドイツで最も大きく質の高いマラソン大会へと成長しました。1989 年 11 月にベルリンの壁が崩壊し、新たな時代が幕を開け、ドイツ再統一 3 日前の 1990 年 9 月 30 日のベルリンマラソンで初めて、ベルリン東西を通りブランデンブルク門をくぐり抜けるコースへと変更されました。2001 年大会で高橋尚子が女子選手として初めて 2 時間 20 分の壁を破りました。平坦で高速な周回コースは、2003 年に大幅変更され、ケニアのポール・テルガトはその新コースで、ベルリン統一の象徴であるブランデンブルク門を通過してフィニッシュした最初の選手となり、同時に、世界初の 2 時間 5 分切りとなる 2:04:55 で世界記録を更新しました。

BMW ベルリンマラソンは世界の中でも素晴らしいロードレースの一つとして成長してきました。2008 年、ハイレ・ゲブレシラシエ(エチオピア)が 2:03:59 で 2 度目の世界記録を更新。その記録を 2011 年、パトリック・マカウ(ケニア)が更に締め、2:03:38 という記録を樹立。その後ケニア選手 3 人により世界記録が 3 度更新されました: 2013 年ウィルソン・キプサンゲ(2:03:23)、2014 年デニス・キメット(史上初の 2 時間 3 分切りとなる 2:02:57)、2018 年エリウド・キプチョゲ(第 45 回ベルリンマラソンを 2:01:39 で優勝)。このキプチョゲの記録は、それまでの世界記録を 1 分 18 秒も締め、マラソン史において 50 年以上達成されることのなかった大幅な記録更新となりました。そして 2022 年、第 48 回 BMW ベルリンマラソンにおいて、世界記録更新となる 2:01:09 で優勝し、史上最高のマラソンランナーであることを再び世に知らしめました。37 歳のキプチョゲは、2018 年の記録をちょうど 30 秒更新し、BMW ベルリンマラソン史上、12 個目の世界記録を樹立しました。12 個目の世界記録が誕生している大会は他になく、唯一無二のマラソン大会となっています。

## ABOUT THE BMW BERLIN MARATHON

A group of runners headed by Horst Milde from one of Germany's most prestigious athletics clubs, SC Charlottenburg, organised the first BERLIN-MARATHON in 1974. It was not until 1981 that the race moved from the Grunewald (a big forest) into the city center of West Berlin. Supported by the three western allied forces (Britain, France and USA) it quickly developed into Germany's biggest and best quality marathon. A new era started after the fall of the Berlin Wall in November 1989. On 30 September 1990, three days before reunification, the course of the BERLIN-MARATHON led through Brandenburg Gate and both parts of Berlin for the first time. In 2001 Naoko Takahashi became the first woman to break the 2:20 barrier in Berlin. The flat and fast loop course was then changed significantly for the 2003 race. Paul Tergat, who ran a world record of 2:04:55 (first sub 2:05 time ever), became the first man to cross the new finish line, passing through Brandenburg Gate shortly before – the symbol for reunification.

The BMW BERLIN-MARATHON developed into one of the world's best quality road races. In 2008 Haile Gebrselassie (Ethiopia) improved the world record for a second time, clocking 2:03:59. Patrick Makau (Kenya) broke Gebrselassie's world record in Berlin in 2011, improving the time to 2:03:38. Three more world records by Kenyans followed: Wilson Kipsang clocked 2:03:23 in 2013, Dennis Kimetto became the first runner to achieve a sub 2:03 time in 2014 (2:02:57) and then Eliud Kipchoge smashed this mark in 2018. Running 2:01:39 he crowned the 45th edition of the BMW BERLIN-MARATHON. He improved the former mark by 1:18 minutes, the biggest advance in the men's marathon world record for over 50 years. He once again confirmed his position as the best marathon runner of all times, crowning the 48th edition of the BMW BERLIN-MARATHON in 2022 with a world record of 2:01:09. The 37-year-old improved his own mark from Berlin 2018 by exactly half a minute. The Kenyan established the 12th world record in the history of the BMW BERLIN-MARATHON, a total unmatched by any other marathon race in the world.

**初回開催年 / Inaugural Running**  
**最多完走者数 / Largest Field (total finishers)**  
**年次別完走者数 / Recent Participation**

1974	44,065 finishers – 2019			
Year	Finishers	Male	Female	Divers
2014	28,946	22,178	6,768	
2015	36,767	27,857	8,910	
2016	35,999	26,771	9,228	
2017	39,234	28,161	11,073	
2018	40,650	28,378	12,273	
2019	44,065	30,775	13,290	
2020	Cancelled due to the pandemic			
2021	23,097	16,731	6,366	
2022	34,879	23,335	11,537	7
	1 million			

**観衆人数 / Estimated Number of Spectators**

### 賞金総額

マラソン約 275,000 ドル(170,000 ユーロ)  
 (男子・女子優勝はそれぞれ 30,000 ユーロ)  
 車いすマラソン約 55,000 ドル(37,700 ユーロ)  
 (男子・女子優勝はそれぞれ 7,500 ユーロ)

### Prize Purse

Marathon - 170,000 Euros  
 (30,000 Euros for each champions)  
 Wheelchair Marathon - 37,700 Euros  
 (7,500 Euros for each champion)

### 公式チャリティ

The Realbuzz Group, NYRR Team for Kids, GET KIDS GOING, Imagine for Margo - Children without Cancer, HelpAge Deutschland e.V., NABU - Naturschutzbund Deutschland e.V.

### Official Charities

The Realbuzz Group, NYRR Team for Kids, GET KIDS GOING, Imagine for Margo - Children without Cancer, HelpAge Deutschland e.V., NABU - Naturschutzbund Deutschland e.V.

### 大会記録 / Course Records

Men's Runners: 2:01:09 (KIPCHOGE, Eliud (KEN) 2022)  
 Women's Runners: 2:15:37 (TIGIST, Assefa (ETH) 2022)  
 Men's Wheelchair Racers: 1:21:39 (FREI, Heinz (SUI) 1997)  
 Women's Wheelchair Racers: 1:36:53 (SCHÄR, Manuela (SUI) 2018)



# シカゴマラソン Bank of America Chicago Marathon



## Bank of Americaシカゴマラソンについて

1976年、ランニング愛好家の小さなグループがラサールストリートのメトロポリタンYMCAに集まり、シカゴでのマラソンを計画しました。この創設者グループが1977年9月25日に構想を実現させ第1回目のシカゴマラソンを開催、地元から4,200人が参加しました。シカゴマラソンは、今では45,000人を超える完走者と約170万人の観衆を集めるまでに成長しました。平坦な高速コースは、歴史あるグラントパークでスタート・フィニッシュし、レイクビューやグリークタウン、リトルイタリー、ピルセン、チャイナタウンそしてブロンズビルを含む、29の文化的に多様な地区を通過します。周回コースであること、そして豊富な公共交通機関が利用可能であることによって、コース沿いの多くの場所で友人や家族がランナーを応援することができます。シカゴマラソンには昔から世界最速のランナーたちが集い、2度の男子世界記録(Steve Jones, 2:08:05, 1984; and Khalid Khannouchi, 2:05:42, 1999)、そして3度の女子世界記録(Catherine Ndereba, 2:18:47, 2001; Paula Radcliffe, 2:17:18, 2002; Brigid Kosgei, 2:14:04, 2019)誕生の舞台となっています。

## ABOUT THE BANK OF AMERICA CHICAGO MARATHON

In 1976, a small band of running enthusiasts met at the Metropolitan YMCA on LaSalle Street to discuss and plan a marathon in Chicago. This founding group realized their vision on September 25, 1977, when they hosted 4,200 local participants in the first Chicago Marathon. The Bank of America Chicago Marathon has since expanded to more than 45,000 finishers and an estimated 1.7 million on-course spectators. The flat and fast course begins and ends in historic Grant Park, sweeping through 29 diverse and colorful neighborhoods including Lakeview, Greektown, Little Italy, Pilsen, Chinatown, and Bronzeville. The loop course and abundance of public transportation options enables friends and family to cheer their runners on at many locations along the course. The Bank of America Chicago Marathon has a long history of hosting the world's fastest runners and has been the site of two men's world records (Steve Jones, 2:08:05, 1984; and Khalid Khannouchi, 2:05:42, 1999) and three women's world records (Catherine Ndereba, 2:18:47, 2001; Paula Radcliffe, 2:17:18, 2002; and Brigid Kosgei, 2:14:04, 2019).

初回開催年 / Inaugural Running

1977

最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

45,932 – 2019

年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Men	Women	Non-binary or Not specified
2013	39,122	21,595	17,527	
2014	40,659	22,242	18,417	
2015	37,459	20,207	17,252	
2016	39,313	21,638	17,675	
2017	44,341	22,842	21,499	
2018	44,610	23,923	20,687	
2019	45,932	24,608	21,324	
2021	26,109	14,227	11,882	
2022	39,387	20,876	18,426	85

観衆人数 / Estimated Number of Spectators

1.7 million

賞金総額

740,500ドル

(男子・女子優勝はそれぞれ75,000ドル)

Prize Purse

\$740,500

(\$75,000 apiece for the men and women champions)

公式チャリティ

170団体

Official Charities

170

大会記録 / Course Records

Men's Runners: 2:03:45 (KIMETTO, Dennis (KEN) 2013)

Women's Runners: 2:14:04 (KOSGEI, Brigid (KEN) 2019)

Men's Wheelchair Racers: 1:25:20 (HUG, Marcel (SUI) 2022)

Women's Wheelchair Racers: 1:39:15 (MCFADDEN, Tatyana (USA) 2017)

# ニューヨークシティマラソン TCS New York City Marathon



## TCSニューヨークシティマラソンについて

TCS ニューヨークシティマラソンは、NYRR (New York Road Runners) を代表するイベントであり、世界最大のマラソン大会です。11月の第一日曜日に開催され、世界のトップエリート選手をはじめ、幅広いランナー（記録を追求するランナーからランニングを楽しむランナー、そしてチャリティランナーまで）が参加します。1970年にわずか127人がセントラルパークを4周走って始まったニューヨークシティマラソンは、1976年にニューヨーク市全体に拡張。毎年多くのランナーが、スタテンアイランドのヴェラザノ・ナローズ・ブリッジの袂からスタートし、ブルックリン、クイーンズ、ブロンクスと全ての区を通過しセントラルパークでフィニッシュします。

IT サービス、コンサルティング、ビジネスソリューションのグローバル企業であるタタコンサルタンシーサービズ (TCS) は、NYRR のプレミアパートナーであり、TCS ニューヨークシティマラソンのタイトルスポンサーです。

更なる詳細はこちら：[www.tcsnycmarathon.com](http://www.tcsnycmarathon.com)

## ABOUT THE TCS NEW YORK CITY MARATHON

The TCS New York City Marathon is the premier event of New York Road Runners (NYRR) and historically has been the largest marathon in the world. Held annually on the first Sunday in November, the race features the world's top professional athletes and a vast range of competitive, recreational, and charity runners. The race began in 1970 with just 127 entrants running four laps around Central Park, and expanded citywide in 1976. Each year, runners tour New York City's five boroughs, starting on Staten Island at the foot of the Verrazano-Narrows Bridge, and running through the neighborhoods of Brooklyn, Queens, and the Bronx, before ending in Manhattan at the iconic Central Park finish line.

Tata Consultancy Services (TCS), a leading global IT services, consulting, and business solutions organization, is the premier partner of NYRR and the title sponsor of the TCS New York City Marathon.

To learn more, visit [www.tcsnycmarathon.com](http://www.tcsnycmarathon.com).

### 初回開催年 / Inaugural Running

1970

### 最多完走者数 / Largest Field (total finishers)

53,516 – 2019

### 年次別完走者数 / Recent Participation

Year	Finishers	Male	Female	Non-Binary
2013	50,266	36,699	19,567	
2014	50,530	30,108	20,422	
2015	49,595	28,899	20,696	
2016	51,394	29,930	21,464	
2017	50,773	29,682	21,091	
2018	52,811	30,657	22,154	
2019	53,639	30,893	22,746	
2021	25,018	13,633	11,369	16
2022	47,839	26,608	21,186	45

### 賞金総額 (2022)

\$855,000

### Prize Purse (2022)

\$855,000

### 公式チャリティ (2022)

500団体

### Official Charities (2022)

500

### 大会記録 / Course Records

Men's Runners: 2:05:06 (MUTAI, Geoffrey (KEN) 2011)

Women's Runners: 2:22:31 (OKAYO, Margaret (KEN) 2003)

Men's Wheelchair Racers: 1:25:26 (HUG, Marcel (SUI) 2022)

Women's Wheelchair Racers: 1:42:43 (SCARONI, Susannah (USA) 2022)

# ジャパン マラソン チャンピオンシップ シリーズ

OVERVIEW

Japan Marathon Championship Series

## JAPAN MARATHON CHAMPIONSHIP SERIES

- JMCシリーズの総合成績は、「JMC ポイント」の順位によって決定します。
- シリーズⅡ終了時(2023年3月対象大会終了時点)のJMCポイントランキング1位のシリーズチャンピオンは、第106回日本陸上競技選手権大会優勝者となります。
- 同シリーズチャンピオンは、2023年開催の「ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会」マラソン日本代表に内定します。
- シリーズⅡのJMCポイントランキング1位のシリーズチャンピオンには、トロフィーとメダルと賞状を、2位・3位にはメダルと賞状を、4～8位には賞状を授与します。
- 同シリーズチャンピオンには660万円、2位の選手には330万円、3位の選手には165万円、4位120万円、5位90万円、6位60万円、7位45万円、8位30万円、男女合計3000万円の賞金が贈られます。
- シリーズⅡ終了時のポイントランキング上位8名は、マラソングランドチャンピオンシップ (MGC) 出場権を獲得します。

記録ポイント

+

順位ポイント

=

パフォーマンスポイント

パフォーマンスポイント

パフォーマンスポイント

パフォーマンスポイント

条件に基づき採用された3大会のうち、パフォーマンスポイントの高い2大会のポイント合計がJMCポイントとなる。

パフォーマンスポイント

パフォーマンスポイント

=

JMCポイント

シリーズの総合成績(ポイントランキング)は、JMCポイントの順位によって決定

### JMCシリーズⅡ加盟大会・ポイント対象大会

第2期(2022年4月~2023年3月)

第1期(終了:2021年11月~2022年3月)

#### 加盟大会

<男子8大会>

- G1:北海道マラソン2022
- G1:福岡国際マラソン2022
- G1:第53回防府読売マラソン大会
- G1:第71回別府大分毎日マラソン大会
- G1:大阪マラソン2023
- G1:東京マラソン2023
- G3:第61回福岡西日本マラソン大会
- G3:とくしまマラソン2023

<女子7大会>

- G1:北海道マラソン2022
- G1:第42回大阪国際女子マラソン大会
- G1:東京マラソン2023
- G1:名古屋ウィメンズマラソン2023
- G2:大阪マラソン2023
- G3:第53回防府読売マラソン大会
- G3:とくしまマラソン2023

#### ポイント対象大会

<国際/海外レース>

- WAラベルレース(エリートラベル以上)
- オレゴン2022世界陸上競技選手権大会

#### 加盟大会

<男子5大会>

- G1:第75回福岡国際マラソン選手権大会
- G1:第70回別府大分毎日マラソン大会
- G1:第10回大阪マラソン・77回びわ湖毎日マラソン統合大会
- G1:東京マラソン2021
- G2:第52回防府読売マラソン大会

<女子4大会>

- G1:第41回大阪国際女子マラソン大会
- G1:名古屋ウィメンズマラソン2022
- G1:東京マラソン2021
- G2:第10回大阪マラソン・77回びわ湖毎日マラソン統合大会

#### ポイント対象大会

<国際/海外レース>

- WAラベルレース(エリートラベル以上)

※第2期グレード1(G1)の大会は、ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会および杭州2022アジア競技大会のマラソン日本代表選手選考競技会を兼ねる。

JMCシリーズⅡチャンピオン  
(第106回日本陸上競技選手権大会優勝者)

JMCシリーズⅡポイントランキング1~8位  
賞金総額3000万円(男女各1500万円)

ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会  
マラソン日本代表

マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)



JMCシリーズの成績の決め方、最新ランキングはこちら



MGCへの進出条件の詳細、MGCファイナリストはこちら



# マラソングランドチャンピオンシップ チャレンジ (MGCチャレンジ)

## OVERVIEW

## Marathon Grand Championship Challenge

「マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)」とは、日本陸連が主催するオリンピックマラソン日本代表選考会で、パリオリンピック(2024年開催)の日本代表選手選考会となるMGCは、2023年10月15日(日)に東京で開催され、1位及び2位となった選手が、パリオリンピック日本代表に内定となります。



MGC進出条件の枠組を「MGCチャレンジ」として展開。MGCに進出するためには、MGCチャレンジの「指定大会」で順位と記録の条件を突破するか、「ワイルドカード」で各条件を突破することが必要となります。「指定大会」は、下記のJMCシリーズ第1期、第2期加盟のG1、G2の大会。順位と記録の条件を突破すれば、MGC進出となります。

### JMCシリーズ第1期指定大会

#### <男子> 5大会

- G1: 第75回福岡国際マラソン選手権大会
- G1: 第70回別府大分毎日マラソン
- G1: 第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会
- G1: 東京マラソン2021
- G2: 第52回防府読売マラソン大会

#### <女子> 4大会

- G1: 第41回大阪国際女子マラソン大会
- G1: 東京マラソン2021
- G1: 名古屋ウィメンズマラソン2022
- G2: 第10回大阪マラソン・77回びわ湖毎日マラソン統合大会

### JMCシリーズ第2期指定大会

#### <男子> 6大会

- G1: 北海道マラソン2022
- G1: 福岡国際マラソン2022
- G1: 第53回防府読売マラソン大会
- G1: 第71回別府大分毎日マラソン大会
- G1: 大阪マラソン2023
- G1: 東京マラソン2023

#### <女子> 5大会

- G1: 北海道マラソン2022
- G1: 第42回大阪国際女子マラソン大会
- G1: 東京マラソン2023
- G1: 名古屋ウィメンズマラソン2023
- G2: 大阪マラソン2023

## [MGC進出条件]

条件		性別	2023年大会	2019年大会
指定大会	着順+記録① ※上位対象	男子	G1: 1~3位+2時間10分00秒以内 <sup>※1</sup> G2: 1位+2時間10分00秒以内 <sup>※1</sup>	上位(3位以内)+2時間11分00秒
		女子	G1: 1~3位+2時間28分00秒 <sup>※1</sup> G2: 1位+2時間28分00秒 <sup>※1</sup>	
	着順+記録② ※下位対象	男子	G1: 4~6位以内+2時間09分00秒以内 <sup>※1</sup> G2: 2~6位以内+2時間09分00秒以内 <sup>※1</sup>	下位(6位以内)+2時間10分00秒
		女子	G1: 4~6位以内+2時間27分00秒 <sup>※1</sup> G2: 2~6位以内+2時間27分00秒 <sup>※1</sup>	
国際大会	共通	2022オレゴン世界選手権8位以内	2017世界選手権8位以内 2018アジア大会3位以内	
ワイルドカード	記録(1本)	男子	JMC加盟大会(G1~3)及び対象国際大会内 <sup>※2</sup> で 2時間08分00秒以内	WA公認大会で2時間08分30秒以内
		女子	JMC加盟大会(G1~3)及び対象国際大会内 <sup>※2</sup> で 2時間24分00秒以内	WA公認大会で2時間24分00秒以内
	記録平均(2本)	男子	JMC加盟大会(G1~3)及び対象国際大会内 <sup>※2</sup> で 2時間10分00秒以内	WA公認大会内で平均2時間11分00秒以内
		女子	JMC加盟大会(G1~3)及び対象国際大会内 <sup>※2</sup> で 2時間28分00秒以内	WA公認大会内で平均2時間28分00秒以内
JMCランキング	男子	シリーズI(第0期・第1期)ランキング上位8名 シリーズII(第1期・第2期)ランキング上位8名 <sup>※3</sup>	—	
	女子	シリーズI(第0期・第1期)ランキング上位8名 シリーズII(第1期・第2期)ランキング上位8名 <sup>※3</sup>	—	

※1: 「指定大会」の順位は、国内選手の順位。

※2: 対象国際大会: ワールドアスレティクス(世界陸連、WA)ラベル大会のエリートラベル以上の大会。

※3: シリーズI、シリーズIIで重複が生じた場合も繰り上げは行わない。

※4: 指定大会のグレードごとに定められた着順に、MGCファイナリストが入った場合も繰り上げは行わない。

※5: 今後の追加大会に関しては、大会内順位+記録について、開催場所、時期、過去の実績をもとに設定を強化委員会およびロードランニングコミッション(JRRC)で検討する。

※6: 北海道マラソン2022におけるMGC進出条件  
1~3位+記録条件(男子: 2時間14分00秒/女子: 2時間32分00秒)  
4~6位+記録条件(男子: 2時間12分00秒/女子: 2時間30分00秒)

MGCレース後には、「マラソングランドチャンピオンシップファイナルチャレンジ(MGCファイナルチャレンジ)」が開催され、MGCファイナルチャレンジ設定記録を突破した記録最上位の選手1名が、パリオリンピック日本代表に内定します。該当する選手がない場合は、MGC3位の選手が、パリオリンピック日本代表に内定します。



# World Athletics (ワールドアスレティックス)

OVERVIEW

World Athletics Platinum Label

## ロゴマーク / Logo Mark

国際陸上競技連盟(International Association of Athletics Federations)の名称が、2019年11月より「World Athletics (ワールドアスレティックス)」に変更となりました。日本語略称は世界陸連となり、ロゴも新たに生まれ変わりました。

The International Association of Athletics Federations (IAAF) changed the name to World Athletics in November 2019.



ワールドアスレティックスロゴ



プラチナラベル

東京マラソンは、世界陸連が世界の主要ロードレースを格付けするラベリング制度にて、2023プラチナラベルを取得しました。

※2010年からWAロードラベル大会として運営。

The Tokyo Marathon has received 2023 Platinum Label in accordance to the Label Road Race Regulations of the World Athletics.

※Since 2010, Tokyo Marathon has been approved as World Athletics Road Label Race.

## WAロードラベル要件

ラベル	「エリート」、「ゴールド」、「プラチナ」ラベルは世界クラスのエリート部門の競技が含まれることを示す。
	2020年にプラチナラベル認証を受けているあるいは2021年およびまたは2022年(プラチナラベルレースの開催有無は問わない)にエリートプラチナラベル認証を受けている大会。
参加者	各ジェンダー3名以上のプラチナステータスの選手(国籍は問わない)に加え、各ジェンダー4名以上のゴールドステータス以上の選手が2023年大会に出場。

## World Athletics Road Label Regulations

Label	'Elite', 'Gold' and 'Platinum' Labels indicate the existence of a world-class elite competition.
	Race Organisers granted a Platinum Label in 2020 or an Elite Platinum Label in 2021 and/or 2022 (irrespective of whether the Platinum Label edition took place or not).
Elite Athletes	To have at the start of their 2023 Race edition at least 3 athletes per gender (irrespective of their Country or Territory representation) with Platinum Status + at least 4 athletes per gender with Gold Status (or higher).



# YOUR PERSONAL BEST



Athletics is about the fundamentals of what makes human beings amazing. Running faster, jumping higher, throwing further. This isn't a ball game. This isn't about scoring points. Goals aren't scored, they're achieved.

It's about pushing yourself to be the best you can be. No matter who you are, where you're from, reach for the next level and aim for Your Personal Best.

For all the latest news and information; follow us



@worldathletics  
worldathletics.org





# マラソン選手紹介 ATHLETES

エリートレース展望

Elite Race Preview

034

国内招待選手 男子

Japanese Invited Athletes MEN

046

RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023

057

エリート選手リスト

Elite Athletes List

036

海外招待選手 女子

International Invited Athletes WOMEN

050

エリート募集要項

Elite Race Information

039

国内招待選手 女子

Japanese Invited Athletes WOMEN

054

海外招待選手 男子

International Invited Athletes MEN

041

ペースメーカー

Pacemakers

056

# アスリートビブス Athlete Bibs

**スタートブロック  
START CORRAL**

**手荷物を預ける  
トラック・カゴ台車番号  
Baggage Truck Number**



**アスリートビブの色は  
フィニッシュ後のルート別**  
Different colors of the Athlete Bibs indicate  
respective route after the finish.

**裏面 Back side**



## ■マラソン Marathon

海外招待選手 Invited International

国内招待選手 Invited Japanese

エリート競技者 Elite Athletes



RUN as ONE - Tokyo Marathon 準エリート  
Semi-Elite Athletes

ペースメーカー Pacemakers



一般 General Participants



ONE TOKYOゲスト TEAM ONE TOKYO

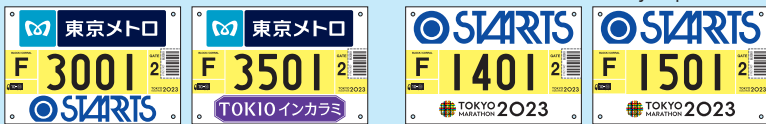
Six Star Hopefuls



## ■10.7 km

ジュニア&ユース Junior & Youth

視覚障がい者 Visually Impaired



知的障がい者 Intellectually Challenged

移植者 Organ Transplant Recipients



ガイドランナー Guide Runners



ペースセッター Pace-Setters



背面

背面



# 東京マラソン2023 マラソンエリートレース展望

》ATHLETES《

Preview of Elite Race

東京マラソンレースディレクター

Tokyo Marathon Race Director

早野忠昭

HAYANO, Tadaaki



As of January 26, 2023

このたびは大会開催にあたりまして、ご尽力をいただいた方々に厚く御礼申し上げます。

東京マラソンはフィニッシュ地点を変更した2017大会から新たに高速コースとなり、マラソン男女において当時の国内最高記録を更新。また2018大会では設楽悠太(Honda)が16年ぶりに男子日本記録を塗り替え、更にその記録を2020大会で大迫傑(Nike)が更新するなど、マラソン界に新しい風が吹きました。

昨年の2021大会で、男子は世界記録を持つエリウド・キプチョゲ(ケニア)が2時間2分40秒の国内最高記録を塗り替える大会記録で優勝。さらに女子でも、世界記録保持者のブリジット・コスゲイ(ケニア)が世界歴代3位となる2時間16分2秒の大会記録で優勝を飾りました。以前から掲げていた「グローバル・スタンダード」に即した、世界トップレベルのレースを展開した歴史的なレースになりました。

東京マラソン2023は選手招聘を含めて、どのようなレースを目指していくべきか、常に模索を続けてきました。来年に開催されるパリ2024オリンピックの代表選考会として開催される、今秋のマラソングランドチャンピオンシップ(MGC)に向けて、日本選手が世界と闘うようなレースにしたいと考えております。

例年、男子は2時間1分台、2分台の選手を海外から招き、世界記録、または国内最高記録を狙うレースを展開してきました。今大会は日本勢の記録を意識し、2時間4分30秒のフィニッシュを目指すペース設定にします。これまでは2~3段階のペースメーカーを用意しておりましたが、今大会はワンペースに絞り、1kmを2分57~58秒で引っ張ってもらいます。日本新記録の樹立を狙うとともに、海外勢と勇敢に戦うことで、2時間4分台、5分台のフィニッシュタイムが、少しでも多く出てるような走りを目指しております。

今大会には、2時間4分56秒の日本記録を持つ鈴木健吾(富士通)が参戦します。昨年のレース前は「不調」と聞いていたのですが、日本歴代2位となる2時間5分28秒をマークし、潜在能力の高さと持ち前のマラソンセンスを感じさせました。フィニッシュ後には、涙を流しながら「これではダメだと思っています。先頭に付いていくようなレースをできず、申し訳ありません。」と謝る姿が強く印象に残っています。世界のトップに付いていくレースをしたいと思い、この1年を過ごしてきたのではないのでしょうか。

前日本記録保持者の大迫傑(Nike)も再び東京を走ります。昨年11月のニューヨークシティマラソンで再出発を図りました。東京マラソン2020では2時間5分29秒で当時の日本記録を更新しています。まだ獲得していないMGCの出場権を取りに行くのか、それとも負けたくないという気持ちで前面に出て、日本記録を目指して走るのか。彼が加わることで、間違いなく興味深いレースになるでしょう。

I would like to express my profound gratitude to all of those who have worked so hard to make this event possible.

With the changing of the finish line's location in 2017, the Tokyo Marathon has become a fast marathon, and both male and female runners have posted new record times in Japan. In 2018, Yuta Shitara (Honda) broke the Japanese men's world record for the first time in 16 years, and this record was itself broken by Suguru Osako (Nike) in 2020. The Tokyo Marathon is bringing new vitality to the marathon world.

At last year's 2021 marathon, Eliud Kipchoge (Kenya), a men's world record holder, won the marathon with a 2:02:40 running time, a new record for Japan. Brigid Kosgei (Kenya), a women's world record holder, took first place with her running time of 2:16:02, the third fastest time in the marathon's history. The Tokyo Marathon has evolved into a historic race, one of the top marathons in the world, in line with its longstanding dedication to becoming a global standard.

Tokyo Marathon 2023 has been constantly exploring what direction to take, including which athletes it would invite. I want it to be a race in which Japanese athletes compete with runners from around the world in preparation for the Marathon Grand Championship (MGC) to be held this fall, which will serve as a qualifier for the 2024 Summer Olympics to be held in Paris next year.

In previous years, the Tokyo Marathon has invited overseas male runners with finishing times of 2 hours and 1 or 2 minutes to make the marathon one in which runners compete to set new world and Japanese records. This year, it's focusing on new records by Japanese runners, so it has set a finishing target time of 2:04:30. In past races, there have been two or three stages of pacemaker, but this year's marathon will use a single pace, with a pacemaker leading the runners at a pace of 2 minutes and 57 to 58 seconds per kilometer. I look forward to seeing as many finishing times on the order of 2 hours and 4 or 5 minutes as possible, as runners take on the challenge of setting new Japanese records and valiantly competing with overseas runners.

Kengo Suzuki (Fujitsu), who holds the Japanese record of 2:04:56, will be competing in this year's race. He reported feeling under the weather before last year's race, yet he finished with the second fastest time in Japanese history, at 2:05:28, a testament to his potential and his characteristic marathon sensibilities. After finishing, he wept, saying "I feel terrible at how this turned out. I'm so sorry that I was unable to stay up in front through the whole race." The sight of his tearful apology made a long-lasting impression. I'm sure he's spent this last year planning to keep pace with the world's finest in the upcoming marathon.

The previous Japan record holder, Suguru Osako (Nike) will also be running in Tokyo again. He made a fresh start at the New York City Marathon in November of last year. In Tokyo Marathon 2020, he set a new record for a Japanese runner by finishing in 2:05:29. Will he run to qualify for the MGC for the first time, or will his desire to win drive him to aim for a new Japanese record? His participation in the race is certain to make it a fascinating one.

2時間6分台の自己記録を持つ選手も楽しみです。土方英和(旭化成)はこの2、3カ月でどう仕上げてくるか。昨年10月のシカゴマラソンで6位入賞した、細谷恭平(黒崎播磨)はもう一人の主役と言っていいでしょう。東京でどういうレースを見せてくれるのか。また、ずっと挑戦をし続けている井上大仁(三菱重工)が復活して好記録を出すことも願っています。

海外からは2時間3分36秒の自己ベストを持つシサイ・レマ(エチオピア)、2時間4分台のバーナード・コエチ、サブリアン・コトゥラのケニア勢が参戦します。

序盤から2時間4分30秒ペースで刻んでいき、20kmまでは多くの選手が先頭集団を形成していくでしょう。みんながけん制しながら、負けたくないと思地がぶつかり合います。30kmからは日本人選手がどう競り合うのか。日本記録が出るのか。そして、日本人選手が優勝するのか、レースディレクターとしても興味が尽きません。

東京2020オリンピックまでは、日本実業団陸上競技連合のマラソン特別強化策「project EXCEED(プロジェクト・エクシード)」と代表選考レースのMGCが二つの軸となり、タイムを伸ばしてきました。東京マラソン2020では日本勢19人が2時間10分を切り、この結果は日本男子マラソンの底上げの証しとなったのではないかと自任しております。もう2時間8分台でオリンピックを狙えると思う選手や指導者はいないでしょう。男子の意識は2時間6分台が最低ラインになっています。

女子にも注目してください。MGCの出場権が懸かり、男子と同じようにグローバル・スタンダードのレースをしつつ、世界と闘っていきける日本選手がそろっています。女子もワンペースで1kmを3分16~17秒で刻んでいき、日本記録の2時間19分12秒を上回る2時間18分30秒を狙っていくレースになります。

東京2020オリンピック8位入賞で自己記録2時間20分29秒を持つ一山麻緒(資生堂)には期待しています。もう一人のビッグネーム、松田瑞生(ダイハツ)、最近力を付けてきている細田あい(エディオン)を含め、この3人は先頭グループで行くのではないのでしょうか。

松下菜摘(天満屋)も既にMGCの出場権を獲得しており、果敢に攻めていくでしょう。

海外からは昨年の大会で2時間17分58秒の2位に入ったアシェテ・ベケレ(エチオピア)が参戦。2時間18分台前半の自己ベストを持つローズマリー・ワンジル(ケニア)、ジョンチェリモ・メリー(ルーマニア)が名を連ねており、世界レベルの戦いが繰り広げられるでしょう。

男子は鈴木を中心に日本記録を狙い、序盤からハイペースを刻んで、2010大会以来となる日本選手の優勝者が生まれるかもしれません。女子も一山、松田が日本記録に挑みます。最後まで世界を相手にハイレベルな優勝争いを繰り広げ、日本記録が迫ってくれば、観ている人の胸は高鳴ります。エキサイティングな東京マラソン2023を存分にお楽しみください。

I also look forward to seeing the results of runners with times of 2 hours and 6 minutes. What kinds of finishing touches has Hidekazu Hijikata (Asahi Kasei) put on his running over the past two or three months? Kyohei Hosoya (Krosaki Harima) will be another of the protagonists in the drama that unfolds. In the Chicago Marathon, held last October, he came in 6th place. What will his racing be like in Tokyo? I hope to see Hiroto Inoue (Mitsubishi Heavy Industries), a mainstay of the marathon, come back and record another great running time.

Overseas runners will include Sisay Lemma (Ethiopia), whose personal best is 2:03:36, and runners with 2 hour, 4 minute finishing times such as Bernard Koech and CyBrian Kotut.

They will probably start out with a 2:04:30 pace, forming a large leading pack up to the 20 km mark. They'll keep each other in check while engaging in a battle of the wills, with nobody willing to accept a loss. The question is how the Japanese runners will fare from the 30 km mark onward. Will there be a new Japanese record? Will a Japanese runner win the marathon? As race director, I'm on pins and needles.

Until the 2020 Summer Olympics in Tokyo, improvements to runners' times were led by project EXCEED, a special program by the Japan Industrial Track & Field Association aimed at improving marathon runner performance, and the MGC qualifying race. From Tokyo Marathon 2020, 19 Japanese runners had times under 2 hours and 10 minutes, and I'm proud of the way this marathon has raised the bar for Japanese men's marathon runners. There are no longer any runners or coaches who believe that you can compete in the Olympics with a time of 2 hours and 8 minutes. 2 hours and 6 minutes is now the minimum that male runners aim for.

Keep a close eye on the female runners, too. The Tokyo Marathon is an MGC qualifying race, and, as with the men, it is becoming a global standard, with numerous world-class Japanese athletes. Female runners will also keep a pace of 3 minutes, 16 to 17 seconds per kilometer, aiming to beat the Japanese record of 2:19:12 with a new time of 2:18:30.

I'm looking forward to the running of Mao Ichiyama (Shiseido), who came in 8th place in the 2020 Summer Olympics in Tokyo, and who has a personal best of 2:20:29. Another big name is Mizuki Matsuda (Daihatsu), and Ai Hosoda (EDION) has also recently made tremendous advances. These three will probably be leading the pack.

Natsumi Matsushita (Tenmaya) has already qualified for MGC, and is sure to put up a good fight.

Overseas runners will include Ashete Bekere (Ethiopia), who took 2nd place last year with a finishing time of 2:17:58. Rosemary Wanjiru (Kenya) and Joan Chelimo Melly (Romania), who both have personal bests in the low end of 2 hours and 18 minutes, will also be running, making the marathon a world-class competition.

Suzuki will lead the male runners in going for new Japanese records, keeping up a high pace from the start of the race. There might be a Japanese 1st place winner for the first time since 2010. Among the women, Ichiyama and Matsuda will be shooting for new Japanese records. Spectators' hearts will be pounding with excitement as they watch runners fighting for victory until the very end, competing against high level runners from around the world and taking on the challenge of setting new Japanese records. Let's enjoy every minute of the exciting Tokyo Marathon 2023.

# エリート選手リスト—男子

## ATHLETES

※年齢は大会当日(2023年3月5日)のものとなります。/ Age as of March 5, 2023

No.	氏名	Name	国/登録 陸協名 Nation	国/チーム・クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格 記録 QT	大会名 Event	自己記録 PB
1	シサイ・レマ	LEMMA, Sisay	ETH	エチオピア	32	2:03:36	2019 ベルリン	2:03:36
2	バーナード・コエチ	KOECH, Bernard	KEN	ケニア	35	2:04:09	2021 アムステルダム	2:04:09
3	サイブリアン・コトット	KOTUT, CyBrian	KEN	ケニア	30	2:04:47	2022 ハンブルグ	2:04:47
4	スティーブン・キッサ	KISSA, Stephen	UGA	ウガンダ	34	2:04:48	2022 ハンブルグ	2:04:48
5	デソ・ゲルミサ	GELMISA, Deso	ETH	エチオピア	25	2:04:53	2020 ヴァレンシア	2:04:53
6	タイタス・キプリト	KIPRUTO, Titus	KEN	ケニア	24	2:04:54	2022 アムステルダム	2:04:54
7	モハメド・エサ	ESA, Mohamed	ETH	エチオピア	22	2:05:05	2022 アムステルダム	2:05:05
8	デメタドゥ・アバテ	ABATE, Deme Tadu	ETH	エチオピア	25	2:06:13	2019 アムステルダム	2:06:13
9	モハメドレダ・アラビ	EL AARABY, Mohamed Reda	MAR	モロッコ	33	2:06:55	2022 バリ	2:06:55
10	キャメロン・レビンス	LEVINS, Cameron	CAN	カナダ	33	2:07:09	2022 オレゴン世界選手権	2:07:09
11	鈴木 健吾	SUZUKI, Kengo	千葉	富士通	27	2:04:56	2021 びわ湖	2:04:56
12	大迫 傑	OSAKO, Suguru	東京	Nike	31	2:05:29	2020 東京	2:05:29
13	土方 英和	HIJIKATA, Hidekazu	宮崎	旭化成	25	2:06:26	2021 びわ湖	2:06:26
14	細谷 恭平	HOSOYA, Kyohei	福岡	黒崎播磨	27	2:06:35	2021 びわ湖	2:06:35
15	井上 大仁	INOUE, Hiroto	長崎	三菱重工	30	2:06:47	2021 びわ湖	2:06:47
16	吉田 祐也	YOSHIDA, Yuya	東京	GMOインターネットGrp	25	2:07:05	2020 福岡国際	2:07:05
17	其田 健也	SONOTA, Kenya	東京	JR東日本	29	2:07:14	2022 ベルリン	2:07:14
18	小山 直城	KOYAMA, Naoki	埼玉	Honda	26	2:08:59	2022 東京2021	2:08:59
101	ダウイト・ウォルデ	WOLDE, Dawit	ETH	エチオピア	31	2:04:27	2021 ロッテルダム	2:04:27
102	ツェガエ・ゲタウェウケベデ	GETACHEW KEBEDE, Tsegaye	ETH	エチオピア	26	2:04:49	2022 アムステルダム	2:04:49
103	マイク・キプタム	KIPTUMU, Mike	KEN	ケニア	30	2:06:08	2022 バルセロナ	2:06:08
104	プリミン・ミソイ	MISOI, Brimin	KEN	ケニア	33	2:06:11	2022 フランクフルト	2:06:11
105	高久 龍	TAKAKU, Ryu	東京	ヤクルト	30	2:06:45	2020 東京	2:06:45
106	ヴィンセント・ライモイ	RAIMOI, Vincent	KEN/静岡	スズキ	26	2:07:01	2022 福岡国際	2:07:01
107	菊地 賢人	KIKUCHI, Masato	東京	メイクス	32	2:07:20	2021 びわ湖	2:07:20
108	星 岳	HOSHI, Gaku	東京	コニカミノルタ	24	2:07:31	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:07:31
109	湯澤 舜	YUZAWA, Shun	京都	SGH	26	2:07:31	2022 東京2021	2:07:31
110	村本 一樹	MURAMOTO, Kazuki	兵庫	住友電工	30	2:07:36	2021 びわ湖	2:07:36
111	山下 一貴	YAMASHITA, Ichitaka	長崎	三菱重工	25	2:07:42	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:07:42
112	設楽 悠太	SHITARA, Yuta	埼玉	Honda	31	2:07:45	2020 東京	2:07:45
113	足羽 純実	ASHIWA, Atsumi	埼玉	Honda	28	2:07:54	2021 びわ湖	2:07:54
114	内田 健太	UCHIDA, Kenta	埼玉	埼玉医科大学G	27	2:08:12	2021 びわ湖	2:08:12
115	藤曲 寛人	FUJIMAGARI, Hiroto	福岡	トヨタ自動車九州	25	2:08:20	2022 別府大分	2:08:20
116	堀尾 謙介	HORIO, Kensuke	福岡	九電工	26	2:08:25	2022 東京2021	2:08:25
117	細森 大輔	HOSOMORI, Daisuke	富山	YKK	28	2:08:28	2021 びわ湖	2:08:28
118	古賀 淳紫	KOGA, Kiyoshi	福岡	安川電機	26	2:08:30	2022 別府大分	2:08:30
119	河合 代二	KAWAI, Daiji	愛知	トーエネック	31	2:08:31	2022 東京2021	2:08:31
120	山本 憲二	YAMAMOTO, Kenji	広島	マツダ	33	2:08:38	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:08:38
121	相葉 直紀	AIBA, Naoki	広島	中電工	32	2:08:44	2022 別府大分	2:08:44
122	藤川 拓也	FUJIKAWA, Takuya	広島	中国電力	30	2:08:45	2020 東京	2:08:45
123	久保 和馬	KUBO, Kazuma	福岡	西鉄	26	2:08:48	2022 東京2021	2:08:48
124	富安 央	TOMIYASU, Akira	愛知	愛三工業	26	2:08:55	2022 東京2021	2:08:55
125	松村 優樹	MATSUMURA, Yuki	埼玉	Honda	30	2:09:01	2021 びわ湖	2:09:01
126	宮脇 千博	MIYAWAKI, Chihiro	愛知	トヨタ自動車	31	2:09:04	2020 東京	2:08:45
127	二岡 康平	FUTAOKA, Kouhei	広島	中電工	29	2:09:14	2021 福岡国際	2:09:14
128	細谷 翔馬	HOSOYA, Shoma	山形	天童市役所	23	2:09:18	2022 東京2021	2:09:18
129	湊谷 春紀	MINATOYA, Haruki	大阪	NTT西日本	26	2:09:19	2020 別府大分	2:09:19
130	國行 麗生	KUNIYUKI, Reo	徳島	大塚製薬	27	2:09:21	2022 防府	2:09:21
131	セルオド・バトオチル	BATOCHIR, Serod	MNG/三重	三重陸協	41	2:09:26	2021 びわ湖	2:08:50
132	田口 雅也	TAGUCHI, Masaya	埼玉	Honda	30	2:09:27	2022 東京2021	2:09:27
133	片西 景	KATANISHI, Kei	東京	JR東日本	25	2:09:27	2021 びわ湖	2:09:27
134	オマーレドミニク・ニヤイロ	OMARE DOMINIC, Nyairo	KEN/大阪	NTT西日本	25	2:09:34	2021 防府	2:09:34
135	高田 康輝	TAKADA, Koki	兵庫	住友電工	29	2:09:45	2022 福岡国際	2:09:45
136	松尾 淳之介	MATSUO, Junnosuke	大阪	NTT西日本	25	2:09:48	2022 東京2021	2:09:48
137	平田 幸四郎	HIRATA, Koshiro	京都	SGH	25	2:09:57	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:09:57
138	野中 優志	NONAKA, Masashi	大阪	大阪陸協	27	2:09:57	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:09:57
139	金森 寛人	KANAMORI, Hiroto	茨城	小森コーポレーション	29	2:10:16	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:10:16
140	ベンジャミン・ロバートプライスター	ROBERT PREISNER, Benjamin	CAN	カナダ	26	2:10:17	2020 The Marathon Project	2:10:17
141	福田 稜	FUKUDA, Jo	福岡	エヌエランニングチーム	32	2:10:32	2020 別府大分	2:09:52
142	小森 稜太	KOMORI, Ryota	三重	NTN	25	2:10:33	2021 びわ湖	2:10:33
143	西澤 佳洋	NISHIZAWA, Yoshihiro	茨城	小森コーポレーション	30	2:10:37	2020 防府	2:10:37
144	斉藤 翔太	SAITO, Shota	岡山	JFEスチール	30	2:10:50	2020 別府大分	2:10:50
145	田中 飛鳥	TANAKA, Asuka	福岡	ランライフ	33	2:11:07	2020 福岡国際	2:10:13

※年齢は大会当日(2023年3月5日)のものとなります。/ Age as of March 5, 2023

No.	氏名	Name	国/登録協名 Nation	国/チーム・クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格 記録 QT	大会名 Event	自己記録 PB
146	原 由幸	HARA, Yosiyuki	静岡	滝ヶ原自衛隊	27	2:11:21	2020 防府	2:11:21
147	中村 匠吾	NAKAMURA, Shogo	千葉	富士通	30	2:11:28	2019 マリナグラッドチャンピオンシップ	2:08:16
148	東 瑞基	HIGASHI, Mizuki	愛知	愛三工業	28	2:11:32	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:11:32
149	竹下 和輝	TAKESHITA, Kazuki	埼玉	自衛隊体育学校	27	2:11:36	2020 東京	2:11:36
150	金子 晃裕	KANEKO, Akihiro	東京	コモディイダ	28	2:11:39	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:11:39
151	松尾 良一	MATSUO, Ryoichi	宮崎	旭化成	31	2:11:49	2022 東京2021	2:11:49
152	濱崎 達規	HAMASAKI, Tatsunori	沖縄	なんじいAC	34	2:12:02	2021 びわ湖	2:12:02
153	熊橋 弘将	KUMAHASHI, Hiromasa	兵庫	山陽特殊製鋼	28	2:12:10	2020 東京	2:12:10
154	吉元 真司	YOSHIMOTO, Shinji	福岡	黒崎播磨	32	2:12:10	2021 びわ湖	2:12:10
155	設楽 啓太	SHITARA, Keita	千葉	日立物流	31	2:12:13	2020 東京	2:12:13
156	堀合 大輔	HORAI, Daisuke	東京	ヤクルト	30	2:12:22	2021 びわ湖	2:12:22
157	宮川 慎太郎	MIYAKAWA, Shinntaro	東京	警視庁	28	2:12:38	2022 東京2021	2:12:38
158	口町 亮	KUCHIMACHI, Ryo	群馬	SUBARU	28	2:12:54	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:12:54
159	大橋 秀星	OHASHI, Shusei	東京	小平市陸協	32	2:12:58	2020 東京	2:12:58
160	須河 宏紀	SUGAWA, Hiroki	東京	東京陸協	31	2:13:01	2019 防府	2:11:46
161	仲村 尚毅	NAKAMURA, Naoki	宮崎	旭化成	27	2:13:03	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:13:03
162	河村 悠	KAWAMURA, Haruka	埼玉	自衛隊体育学校	23	2:13:11	2021 びわ湖	2:13:11
163	風見 尚	KAZAMI, Nao	愛知	愛三工業	39	2:13:13	2020 東京	2:13:13
164	森 貴樹	MORI, Takaki	千葉	モントブラン	41	2:13:16	2021 びわ湖	2:13:16
165	高橋 雅人	TAKAHASHI, Masato	東京	TRACK東京	29	2:13:17	2021 びわ湖	2:13:17
166	延藤 潤	NOBUTO, Jyun	広島	マツダ	31	2:13:17	2022 大阪・びわ湖統合大会	2:13:17
167	朝賀 勇也	ASAGA, Yuya	新潟	高田自衛隊	35	2:13:20	2021 びわ湖	2:13:20
168	八巻 雄飛	YAMAKI, Yuto	京都	SGH	27	2:13:25	2021 福岡国際	2:13:25
169	ベナード・キマニ	BENARD, Kimani	KEN/東京	コモディイダ	29	2:13:27	2022 神戸	2:11:31
170	日下 佳祐	KUSAKA, Keiske	東京	東京陸協	31	2:13:44	2021 びわ湖	2:12:42
171	藤井 祐希	FUJII, Yuki	山口	トクヤマ	30	2:13:56	2020 防府	2:13:56
172	イエゴ・エバンス	YEGO, Evans	KEN/東京	サンベルクス	27	2:14:11	2022 防府	2:14:11
173	加藤 平	KATO, Taira	埼玉	新電元	29	2:14:16	2021 福岡国際	2:14:16
174	森橋 完介	MORIHASHI, Kansuke	東京	PTC	29	2:14:17	2019 北海道	2:14:17
175	五十嵐 真悟	IGARASHI, Shingo	埼玉	JAWS	37	2:14:19	2019 つくば	2:13:15
176	岡山 春紀	OKAYAMA, Haruki	東京	コモディイダ	28	2:14:31	2021 びわ湖	2:14:31
177	四辻 剛	YOTSUJI, Tsuyoshi	愛知	トヨタSC	26	2:14:31	2021 福岡国際	2:14:31
178	牛山 純一	USHIYAMA, Junichi	長野	CITY RUNNER	39	2:14:42	2022 長野	2:14:42
179	杉本 隼	SUGIMOTO, Shun	滋賀	滋賀陸協	28	2:15:17	2020 福岡国際	2:15:17
180	甲斐 大貴	KAI, Hiroki	東京	JOHHOKUCABALLO	28	2:15:17	2022 別府大分	2:15:17
181	河野 孝志	KONO, Takashi	熊本	豊田RC	39	2:15:19	2021 びわ湖	2:15:19
182	桃澤 大祐	MOMOZAWA, Daisuke	東京	サンベルクス	30	2:15:23	2019 ゴールドコースト	2:15:23
183	山下 侑哉	YAMASHITA, Yuya	東京	サンベルクス	31	2:15:26	2022 長野	2:15:26
184	渡邊 清紘	WATANABE, Kiyohiro	山形	NDソフト	36	2:15:40	2020 びわ湖	2:15:40
185	中村 風馬	NAKAMURA, Fuma	千葉	富士通	23	2:15:43	2022 ヘルリン	2:15:43
186	川内 鮮輝	KAWAUCHI, Yoshiki	埼玉	Jaybird	32	2:15:50	2021 びわ湖	2:15:50
187	フリリップ・フェルクライセ	VERCRUYSE, Filip	BEL	ヘルギー	39	2:16:05	2022 ヘルリン	2:16:05
188	齋藤 拓也	SAITO, Takuya	東京	日税ビジネス	35	2:16:10	2020 東京	2:16:10
189	開上 知弘	KAJUO, Tomohiro	石川	金沢市役所	34	2:16:13	2022 東京2021	2:16:13
190	曾宮 道	SOMIYA, Toru	静岡	見次クラブ	43	2:16:15	2021 福岡国際	2:16:15
191	瀬口 啓太	SEGUCHI, Keita	兵庫	兵庫ハンモック	34	2:16:25	2021 びわ湖	2:16:25
192	門出 康孝	MONDE, Yasutaka	東京	TEAM ITO	31	2:16:29	2020 福岡国際	2:16:29
193	山口 純平	YAMAGUCHI, Jumpei	東京	ELDOROSO	26	2:16:31	2022 東京2021	2:16:31
194	小泉 雄輝	KOIZUMI, Yoshiaki	千葉	CUCサポート	29	2:16:31	2019 東京	2:13:50
195	秋山 太陽	AKIYAMA, Taiyo	東京	森ビル	32	2:16:32	2021 福岡国際	2:16:32
196	渋川 裕二	SHIBUKAWA, Yuzi	群馬	前橋陸協	30	2:16:40	2022 東京2021	2:16:40
197	中山 顕	NAKAYAMA, Ken	埼玉	Honda	26	1:00:38	2022 全日本実業団ハーフ	1:00:38
198	山野 力	YAMANO, Chikara	山口	駒澤大	22	1:00:40	2022 全日本実業団ハーフ	1:00:40
199	中山 雄太	NAKAYAMA, Yuta	埼玉	日本薬科大	21	1:02:20	2022 サフォーグラッド半ハーフ ※主催者推薦	1:02:20
200	嶋津 雄大	SHIMAZU, Yudai	東京	創価大	22	1:03:18	2022 仙台国際ハーフ ※主催者推薦	1:03:18
201	佐藤 颯	SATO, Hayate	北海道	亜細亜大	22	1:03:23	2022 上尾シティハーフ ※主催者推薦	1:03:23
202	岡本 雄大	OKAMOTO, Yudai	東京	サンベルクス	31	27:50.64	2022 八王子ロングディスタンス	27:50.64
203	ポール・オニエゴ	ONYIEGO, Paul	KEN/山梨	富士山の銘水	23	27:51.59	2021 日本体育大学長距離競走協会	27:51.59
204	大池 達也	OIKE, Tatsuya	愛知	トヨタ紡織	32	27:53.45	2021 八王子ロングディスタンス	27:53.45



# エリート選手リスト—女子

》ATHLETES《

Elite Athletes List WOMEN

※年齢は大会当日(2023年3月5日)のものとなります。/ Age as of March 5, 2023

No.	氏名	Name	国/登録 陸協名 Nation	国/チーム・クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格 記録 QT	大会名 Event	自己記録 PB
51	アシェテ・ベケレ	BEKERE, Ashete	ETH	エチオピア	34	2:17:58	2022 東京2021	2:17:58
52	ローズマリー・ワンジル	WANJIRU, Rosemary	KEN	ケニア	28	2:18:00	2022 ベルリン	2:18:00
53	ティギスト・アバエチェウ	ABAYECHEW, Tigist	ETH	エチオピア	29	2:18:03	2022 ベルリン	2:18:03
54	ジョーンチェリモ・メリー	MELLY, Joan Chelimo	ROU	ルーマニア	32	2:18:04	2022 ソウル国際	2:18:04
55	ウォルクネシュ・エデサ	EDESA, Worknesh	ETH	エチオピア	30	2:18:51	2022 ベルリン	2:18:51
56	ツェハイ・ゲメチュ	GEMECHU, Tsehay	ETH	エチオピア	24	2:18:59	2022 アムステルダム	2:18:59
57	リンゼイ・フラナガン	FLANAGAN, Lindsay	USA	アメリカ	32	2:24:35	2022 ゴールドコースト	2:24:35
61	一山 麻緒	ICHIYAMA, Mao	東京	資生堂	25	2:20:29	2020 名古屋ウィメンズ	2:20:29
62	松田 瑞生	MATSUDA, Mizuki	大阪	ダイハツ	27	2:20:52	2022 大阪国際女子	2:20:52
63	細田 あい	HOSODA, Ai	大阪	エディオン	27	2:21:42	2022 ロンドン	2:21:42
64	松下 菜摘	MATSUSHITA, Natsumi	岡山	天満屋	28	2:23:05	2022 大阪国際女子	2:23:05
301	ベツツイ・サイナ	SAINA, Betsy	USA	アメリカ	34	2:22:43	2019 トロント	2:22:43
302	アントニナ・クワンバイ	KWAMBAI, Antonina	KEN	ケニア	30	2:23:20	2022 トロント	2:23:20
303	リサ・ウェイトマン	WEIGHTMAN, Lisa	AUS	オーストラリア	44	2:24:00	2022 ベルリン	2:24:00
304	阿部 有香里	ABE, Yukari	鹿児島	京セラ	33	2:24:02	2022 大阪国際女子	2:24:02
305	太田 琴菜	OTA, Kotona	東京	JP日本郵政G	27	2:25:56	2022 名古屋ウィメンズ	2:25:56
306	ナターシャ・コクラム	COCKRAM, Natasha	GBR	イギリス	30	2:26:14	2022 ヴァレンシア	2:26:14
307	田中 華絵	TANAKA, Hanae	東京	第一生命グループ	33	2:26:49	2021 名古屋ウィメンズ	2:26:19
308	森田 香織	MORITA, Kaori	神奈川	パナソニック	27	2:27:38	2022 東京2021	2:27:38
309	岡田 唯	OKADA, Yui	徳島	大塚製薬	28	2:30:03	2022 東京2021	2:30:03
310	ベティ・ドイツ	DEUTSCH, Beatie	ISR	イスラエル	33	2:31:36	2022 セビリア	2:31:36
311	堀江 美里	HORIE, Misato	兵庫	シスメックス	35	2:32:01	2019 名古屋ウィメンズ	2:25:44
312	クリスタ・ドゥシェーン	DUCHENE, Krista	CAN	カナダ	45	2:32:27	2019 ベルリン	2:28:32
313	水口 瞳	MIZUGUCHI, Hitomi	東京	ユニクロ	26	2:32:33	2020 大阪国際女子	2:32:33
314	池本 愛	IKEMOTO, Ai	東京	東京陸協	28	2:34:17	2022 防府	2:34:17
315	森川 千明	MORIKAWA, Chiaki	東京	SBIRC	35	2:35:06	2022 東京2021	2:53:06
316	藤澤 舞	FUJISAWA, Mai	北海道	札幌エクセルAC	48	2:35:52	2021 金沢	2:35:52
317	大井 千鶴	Oi, Chizuru	奈良	NARA-Xアスリート	29	2:39:32	2022 名古屋ウィメンズ	2:39:32
318	仲田 光穂	NAKATA, Miho	千葉	千葉陸協	33	2:39:51	2022 東京2021	2:39:51
319	水清田 有紀	MIZUSEDA, Yuki	千葉	千葉陸協	33	2:40:29	2020 東京	2:40:29
320	綾部 しのぶ	AYABE, Shinobu	東京	東京WINGS	43	2:40:31	2019 東京	2:40:31
321	中村 瑠花	NAKAMURA, Ruka	山梨	SNOW	29	2:41:21	2019 名古屋ウィメンズ	2:38:32
322	鈴木 絵里	SUZUKI, Eri	秋田	秋田陸協	38	2:42:35	2020 東京	2:42:35
323	合田 なぎさ	GODA, Nagisa	東京	東京陸協	36	2:42:57	2022 いわて盛岡シティ	2:42:57
324	廣瀬 光子	HIROSE, Mitsuko	東京	東京WINGS	48	2:43:19	2019 東京	2:30:27
325	大淵 芽亜里	OBUCHI, Meari	宮城	ユナイテッドアスリート	45	2:44:20	2022 つくば	2:44:20
326	森野 麻美	MORINO, Asami	東京	リスタート	33	2:44:35	2022 長野	2:44:35
327	近藤 瞳	KONDOU, Hitomi	東京	東京陸協	33	2:44:38	2022 大阪国際女子	2:44:38
328	松本 恭子	MATSUMOTO, Kyoko	千葉	千葉陸協	52	2:44:46	2019 東京	2:43:21
329	土屋 直子	TUTIYA, Naoko	静岡	静岡陸協	47	2:45:38	2021 富山	2:35:12
330	黒澤 夏楠	KUROSAWA, Kana	茨城	笠松走友会	31	2:45:46	2022 水戸黄門漫遊	2:43:03
331	高野 温菜	TAKANO, Haruna	東京	PTC	27	2:46:02	2022 大阪国際女子	2:46:02
332	瀧波 美緒	TAKINAMI, Mio	東京	DreamAC	26	2:46:29	2022 つくば	2:46:29
333	馬淵 裕子	MABUCHI, Yuko	岐阜	大垣体連	40	2:46:29	2020 東京	2:46:29

# 東京マラソン2023エリート募集要項

》ATHLETES《

Elite Race Information

※大会名称などその他の情報▶P6-7

1.大会名称	東京マラソン 2023 (英文名: Tokyo Marathon 2023) 兼ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 兼ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会日本代表選手選考競技会 兼杭州2022アジア競技大会日本代表選手選考競技会 兼マラソングランドチャンピオンシップチャレンジ 兼アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズ XV
2.主催	一般財団法人東京マラソン財団
3.共催	公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、フジテレビジョン、産経新聞社、読売新聞社、日本テレビ放送網、東京新聞
4.後援	スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本パラスポーツ協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、ニッポン放送、報知新聞社、ラジオ日本、東京中日スポーツ
5.主管	公益財団法人東京陸上競技協会
6.運営協力	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会
7.特別協賛	東京地下鉄株式会社
8.日程	2023年3月5日(日) 9:10 スタート
9.コース	東京マラソンコース (日本陸上競技連盟・ワールドアスレティックス/AIMS 公認コース) 東京都庁～水道橋～上野広小路～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～田町～日比谷～東京駅前・行幸通り
10.参加資格	(1) 次の①・②・③の条件を満たす競技者 ① 2022年度日本陸上競技連盟登録競技者 ② 2023年3月5日現在満19歳以上の者 ③ 国内外の公認競技会で2019年3月1日以降申込期日までに下記の公認記録を出した者 男子マラソン2時間21分以内、ハーフマラソン1時間01分00秒以内、10000m28分00秒以内 女子マラソン2時間52分以内、ハーフマラソン1時間11分00秒以内、10000m32分00秒以内 (2) 主催者または日本陸上競技連盟が推薦する男女競技者 (3) 主催者または日本陸上競技連盟が招待する海外・国内男女競技者
11.競技規則	2023年ワールドアスレティックス (World Athletics:WA) 並びに日本陸上競技連盟規則及び本大会規定による。なお、本大会は、ワールドアスレティックスが認定するエリートプラチナレベルであり、WA Road Race Label Regulations (WA ロードレースラベリング規定) 及び Advertising Regulations (WA 広告規程) も適用される。また、WAの規則により、ドーピング検査を実施する。
12.定員	男女計100人 ※定員を超えた場合は、準エリートカテゴリーからの出走となる可能性がある。
13.参加費	23,300円 ※参加料、事前検査費用、参加費等返金保険料、事務手数料、消費税込み。 ※新型コロナウイルス感染症対策として実施予定の事前検査について、今後感染症法上の取り扱い変更等により、検査を実施しないこととなった場合には、参加費の一部を返金する。
14.参加申込	(1) 期間 2022年12月9日(金)から2023年1月6日(金)17:00 必着 (2) 方法 日本陸連エントリーシステム ( <a href="https://athleticfamily.jaaf.or.jp/">https://athleticfamily.jaaf.or.jp/</a> ) より直接申込。
15.出場者決定	2023年1月23日(月) 以降、通知する。
16.表彰	「東京マラソン2023」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
17.賞金	1位 11,000,000円、2位 4,000,000円、3位 2,000,000円、4位 1,000,000円、5位 750,000円、6位 500,000円、7位 400,000円、8位 300,000円、9位 200,000円、10位 100,000円 世界記録 30,000,000円 (男女1位のみ) 日本記録 5,000,000円 (男女国内1位のみ) 大会記録 3,000,000円 (男女1位のみ) ※1位賞金については、賞金と副賞を一本化。 ※金額はいずれも税込み。

18. 選手受付	<p>2023年3月4日(土) 午前中 京王プラザホテル(大会当日は、受付を行わない。)</p> <p>※選手受付時間は午前中に行うので注意すること。</p> <p>※エリート選手は、大会前のドーピング検査の対象となる場合があることから、受付は選手本人が行うこと。</p>
19. テクニカルミーティング	<p>2023年3月4日(土) 午後 詳細は、出場決定通知と合わせて別途案内する。</p>
20. スペシャルドリンク受付	<p>※希望者のみ</p> <p>2022年3月5日(日)6:00~7:00 京王プラザホテル</p> <p>※容器は各自で準備のこと(装飾物を含めたサイズ:直径8cm、高さ35cmまで)</p> <p>※スペシャルドリンクテーブルは、一定時間経過後撤去する。</p>
21. 個人情報の取り扱いについて	<p>主催者及び日本陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者及び日本陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。</p>
22. ドーピングコントロール	<p>(1) 本競技会は、ワールドアスレティックスアンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング対象大会である。競技会(時)検査は大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。検査該当者は検査員の指示に従って検査を受けること。</p> <p>(2) 競技会(時)検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。</p> <p>(3) 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。</p> <p>(4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。</p> <p>(5) 競技会(時)・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となる可能性があることに留意すること。</p> <p>(6) TUE申請について 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のウェブサイト(<a href="https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/">https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/</a>)、又は公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構(<a href="http://www.playtruejapan.org/">http://www.playtruejapan.org/</a>)を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の際に検査員へ提出すること。</p> <p>(7) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<a href="http://www.playtruejapan.org">http://www.playtruejapan.org</a>)にて確認すること。</p>
23. その他	<p>(1) 本大会は、ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ男女グレード1の大会として実施する。</p> <p>(2) 参加にあたっては、本大会要項並びに各種規約(「エントリー規約」及び「感染症予防対策等に関する規約」等)を確認のこと(<a href="https://www.marathon.tokyo/participants/guideline/">https://www.marathon.tokyo/participants/guideline/</a>)。</p> <p>(3) 日本政府が示すイベントに関する制限緩和等により、大会要項・各規約等を変更する場合がある。</p> <p>(4) 本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。</p> <p>(5) 大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。</p> <p>(6) 賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。</p>

# 海外招待選手 男子

》ATHLETES《

International Invited Athletes MEN

No.  
01

## シサイ・レマ (エチオピア)

LEMMA, Sisay (ETH)



### プロフィール / PROFILE

DOB : 12 Dec. 1990  
AGE : 32

### ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:03:36	ベルリン (Berlin)	3	2019

大会参加選手中2時間4分未達の記録を持つ唯一の選手。19年ベルリンで3位になったときに2時間03分36秒をマークした。マラソン以外ではハーフマラソンに数回出場しているが、トラックやクロスカンントリー出場はほとんどなく、マラソンに特化して活躍している。13年に2時間9分台で3回走ったが、世界的に注目されたのは15年シーズン。4月のウィーン、10月のフランクフルトと2連勝した。1月のドバイも含め2時間6~7分台で3回走った。翌16年に2時間5分台をマークし、アボット・ワールドマラソンメジャーズの大会にも出場し始めた。18年に2時間4分台、19年に2時間3分台をマークしたが、19年ベルリン、20年東京、同年ロンドンとアボット・ワールドマラソンメジャーズでは3大会連続3位。東京2020は途中棄権と、勝つことができなかった。しかし21年10月のロンドンで、2時間04分01秒の自身セカンド記録で優勝。勝ち方を知ったレマが、2度目の東京で勝ちることができるかどうか注目される。

Sisay Lemma will be the only runner in this marathon with record time Sub-2:04. In the 2019 Berlin Marathon, he took 3rd place with a time of 2:03:36. In addition to marathons, he has also run in several half marathons, but has taken part in almost no track or cross-country events. Marathons are his specialty. In 2013, he finished three marathons with times in Sub-2:09, but the world's eyes really turned to him during the 2015 season. He won the Vienna City Marathon in April and followed that up by winning the Frankfurt Marathon in October. Together with the Dubai Marathon in January, he ran three times, with finish times in 2:06-2:07 range. In 2016, the following year, he hit the 2 hour and 5 minute range and began competing in the Abbott World Marathon Majors. In 2018 he reached the 2:04 range, and then the 2 hour and 3 minute range in 2019. He took 3rd place three consecutive times in Abbott World Marathon Majors: the 2019 Berlin Marathon, the 2020 Tokyo Marathon, and the 2020 London Marathon. He had to drop out during the 2020 Olympic race in Tokyo, dashing his winning chances. However, he won the 2021 London Marathon, held in October, with his second fastest time ever, 2:04:01. Having tasted victory, will he claim his second victory in Tokyo?

No.  
02

## バーナード・コエチ (ケニア)

KOECH, Bernard (KEN)



### プロフィール / PROFILE

DOB : 31 Jan. 1988  
AGE : 35

### ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:04:09	アムステルダム (Amsterdam)	2	2021

21年に2時間04分09秒と、初マラソンの記録を8年ぶりに更新した。コエチの武器はロードのスピードで、12年にハーフマラソンで59分~1時間0分台を連発し、翌13年1月にドバイマラソンで2時間04分53秒をマーク。初マラソンとしては歴代上位のタイムだった。同じ13年には58分41秒とハーフマラソンのシーズン世界最高タイムでも走っている。しかし同じ13年の世界選手権モスクワ大会では途中棄権に終わった。翌14年も2時間6分台をマークし、アボット・ワールドマラソンメジャーズのシカゴでも5位と、世界レベルを維持した。だが15~20年は2時間8分を切ることができず、日本のマラソンにも2度出場したが15年福岡4位、東京マラソンは17大会で途中棄権と好成績を残していない。その悪い流れを断ち切ったのが21年のアムステルダム。8年ぶりの自己新をマークして2位に入った。22年のシカゴでも4位。30歳を過ぎて世界のトップシーンに戻ってきた。

In 2021, Bernard Koeh beat the record he set in his first marathon for the first time in eight years, with a finishing time of 2:04:09. Armed with his exception road speed, in 2012 he ran multiple half marathons with times in 0:59-1:00 ranges. In January of the following year, he ran the Dubai Marathon in 2:04:53. This was one of the fastest marathon debut times. In 2013, the same year, he ran the half marathon in a world record time for the season, just 58:41. However, he had to drop out during the course of the 2013 World Athletics Championships in Moscow. In 2014, the following year, he completed the Chicago Marathon, one of the Abbott World Marathon Majors, in the 2:06, taking 5th place and maintaining his place as one of the world's top runners. However, he was unable to get his time down below 2:08 from 2015 to 2020, and although he ran in two Japanese marathons, he was unable to perform strongly, taking 4th place in the 2015 Fukuoka Marathon and dropping out of the 2017 Tokyo Marathon. This string of poor results came to an end in Amsterdam in 2021. For the first time in eight years, he reached a new personal best, taking 2nd place. At the Chicago Marathon in 2022 he finished in 4th. Having passed the age of 30, Bernard Koeh has now made his comeback to the ranks of the world's top runners.



No. 03 **サイブリアン・コトウト** (ケニア)  
KOTUT, CyBrian (KEN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 6 Jun. 1992  
AGE : 30

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:04:47	ハンブルグ (Hamburg)	1	2022

30歳となった昨シーズン、2時間04分47秒(ハンブルク優勝)の自己新と2時間05分15秒(アムステルダム6位)のセカンド記録を連発。今回満を持してアボット・ワールドマラソンメジャーズに初挑戦する。20歳の12年シーズンからハーフマラソンで活躍し始め、13~15年に3年連続59分台をマークした。15年からはマラソンに進出し、16年は4月のパリで優勝、10月のフランクフルトで3位。両大会とも2時間7分台で、アボット・ワールドマラソンメジャーズへ出場する力を十分につけたと思われた。だが17年は12月のシンガポールだけの出場で2時間26分26秒、18年はマラソンもハーフマラソンも出場せず、19年は4月のクラコフに優勝したが記録は2時間09分18秒と低調だった。20年もマラソン出場がなかったが、21年は11月のフィレンツェに2時間08分59秒で優勝。昨年は上述の2大会で好成績を収め、今回の東京マラソンでついに、アボット・ワールドマラソンメジャーズの舞台上で世界トップレベルと戦う。

This season, CyBrian Kotut turned 30 and set both a new personal record of 2:04:47 (winning the Hamburg Marathon) and his second fastest time of 2:05:15 (taking 6th place in the Amsterdam Marathon). The upcoming Tokyo Marathon will be his long-awaited first try at one of the Abbott World Marathon Majors. He began competing by running in a half marathon during the 2012 season, at the age of 20. He then achieved times in the 0:59 range for three consecutive years, from 2013 to 2015. He began running in full marathons from 2015, winning the Paris Marathon in April of 2016 and then taking 3rd place in the Frankfurt Marathon in October. His finishing time was in the 2:07 range in both marathons, clearly showing that he had the ability to take part in the Abbott World Marathon Majors. However, in 2017 he only competed in the Singapore Marathon in December, with a time of 2:26:26. In 2018 he didn't run in any full or half marathons. In April 2019, he won the Cracovia Marathon, but with a disappointing time of 2:09:18. He didn't run in any marathons in 2020, either, but he won the Florence Marathon in November 2021 with a time of 2:08:59. With the two strong showings of last year's marathons, he'll be running against the world's top runners at this year's Tokyo Marathon, one of the Abbott World Marathon Majors.

No. 04 **スティーブン・キッサ** (ウガンダ)  
KISSA, Stephen (UGA)



プロフィール / PROFILE

DOB : 1 Dec. 1988  
AGE : 34

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:04:48	ハンブルグ (Hamburg)	2	2022

トラック種目でウガンダ代表だったキッサは、21年まではトラックが主戦場だった。17、19年と5000mで世界選手権に出場。しかし両大会とも予選落ちで、10000mで出場した東京2020は途中棄権だった。初マラソン後に出場した22年世界選手権10000mも24位。トラックの世界大会では結果を残せず、ロードに活路を求めた。58分56秒の20年シーズン世界9位記録をはじめ、20~21年にハーフマラソンで安定した走りを見せ始め、22年4月のハンブルクで初マラソン。今大会にも出場するサイブリアン・コトウト(ケニア)に1秒差の2時間04分48秒で2位と好走し、「マラソンが私の未来である」と、所属チームのホームページでコメントするほどマラソンに自信を持った。だが昨年10月のシカゴでは21位と、アボット・ワールドマラソンメジャーズの壁に跳ね返された。その壁に今回の東京マラソンで再挑戦する。

Stephen Kissa formerly represented Uganda in track events, and the track was his home until 2021. In 2017 and 2019, he competed in the 5,000 m in the World Athletics Championships. However, he lost in the prelims for both, and failed to finish the 10,000 m in the 2020 Olympics in Tokyo. After his first marathon, he ran the 10,000 m in the World Athletics Championships in 2022, finishing in 24th place. Unable to produce strong results in world-class track competitions, he turned his eyes back to road events. With a time of 58:56, he took 9th place worldwide in the 2020 season, and he ran steadily in half marathons in 2020 and 2021. In April 2022, he ran his first marathon, the Hamburg Marathon. He performed well, coming in 2nd place with a time of 2:04:48, just one second behind fellow competitor CyBrian Kotut (Kenya). This provided him with a tremendous sense of confidence in his marathon abilities, and he commented on his team's website that "the marathon is my future." However, in the October 2022 Chicago Marathon he finished in 21st place, rebuffed by the challenge posed by the Abbott World Marathon Majors. During this year's Tokyo Marathon, he's going to try to tackle that challenge again.

No. 05 **デソ・ゲルミサ** (エチオピア)  
 GELMISA, Deso (ETH)



**プロフィール / PROFILE**  
 DOB : 14 Dec. 1997  
 AGE : 25

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:04:53	ヴァレンシア (Valencia)	6	2020

過去3シーズンに2時間4分台2回、2時間5分台2回、2時間6分台1回とアベレージの高い選手。マラソンに出場し始めた18年は2本走って2時間12分38秒がベスト。トラックとクロスカントリーでも目立った戦績はなく、将来の大物を予感させる材料はなかった。19年も2時間09分08秒がシーズンベストで、まったく注目されないレベルだった。それが一転したのが20年。1月のドバイで2時間06分29秒(9位)をマークすると、12月のバレンシアでは2時間04分53秒の6位。前述のように20~22年はハイレベルの走り続けた。唯一の失敗が21年10月のシカゴで、2時間24分56秒の29位と大敗した。ゲルミサのマラソン歴で初めてのアボット・ワールドマラソンメジャーズ出場だった。シカゴの後は2時間5分台を2大会続け、直近の22年12月のバレンシアでは自身2度目の2時間4分台をマークした。2回目のアボット・ワールドマラソンメジャーズ挑戦となる東京マラソンでの走りが注目される。

Deso Gelmisa is a runner that maintains a high running average. During the past three seasons, he finished 2:04 range twice, the 2:05 range twice, and the 2:06 range once. He ran two marathons in his first year of marathon competition, 2018, with a best time of 2:12:38. He didn't have a distinguished track or cross-country record, either. He gave little sign of what a formidable force he would eventually become. In 2019, his season best was 2:09:08 -- not enough for anyone to stop and look. That all changed in 2020. In the Dubai Marathon in January he finished in 2:06:29 (9th place), and in the Valencia Marathon in December he took 6th place with a time of 2:04:53. From 2020 to 2022, he kept up consistently strong running. His only failure was the Chicago Marathon of October 2021, where he finished in a disastrous 29th place with a finishing time of 2:24:56. It was Gelmisa's first time competing in one of the Abbott World Marathon Majors. After Chicago, he finished in the 2:05 range twice, and in the most recent Valencia Marathon, held in December 2022, he hit the 2:04 range again for the second time. Eyes are trained on him to see how he'll do at the Tokyo Marathon, his second ever Abbott World Marathon Majors.

No. 06 **タイタス・キプルト** (ケニア)  
 KIPRUTO, Titus (KEN)



**プロフィール / PROFILE**  
 DOB : 25 Jun. 1998  
 AGE : 24

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:04:54	アムステルダム (Amsterdam)	2	2022

17~18歳時にはトラックの世界大会で活躍した。13年世界ユース(現U18世界選手権)は1500mで銅メダル、14年世界ジュニア(現U20世界選手権)は3000m障害で銀メダルを獲得した選手だ。15~17年のブランクを経て、18年に再び3000m障害を走り始めた。その後、21年にはマラソンに進出。ケニア国内とヨーロッパのレースに交互に出場している。21年7月と22年4月にエルドレットのレースに出場。記録の出にくい高地の大会で2時間12分43秒と2時間18分13秒で走った。21年はエルドレットの4カ月後のロッテルダムで2時間05分22秒と世界レベルの記録で走り、22年はミラノに2時間05分05秒で優勝した1週間後にエルドレットを走った。そして6カ月後のアムステルダムで2時間04分54秒の2位。東京マラソンが初めてのヨーロッパ以外の海外マラソンで、初めてのアボット・ワールドマラソンメジャーズになる。どんな走りをするか興味が持たれる選手だ。

Titus Kipruto found success in world track events when he was 17 and 18 years old. In 2013, he won the bronze medal in the 1,500 m at the World Youth Championships (now the World U18 Athletics Championships). In 2014, he claimed the silver in the 3,000 m steeplechase at the World Junior Championships (now the World Athletics U20 Championships). Following a blank from 2015 to 2017, he returned in 2018 to compete in the 3,000 m steeplechase. Unfortunately, he failed to achieve the same level of success as in the past. In 2021, he began competing in marathons. He alternated between marathons in Kenya and in Europe. In July 2021 and April 2022 he competed in the Eldoret City Marathon. This is a high elevation marathon, where new records are hard to reach, but in 2021 he finished in 2:12:43, and in 2022 he finished in 2:18:13. Four months after the 2021 Eldoret City Marathon, he recorded a world-class finishing time of 2:05:22 in Rotterdam. In Milan, in 2022, he claimed 1st prize with a time of 2:05:05, and then a week later he ran in the Eldoret City Marathon. Six months later, at the Amsterdam Marathon, he took 2nd place with a finishing time of 2:04:54. The Tokyo Marathon will be his first overseas marathon outside Europe, and his first Abbott World Marathon Majors. We're excited to see what kind of running he'll put on.

**No. 07** **モハメド・エサ** (エチオピア)  
 ESA, Mohamed (ETH)



**プロフィール / PROFILE**  
 DOB : 11 Sep. 2000  
 AGE : 22

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:05:05	アムステルダム (Amsterdam)	5	2022

22歳と招待選手中最年少のランナー。21年に世界レベルへ鮮烈なデビューを果たした。10月にポーランドのハーフマラソンで、59分32秒でいきなり優勝したのだ。ビッグネームこそ出場していなかったが、まったくの無名選手がその年の世界16番目のタイムで走った。翌月のポルトガルでのハーフマラソンは59分39秒で2位。9人が1時間を切るハイレベルのなかでの2位は評価できたが、世界新で走ったジャコブ・キプリモ (ウガンダ) には2分08秒も引き離された。キプリモは東京五輪とオレゴン世界選手権の10000m連続銅メダリスト。世界トップとの差も突きつけられた。22年は10kmロードやハーフマラソンを自己記録には及ばないタイムで数本走り、10月のアムステルダムでマラソンにデビュー。2時間05分05秒で5位。優勝者が見える距離でフィニッシュし、次戦へのモチベーションが上がる結果を残した。2戦目の東京マラソンで真価が問われる。

Mohamed Esa is the youngest Invited runner, at just 22 years old. He dramatically appeared on the global stage in 2021. In his very first half marathon, a half marathon in Poland, he won 1st prize with a time of 59:32. Although there were no big names in the race, this complete unknown recorded the 16th fastest time in the world that year. The following month, he took 2nd prize in a half marathon in Portugal with a finishing time of 59:39. Coming in 2nd was an achievement in this high level race, where nine runners finished in less than 1:00, but he fell 2 minutes and 8 seconds behind new world record-holder Jacob Kiplimo (Uganda). Kiplimo was a winner of two consecutive bronze medals in the 10,000 m, at the Tokyo Olympics and the World Athletics Championships in Oregon. Esa found himself confronted by the gap between his own time and that of the world's top runner. In 2022, he ran several 10 km road races and half marathons, but was unable to set a new personal record. In October, he made his marathon debut with the Amsterdam Marathon. He finished in 5th place with a time of 2:05:05. He finished within seeing distance of the 1st place runner, providing him with greater motivation for the next race. His true value will be tested in his second marathon, the Tokyo Marathon.

**No. 08** **デメタドゥ・アバテ** (エチオピア)  
 ABATE, Deme Tadu (ETH)



**プロフィール / PROFILE**  
 DOB : 11 Sep. 1997  
 AGE : 25

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:06:13	アムステルダム (Amsterdam)	6	2019

自己記録の2時間06分13秒は世界トップレベルとはいえないが、2時間6分台を4シーズン5試合で出した安定性は大きな武器だ。20歳となる17年シーズンにハーフマラソンで活躍し始め、18年にマラソンデビューした。4月のハンブルクで2時間06分54秒の2位となると、10月のアムステルダムでも2時間06分47秒の7位。翌19年のハンブルクは2時間8分台だが優勝し、アムステルダムが2時間06分13秒の自己新で6位。20年は1月のドバイが2時間8分台の15位、12月のバレンシアが途中棄権と不調が続いた。21年は9月のベルリンで2時間8分台だが4位と、アポット・ワールドマラソンメジャーズで上位に入り、12月のバレンシアで2時間06分45秒の13位。22年は4月に2時間7分台で走り、9月のベルリンは2時間06分45秒で3位に食い込んだ。だが世界記録で走ったエリウド・キプチョゲ(ケニア)には5分以上の大差をつけられた。東京マラソンでは安定度で勝負するのか、それとも殻を破る走りを見せるのか。

Deme Tadu Abate's personal record, 2:06:13, is not a top world-level time, but one of his strengths is his stability -- he has finished in the 2:06 range five times in four seasons. During the 2017 season, when he was 20, he began competing in half marathons, and then he made his full marathon debut in 2018. In the Hamburg Marathon in April he finished in 2:06:54, taking 2nd place, and in the Amsterdam Marathon in October he took 7th place with a time of 2:06:47. In 2019, the following year, he won the Hamburg Marathon with a finishing time in the 2:08 range, and at the Amsterdam Marathon he posted a new personal record, 2:06:13, putting him in 6th place. In 2020, he found himself in a slump, finishing the Dubai Marathon in January in 15th place with a time in the 2:08 range, and in December he failed to finish the Valencia Marathon. In September 2021, he took 4th place in the Berlin Marathon with a finishing time in the 2:08 range, a strong placing in a major marathon. In the December Valencia Marathon he finished in 2:06:45, putting him in 13th place. In April 2022, he had a finishing time in the 2:07 range, and at the Berlin Marathon in September he moved up to 3rd place with a time of 2:06:45. However, the world record-breaking Eliud Kipchoge (Kenya) beat him with an over 5 minute lead. Will he be competing based on his stability in the Tokyo Marathon, or is he going to be breaking out of his shell?

No. 09 **モハメドレダ・アラビ** (モロッコ)  
EL AARABY, Mohamed Reda (MAR)



プロフィール / PROFILE  
DOB : 12 Nov. 1989  
AGE : 33

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:06:55	パリ (Paris)	7	2022

17年以降の世界選手権と五輪すべてに出場するなど、記録よりも勝負優先のレースを走ってきた。しかし17年の世界選手権は30位と振るわず、19年世界選手権も途中棄権。結果をなかなか出せなかったが、東京2020では11位と健闘した。アボット・ワールドマラソンメジャーズでは東京マラソン2018で11位、同年シカゴでも11位など、高速ペースで進むマラソンは苦戦してきた。その一方でアボット・ワールドマラソンメジャーズでも、21年ニューヨークシティ2位、22年同大会は4位。起伏が多く、ペースメーカーも付かないマラソンでは上位に食い込んできた。しかし22年は、アラビのそうした傾向に変化も現れた。7月のオレゴン世界選手権は21位と東京2020より順位を落としたが、4月のパリでは2時間06分55秒(7位)と自己記録を2分11秒も更新した。スピードに大きな進境を示したアラビが、高速ペースが予想される東京マラソン2023をどう走るか、注目したい。

Mohamed Reda El Aaraby has competed in every World Athletics Championships and every Olympic Games since 2017, placing a greater emphasis on competition than on setting new records. However, his World Athletics Championships showing in 2017 was poor, finishing in 30th place, and in the 2019 World Athletics Championships he dropped out midway. Although he wasn't able to show strong results, he finished in 11th place in the 2020 Olympics in Tokyo. He has struggled with marathons with high paces. Among the Abbott World Marathon Majors, he took 11th place in Tokyo Marathon 2018 and 11th place in the Chicago Marathon the same year. However, also within the Abbott World Marathon Majors, in the New York City Marathon he took 2nd place in 2021 and 4th place in 2022. In marathons with large elevation differences and no pacemakers, he has finished among the top. However, this tendency changed for him in 2022. At the World Athletics Championships in Oregon, held in July, he fell to 21st place, a decline following his performance in the 2020 Olympics in Tokyo, but in April, in the Paris Marathon, he finished in 7th place with a time of 2:06:55, beating his own record time by a full 2 minutes and 11 seconds. He has made a marked speed improvement, so eyes are peeled to see how he will perform in Tokyo Marathon 2023, which is expected to be a high-paced race.

No. 10 **キャメロン・レブンス** (カナダ)  
LEVINS, Cameron (CAN)



プロフィール / PROFILE  
DOB : 28 Mar. 1989  
AGE : 33

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:07:09	オレゴン世界選手権 (Oregon)	4	2022

昨年の世界選手権オレゴンで、自己記録を2分16秒も更新して4位に食い込んだ。銅メダルとの差は21秒の大健闘だった。1500mの自己記録は3分36秒88(13年)で、今大会出場選手の中では群を抜いて速い。5000mの13分15秒19は大迫傑(Nike)に及ばないが、10000mの27分07秒51も参加選手中トップ。12年から15年の五輪と世界選手権は5000mと10000mで出場し、入賞こそないが11~14位が4回と安定した戦績を残している。16~17年は不調が続いて代表入りを逃しているが、18年からマラソンに進出。初マラソンで2時間09分25秒とカナダ記録を43年ぶりに更新した。19~21年は2時間10分を切ることができず、東京2020も72位に終わった。だが昨年、前述のように世界選手権で自身の殻を破る走りを見せた。自己記録は2時間7分台だが今大会の先頭集団にも楽につけるスピードを持つ。アフリカ勢以外では唯一の海外招待選手がどんな走りを見せてくれるだろうか。

At last year's World Athletics Championships in Oregon, Cameron Levins pulled into 4th place, beating his own personal best by 2 minutes and 16 seconds. He put up a good fight for the bronze medal, with a gap of just 21 seconds. His personal best for the 1,500 m is 3:36.88 (set in 2013), putting him head and shoulders above other runners in the marathon in terms of speed. While his 13:15.19 does not reach the level of Suguru Osako (Nike), his 10,000 m time of 27:07.51 is one of the top times of participating runners. From 2012 to 2015 he competed in the 5,000 m and the 10,000 m in the Olympics and the World Athletics Championships. While he didn't win, he finished between 11th and 14th place four times, creating a steady track record. He struggled from 2016 to 2017 and failed to qualify, but from 2018 he began competing in marathons. In his first marathon, he set a new record for Canada for the first time in 43 years with a finishing time of 2:09:25. From 2019 to 2021, he was unable to bring his time below 2:10, and in the 2020 Olympics in Tokyo he finished in 72nd place. However, last year, his performance in the World Athletics Championships showed that he had broken out of his shell. His personal record is in the 2:07 range, but he has the speed to easily race in the leading pack at this year's marathon. What kind of running will we see from Cameron Levins, the only international invited athlete from outside of Africa?



# 国内招待選手 男子

ATHLETES

Japanese Invited Athletes MEN

No.  
11

鈴木 健吾 (千葉・富士通)

SUZUKI, Kengo (JPN)



## プロフィール / PROFILE

DOB : 11 Jun. 1995

AGE : 27

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:04:56	びわ湖 (Otsu)	1	2021

日本人唯一の2時間4分台ランナー。2時間05分28秒のセカンド記録日本最高も、前回の東京でマークした。神奈川大時代は3年時に箱根駅伝エース区間の2区で区間賞、4年時には全日本大学駅伝アンカーの8区で逆転優勝のテープを切った。4年時の東京マラソン2018が初マラソン。2時間10分21秒の学生歴代6位タイ(現9位)で走った。翌19年4月のハンブルクで2時間11分36秒をマークし9月のMGC(マラソングランドチャンピオンシップ)。東京五輪代表3枠のうち2人が決定)出場を決めた。MGCは後半トップに立って見せ場は作ったが7位だった。21年2月末のびわ湖はスピード強化の成果で、5km14分50秒のハイペースにも余裕でつくことができた。35kmから40kmまでを14分39秒、最後の2.195kmを6分16秒と驚異的なペースで走破して2時間4分台に到達した。昨年東京マラソン2021でオレゴン世界選手権代表を決めたが本番は新型コロナに感染して欠場。今大会が復帰戦となる。

Japan's only runner to complete the marathon in the 2:04 range. He achieved his second highest record for Japan, 2:05:28, at last year's Tokyo Marathon. While in his third year at Kanagawa University, he won the section award for Section 2 of the Hakone Ekiden race's ace sections. In his fourth year, at the Japan Collegiate Ekiden Championships, he came from behind as the Section 8 anchor and broke through the finishing line tape, leading his team to victory. He ran his first marathon as a fourth year university, in Tokyo Marathon 2018. He tied for the 6th place fastest student runner (now 9th place) with his finishing time of 2:10:21. The following year, in the April 2019 Hamburg Marathon, he finished in 2:11:36, securing a position in the September Marathon Grand Championship (MGC) (two of the three positions in the Tokyo Olympics were decided by MGC). During the latter half of the MGC he showed his abilities as one of the top runners, but ended up finishing in 7th place. At the Lake Biwa Mainichi Marathon in late February 2021, thanks to his efforts to improve his running speed, he easily maintained a fast pace, running 5 km in 14 minutes, 50 seconds. His run from the 35 km mark to the 40 km mark took him 14 minutes and 39 seconds, and he finished the race with a startling speed, running the final 2.195 km in 6 minutes and 16 seconds. He completed the entire marathon in the 2:04 range. At last year's Tokyo Marathon 2021, he secured a place in the 2022 World Athletics Championships in Oregon, but unfortunately came down with COVID-19 and was unable to compete. This year's marathon will be his comeback.

No.  
12

大迫 傑 (東京・Nike)

OSAKO, Suguru (JPN)



## プロフィール / PROFILE

DOB : 23 May 1991

AGE : 31

## 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:05:29	東京マラソン (Tokyo)	4	2020

東京2020マラソン6位と活躍したプロランナー。高校時代はトラックでも全国トップクラスだったが、3年時の全国高校駅伝1区区間賞と駅伝でも活躍した。大学でも1、2年時に箱根駅伝1区区間賞を連続で獲得。10000mでは1年時に世界ジュニア(現U20世界選手権8位)、2年時にユニバーシアード(優勝)、4年時に世界選手権と国際大会に出場した。4年時には27分38秒31と日本人学生最高記録(当時)もマーク。卒業後は日清食品Gに入社し、米国に強化拠点を置き、15年にプロ転向後は、ナイキに所属。同年世界選手権、16年リオ五輪とトラック代表を続けた。17年にマラソンに進出。18年シカゴで2時間05分50秒と日本記録を更新し日本人初の2時間6分突破を果たした。19年のMGCは3位と敗れたが、東京マラソン2020で2時間05分29秒の日本記録(当時)で日本人1位を占め、東京2020代表を決めた。東京2020を最後に引退したが、22年に現役復帰し、11月のニューヨークシティでは2時間11分31秒の5位と勝負強さを見せた。

Suguru Osako is a professional runner who finished in 6th place in Tokyo Marathon 2020. In high school track, he was one of the top class runners in the nation, and as a senior he won the section award for Section 1 of the All-Japan National Ekiden Championships. In university, he won the Section 1 awards in the Hakone Ekiden in both his first and second years. He also took part in several international competitions in the 10,000 m. As a first year student, he ran in the World Junior Championships (now called the World Athletics U20 Championships), finishing in 8th place. In his second year, he won the Universiade (now called the FISU World University Games). As a fourth year student, he ran in the World Athletics Championships. His run time in his fourth year was 27:38.31, a record (at the time) for a Japanese student. After graduating, he joined the Nissin Foods Group and relocated to the U.S. to train. In 2015, he competed in the World Athletics Championships, and in 2016 he represented Japan as a track athlete in the Olympics in Rio de Janeiro. He competed in a marathon in 2017. In the 2018 Chicago Marathon he set a new Japanese record, with a time of 2:05:50, becoming the second Japanese runner to break the 2:06 barrier. While he only took 3rd place in the 2019 MGC, he took the number one position among Japanese runners in Tokyo Marathon 2020 with a 2:05:29, a new record at the time, and qualified for the Tokyo 2020 Olympics. He retired following the Olympics, but returned in 2022, and in the November New York City Marathon showed his power, taking 5th place with a running time of 2:11:31.

No. 13

**土方 英和** (宮崎・旭化成)

HIJIKATA, Hidekazu (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 27 Jun. 1997

AGE : 25

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:06:26	びわ湖 (Otsu)	2	2021

ロードの強さに定評がある選手で、2時間06分26秒の日本歴代5位を持つ。大学4年時の出雲全日本大学選抜駅伝はアンカーの6区で3人抜きを演じ、國學院大の学生三大駅伝初優勝のテープを切った。4年時に東京マラソン2020で初マラソンに挑み、2時間09分50秒の学生歴代3位(現4位)タイで走った。実業団入り1年目、21年びわ湖で日本新の鈴木健吾に次いで2位となり、前述の2時間6分台を記録。21年9月のベルリンは2時間11分47秒の9位に終わったが、中間点通過は1時間02分17秒と、びわ湖より19秒速いペースに挑んだ。22年のニューイヤー駅伝はアンカーの7区で、区間2位に圧倒的な差で区間賞を獲得。Honda初優勝のテープを切った。同年3月の東京マラソン2021は終盤でペースダウンして2時間08分02秒の11位。最後の2.195kmは7分以上かかってしまった。今大会は旭化成に移籍して初のマラソン。3回目の東京で再び、ロードの強さを発揮してみせる。

Hidekazu Hijikata has a reputation for his strength on the road, and he holds the 5th highest record in Japan, with a finishing time of 2:06:26. During his fourth year in university, he ran the 6th section, the anchor section, of the Izumo Ekiden, passing three other runners and giving Kokugakuin University its first victory in the "Big 3" of university ekiden races. He ran his first marathon as a fourth year student, taking part in Tokyo Marathon 2020, tying for 3rd place (now 4th) with a finishing time of 2:09:50. In his first year with his company team, he came in second place in the 2021 Lake Biwa Mainichi Marathon with the aforementioned 2:06 range finishing time, outpaced only by Kengo Suzuki as he set a new Japanese record. At the Berlin Marathon in September 2021, he finished in 9th place, with a time of 2:11:47, but he passed the midway mark in 1:02:17, 19 seconds faster than his pace in the Lake Biwa Mainichi Marathon. At the 2022 New Year Ekiden, he ran the 7th section, the anchor section, and won the section award with a far faster time than the 2nd place winner. He broke the tape for Honda's first ever win. At Tokyo Marathon 2021, held in March, 2022, held in March, his pace slowed towards the end of the race, and he finished in 11th place, with a finishing time of 2:08:02. The last 2.195 km took him over 7 minutes. This year's marathon will be his first since moving to Asahi Kasei. In this, his third Tokyo Marathon, he'll be showing his strength on the road once again.

No. 14

**細谷 恭平** (福岡・黒崎播磨)

HOSOYA, Kyohei (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 31 Aug. 1995

AGE : 27

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:06:35	びわ湖 (Otsu)	3	2021

同学年の鈴木健吾と並び、最もコンスタントに力を発揮している日本選手の一人。中央学院大では箱根駅伝の8区・5区・5区で3年連続区間3位と好走したが、ケガが多く個人では実績を残せなかった。実業団1年目の18年はチームの先輩で、その年のアジア大会マラソン代表の園田隼の練習パートナーを務めた。20年びわ湖が初マラソンだったが2時間28分47秒の120位。21年3月のびわ湖は5km15分00秒ペースの第2集団でレースを進め、30km以降でペースダウンした選手を次々と抜き去り3位。2時間06分35秒の日本歴代6位を記録した。同年12月の福岡国際では日本人トップの2位。14分50秒ペースの先頭集団で走り、後半の気温上昇にも耐えて2時間08分16秒で走り切った。そして22年は10月のシカゴで2時間08分05秒の6位。5km14分40秒(2時間3分台ペース)の先頭集団ではなく、14分55秒の第2集団で走った。今回の東京では「日本記録更新」を目標に掲げている。

Kyohei Hosoya, who is the same age as Kengo Suzuki, is one of Japan's most consistent runners. At Chuo Gakuin University, he ran well, coming in third place in three consecutive years in the 8th, 5th, and 5th sections again. However, he suffered frequent injuries and was unable to leave behind a truly strong legacy. In 2018, his first year in a corporate team, he partnered for practice with Hayato Sonoda, a team senior who ran in the Asian Games marathon. At the 2020 Lake Biwa Mainichi Marathon, his first marathon, he finished in 120th place, with a time of 2:28:47. In the March 2021 Lake Biwa Mainichi Marathon he ran in group two, which had a pace of 15 minutes and 00 seconds for 5 km. After the 30 km mark, he passed runner after runner that had slowed down, finishing in 3rd place. His achieved the sixth highest record time for Japan, 2:06:35. At the Fukuoka International Open Marathon Championship in December of the same year, he finished in 2nd place, the top Japanese runner. He ran in the leading pack, with a pace of 14 minutes and 50 seconds, and powered through the rising temperatures of the second half of the race to finish in 2:08:16. In the Chicago Marathon, held in October 2022, he took 6th place with a finishing time of 2:08:05. He didn't run in the leading pack, with a pace of 14 minutes and 40 seconds for 5 km (a time in the 2 hour, 3 minute range), but in the second group, which had a pace of 14 minutes and 55 seconds. At this year's Tokyo Marathon, he's aiming to set a new Japanese record.

No. 15 井上 大仁 (長崎・三菱重工)  
INOUE, Hiroto (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 6 Jan. 1993  
AGE : 30

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:06:47	びわ湖 (Otsu)	4	2021

18年アジア大会金メダリストで、2時間6分台で2回走っている。三菱重工入社2年目の東京マラソン2017で日本人1位(全体8位。2時間08分22秒)となり、同年の世界選手権ロンドン代表に。翌年の東京マラソン2018は2時間06分54秒(当時の日本歴代4位)で日本人2位、全体5位となり、同年のアジア大会では日本人32年ぶりの金メダルを獲得した。19年のMGCは27位と敗れたが、東京五輪最後の1枠がかかった東京マラソン2020では、日本記録(当時)を出した大迫傑を上回るペースでレースを進めた。終盤で後退して2時間09分34秒の26位だったが、マラソンの30km通過では日本人最速の1時間28分28秒だった。21年は2月のびわ湖で2時間06分45秒の自己新をマークし、11月には10000mでも27分43秒17の自己新。22年は3月の東京マラソン2021では2時間08分33秒の17位。9月のベルリンは腹痛が出て2時間14分09秒の25位。5回目の東京でリスタートする。

Hiroto Inoue is a 2018 Asian Games marathon medalist, and has twice achieved times on the order of 2:06. During his second year at Mitsubishi Heavy Industries, he ran in Tokyo Marathon 2017, finishing 1st among Japanese runners (and 8th overall, with a time of 2:08:22), qualifying for the 2017 World Championships in Athletics held in London. The following year, in Tokyo Marathon 2018, he finished 2nd among Japanese runners and 5th among all runners with a finish time of 2:06:54 (the fourth fastest time in Japan at the time). At the 2018 Asian Games marathon, he won the gold, the first time a Japanese runner had done so in 32 years. He experienced a setback at MGC in 2019, finishing in 27th place, but at Tokyo Marathon 2020, which would decide the last qualifier for the Tokyo Olympics, he raced at an even faster pace than Suguru Osako, the Japanese record holder at the time. Towards the end of the race he fell back, finishing in 2:09:34, but at the marathon's 30 km point he had the shortest time ever for a Japanese runner, 1:28:28. At the Lake Biwa Mainichi Marathon in February 2021, he achieved a personal best time of 2:06:45. In November, in the 10,000 m, he also reached a new personal best of 27:43.17. In Tokyo Marathon 2021, in March 2022, he finished in 17th place, with a time of 2:08:33. Due to stomach pain, he finished the September Berlin Marathon with a time of 2:14:09, putting him in 25th place. He will set off to a new start in his fifth Tokyo Marathon run.

No. 16 吉田 祐也 (東京・GMOインターネットグループ)  
YOSHIDA, Yuya (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 23 Apr. 1997  
AGE : 25

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:07:05	福岡国際 (Fukuoka)	1	2020

1、2回目のマラソンが強烈だった。青学大4年時、20年2月の別大で日本人トップの3位。2時間08分30秒は初マラソン歴代2位(当時)、学生歴代2位だった。別大1カ月前の箱根駅伝は4区区間賞(区間新)でトップに立ち優勝に貢献したが、3年時までは箱根駅伝に出場できなかった選手。一般企業へ就職する予定だったが、別大の結果で競技継続を決意した。2度目のマラソンが同年12月の福岡国際で、2時間07分05秒(当時日本歴代9位タイ)で優勝した。練習の準備やケアに膨大な時間をかける選手。吉田自身は「時間よりも内容が重要」と言い、ハードトレーニングをしても故障をしない体を作ることを目的としている。東京マラソン2021では2時間09分20秒の24位だったが、10月にはミネアポリスのマラソンで2時間11分28秒の1位。世界トップレベルの選手は出場していなかったが、大迫傑のアドバイスを受けながら行ったトレーニングの成果を確認した。

Yuya Yoshida's first and second marathons were intense. While a fourth year student at Aoyama Gakuin University, he took 3rd place as the fastest Japanese runner in the Beppu-Oita Marathon. His time of 2:08:30 was the second fastest for a first-time marathon runner (at the time) and the second highest for a student. At the Hakone Ekiden, a month before the Beppu-Oita Marathon, he won the section award for Section 4 (a new record for the section), contributing to his team's victory. However, he had been unable to take part in the Hakone Ekiden until his third year in university. He had not planned to continue track and field after getting a job, but based on the results of the Beppu-Oita Marathon he changed his mind and decided to continue competing. His second marathon was the Fukuoka International Open Marathon Championship, held in December of the same year, which he won with a time of 2:07:05 (a tie for the 9th fastest time in Japan at the time). He dedicates a lot of time to preparing for races and taking care of his physical condition. He believes that the content of practice is more important than the amount of time spent on it, so even though he trains hard, he takes care to avoid injuries. At Tokyo Marathon 2021, he finished in 24th place with a time of 2:09:20, but in the October Twin Cities Marathon in Minneapolis he took 1st place with a time of 2:11:28. Although the world's top level runners did not compete in the marathon, it allowed Yoshida to confirm the results of the training he had engaged in with the advice of Suguru Osako.

No. 17 **其田 健也** (東京・JR東日本)  
SONOTA, Kenya (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 10 May 1993  
AGE : 29

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:07:14	ベルリン (Berlin)	7	2022

22年は3月の東京マラソン2021、9月のベルリンとアボット・ワールドマラソンメジャーズを2連戦。東京は2時間07分23秒の7位(日本人2位)、ベルリンも2時間07分14秒の7位(日本人1位)と、安定した強さを見せた。駒大時代は10000mが29分台とトラックのスピードはなかったが、駅伝では区間上位の成績を残した。JR東日本入社後もニューイヤー駅伝は20年、21年と6区で区間2位と4位、22年は主要区間の5区で区間8位。ハーフマラソンも含めロードでは安定した戦績を残している。初マラソンは18年びわ湖で2時間14分53秒の13位。19年はマラソンに出ることができなかったが、20年びわ湖は2時間09分50秒で8位(日本人4位)。21年もびわ湖で2時間08分11秒とタイムは上げたが、順位は19位(同18位)と前年より落としてしまった。だが22年は前述のようにアボット・ワールドマラソンメジャーズで活躍する強さを身につけ、東京の成績でオレゴン世界選手権の補欠として大会に備えた。代表入りした。

In 2022, Kenya Sonota competed in Tokyo Marathon 2021 (held in March 2022) and then, in September, took part in the Berlin Marathon, competing in two Abbott World Marathon Majors races. In all of his races, he demonstrated stable power, finishing in 7th place in Tokyo (2nd place among Japanese runners) with a time of 2:07:23, and finishing the Berlin Marathon in 2:07:14, taking 7th place overall (and 1st place among Japanese runners). While still in Komazawa University, he didn't have an exceptional track speed, finishing the 10,000 m in the 29 minute range, but in the ekiden he did post one of the top section times. After joining JR East, he ran in Section 6 during the 2020 and 2021 New Year Ekidens, coming in 2nd and 4th places for his section. In 2022, he took 8th place in Section 5, the main section of the race. He has a steady track record of road racing, including half marathons. In his first marathon, the 2018 Lake Biwa Mainichi Marathon, he took 13th place with a finishing time of 2:14:53. He didn't run any marathons in 2019, but in the 2020 Lake Biwa Mainichi Marathon, he finished in 8th place (4th among Japanese runners), with a time of 2:09:50. In 2021, he improved his time, finishing the Lake Biwa Mainichi Marathon in 2:08:11, but placed lower than in the previous year, taking 19th place (18th among Japanese runners). However, in 2022, he built up the power he needed to compete in the Abbott World Marathon Majors, and based on his results in Tokyo he prepared as an alternate for the World Athletics Championships in Oregon. He was then selected as a runner.

No. 18 **小山 直城** (埼玉・Honda)  
KOYAMA, Naoki (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 12 May 1996  
AGE : 26

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:08:59	東京マラソン (Tokyo)	22	2021

東京マラソン2021で2時間08分59秒の22位と、初マラソンとしては合格点の走りを見せた。高校時代は個人で全国レベルの活躍はできなかったが、3年時の都道府県対抗男子駅伝4区で区間賞の走りを見せ、埼玉県チームの優勝に貢献した。東農大では4年間、チームは箱根駅伝に出場できなかったが、個人では4年時に関東インカレ2部5000m 2位、10000m 5位。5000mでは浦野雄平(現富士通)、10000mでは土方英和(現旭化成)と、卒業後にマラソンで2時間6~7分台を出す2人に先着した。Honda入社後はニューイヤー駅伝1区を2年連続で走り区間3位と5位。22年は3区区間8位ではあったが9人抜きの走り、チームの初優勝に貢献した。3月の初マラソン後は8月の北海道マラソンに出場して2時間14分20秒で11位。23年のニューイヤー駅伝は最長区間の4区を任せ、区間3位でトップに立ち2連覇に貢献した。今回は「2時間7分台でMGC出場権獲得」が目標だ。

Naoki Koyama showed a respectable level of ability from his very first marathon, Tokyo Marathon 2021, in which he took 22nd place with a time of 2:08:59. Although he did not compete at the national level as a solo runner while in high school, during his senior year, he won the section award for Section 4 in the All Japan Inter-Prefectural Men's Ekiden, contributing to the Saitama Prefecture team's victory. During his four years at the Tokyo University of Agriculture, the university team was unable to compete in the Hakone Ekiden, but as a solo runner, in his fourth year he competed in Section 2 of the Kanto Inter-College tournament, taking 2nd place in the 5,000 m and 5th place in the 10,000 m. In the 5,000 m, he came in before Yuhei Urano (who now runs for Fujitsu), and in the 10,000 m, he finished before Hidekazu Hijikata (who now runs for Asahi Kasei), both of whom went on to run marathons in the 2:06-2:07 ranges. After joining Honda, he ran in Section 1 of the New Year Ekiden for two consecutive years, taking 3rd and 5th places in his section. In 2022, he finished in 8th place in Section 3, but passed nine other runners, contributing to his team's victory. He took part in his first marathon in March, and then ran in the Hokkaido Marathon in August, finishing in 11th place with a time of 2:14:20. In the 2023 New Year Ekiden, he was assigned to Section 4, the longest section, and finished in 3rd place in his section, contributing to his team's second consecutive win. This year, he says his plan is to qualify for the MGC by finishing with a time in the 2:07 range.



# 海外招待選手 女子

ATHLETES

International Invited Athletes WOMEN

No.  
51

## アシェテ・ベケレ (エチオピア)

BEKERE, Ashete (ETH)



### プロフィール / PROFILE

DOB : 17 Apr. 1988  
AGE : 34

### 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:17:58	東京マラソン (Tokyo)	2	2021

前回の東京マラソン2021で2時間17分58秒の2位。世界記録保持者のブリジット・コスゲイ(ケニア)には終盤で引き離されたが、従来の大会記録に13秒と迫る健闘だった。11年の初マラソンは2時間34分00秒と普通以下だったが、シーズンベストは12年に2時間31分台、13年2時間27分台、14年2時間24分台、15年2時間23分台と徐々に上げてきた。16年と17年は2時間25分台に停滞したが、18年に2時間21分台へと一気に上昇。そして19年に2時間20分14秒でベルリンで優勝すると、21年のロンドンで2時間18分18秒の3位と、アボット・ワールドマラソンメジャーズでも上位に食い込むようになった。日本では14年名古屋ウィメンズ8位(2時間29分21秒)、東京マラソン2016で7位(2時間25分50秒)と自己新を出せなかったが、前回の東京マラソン2021で、6年ぶりの日本で自己記録更新に成功した。しかし初のエチオピア代表となった昨年のオレゴン世界選手権は、無念の途中棄権。東京に戻って再び勢いをつけたい。

In last year's Tokyo Marathon 2021, Ashete Bekere took 2nd place with a finishing time of 2:17:58. The world record holder, Brigid Kosgei (Kenya) pulled ahead toward the end of the race, but she put up a valiant fight, ending within 13 seconds of the marathon record. In her first marathon, in 2011, she finished with a below-average time of 2:34:00. However, her times gradually improved. In 2012, her season best time was in the 2:31 range. This fell to the 2:27 range in 2013, the 2:24 range in 2014, and then the 2:23 range in 2015. In 2016 and 2017, her progress stalled, with her finishing times in the 2:25 range, but then she made dramatic progress in 2018, with a season record in the 2:21 range. She started to rank highly in Abbott World Marathon Majors, winning the Berlin Marathon in 2019 with a finishing time of 2:20:14, and then taking 3rd place in the 2021 London Marathon with a time of 2:18:18. In Japan, she finished in 8th place in the Nagoya Women's Marathon (2:29:21) and in 7th place in Tokyo Marathon 2016 (2:25:50). Although she was unable to achieve any new personal bests in these races, in last year's Tokyo Marathon 2021, she posted a new personal record in Japan for the first time in six years. Unfortunately, she did not finish the World Athletics Championships in Oregon last year, her first time racing representing Ethiopia. We're hoping she shows us tremendous power again when she returns to Tokyo.

No.  
52

## ローズマリー・ワンジル (ケニア)

WANJIRU, Rosemary (KEN)



### プロフィール / PROFILE

DOB : 9 Dec. 1994  
AGE : 28

### 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:18:00	ベルリン (Berlin)	2	2022

22年9月のベルリンで2時間18分00秒の2位。日本育ちのワンジルが初マラソン世界歴代2位(現3位)のタイムで走った。青森山田高2、3年時に全国高校総体3000mを連覇。全国高校駅伝でも大活躍した。実業団チームに進み日本国内大会に優勝するだけでなく、ケニア国内大会でも安定して上位に入った。そして19年ドーハ世界選手権でケニア代表入り。本番では30分35秒75の自己新で4位と、トラックで世界トップレベルの選手に成長した。ロードでも適性を見せたのが20年。2月のUAEハーフマラソンに1時間05分34秒の好記録で3位に食い込んだ。同大会2位は前年10月に、マラソンで2時間14分04秒の世界記録を出したブリジット・コスゲイ(ケニア)だった。同年のクイーンズ駅伝4区でも区間賞。しかし21年シーズンは故障もあり駅伝では区間8位、レース出場自体が少なかった。東京マラソン2021は欠場したが、半年後のベルリンでいきなり快走した。

In the Berlin Marathon in September 2022, Rosemary Wanjiru won 2nd place with a time of 2:18:00. She was raised in Japan, and had the 2nd fastest time in the world (now the 3rd fastest) for a first-time marathon runner. While a junior and senior at Aomori Yamada High School, she claimed consecutive victories in the 3,000 m in the Inter-High School Championships. She also achieved great success in the All-Japan National Ekiden Championships. She then joined a corporate team and not only took 1st place in Japanese competitions but also steadily took top positions in competitions held in Kenya. In 2019, she represented Kenya in the World Athletics Championships in Doha. She set a new personal best with a time of 30:35.75, developing into a world-class track athlete. In 2020, she showed her aptitude for road racing. At the UAE Half Marathon held in February, she clinched 3rd place with a time of 1:05:34. 2nd place was won by Brigid Kosgei (Kenya), who had set a new marathon world record in October of the previous year with a time of 2:14:04. At the 2020 Queen's Ekiden, she won the segment award for Section 4. However, in the 2021 season, due to equipment malfunctions, she finished her segment of the ekiden in 8th place and competed in few races. She missed Tokyo Marathon 2021, but suddenly returned to form with an excellent race in the Berlin Marathon six months later.

No. 53 **ティギスト・アバイエチュウ** (エチオピア)  
 ABAYECHEW, Tigist (ETH)



**プロフィール / PROFILE**  
 DOB : 22 Feb. 1994  
 AGE : 29

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:18:03	ベルリン (Berlin)	3	2022

22年9月のベルリンで2時間18分03秒の3位。アボット・ワールドマラソンメジャーズで自己記録を一気に伸ばし、世界トップ選手の仲間入りを果たした。11年から17年までトラック種目やロードの5km、10kmを走っていたが、注目されるレベルではなかった。17年からマラソンに出場し始め、19年には2時間24分15秒、20年には2時間22分45秒と記録を伸ばした。21年は自己記録更新こそできなかったが、10月のポストンで初のアボット・ワールドマラソンメジャーズ出場。坂の多いコースでペースメーカーも付かないため2時間29分06秒(10位)だった。そして2度目のアボット・ワールドマラソンメジャーズが昨年のベルリンで、前述のように大幅な自己新。今回の東京が3レース連続3回目のアボット・ワールドマラソンメジャーズ出場になるが、果たしてどこまで記録を伸ばすのか。そして3位だったベルリン以上の順位を取ることができるのか。記録、着順とも注目すべき急成長中の選手である。

In the Berlin Marathon in September 2022, Tigist Abayechew won 3rd place with a time of 2:18:03. She vastly improved her personal best through the Abbott World Marathon Majors competition, joining the ranks of the world's top racers. From 2011 to 2017, she had competed in track events and in the 5 km and 10 km road events, but her level was nothing to speak of. She began competing in marathons in 2017. In 2019, she posted a personal best of 2:24:15, and in 2020, she further improved on her results with a finishing time of 2:22:45. Although she did not post a new personal best in 2021, she did compete in her first the Abbott World Marathon Majors with the October Boston Marathon. The race is over a hilly course, and there is no pacemaker, so she finished in 2:29:06 (10th place). Her second the Abbott World Marathon Majors was last year's Berlin Marathon, where she dramatically improved her personal best time. Tokyo Marathon 2023 will be her third consecutive World Marathon Major. What kind of new record will she set? Will she be able to keep or improve on her 3rd place finish following the Berlin Marathon? She's shown dramatic, rapid growth, so spectators will want to keep a close eye on both her records and her placing.

No. 54 **ジョーンチェリモ・メリー** (ルーマニア)  
 MELLY, Joan Chelimo (ROU)



**プロフィール / PROFILE**  
 DOB : 10 Nov. 1990  
 AGE : 31

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:18:04	ソウル国際 (Seoul)	1	2022

21年5月にケニアからルーマニアに国籍を変更し、同年10月のロンドンと22年4月のソウルでルーマニア記録を更新した。トラックにも出場しているが、10km、15kmなどロードレースを主戦場としてきた。18年にハーフマラソンで1時間05分04秒と、シエレン世界3位記録をマークすると、翌19年からマラソンに進出。東京マラソン2019は2時間26分24秒の8位と目立つ結果ではなかったが、20年ヴァレンシアで2時間20分57秒(8位)、21年ロンドンで2時間21分23秒(7位)と、世界トップレベルに近づいた。ロンドンの記録は、08年北京五輪金メダリストのコンスタンティナ・ディタが、05年シカゴで出した2時間21分30秒のルーマニア記録を更新するものだった。そして22年4月のソウルに2時間18分04秒で優勝。10月のロンドンではアボット・ワールドマラソンメジャーズ自己最高順位(2時間19分27秒)の成績を残した。32歳だが勢いがある選手だ。

Joan Chelimo Melly changed her nationality from Kenyan to Romanian in May 2021, and she broke new records for a Romanian athlete in the October 2021 London Marathon and the April 2022 Seoul Marathon. She also competes in track events, but her main area of specialization are road races like the 10 km and the 15 km. In 2018, she completed a half marathon in 1:05:04, the 3rd fastest time in the world that season. From the following year, 2019, she began competing in marathons. She failed to stand out in Tokyo Marathon 2019, finishing in 8th place with a time of 2:26:24, but she then drew closer to the world's top athletes with a finishing time of 2:20:57 (8th place) in Valencia in 2020 and 2:21:23 (7th place) in London in 2021. In the London Marathon, her time beat the previous record set by a Romanian athlete, the 2:21:30 time set in the 2005 Chicago Marathon by Constantina Diță, gold medalist in the 2008 Beijing Olympics. Then, in April 2022, she won the Seoul Marathon with a time of 2:18:04. In the London Marathon in October she set a new personal record for a the Abbott World Marathon Majors race, coming in 5th place (2:19:27). Although she is 32 years old, she still has plenty of momentum.

**No. 55** **ウォルクネシュ・エデサ** (エチオピア)  
 EDESA, Worknesh (ETH)



**プロフィール / PROFILE**

DOB : 11 Sep. 1992  
 AGE : 30

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:18:51	ベルリン (Berlin)	4	2022

マラソンは15年に2時間30分台からスタートさせ、22年ベルリンで4位、2時間18分51秒まで記録を上昇させてきた。16~18年に出場したマラソンはすべて中国の大会で、シーズンベストは2時間24~26分台だった。19年にはドバイで2時間21分05秒(3位)、ヴァレンシアで2時間20分24秒(6位)と、高速レースに挑戦してタイムを引き上げた。ヴァレンシアは初のヨーロッパでのマラソン出場でもあった。21年には初めてアボット・ワールドマラソンメジャーズのボストンに出場し、2時間27分38秒で7位。そして22年には前述のベルリンで自己記録を1分半短縮した。今回の東京は3回目のアボット・ワールドマラソンメジャーズで、日本では初のマラソンとなる。ベルリン2位のローズマリー・ワンジル(ケニア)、同3位のティギスト・アバイェチュウ(エチオピア)も出場する。同じベルリンで2時間18分台だった2人が、東京でどんなレースを展開するのか注目される。

Worknesh Edesa began her marathon career in 2015 with finishing times in the 2:30 range. In the 2022 Berlin Marathon, she finished in 4th place with a record time of 2:18:51. From 2016 to 2018, all the marathons she raced in were held in China, and her season best was in the 2:24-2:26 range. In 2019, she participated in high speed races and improved her times, finishing her Dubai race in 2:21:05 (3rd place) and her Valencia race in 2:20:24 (6th place). The Valencia Marathon was her first time competing in a European marathon. In 2021, she raced in her first the Abbott World Marathon Majors the Boston Marathon, and finished in 7th place with a time of 2:27:38. In 2022, she beat her previous Berlin Marathon personal best by a minute and a half. This year's Tokyo Marathon will be her third Abbott World Marathon Majors marathon and her first marathon in Japan. She will be competing against Rosemary Wanjiru (Kenya), who finished 2nd in the Berlin Marathon, and Tigist Abayechew (Ethiopia), who finished 3rd. All eyes are focused on these two athletes, who finished in the 2:18 range in the Berlin Marathon, to see what kind of racing they'll do in Tokyo.

**No. 56** **ツェハイ・ゲメチュ** (エチオピア)  
 GEMECHU, Tsehay (ETH)



**プロフィール / PROFILE**

DOB : 12 Dec. 1998  
 AGE : 24

▶ **自己最高記録 Personal Best**

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:18:59	アムステルダム (Amsterdam)	3	2022

トラックの5000m(14分29秒60)と10000m(30分19秒29)の自己記録は今大会ナンバーワン。19歳となる17年シーズンに10kmなどロードレースに出場するようになり、19年からはトラックに本格進出した。同年のドーハ世界選手権5000m4位とすぐに世界トップレベルまで躍進。21年には10000mで30分19秒29のシーズン世界6位記録をマークしたが、東京2020はレーン侵害を犯して失格となった。しかし五輪翌月にはコペンハーゲンのハーフマラソンで、1時間05分08秒のシーズン世界6位記録で優勝。21~22年にハーフマラソン5本を1時間5~6分台で走ると、22年10月のアムステルダムでマラソンに挑戦した。2時間18分59秒で3位。同じレースで優勝したアルマズ・アヤナ(エチオピア)が2時間17分20秒の初マラソン世界最高をマークしたが、ゲメチュも初マラソン歴代上位の好タイムだった。2度目のマラソンの今回、スピードを生かせば大幅な記録更新が期待できる。

Tsehay Gemchu's personal records in the track 5,000 m (14:29.60) and the 10,000 m (30:19.29) are the highest of anyone in this year's marathon. She began competing in road races such as the 10 km during the 2017 season, at the age of 19, and in 2019 she began full-fledged racing in track events. She rapidly advanced to become one of the world's top athletes, taking 4th place in the 5,000 m at the World Athletics Championships in Doha in 2019. In 2021, she achieved the season world ranking of 6th place in the 10,000 m, with a time of 30:19.29. However, in Tokyo 2020 she was disqualified for a lane violation. The following month, though, she won the Copenhagen Half Marathon with a finishing time of 1:05:08, taking 6th place in the world for the season. In 2021 and 2022 she raced in five half marathons, with finishing times in 1:05-1:06 ranges, and in October 2021 she tried her hand at a full marathon in Amsterdam. She finished in 3rd place with a time of 2:18:59. Almaz Ayana (Ethiopia), the winner of the marathon, posted a world record time for a first-time marathon, finishing in 2:17:20, but Gemchu also posted an excellent time for a first-time marathon. This year's Tokyo Marathon will be her second marathon, and if she can leverage her speed we can expect to see her hit a new record, surpassing her previous result by leaps and bounds.

No. 57

リンゼイ・フラナガン (アメリカ)

FLANAGAN, Lindsay (USA)



プロフィール / PROFILE

DOB : 24 Jan. 1991

AGE : 32

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:24:35	ゴールドコースト (Gold Coast)	1	2022

21年までは2時間28分台が自己記録だったが、22年4月のパリで2時間26分54秒(10位)、7月のゴールドコーストで2時間24分35秒(優勝)と自己新を連発した。記録的には世界トップレベルとはいえないが、大舞台の経験は豊富に積んでいる。15年のパンアメリカンゲームは2位、17年のロンドン世界選手権にも出場した(37位)。アボット・ワールドマラソンメジャーズは17年ボストン11位、19年ボストン9位、同年シカゴは7位。20年ロンドンでは17位とフラナガンには良くなかったが、21年シカゴは10位に戻した世界トップレベルの選手が集まるマラソンでしっかり戦ってきたのである。そして前述のように22年に自己新を連発。同年11月のニューヨークシティでも11位と、アボット・ワールドマラソンメジャーズでは10位前後をしっかりと確保した。今回の東京でも安定した力を発揮して10位前後に食い込む可能性が高い。あるいは自己記録を連発した勢いで、大幅自己新をマークするだろうか。

Until 2021, Lindsay Flanagan's best time had been in the 2:28 range, but in Paris, in April 2022, she finished in 2:26:54 (10th place), and in the Gold Coast Marathon in July, she beat her personal record again with a time of 2:24:35 (putting her in 1st place). Although this record did not put her among the world's top racers, she had built up extensive experience in major races. At the 2015 Pan American Games, she took 2nd place, and she also competed in the World Athletics Championships in London in 2017 (finishing in 37th place). Among the Abbott World Marathon Majors, she finished in 11th place in Boston in 2017, 9th place in Boston in 2019, and 7th place in Chicago in 2019. In 2020, she finished in 17th place in the London Marathon, which was not a great result for her, but in 2021, in Chicago she competed with the world's greats in the Chicago Marathon and returned to form by taking 10th place. And then in 2022, she set new personal best after new personal best. In the November 2022 New York City Marathon, she finished in 11th place, securing her position around the 10th place in the Abbott World Marathon Majors. In Tokyo Marathon 2023, it's quite likely that she'll leverage that stable power to finish somewhere near 10th place. On the other hand, she might maintain that personal-record-breaking momentum to far surpass her past times and set a new personal record.



# 国内招待選手 女子

ATHLETES

Japanese Invited Athletes WOMEN

## No. 61 一山 麻緒 (東京・資生堂) ICHIYAMA, Mao (JPN)



### プロフィール / PROFILE

DOB : 29 May 1997  
AGE : 25

### 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:20:29	名古屋ウィメンズ (Nagoya)	1	2020

東京2020マラソンで8位となり、女子マラソン17年ぶりの五輪入賞を果たした。ワコール入社2年目の17年日本選手権で5000m、10000mとも4位と、トラックでも期待される選手だった。初マラソンの東京マラソン2019マラソンは中間点を1時間10分29秒で通過。後半ペースダウンし2時間24分33秒の7位(日本人1位)だったが、気温5度前後、雨の降る悪コンディションを考慮すれば高く評価できた。同年9月のMGCは先頭を積極的に走ったが、10km過ぎから後れ6位に終わった。しかし20年3月の名古屋ウィメンズに2時間20分29秒の女子単独レースアジア記録で快勝。東京2020代表最後の1枠をもぎ取った。昨年の東京は中間点を1時間09分29秒のハイペースで通過。日本記録には届かなかったが、夫の鈴木健吾(男子日本記録保持者)とアベック日本人1位を達成し、夫婦合計タイム世界最高のギネス記録も樹立した。昨年の世界選手権は欠場となり、今大会が資生堂移籍後初のマラソンとなる。

Mao Ichiyama came in 8th place in the Tokyo 2020 Olympic marathon, the first time in 17 years that a Japanese runner placed in the women's marathon category. In her second year at Wacoal, she took 4th place in both the 5,000 m and the 10,000 m events at the Japan Championships in Athletics. In her first marathon, Tokyo Marathon 2019, she passed the midway point in 1:10:29. In the second half of the race her pace slowed, and she finished in 7th place with a time of 2:24:33 (the fastest of any Japanese runners). It was actually an excellent showing, considering the poor running conditions -- rainy, with a temperature of roughly 5 degrees. In the MGC in September of the same year, she started out running aggressively, but began slowing from the 10 km point and finished in 6th place. However, at the Nagoya Women's Marathon held in March 2020, she finished in 2:20:29, a record for a solo woman runner in Asia. She captured the last available opening to compete in Tokyo 2020. In last year's Tokyo Marathon, she passed the midway point after 1:09:29, a fast pace. While she failed to set a Japanese record, she and husband Kengo Suzuki (the Japanese men's record holder) both finished in 1st among Japanese runners, setting a Guinness World's Record for the fastest marathon run by a married couple - aggregate time. She didn't compete in last year's World Athletics Championships, and this year's marathon will be her first after moving to Shiseido.

## No. 62 松田 瑞生 (大阪・ダイハツ) MATSUDA, Mizuki (JPN)



### プロフィール / PROFILE

DOB : 31 May 1995  
AGE : 27

### 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:20:52	大阪国際女子 (Osaka)	1	2022

マラソン7戦4勝の高い勝率を誇り、国際大会でも22年世界選手権オレゴン大会9位と、入賞に15秒と迫った。最初に代表入りしたのは10000mで、17年日本選手権に優勝し、同年ロンドン世界選手権に出場した。日本選手権は18年に2連勝。マラソンにも18年から参戦し、1月の大阪国際女子に優勝。19年MGCは4位と敗れたが、20年1月の大阪国際女子に2時間21分47秒で優勝。東京2020代表3人目の有力候補になったが、3月の名古屋ウィメンズで一山麻緒がそれを上回る記録を出したため、松田は補欠代表という形になった。21年3月の名古屋ウィメンズ、22年1月の大阪国際女子と、国内マラソン3連勝を継続中だ。オレゴン世界選手権は他の代表2人が新型コロナ感染で欠場したため、日本選手権ただひとりの出場になった。左足中足骨の疲労骨折で直前の練習が不十分の状態だったが、9位と健闘した。今大会では日本記録更新も視野に入れる。

Mizuki Matsuda has a high win ratio, with four victories in seven marathons. Overseas as well, she took 9th place in the 2022 World Athletics Championships in Oregon, just 15 seconds outside top 10. She first qualified by winning the 2017 Japan Championships in Athletics, in the 10,000 m event. She also ran in the World Athletics Championships in London in the same year. In 2018, she won the Japan Championships in Athletics for a second consecutive time. She began competing in marathons from 2018, winning the Osaka Women's Marathon in January. While she failed to win the 2019 MGC, finishing in 4th, she won the January 2020 Osaka Women's Marathon with a time of 2:21:47. She was a strong candidate for the third slot in Tokyo 2020, the Nagoya Women's Marathon in March. Mao Ichiyama finished in an even shorter time, so Matsuda was put on the reserve list. She is currently enjoying a three win streak in Japan, including winning the Nagoya Women's Marathon in March 2021 and the Osaka Women's Marathon in January 2022. The other two Japanese athletes scheduled to race in the World Athletics Championships in Oregon were unable to compete due to COVID, so she was the only Japanese runner in the race. Although she was unable to practice immediately before the event because of a stress fracture in her left metatarsal bone, she fought valiantly and finished in 9th place. At Tokyo Marathon 2023, she has her eyes set on achieving a new Japanese record.

No. 63 細田 あい (大阪・エディオン)  
HOSODA, Ai (JPN)



プロフィール / PROFILE  
DOB : 27 Nov. 1995  
AGE : 27

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:21:42	ロンドン (London)	9	2022

22年10月のロンドンで2時間21分42秒の日本歴代8位をマーク。勢いがある選手だ。長野東高から日体大に進み、大学3年時の関東インカレで5000m&10000mの2冠。4年時も5000m2位、10000m3位と結果を残した。駅伝でも強さを見せ、富士山女子駅伝7区区間2位、4年時の全日本大学女子駅伝3区区間賞など活躍した。ダイハツ入社2年目の18年全日本実業団対抗女子駅伝では5区区間2位と、日本トップレベルへの足がかりを得た。マラソンは過去4レースに出場。19年の名古屋ウィメンズが初マラソンで2時間29分27秒の18位(日本人9位)、20年名古屋が2時間26分34秒の8位(同4位)。エディオンに移籍して最初のマラソンが22年名古屋で2時間24分26秒の4位(同2位)、そして22年ロンドンで2時間21分42秒までタイムを上げた。ロンドンの中間点通過は1時間10分16秒。東京では2時間20分を切るペースに挑戦して欲しい。

In the London Marathon in October 2022, Ai Hosoda finished in 2:21:42, the eighth fastest time in history for a Japanese runner. She's got momentum. After graduating from Nagano Higashi High School, she entered Nippon Sport Science University, where she won both the 5,000 m and the 10,000 m in the Kanto Inter-College as a third-year student. While she was a fourth-year student, she took 2nd place in the 5,000 m and 3rd place in the 10,000 m, establishing a respectable record. She also demonstrated her skills in the ekiden. In the Mt. Fuji Women's Ekiden, she finished 2nd in Section 7, and as a fourth year student she won the section award for Section 3 of the All Japan University Women's Ekiden. In her second year after joining Daihatsu, she came in 2nd place in Section 5 in the 2018 Japan Corporate Women's Ekiden, establishing her foothold as one of Japan's top runners. She has so far competed in four marathons. The 2019 Nagoya Women's Marathon was her first marathon, and she finished in 18th place with a time of 2:29:27 (9th place among Japanese runners). In 2020, her finishing time at Nagoya was 2:26:34, putting her in 8th place (4th among Japanese runners). After moving to EDION, her first marathon was the 2022 Nagoya Women's Marathon, in which she took 4th place (2nd among Japanese runners) with a finish time of 2:24:26. In the 2022 London Marathon, she further improved her time to 2:21:42. She passed the midway point in London in 1:10:16. We're hoping she finishes Tokyo Marathon 2023 in under 2:20.

No. 64 松下 菜摘 (岡山・天満屋)  
MATSUSHITA, Natsumi (JPN)



プロフィール / PROFILE  
DOB : 22 Jan. 1995  
AGE : 28

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
2:23:05	大阪国際女子 (Osaka)	3	2022

五輪5大会にマラソン代表を送り込んだ天満屋で成長し、22年大阪国際女子で2時間23分05秒と大幅に自己記録を更新した。陸上競技は中学から始めたが、スピードスケート(ショートトラック)にも取り組んでいた。中学、高校と目立った成績を残すことができず、環太平洋大では競技部に入らずに走っていた。だが3年時に本格的な競技を再開し、4年時には日本インカレ10000mや全日本大学女子駅伝(1区)に出場した。天満屋入社1年目に10000mで32分27秒58と学生時代の記録を2分近く更新。その後はトラック、駅伝とも際だった成績はないが大きな故障もなく、「こつこつ積み重ねることが一番の才能」(武富豊監督)という評価を得た。入社4年目の21年名古屋ウィメンズを2時間26分26秒(3位)で走ると、翌22年大阪国際女子では前述の2時間23分05秒(3位)でMGC出場権を獲得。22年は5000mでも15分48秒31と4年ぶりに自己新で走っている。

Natsumi Matsushita runs for Tenmaya, which has sent marathon runners to five Olympic Games. In the 2022 Osaka Women's Marathon she beat her previous personal best by a significant amount, finishing in 2:23:05. She began competing in track and field events while in junior high school, and also tried her hand at speed skating (short track). She didn't produce a particularly notable track record of successes in junior high or high school, and in International Pacific University she ran without joining the track team. However, during her third year of university she started taking part in full-fledged competitions again, and in her fourth year she competed in both the All Japan Inter-University Track & Field Championships 10,000 m event and the All Japan University Women's Ekiden (section 1). In her first year after joining Tenmaya, she ran the 10,000 m in 32:27:58, beating her university record by almost two minutes. Although she did not produce spectacular results in track events or ekidens, she also did not have any spectacular failures, and gained a reputation as being "the most talented at steadily building up experience" (according to coach Yutaka Taketomi). In her fourth year in the company, she ran the 2021 Nagoya Women's Marathon in 2:26:26 (3rd place), and then in the following year, 2022, she qualified for the MGC by finishing the Osaka Women's Marathon in the aforementioned 2:23:05 (3rd place). In 2022, she also set a new personal record for the 5,000 m, for the first time in four years, finishing it in 15:48.31.

# ペースメーカー

## ATHLETES

## Pacemakers

※年齢は大会当日(2023年3月5日)のものとなります。/ ※Age as of March 5, 2023

### ペースメーカー(男子レース)

Pacemakers for MEN

#### Pace 11 **ベナード・キメリ** (ケニア)

KIMELI, Benard (KEN)

##### Personal Best

プラハ ハーフ Prague, Half 59:07 (2019) 1st

生年月日 /Date of Birth : 10 Sep. 1995

年齢・性別 / Age・Sex : 27・男子 Men

#### Pace 13 **レダマ・キサイサ** (ケニア)

KISAISA, Ledama (KEN)

##### Personal Best

箱根予選会ハーフ Tachikawa, Half 1:00:44 (2018) 1st

生年月日 /Date of Birth : 25 Jun. 1998

年齢・性別 / Age・Sex : 24・男子 Men

#### Pace 12 **アモス・クルガト** (ケニア)

KURGAT, Amos (KEN)

##### Personal Best

アディゼロ ロードハーフ Adizero, Half 59:34 (2021) 3rd

生年月日 /Date of Birth : 7 Mar. 1992

年齢・性別 / Age・Sex : 30・男子 Men

### ペースメーカー(女子レース)

Pacemakers for WOMEN

#### Pace 21 **ビコティ・チェプンゲノ** (ケニア)

CHEPNGENO, Vicoty (KEN)

##### Personal Best

ヒューストンハーフ Houston, Half 1:05:03 (2022) 1st

生年月日 /Date of Birth : 12 Nov. 1993

年齢・性別 / Age・Sex : 29・女子 Women

#### Pace 22 **ベアトリス・チェサレク** (ケニア)

CHESEREK, Beatrice (KEN)

##### Personal Best

カーディフハーフ Cardiff, Half 1:06:48 (2022) 1st

生年月日 /Date of Birth : 1 Nov. 1998

年齢・性別 / Age・Sex : 24・女子 Women

# RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023

ATHLETES

RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023



RUN as ONE  
TOKYO MARATHON 2023

## 全国の大会と一緒に、マラソンを盛り上げていきます

Promoting a Nationwide Marathon Movement Together with Marathon Races Throughout Japan

全国のマラソン大会と連携し、マラソンムーブメントの全国的な盛り上げに資する取組みとして「RUN as ONE - Tokyo Marathon」プログラムを東京マラソン2015よりスタートしました。このプログラムを通じ、東京マラソンに参加するランナーの皆さんに世界トップレベルのレースを体感してもらい、国内の競技力向上やさらなるマラソンファンの増加を目指します。また、東京マラソン2016から新たに海外のランナーを対象とした準エリート（海外）を設け、海外からもより高いレベルのランナーが東京マラソンに集まることを期待しています。そして、学生マラソンの競技力向上、未来の日本陸上界を担うランナー発掘を目的とし学生ランナーにも準エリート（学生）を設け、世界レベルの体験の場を提供しています。

※感染症の状況により開催出来ていない大会がございます。

The RUN as ONE - Tokyo Marathon program was introduced in Tokyo Marathon 2015 as a way to contribute to the nationwide surge in marathon interest and link up with other marathon races held throughout the country. This program aims to offer runners the chance to participate in the Tokyo Marathon and to experience racing at the world's top level, improve Japan's athletic capabilities and further increase the number of marathon fans. Starting from Tokyo Marathon 2016, the Semi-Elite (Overseas) category, has been newly established for runners from other countries; this category is expected to attract superior athletes from around the world to join in the Tokyo Marathon. In addition, university student runners now have the opportunity of experiencing world-class competition with the establishment of the Semi-Elite (Students) category, which aims to not only foster the athletic capabilities of student marathon runners, but also help discover Japan's future runners and athletes.

\*Some events were canceled due to situation Surrounding Covid-19.

### Wild Card Awardの表彰について

準エリートの上位選手には、「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023 "Wild Card Award"」が授与されます。この表彰を通じて、走力の高いランナーや競技志向の市民ランナーからの注目を集め、マラソンへの関心向上や、次世代ランナーのチャレンジを応援していきます。

### About the Wild Card Award

Top-placing athletes in the Semi-Elite categories will be awarded with the RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023 "Wild Card Award". This award will attract attention from both casual and competition-oriented runners alike, and will support increased interest in marathons and endeavors by runners of next generation.



### RUN as ONE - Tokyo Marathonネーミングについて

マラソンムーブメントが一層盛り上がっていくように、全国のランナー、大会を支える人々や観衆がひとつになるようにとの願いが込められています。

### About the Program Name

This name arises from a deeply held desire to see all marathon races, runners, volunteers and spectators throughout Japan come together and be united as ONE.



# RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023

ATHLETES

RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023

## プログラムのガイドライン Program Guidelines

	準エリート			一般
	国内	海外	学生	
参加方法	RUN as ONEサイトより申込み		日本学生陸上競技連合会による推薦	提携大会による推薦
参加条件	公認記録を確認できる書類を提出 (記録証/完走証/リザルト)	ワールドアスレティックスラベルロードレースの公認記録を提出 (記録証/完走証/リザルト)	2022年度 日本学生陸上競技連合に登録する学生競技者	大会主催者による抽選
参加基準タイム	マラソン 男子 2時間32分00秒以内 女子 3時間19分00秒以内 ハーフマラソン 男子 1時間05分00秒以内 女子 1時間20分00秒以内	マラソン 男子 2時間32分00秒以内 女子 3時間19分00秒以内	ハーフマラソン 男子 1時間05分00秒以内 女子 1時間20分00秒以内	なし
記録対象期間	2019年7月～2022年6月 ※2024大会以降は、対象期間を2年間とする。		在学中の記録を対象とする。	別途定める
申込期間	2022年8月1日(月)11時から2022年8月12日(金)17時まで		別途定める	2021年11月～2022年10月
日本陸上競技連盟会員登録	必須	登録の有無は問わない	必須	登録の有無は問わない
定員	300名(男女各150名)	50名(男女各25名)	50名(男女計50名)	250名
その他	定員を超えた場合は記録上位者から選出とする。 (選出結果は9月下旬に発表予定) 選出されなかったランナーは一般抽選へ振り替えを行う。			定員は提携大会数による。
Program Name	RUN as ONE - Tokyo Marathon "Semi-Elite (Overseas)"			
Outline	This program is designed to provide excellent runners, who reside outside of Japan and meet the criteria set forth by the Tokyo Marathon Foundation, the right to participate in the Tokyo Marathon as "Semi-Elite".			
Entry Procedure	Enter through the RUN as ONE website.			
Eligibility	Applicants must achieve the qualifying times in events that are either World Athletics Label, World Athletics Elite Label, or World Athletics Elite Platinum Label, within a time frame specified by us.			
Qualifying Times	<ul style="list-style-type: none"> <li>Men's Full Marathon: Under 2hrs 32min 00sec</li> <li>Women's Full Marathon: Under 3hrs 19min 00sec</li> </ul> *The record can be either gun time or net time. *Must submit an official finisher's certificate.			
Qualifying Window	From July, 2019 until June, 2022. *From the Tokyo Marathon 2024 onward, the qualifying window will be a two-year period.			
Application period	From 11:00 a.m. on August 1 until 5 p.m. on August 12, 2022 (JST).			
Maximum Number of Entrants	25 men and women each			
Others	If the total number of applicants surpasses the allotted field size for the Semi-Elite (Overseas) category, then those who are the fastest among the pool of applicants will be accepted. (Selection results will be announced in late September (provisional).) For those who were not accepted, the entry will automatically transfer to General Entry for further possible selection.			

## 一般提携大会一覧

都道府県	大会名	都道府県	大会名	都道府県	大会名
北海道	函館マラソン	群馬	榛名湖マラソン	山梨	富士山マラソン
	旭川ハーフマラソン		伊勢崎シティマラソン	長野	上田古戦場ハーフマラソン
	札幌マラソン	上尾シティマラソン・上尾シティハーフマラソン	三重	中日三重伊勢さんマラソン	
日刊スポーツ豊平川マラソン	ふかやシティハーフマラソン	みえ松阪マラソン			
岩手	一関国際ハーフマラソン大会	小江戸川越ハーフマラソン	京都	舞鶴赤れんがハーフマラソン	
	イーハートブ花巻ハーフマラソン大会	青梅マラソン		福知山マラソン	
	宮古サーモン・ハーフマラソン大会	板橋 City マラソン	大阪	大阪マラソン	
	遠野じんぎすかんマラソン	江東シーサイドマラソン大会	兵庫	神戸マラソン	
宮城	いわて奥州きらめきマラソン	世田谷246ハーフマラソン	和歌山	和歌山ジャズマラソン	
	仙台国際ハーフマラソン大会	立川シティハーフマラソン	島根	萩・石見空港マラソン全国大会	
秋田	東北・みやぎ復興マラソン	足立フレンドリーマラソン	岡山	おかやまマラソン	
	田沢湖マラソン	MINATO シティハーフマラソン	広島	ヒロシマ MIKAN マラソン	
山形	山田記念ロードレース大会	新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン	山口	防府読売マラソン大会	
	高島ロードレース	ハイテクハーフマラソン		下関海響マラソン	
福島	白鷹若鮎マラソン大会	かつしかふれあい RUN フェスタ	徳島	とくしまマラソン	
	円谷幸吉メモリアルマラソン大会	柏崎マラソン	香川	香川丸亀国際ハーフマラソン大会	
茨城	つくばマラソン	新潟マラソン	高知	高知龍馬マラソン	
	水戸黄門漫遊マラソン	新潟県マラソン選手権大会・しばた女子マラソン競走大会	福岡	ゆくはしシーサイドハーフマラソン	
栃木	かずみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン	白根ハーフマラソン	佐賀	さが桜マラソン	
	坂東市将門ハーフマラソン	カーター記念黒部名水マラソン	大分	仏の里くにさき・とみくじマラソン大会	
群馬	ぐんまマラソン	富山マラソン	宮崎	延岡西日本マラソン	
	前橋・渋川シティマラソン	魚津しんきろうマラソン	鹿児島	鹿児島マラソン	
		石川	金沢百万石ハーフマラソン	鹿児島	出水ツルマラソン
			金沢マラソン	沖縄	おきなわマラソン



# 車いすマラソン選手紹介 WHEELCHAIR ATHLETES

車いすエリートレース展望

Preview of Wheelchair Elite Race 061

海外車いす招待選手 男子

International Invited Wheelchair Athletes MEN 067

車いすエリート選手リスト

Wheelchair Elite Athletes List 063

国内車いす招待選手 男子

Japanese Invited Wheelchair Athletes MEN 068

車いすエリートレース募集要項

Wheelchair Elite Race Information 064

海外車いす招待選手 女子

International Invited Wheelchair Athletes WOMEN 071

車いすレース競技規則

Wheelchair Competition Rules 065

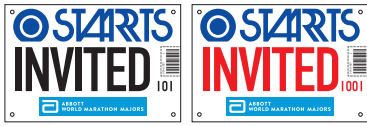
国内車いす招待選手 女子

Japanese Invited Wheelchair Athletes WOMEN 074

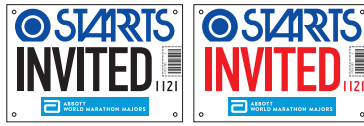


## ■ 車いすマラソン Wheelchair Marathon

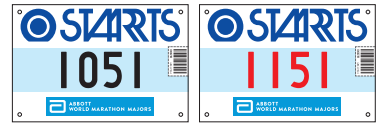
車いす招待選手  
Invited Wheelchair Athletes



車いすエリート競技者  
Elite Wheelchair Athletes



車いす一般  
General Wheelchair Participants



ヘルメット用  
For Helmet

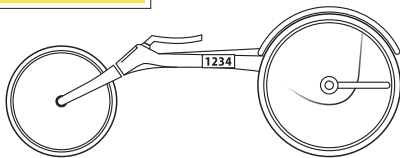


## ■ 車いす10.7km Wheelchair 10.7km

車いす  
Wheelchair



ヘルメット用  
For Helmet



アスリートビブスはレーサー後部、ヘルメット後方、レーサーフレーム左右に着用。  
Bibs are to be displayed on the front of the helmet, both sides of the frame, and one on the back.

# 東京マラソン2023 車いすエリートレース展望

WHEELCHAIR ATHLETES

Preview of Wheelchair Elite Race

車いすレースディレクター **副島正純**  
Wheelchair Race Director **SOEJIMA, Masazumi**



As of January 26, 2023

今年の東京マラソンはアボット・ワールドマラソンメジャーズ(AbbottWMM)シリーズXVの初戦となります。車いすエリートレースには、男女とも昨季のシリーズXIVのランキング上位者から招聘しました。選手にはシリーズポイント獲得も目指し、ハイレベルな好レースを期待しています。

AbbottWMMシリーズに車いすレースが加えられたのは2016-17年期のシリーズXからですが、昨季(シリーズXIV)中の2022年9月30日に、賞金制度の変更が発表されました。1位から3位までだった表彰対象が1位から5位までに拡大され、しかも車いすレースの賞金額がエリートレースと同額になりました。(参考: 1位 \$50,000、2位 \$25,000、3位 \$12,500、4位 \$7,500、5位 \$5,000)

車いす選手にとって金額だけでなく、やはり自分たちの競技が認知されたという喜びが大きく、勝利へのモチベーションもより高まる変更であり、本当に嬉しいと思います。選手たちにもぜひ、ハイレベルな走りを見せてほしいと思います。

では、まず、男子のレースから展望します。招待選手はシリーズXIVのチャンピオンでもあるマルセル・フグ(スイス)をはじめ、7名(海外4名、国内3名)ですが、レースのポイントは「とにかくフグを逃がさないこと」に尽きます。

最近のフグは圧倒的な強さで、AbbottWMMシリーズをはじめ、多くのレースで勝利を重ねています。他の選手もフグに対応しようと研究し努力してはいるものの、最近では2位のフィニッシュタイムが4〜6分ほど差が開いてしまうレースも見られます。

例えば、東京マラソン2021ではフグが昨大会は1時間22分16秒で優勝しましたが、2位の鈴木朋樹は1時間29分12秒でした。トップ選手同士のレースで約7分差はかなり大きく、厳しい結果ですが、それほど最近のフグは完璧な強さで、弱点が見えません。

以前のフグはスタートからスピードをあげ、そのまま逃げていくレースが多かったのですが、最近ではスタートではそれほどダッシュせず、序盤は他の選手の様子を横から見ながら、焦る様子も見せず、そのうちにリードし引き離していくレースをしています。上りも強く、以前は下りでレーサー(競技用車いす)があまり転がっていない印象がありましたが、今は下りも速いです。

車いすレースでは年齢的に30代後半から40代すぎの選手がトップ集団にいることも多く、現在37歳のフグもいるような経験を積んで精神的にも安定しフィジカルも充実し、今は思い通りに走れている状況ではないでしょうか。そんな車いすレース界のトップランナー、フグのスピードや強さを間近に体感できることは見どころの一つでしょう。

そんなフグに、他の選手がどう対応するか。注目は前半10km 辺りまでのレース展開です。東京マラソンのコースは序盤が比較的下り調でスピードに乗りやすく、とくに5km地点辺りの大きな下りでぐっと加速できます。前半の走りが後半まで影響し、そのまま展開するレースが多いので、とにかく早い段階でフグを逃がさないようにしなければなりません。

できるだけ多くの選手が食らいついて集団をつくり、序盤のスピードを落とさないように皆でローテーション\*1をしなが、フグに余裕を持たせないレース展開に持ち込みたいところです。

そうした展開の後押しに少しでもなればと、昨年は13km地点に設定した「400mスプリントボーナス\*2」区間を、今年は10km地点の通過タイムへ変更し、勝負ポイントを早めに設定しました。レースはフグを軸に展開すると思いますが、他の選手たちにもフグと絡みながら、ボーナスポイント獲得にも挑戦してもらいたいと思います。

\*1 先頭を交代しながら、高速を維持する集団での走法

\*2 設定区間400mのタイムトライアルで、1位の選手はボーナスポイント8点を獲得できる

This year's Tokyo Marathon will be the first race of Abbott World Marathon Majors Series XV. Competitors for the wheelchair elite athlete race have been chosen from top-ranking finishers, both men and women, in last season's Series XIV. Athletes will be striving to earn series points, and I look forward to seeing some high level racing.

Wheelchair racing became part of the AbbottWMM Series in the 2016-17 Series X, but last season (Series XIV), changes were made to the prize system on September 30, 2022. Initially, prizes were awarded to finishers in 1st to 3rd place, but this has been expanded to be from 1st to 5th place, and the prize money for the wheelchair race has been increased to the same level as the elite athlete race. (Ref: 1st place: \$50,000, 2nd place: \$25,000, 3rd place: \$12,500, 4th place: \$7,500, 5th place: \$5,000)

For wheelchair athletes, a lot of the joy of racing comes not only from the prize money, but also from having wheelchair racing recognized as a sport. These changes further motivate competitors to strive for victory, and I'm very happy that they were made. I hope the athletes demonstrate a high level of racing during the marathon.

Let's look at the outlook for the men's race. There will be seven invitees (four from overseas and three from Japan), including Marcel Hug (Switzerland), champion of Series XIV. The key to the race will be nothing less than "don't let Hug get away!"

Hug has performed exceptionally well recently, taking victories not only in the AbbottWMM Series but in many other races as well. Other athletes have been studying him closely to figure out how to compete, but recently he's pulled far ahead, with second place finishers lagging 4 to 6 minutes behind him.

For example, in last year's Tokyo Marathon, Hug took first place, finishing in 1:22:15, while second place finisher Tomoki Suzuki took 1:29:11. A roughly seven minute gap between top athletes is quite large, and shows how incredibly strong Hug has been recently, with no apparent weaknesses.

In the past, Hug sped right from the start, leaving other competitors behind for the whole race. However, in recent races he hasn't made such a dash at the start, but instead stays abreast with other athletes, bidding his time, and then takes the lead and pulls away from the pack. He's good at uphill sections, and in the past he didn't make much of an impression for speeding downhill in his racer (racing wheelchair), but now his downhill speed is also high.

In wheelchair races, top competitors are often in their late 30s or early 40s. Hug, who is now 37, has a great deal of experience, has steady nerves, and is in great physical shape, so he's probably racing just how he wants. One of the highlights of the marathon will be the up-close view it provides of Hug, one of the top competitors in the world of wheelchair racing, giving spectators a great view of his speed and power.

How will other competitors compete with Hug? The key will be in what happens by around the 10 km mark in the first half of the race. The start of the Tokyo Marathon course is a gentle downhill slope where it's easy to build up speed. At around the 5 km mark, in particular, there's a steep downhill area where competitors can accelerate. The pace from the first half of the race affects the second half, and in many races, the second half is a continuation of the dynamics of the first half. Athletes will need to make sure not to let Hug get away in the early stages of the race.

The other competitors will want to create as large a group as possible, establishing a rotation\*1 which keeps the pace fast at the start of the race and which keeps constant pressure on Hug.

To promote that kind of approach, the 400 meter sprint bonus\*2 area, which last year was placed near the 13 km point, has been changed and moved up to a point bonus for the time taken to reach the 10 km point. I expect that Hug will be the linchpin of the race, but I hope the other athletes also strive to get those bonus points while racing against Hug.

(\*1: a racing method in which a group is formed, with different athletes taking the lead in turn, while maintaining a high speed)

(\*2: A 400 m time trial over a specified section of the course, with the 1st place competitor being given 8 bonus points)



海外選手でフグとの競り合いが期待できる一人はダニエル・ロマンチュク(アメリカ)です。24歳と若く、長いリーチを生かしたバワフルな走りが特徴で、とくに上り坂に強さがあります。また、ジョンボーイ・スミス(イギリス)もトータル的な力があり、集団をつくってローテーションをうまく回せる選手です。ジェーク・ラビン(オーストラリア)はもともとトラックの選手でスプリント力がありますが、マラソンでは未知数な分、どんなレースを見せてくれるか楽しみです。

対する日本勢ですが、アジア記録(1時間18分37秒)保持者の鈴木が筆頭です。800mをメインとしているのでスプリント力には定評がある分、後半のスタミナに多少不安もありますが、マラソンに向けた長距離の練習したいでは十分に戦える力はあると思います。

西田宗城(バカラバシフィック)は総合力があり、長距離レースを主戦としています。昨夏、腕を故障した影響でしばらくレースを休んでいましたが、3月に向けてどんな調整してくれているか。スタミナはあるので前半から挑んでフグと競り合い、後半まで食らいつくレースを期待します。

渡辺勝(凸版印刷)も楽しみです。東京マラソン2017大会でフグや鈴木も絡んだフィニッシュスプリントを制して初優勝していますが、昨季は積極的にレースに出場し、連戦による経験の蓄積でさらに力を伸ばしています。スタートダッシュ力もあるので最後までトップ集団の中で粘り、フィニッシュスプリントまで絡んでくれると、面白いレースになると思います。

とにかく、前半でフグを逃がさずに集団でレースを展開してペースを維持できれば、好タイムも期待できそうです。最終的には昨年のフグの優勝タイム、1時間22分台よりも速い21分台前半から、できれば20分台後半くらいのタイムを狙ってほしいところです。

### ■女子は集団走で、好タイムを期待

女子の招待選手は7名(海外5名、国内2名)です。ここ最近のレースタイムを見ても大差がなく、実力が拮抗した選手たちなので、レースは集団で展開すると思います。皆でうまくローテーションして、タイムを狙っていく展開を期待しています。

注目選手の一人は現世界記録(1時間35分42秒)保持者の、マヌエラ・シャー(スイス)です。昨春、脚を骨折して手術をしましたが、リハビリを経て秋のマラソンシーズンから復帰。AbbottWMMのベルリンマラソンやニューヨーク・シティマラソンに出場するなど徐々に調子を取り戻しているようです。冬季トレーニングでどう3月の東京マラソンに合わせられるか楽しみです。

アメリカのスザンナ・スカロニも昨年は安定した強さを発揮し、シリーズXIVの女子チャンピオンに輝いています。勢いを維持しているのも、いいレースになりそうです。

こうした海外の強豪選手に対して、日本勢の喜納翼(琉球スポーツサポート)、土田和歌子(ウィルレイズ)がどう絡むかが楽しみです。昨年は日本選手2名のみでの出場、序盤は喜納と土田が競り合いましたが、15kmすぎから日本記録(1時間35分50秒)保持者の喜納がリードを広げ、最終的にひとりレースをつくって1時間40分台をマークし2連覇を達成しました。

土田はトライアスロンとの二刀流で出場した東京パラリンピック後に、「マラソン専念」を発表し、昨年11月の大分国際車いすマラソンでは終盤までスカロニ、喜納と競り合い、フィニッシュスプリントを制して9年ぶりに7度目の優勝を飾るなどマラソンランナーとしての力を戻してきています。

女子のレースは誰か一人が逃げる展開はあまりないと思うので、有力選手がうまく集団をつくってローテーションし、最後まで競り合うことで好タイムを期待します。天候にもよりますが、1時間37分台くらいまで上がる速いレースになってくれればと思います。

男女とも世界トップレベルの車いすランナーが顔をそろえる東京マラソン2023ではAbbottWMMシリーズXVの最初の勝者が決まります。下り坂では時速50km以上にも達するスピード感やコーナーリングのテクニックなど、車いすレースならではの醍醐味もぜひ、お楽しみください!

Daniel Romanchuk (U.S.A.) is one of the overseas athletes who I'm looking forward to seeing compete against Hug. He's young, just 24 years old, and races with power, leveraging his long reach. He's especially good at uphill stretches. Johnboy Smith (U.K.) is also a well-balanced, powerful athlete, and he excels at creating a group and running a rotation. Jake Lappin (Australia) was originally a track runner, with great sprinting ability. He's a marathon wildcard, so I'm excited to see what kind of racing he'll do.

Suzuki, who holds the Asian record (1:18:37) will be the leading racer of the Japanese contingent. He is primarily an 800 m racer, so he has a solid reputation for sprint power, but there are concerns about his stamina during the second half. I think with enough long-distance practice for the marathon, he'll be a force to be reckoned with.

Hiroki Nishida (Baccarat Pacific) is an all-around athlete that primarily focuses on long-distance racing. He injured his arm last summer and took a temporary break from racing.

Let's see what he's been doing to get ready for March. Nishida has a lot of stamina, so I look forward to seeing him take on Hug from the first half of the race and keep bearing down on him to the end.

I'm also looking forward to watching Sho Watanabe (Toppan). In Tokyo Marathon 2017, he raced against Hug and Suzuki, and claimed his first victory after a finish sprint, and last year he actively took part in races, building up his competition experience and further extending his abilities. He also does well in the starting dash, so if he sticks with the top pack until the very end and then is part of the sprint for the finish line, it's going to turn into a very interesting race.

If the Japanese racers don't lose Hug in the first half, and they keep their paces up by racing in a pack, they have strong chances of posting good times. I'm hoping that they'll be aiming to beat the winning time of Hug from last year, dropping under 1:22 to finish in the lower half of the 21 minute range, or, if possible, in the upper half of the 1:20 range.

### ■ Hopes are high for female athletes to race in a pack and post strong times

There will be seven women invitees (five from overseas and two from Japan). Recent race times have been very close among female athletes, and competitors have been close contenders, so I think they'll be racing in a pack. I look forward to them engaging in a skillful rotation as they aim for better finishing times.

One of the racers to keep an eye on is Manuela Schär (Switzerland), the current world record holder (1:35:42). Last spring, she broke her leg and underwent surgery, but she went through rehabilitation and made her comeback from the fall marathon season. She appears to be gradually regaining her stride, having competed in the AbbottWMM Berlin Marathon and the New York City Marathon. I'm excited to see how her winter training has prepared her for the Tokyo Marathon in March.

American athlete Susannah Scaroni also demonstrated steady power last year, becoming women's champion in Series XIV. She's kept up that momentum, so it promises to be a good race.

I'm looking forward to watching how these powerful overseas racers are taken on by Japanese athletes Tsubasa Kina (Ryukyuu Sports Support) and Wakako Tsuchida (Will Raise). Last year, only two Japanese athletes competed. Kina and Tsuchida vied against each other during the early stages of the race, but from around the 15 km mark, Kina, the Japanese record holder (1:35:50) extended her lead, ultimately turning it into a one-woman race with a finishing time of just over 1:40. This marked her second consecutive victory.

Tsuchida is a dual-sport athlete, competing in the Tokyo Paralympics in the triathlon category as well as the marathon, but following the Paralympics she declared that she was going to dedicate herself to marathons. In last November's Oita International Wheelchair Marathon, she stayed neck-and-neck with Scaroni and Kina until the end of the race, and then pulled ahead in the finishing sprint to claim her seventh victory, the first in nine years.

It's clear that she has returned to form as a marathon competitor.

I don't think there will be any breakaway competitors in the women's race, so I expect that top racers will create a pack and use a rotation, keeping the pressure on each other to the end and posting strong times. While the results will depend on the weather, I hope that the pace stays up and that the finishing times are on the 1:37 level.

Tokyo Marathon 2023 will bring together the world's top male and female wheelchair racers, and it will decide the first winners of AbbottWMM Series XV. The unique thrills of wheelchair racing, like the sense of speed as racers top speeds of 50 km/h on downhill segments or seeing the techniques used in cornering, will make this marathon a blast!

# 車いすエリート選手リスト—男子・女子

## WHEELCHAIR ATHLETES

### 車いすエリート選手 (男子) Elite Wheelchair Athletes (Men)

No.	氏名	Name	国/地域 Nation / Region	国/クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格記録 QT	自己記録 PB
1001	マルセル・フグ	HUG, Marcel	SUI	スイス	37	1:17:47	2021 大分国際車いす 1:17:47(WR)
1002	ダニエル・ロマンチュク	ROMANCHUK, Daniel	USA	アメリカ	24	1:21:36*	2019 ボストン 1:21:36*
1003	ジョンボーイ・スミス	SMITH, Johnboy	GBR	イギリス	33	1:31:05	2022 東京2021 1:31:05
1004	ジェーク・ラピン	LAPPIN, Jake	AUS	オーストラリア	31	1:32:50	2022 ベルリン 1:32:50
1005	鈴木 朋樹	SUZUKI, Tomoki	埼玉	トヨタ自動車	28	1:24:44	2022 大分国際車いす 1:18:37(NR)
1006	渡辺 勝	WATANABE, Sho	福岡	凸版印刷	31	1:29:28	2022 大分国際車いす 1:24:00
1007	西田 宗城	NISHIDA, Hiroki	大阪	バカラパシフィック	38	1:29:55	2022 東京2021 1:20:28*
1101	洞ノ上 浩太	HOKINOUE, Kota	福岡	ヤフー	48	1:26:48	2022 大分国際車いす 1:20:14
1102	副島 正純	SOEJIMA, Masazumi	長崎	ソシオSOEJIMA	52	1:29:23	2021 大分国際車いす 1:18:50
1103	吉田 高志	YOSHIDA, Takashi	大阪	奥アンツーカー	44	1:29:42	2022 大分国際車いす 1:24:04
1104	吉田 竜太	YOSHIDA, Ryota	東京	SUS	41	1:30:07	2022 東京2021 1:23:18
1105	樋口 政幸	HIGUCHI, Masayuki	千葉	ブーマージャパン	44	1:31:02	2020 東京 1:22:02
1106	廣道 純	HIROMICHI, Jun	福岡	EY Japan	49	1:33:12	2022 グランマーズ 1:03:23
1107	大津 圭介	OTSU, Keisuke	福岡	福岡県庁	55	1:36:05	2019 大分国際車いす 1:37:27
1108	松永 仁志	MATSUNAGA, Hitoshi	岡山	WORLD-AC	50	1:36:27	2022 大分国際車いす 1:37:02
1109	河室 隆一	KAWAMURO, Ryuichi	大分	ホンダアスリート	49	1:36:43	2022 東京2021 1:29:35
1110	武村 浩生	TAKEMURA, KOKI	福岡	ヤフー	35	1:37:27	2022 大分国際車いす 1:28:41
1111	佐藤 健	SATO, Ken	埼玉	コロンビアスポーツウェアジャパン	39	1:37:30	2022 大分国際車いす 1:37:30
1112	安岡 チョーク	YASUOKA, Choke	東京	リーフラス	50	1:43:28	2022 東京2021 1:22:17
1113	マーク・ミラー	MILLAR, Mark	IRL	アイルランド	42	1:44:37	2021 ロンドン 1:44:37

### 車いすエリート選手 (女子) Elite Wheelchair Athletes (Women)

No.	氏名	Name	国/地域 Nation / Region	国/クラブ名 Nation / Team	年齢 Age	出場資格記録 QT	自己記録 PB
2001	スザンナ・スカロニ	SCARONI, Susannah	USA	アメリカ	31	1:36:26	2019 大分国際車いす 1:33:17*
2002	マニユエラ・シャー	SCHÄR, Manuela	SUI	スイス	38	1:35:42(WR)	2019 大分国際車いす 1:28:17*
2003	マディソン・テロザリオ	DE ROZARIO, Madison	AUS	オーストラリア	29	1:43:43	2022 ベルリン 1:39:22
2004	ジェナ・フェスマイヤー	FESEMAYER, Jenna	USA	アメリカ	26	1:49:52	2022 シカゴ 1:49:52
2005	クリスティ・ドーズ	DAWES, Christie	AUS	オーストラリア	42	1:47:27	2022 ゴールドコースト 1:37:14*
2006	喜納 翼	KINA, Tsubasa	沖縄	琉球スポーツサポート	32	1:38:11	2022 大分国際車いす 1:35:50(NR)
2007	土田 和歌子	TSUCHIDA, Wakako	東京	ウィルレイズ	48	1:37:59	2022 大分国際車いす 1:34:06*

\*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。

\*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

# 車いすエリートレース募集要項

WHEELCHAIR ATHLETES

Wheelchair Elite Race Information

※大会名称などその他の情報▶ P6-7

特別協賛	東京地下鉄株式会社
日程	2023年3月5日(日) 9:05 スタート
コース	東京マラソンコース(日本陸上競技連盟・ワールドアスレティックス / AIMS公認コース) 東京都庁～水道橋～上野広小路～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～田町～日比谷～東京駅前・幸手通り
参加資格	(1) 次の①・②・③の条件を満たす競技者 ①大会当日(2023年3月5日)現在満19歳以上の者 ②2022年度日本パラ陸上競技連盟登録競技者かつ2023年 International Paralympic Committee 登録を大会当日までに完了した者で、World Para Athletics 国際クラスT53・T54 でクラスステイタスR (2023以降) または C を保持している者 ③ World Para Athletics 公認大会で、2019年3月1日以降申込期日までに男子1時間50分以内、女子2時間00分以内の公認記録を有する者 (2)主催者または日本パラ陸上競技連盟が推薦し招待する海外・国内の競技者
対象クラス	T53/T54 (World Para Athletics 国際クラスに準ずる。なお、今大会ではクラス分けは行わない。)
競技規則	World Para Athletics 競技規則(大会開催日に適用される最新の World Para Athletics 競技規則)及び本大会規定による。なお、World Para Athletics の規則により、ドーピング検査を実施する。また、参加する全ての選手に World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程が適用される。
定員	男女計30人(招待選手含む)
参加費	23,300円 ※参加料、事前検査費用、参加費等返金保険料、事務手数料、消費税込み。 ※新型コロナウイルス感染症対策として実施予定の事前検査について、今後感染症法上の取り扱い変更等により、検査を実施しないこととなった場合には、参加費の一部を返金します。
参加申込	(1)期間 2022年12月9日(金)から2023年1月6日(金)17:00 必着 (2)方法 氏名、フリガナ、生年月日、所属名を記載し「車いすエリート参加希望」というタイトルで TM_Elite@tokyo42195.org へ電子メールにより連絡すること。追ってエントリーフォームを返信する。
出場者決定表	2023年1月23日(月)以降、通知する。 「東京マラソン2023 車いすマラソン」の総合成績で男女第1位から第8位を表彰する。
賞金	1位 2,000,000円、2位 1,000,000円、3位 700,000円、4位 350,000円、5位 250,000円、 6位 160,000円、7位 120,000円、8位 60,000円 世界記録 1,000,000円(男女1位のみ) 日本記録 500,000円(男女国内1位のみ) 大会記録 200,000円(男女1位のみ) 大会記録更新スプリットタイムボーナス(男女) 1位 150,000円 2位 100,000円 3位 50,000円 ※賞金対象は、World Para Athletics 登録者で、国際クラス(T53・T54)を保持している者。 ※金額はいずれも税込み。
選手受付	2023年3月4日(土)13:00～16:30 京王プラザホテル(大会当日は、受付を行わない。) ※選手受付時間は午前中(予定)に行うので注意すること。 ※エリート選手は大会前のドーピング検査の対象となる場合があることから、受付は選手本人が行うこと。
テクニカルミーティング	2023年3月4日(土)午後 実施方法を含め、別途参加案内にて通知予定。
個人情報の取り扱いについて	主催者及び日本パラ陸上競技連盟は個人情報の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し、主催者の個人情報保護方針に基づき、個人情報を取り扱う。大会参加者へのサービス向上を目的とし、参加案内、記録通知、関連情報の通知、医療救護、次回大会の案内、大会協賛・協力・関係各団体からのサービス提供、記録発表(ランキング等)に利用する。また、主催者および日本パラ陸上競技連盟もしくは委託先からの申込内容に関する確認連絡をすることがある。
その他	(1)本大会は、ジャパンマラソンチャンピオンシップシリーズ 男女グレード1の大会として実施する。 (2)参加にあたっては、本大会要項並びに各種規約(「エントリー規約」及び「感染症予防対策等に関する規約」等)を確認のこと。(https://www.marathon.tokyo/participants/guideline/) (3)日本政府が示すイベントに関する制限緩和等により、大会要項・各規約等を変更する場合がある。 (4)本大会は国内の関連するすべての法令を遵守し実施する。 (5)大会出場中の映像・写真、記事、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権は主催者に属するものとする。 (6)賞金の支払い方法等は、別途定める支払規定による。

# 車いすレース競技規則

## WHEELCHAIR ATHLETES

1	本大会は、World Para Athletics 競技規則（大会開催日に適用となる最新の World Para Athletics 競技規則）及び大会規定により実施する。												
2	全ての選手は、衣類及び車いすについて、World Para Athletics 競技規則の広告に関する規程を遵守しなければならない。												
3	競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。												
4	本大会では、性別の異なる選手の背後を 5 m 以内の距離で追走する行為（ドラフティング）を禁止する。また、エンジンのついた車両あるいは自転車の後ろを走行しドラフティングすることも禁止する。												
5	競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。												
6	競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準を満たしていなければならない。												
7	競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。競技役員以外の者から助力を受けた場合は、失格とすることがある。												
8	競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。												
9	競技者は、走行中、医師及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。												
10	競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。												
11	競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようにしなければならない。												
12	クラスについては、別紙の国際クラス分け表による。												
13	本大会では、ドーピング検査を実施する。												
14	<p>関門の制限時間を次のとおり設ける。</p> <table border="0"> <tr> <td>4. 9km 地点</td> <td>20分00秒</td> </tr> <tr> <td>9. 5km 地点</td> <td>35分00秒</td> </tr> <tr> <td>10. 7km 地点</td> <td>40分00秒※</td> </tr> <tr> <td>21. 0km 地点</td> <td>1時間05分00秒</td> </tr> <tr> <td>29. 2km 地点</td> <td>1時間35分00秒</td> </tr> <tr> <td>フィニッシュ地点</td> <td>2時間10分00秒</td> </tr> </table> <p>※ 9.5kmは、車いす10kmレース制限時間。車いすマラソンもこの時間を超過してレース続行はできない。</p>	4. 9km 地点	20分00秒	9. 5km 地点	35分00秒	10. 7km 地点	40分00秒※	21. 0km 地点	1時間05分00秒	29. 2km 地点	1時間35分00秒	フィニッシュ地点	2時間10分00秒
4. 9km 地点	20分00秒												
9. 5km 地点	35分00秒												
10. 7km 地点	40分00秒※												
21. 0km 地点	1時間05分00秒												
29. 2km 地点	1時間35分00秒												
フィニッシュ地点	2時間10分00秒												
15	<p>給水所を次の通り設ける。</p> <p>5km、7km、10km、12km、15km、17km、20km、22km、25km、27km、30km、32km、35km、38km、40km地点付近</p> <p>※ 詳細は、オフィシャルプログラムに記載する。</p>												
16	<p>車いすについては、次のとおりとする。</p> <p>(1) 車いすは2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。</p> <p>(2) 車いすのフレームまたはその他付属品の一部は、前輪のハブを超えて前方に伸びたり、後輪（タイヤを含む）の最後の垂直面を越えて後方に伸びてはならない。さらに、フレームの幅とその取り付け部分はプッシュリムの傾斜面よりも広くしてはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは 50cm 以内とする。</p> <p>(3) 後輪、前輪の最大直径は空気を充填したタイヤを含めて、後輪 70cm・前輪 50cm 以下とする。</p> <p>(4) 各大輪には特殊仕様ではない円形のプッシュリムを1つずつ付けることができる。</p> <p>(5) 一般的な主旨に反する改造を禁じ、競技者のいかなる身体の一部がプッシュリムや車輪に縛り付けられてはならない。</p> <p>(6) 電動車いすおよび車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーを取り付けた車いすを使用してはならない。</p> <p>(7) ミラーの使用を禁止する。</p> <p>(8) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認められる。競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。</p> <p>(9) フェアリング等の使用または空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。</p> <p>(10) 車いすは招集所で測定・検査され、検査された車いすは競技開始前に競技区域外に持ち出してはならない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。</p> <p>(11) 前述に限らず、競技規則を満たす車いすの準備は競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。</p> <p>(12) 車いすのフレームまたは競技者に取り付けられる装置は、規則 7.4d（助力）に準拠し、競技者に不当なアドバンテージを提供する物理的または技術的な動作または行動、そして競技エリア内にて通信機能があるデバイスの使用を禁じる。GPS 機能の付いたスピードメーターは意思疎通機能がなければ持ち込んでよい。</p>												

### 国際クラス分け表

T53	このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋または下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がないため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル T1-7 と同等の活動制限がある。
T54	このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。車いす上で身体を起き上がり、回転する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル T8-S4 レベルと同等の活動制限がある。

(※) 上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照ください。  
<https://para-ath.org/contents/code/committee/committee3>



<b>1</b>	This event will be held in compliance with the most up to date World Para Athletics Rules and Regulations.												
<b>2</b>	All participating athletes must follow the World Para Athletics Rules and Regulations, such as, rules regarding advertising and displays on clothes and wheelchairs during competition.												
<b>3</b>	Athlete must follow the designated lanes in the course from start to finish.												
<b>4</b>	Drafting behind an athlete from another Sports Class or sex is prohibited. Drafting behind motorized vehicles or bicycle is also prohibited.												
<b>5</b>	Any athletes who intentionally interfere with, or touch other athletes during the race will be disqualified.												
<b>6</b>	The wearing of helmets is compulsory in all track and road wheelchair races. The helmet shall be a hard-protective shell that has a recognized international safety standard.												
<b>7</b>	Only the race officials are permitted to assist an athlete in case of crash or tumble during the race. Athlete will be disqualified if he/she is assisted in any manner influential to the better result.												
<b>8</b>	Only the race officials are allowed to assist the repair of wheels and wheelchairs during the race.												
<b>9</b>	An athlete shall retire at once from an event if ordered to do so by the medical delegate/doctor or the race officials.												
<b>10</b>	Athlete must obey the orders of the race officials and police officers.												
<b>11</b>	The lower extremities (legs and feet), or any relevant prosthesis, are not permitted to touch the ground.												
<b>12</b>	Classification shall be according to the World Para Athletics Classification Rules and Regulations.												
<b>13</b>	Doping control applies.												
<b>14</b>	Athlete must reach the following checkpoints within the given time: <table border="0"> <tr> <td>4.9km checkpoint</td> <td>20 min 00 sec</td> </tr> <tr> <td>9.5km checkpoint</td> <td>35 min 00 sec</td> </tr> <tr> <td>10.7km checkpoint</td> <td>40 min 00 sec*</td> </tr> <tr> <td>21.0km checkpoint</td> <td>1 hour 05 min 00 sec</td> </tr> <tr> <td>29.2km checkpoint</td> <td>1 hour 35 min 00 sec</td> </tr> <tr> <td>Finish</td> <td>2 hour 10 min 00 sec</td> </tr> </table> *10.7km checkpoint applies to both marathon and 10km event.	4.9km checkpoint	20 min 00 sec	9.5km checkpoint	35 min 00 sec	10.7km checkpoint	40 min 00 sec*	21.0km checkpoint	1 hour 05 min 00 sec	29.2km checkpoint	1 hour 35 min 00 sec	Finish	2 hour 10 min 00 sec
4.9km checkpoint	20 min 00 sec												
9.5km checkpoint	35 min 00 sec												
10.7km checkpoint	40 min 00 sec*												
21.0km checkpoint	1 hour 05 min 00 sec												
29.2km checkpoint	1 hour 35 min 00 sec												
Finish	2 hour 10 min 00 sec												
<b>15</b>	Fluid aid stations will be provided in the vicinity of following distance: 5km, 7km, 10km, 12km, 15km, 17km, 20km, 22km, 25km, 27km, 30km, 32km, 35km, 38km, 40km.												
<b>16</b>	Wheelchair requirement are as follows: (1) At all World Para Athletics recognized competitions, the wheelchair shall have two (2) large rear wheels and one (1) small front wheel. (2) No part of the frame of wheelchair, or nay attachments to it, shall extend forward beyond the hub of the front wheel nor backwards beyond therearmost vertical lane of the rear wheels (including tyres). Additionally, the width of the frame, and any of its attachments, shall not be wider than the inclined plane of the pushing rims. (3) The maximum height from the ground to the bottom of the wheelchair frame shall be 50cm. (4) Only one plain, round, push-rim is allowed for each large wheel. (5) No modification that would defeat the general intent is not allowed, nor no part of the athlete's body shall be strapped to the push-rim or to the wheel. (6) No mechanical gears or levers are allowed for the purpose of propelling the wheelchair. (7) The use of mirrors is not permitted. (8) Athlete must be able to turn the front wheel manually left and right for steering purposes. Only hand operated mechanical steering devices are allowed. (9) The use of fairing or similar devices for the purpose of improving aerodynamic performance is not permitted. (10) Wheelchair will be measured and inspected in the Call Room and once inspected shall not be taken from the competition area before the start of the event. Wheelchairs may be reexamined by the race officials before or after the event. (11) It is the responsibility of athletes to ensure that their wheelchair conforms to the requirements stipulated in the rules and regulation. No event shall be delayed while an athlete makes adjustments to their wheelchair. (12) Devices attached to the wheelchair or athlete shall comply with Rule 7.4d (assistance) in which heart rate, speed distance monitors, stride sensors, or similar devices carried or worn personally by athletes during an event is permitted, provided that such device cannot be used to communicate with any other persons.												

## CLASSIFICATION SYSTEM GOVERNING RULES

<b>T53</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>These athletes will have normal arm muscle power with no abdominal or lower spinal muscle activity. Use different techniques to compensate for lack of abdominal musculature including lying horizontal. In general when acceleration occurs, the trunk rises off the legs due to a lack of abdominal muscles to hold the trunk down; there is no active downward movement of the trunk to assist with propulsion. Usually have to interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T1-7</li> </ul>
<b>T54</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>These athletes will have normal arm muscle power with a range of trunk muscle power extending from partial trunk control to normal trunk control. Athletes who compete in this group may have significant leg muscle power. These athletes have reasonable to normal trunk control which allows them to hold their trunk down when the propulsion force is applied to the push rim. Usually do not interrupt the pushing cycle to adjust the compensator. Can shift direction of the wheelchair by sitting up and applying a trunk rotational force to the wheelchair. Equivalent activity limitation to athlete with complete spinal cord injury at neurological level T8-S4. Athletes competing in this class must meet one or more of the MDC presented in Section 2.1.4 (limb deficiency), 2.1.5 (impaired PROM) and 2.1.6 (impaired muscle power) or 2.1.7 (leglength difference).</li> </ul>

\* For further information, please refer to the following World Para Athletics website.  
<https://www.paralympic.org/athletics/classification/rules-and-regulations>

# 海外車いす招待選手 男子

## WHEELCHAIR ATHLETES

## Invited International Athletes - Men's Wheelchair Marathon

\*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。  
\*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

No.  
1001

### マルセル・フグ (スイス)

HUG, Marcel (SUI)



#### プロフィール / PROFILE

DOB : 16 Jan. 1986

AGE : 37

#### ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:17:47	大分国際 (Oita)	1	2021

圧倒的な速さと銀色のヘルメットから、「シルバーブレット(銀の弾丸)」の異名をもつマルセル・フグ。2022年のAbbottWMMシリーズXIVでは5勝を挙げ、自身4回目のシリーズ制覇を果たした。パラリンピックのマラソンでも2016年リオ、東京2020と連覇。21年秋の大分国際車いすマラソンでは1時間17分47秒の世界新記録も樹立した。押しも押されぬ「絶対王者」が今年の東京マラソンで2大会連続3回目の優勝を狙う。

先天性の二分脊椎症で生まれたフグは10歳から車いす陸上を始め、すぐに現コーチのポール・オダーマットに師事すると、ぐんぐん力を伸ばした。パラリンピックは2004年アテネ大会から5大会連続で出場し、トラック種目も含めて合計12個のメダルを獲得している。

2022年大分国際車いすマラソンで10度目の優勝を果たした際、好調の要因について、充実した練習や良好な体調、自ら開発にも関わるレーサー(競技用車いす)、周囲のサポートなどを挙げ、「さまざまな要素が絡み合っている」と話し、自信をうかがわれた。

Due to his overwhelming speed and his silver helmet, Marcel Hug is also known as the "Silver Bullet." In the 2022 Abbott World Marathon Majors XIV he won five races, taking his fourth Series win. He also claimed victories in the marathon at the Paralympics in Rio de Janeiro in 2016 and in Tokyo2020 (Which held in 2021). In the Oita International Wheelchair Marathon, held in the fall of 2021, he set a new world's record with a finishing time of 1:17:47. This soundly established, undisputed champion is aiming to claim his third overall victory and second consecutive victory at the Tokyo Marathon.

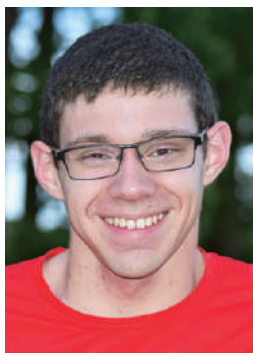
Hug was born with spina bifida and began competing in wheelchair races from the age of ten. He immediately started working with his current coach, Paul Odermatt, improving his speed by leaps and bounds. He has competed in all five Paralympics since the 2004 Athens Paralympics, and has won a total of 12 medals, including his medals in track events.

Upon winning his tenth marathon at the Oita International Wheelchair Marathon in 2022, he was asked what had enabled him to perform so well. Showing confidence in his abilities, he replied that it was thanks to a variety of factors, including his rich practice regimen, his good physical condition, his racer (racing wheelchair), which he had helped develop himself, and the support of those around him.

No.  
1002

### ダニエル・ロマンチュク (アメリカ)

ROMANCHUK, Daniel (USA)



#### プロフィール / PROFILE

DOB : 3 Aug. 1998

AGE : 24

#### ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:21:36*	ボストン (Boston)	1	2019

長いリーチを生かした大きく力強い漕ぎでグイグイと進むダニエル・ロマンチュク。2022年はボストンマラソンで優勝後、ベルリン、ロンドン、シカゴ、ニューヨークシティは準優勝と安定した結果を残し、AbbottWMMシリーズXIVでも2位に入った。その勢いのまま、2020年大会以来の出場となる東京マラソン2023で初優勝なるか注目される。

先天性の二分脊椎症で生まれたが、2歳から障がい者のスポーツクラブに入り、水泳や車いすバスケットボールなどさまざまなスポーツを楽しむ、最も上達が早かった陸上競技で世界への扉を開いた。世界選手権は2015年から、パラリンピックは2016年のリオ大会から連続出場し、トラック種目の100mから5000m、そしてマラソンと幅広く活躍している。

2018年にシカゴマラソンで自身初のAbbottWMM大会制覇を果たして以降、数々の大会で表彰台に上っている。2021年、東京パラリンピックではマラソンで銅メダル、400mでは金メダルを獲得するなど、スピードもスタミナも兼ね備えたランナーだ。

Daniel Romanchuk leverages his long reach to zoom forward with powerful pushing. After winning the Boston Marathon in 2022, he took 2nd place in the Berlin, London, Chicago, and New York City Marathons, performing steadily, and he also placed 2nd in Abbott World Marathon Majors Series XIV. This year will be his first year competing in the Tokyo Marathon since 2020, and fans are waiting with bated breath to see if his momentum will carry him through to another victory in 2023.

Daniel was born with spina bifida and joined a sports club for people with disabilities at the age of two. He enjoyed a wide variety of sports, such as swimming and wheelchair basketball, but the doors to the world opened for him for track and field, where he made especially fast advances. He has competed annually in the World Para Athletics Championships since 2015 and the Paralympic Games in Rio de Janeiro 2016. He races in a range of events, from the track 100 m and 5,000 m to the marathon.

After winning his first Abbott World Marathon Majors with the Chicago Marathon in 2018, he has taken a place on the podium in countless competitions. At the Tokyo2020 Paralympics in 2021, he won the bronze medal in the marathon and the gold medal in the 400 m. This athlete brings both speed and stamina to the course.

\*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。  
\*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

No.  
1003

ジョンボーイ・スミス (イギリス)

SMITH, Johnboy (GBR)



プロフィール / PROFILE

DOB : 27 Nov. 1989  
AGE : 33

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:31:05	東京マラソン (Tokyo)	6	2021

AbbottWMM シリーズ XIVは7位だったが、2022年はジョンボーイ・スミスにとって充実の年だったと言えるだろう。4月のボストンマラソンで3位、6月のグランマーズマラソン(アメリカ)では準優勝。7月には母国イギリスのパーミンガムで開かれたコモンウェルスゲームズのマラソンで金メダルを獲得している。

車いす陸上歴は10年以上になる。アマチュアボクサーとして活躍していた2006年、16歳だったスミスは友人との外出中に、密猟者と間違えた農夫に誤って撃たれる事故に遭い、脊髄を損傷して下半身不随に。最初はリハビリ中に出会った車いすボディビルディングやパワーリフティングで活躍するが、2012年、ロンドンパラリンピックに刺激を受けて陸上をはじめ、2015年に初マラソンに挑戦。徐々に力を伸ばし、2018年にはニューヨークシティやベルリンで表彰台に上る。2021年には東京パラリンピックに初出場し、マラソンで10位に入った。

東京マラソンには2021大会(2022年開催)に初出場し、6位入賞。2回目となる今年は昨季の勢いに乗り、表彰台を狙う。

Johnboy Smith may have placed 7th in Abbott World Marathon Majors Series XIV, but he must have considered 2022 a fulfilling year. He finished in 3rd place in the Boston Marathon in April and then took 2nd place in the Grandma's Marathon (USA) in June. In July, at the Commonwealth Games in Birmingham, held in his home country of the U.K., he won the marathon gold medal.

His wheelchair racing history extends over a decade. In 2006, 16-year old amateur boxer Johnboy Smith was out with a friend when he was mistaken for a poacher and shot by a farmer. The injury damaged his spine, leaving him paralyzed from the waist down. He first got into wheelchair bodybuilding and power-lifting, which he learned about during rehabilitation, but then, inspired by the London Paralympics in 2012, he began racing. His first marathon was in 2015. He has gradually improved his power, and in 2018 took the podium in both the New York City and Berlin Marathons. In 2021, he competed in the Tokyo2020 Paralympics for the first time in Tokyo, coming in 10th place in the marathon.

His first Tokyo Marathon was Tokyo Marathon 2021 (Which held in 2022), where he finished in 6th place. This year will be his second Tokyo Marathon, and he'll be riding the momentum he built up last season to try to clinch a podium position.

No.  
1004

ジェイク・ラピン (オーストラリア)

LAPPIN, Jake (AUS)



プロフィール / PROFILE

DOB : 11 Sep. 1992  
AGE : 30

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:32:50	ベルリン (Berlin)	7	2022

トラックの印象が強いが、ここ数年、マラソンでの実績も積んでいる選手で、東京マラソンは初出場になる。

先天的に腹部と脊椎、右脚に障がいがあったジェイク・ラピンは、母国のスター選手、カート・フェンリー(東京マラソン2016の優勝者)に憧れ、18歳だった2007年から車いす陸上を始めた。

2010年のコモンウェルスゲームズ(インド・デリー)で初のオーストラリア代表に選ばれて以来、トラック種目を中心に、パラリンピックや世界選手権などの国際大会で活躍している。パラリンピックは2012年ロンドンで初出場し、16年リオ大会と連続出場。2018年、母国開催のコモンウェルスゲームズ(クイーンズランド州ゴールドコースト)で1500mの銅メダル獲得に加え、初マラソンにも挑んで6位入賞を果たした。

東京パラリンピックの代表は逃したが、2022年のコモンウェルスゲームズ(イギリス)ではマラソンで5位と順位を上げ、ベルリンマラソンでも7位に入るなど力を伸ばしている。

When you think of Jake Lappin, track is the first thing that comes to mind, but over the past few years he has also built up his marathon track record. This will be his first Tokyo Marathon.

Born with abdominal and spinal issues, as well as weakness in his right leg, he idolized Kurt Fearnley (winner of Tokyo Marathon 2016), a star athlete and countrymate, so he began wheelchair racing in 2007, at the age of 18.

Since first representing Australia in the Commonwealth Games in 2010 (held in Delhi, India), he has competed in various international competitions such as the Paralympics and the World Para Athletics Championships. His first Paralympics were the 2012 Paralympics held in London, and he followed this up by competing in Rio de Janeiro in 2016. He won the bronze medal in the 1,500 m at the 2018 Commonwealth Games, held in his home country of Australia on the Gold Coast, Queensland. He also competed in his first marathon at the Commonwealth Games, finishing in 6th place.

Although he missed his chance to compete in the Tokyo Paralympics, in the 2022 Commonwealth Games (GBR) he moved steadily up, taking 5th place in the marathon, and in the Berlin Marathon he took 7th place, steadily increasing his skills.

# 国内車いす招待選手 男子

WHEELCHAIR ATHLETES

Invited Japanese Athletes- Men's Wheelchair Marathon

No.  
1005

鈴木 朋樹 (埼玉・トヨタ自動車)

SUZUKI, Tomoki (JPN)



## プロフィール / PROFILE

DOB : 14 Jun. 1994  
AGE : 28

## ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:18:37	大分国際 (Oita)	2	2021

トラック3種目とマソンの日本記録保持者の鈴木朋樹だが、2022年は悔しい1年だった。3月の東京マソン2021で2位、10月のロンドンマソンで4位と、AbbottWMMシリーズXIVとしても日本人最高の4位に入り、11月の大分国際車いすマソンでも準優勝した。だが、「打倒マルセル・フグ」はならなかったからだ。

大分のレース後、「何も通用しなかった」「フグに勝つにはすべてを一から作り直さないと」悔しがった。冬季練習を経た東京マソン2023でどんな走りを見せてくれるだろうか。

生後8か月での交通事故で脊髄を損傷。車いす陸上には小学5年生から本格的に取り組み、トラック種目で2015年から世界選手権に連続出場。マソンは2015年の東京マソンで初挑戦し2位とポテンシャルを示す。2021年には初出場の東京パラリンピックでユニバーサルリレーの銅メダル獲得に貢献。マソンでも7位入賞したが、「持久力不足を痛感」。走り込みを増やし、同年11月の大分国際車いすマソンで1時間18分37秒のアソア新記録をマークしている。

For Tomoki Suzuki, who holds Japanese records in three track events and the marathon, 2022 was a frustrating year. In March, he took 2nd place in Tokyo Marathon 2021, followed by 4th place in the London Marathon in October. He placed 4th in Abbott World Marathon Majors Series XIV, a new record for a Japanese athlete. In the November Oita International Wheelchair Marathon, he took 2nd place, but was unable to dethrone Marcel Hug.

He expressed his disappointment following the Oita race, saying "Nothing I did made a difference," and "I need to start again from scratch if I'm going to beat Hug." What kind of racing can we expect to see from him at the Tokyo Marathon 2023, after his winter training?

Tomoki Suzuki suffered a spinal injury in a traffic accident when he was eight months old. He threw himself into wheelchair racing in fifth grade, and starting in 2015 competed in multiple consecutive World Para Athletics Championships in track events. In his first marathon, the Tokyo Marathon 2015, he demonstrated his potential by taking 2nd place. In 2021, he competed in the Paralympics for the first time in Tokyo, helping his team take the bronze medal in the universal relay event. He also took 7th place in the marathon, but he said he keenly felt his lack of endurance. He increased his training workload and in the November Oita International Wheelchair Marathon he finished in 1:18:37, a new Asia record.

No.  
1006

渡辺 勝 (福岡・凸版印刷)

WATANABE, Sho (JPN)



## プロフィール / PROFILE

DOB : 23 Nov. 1991  
AGE : 31

## ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:24:00	大分国際 (Oita)	4	2019

2022年は積極的にレースに出場し、経験を積み上げた渡辺勝。ベルリンマソンで5位、シカゴマソンで4位に入り、AbbottWMMシリーズXIVは9位にランクされた。今年の東京マソンでは、フィニッシュプリントでマルセル・フグや鈴木朋樹に競り勝って初優勝を果たした2017年大会以来の頂点を狙う。

2011年に交通事故で脊髄を損傷して車いす生活になったが、すぐに陸上競技をはじめると、2013年の世界選手権で10000m銀メダル、マソン8位入賞の快挙を果たし注目される。その後も世界選手権は連続出場。また、AWMMシリーズ大会でも何度か表彰台に上る活躍を見せている。

2019年にはスイスに渡って武者修行。絶対王者フグと練習をともにし、練習に取り組む姿勢や筋力トレーニングの重要性などを学んだ。

体調不良などで苦しんだ時期もあったが、徐々に復調。2022年は初開催の東京レガシーハーフマソンで2位、大分国際車いすマソンでは粘りの走りで自身初の表彰台となる3位入賞を果たした。

Sho Watanabe was an active racer in 2022, building up a wealth of experience. He took 5th place in the Berlin Marathon, 4th place in the Chicago Marathon, and ranked 9th in the Abbott World Marathon Majors Series. In this year's Tokyo Marathon, he'll be aiming for a follow-up to his success at the Tokyo Marathon 2017, where he beat Marcel Hug and Tomoki Suzuki in the finish sprint to claim his first trophy.

Sho Watanabe suffered a spinal injury in a traffic accident in 2011, and he has used a wheelchair ever since. He immediately took up racing, in 2013 he raised his profile by winning the silver medal in the 10,000 m and taking 8th place in the marathon event at the World Para Athletics Championships. He has since competed in successive World Para Athletics Championships. He has also advanced to the podium-finish several times in the Abbott World Marathon Majors Series races.

In 2019 he moved to Switzerland to further improve his abilities. He practiced together with the undisputed champion Hug, learning his training approach and the importance of weight training.

While he struggled for a while due to poor health, he has gradually been returning to form. In 2022, he competed in the first Tokyo Legacy Half Marathon, claiming 2nd place, and through his perseverance in the Oita International Wheelchair Marathon, he finished in 3rd place, achieving his first podium-finish there.



\*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。  
\*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

No.  
1007

西田 宗城 (大阪・バカラバシフィック)

NISHIDA, Hiroki (JPN)



プロフィール / PROFILE

DOB : 11 Mar. 1984  
AGE : 38

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:20:28*	ボストン (Boston)	5	2017

西田宗城にとって2022年は不完全燃焼の1年だった。3月の東京マラソン2021で3位に入った実績でAbbottWMMシリーズXIVは7位にランクされてはいるが、8月に国内でのレース中に肩甲骨付近の筋断裂に見舞われた。首や右腕の痛みやしびれがつづき、その後のレースはすべてキャンセルすることになった。東京マラソン2023は長いリハビリからの復活を期す場となる。

大学3年生だった2004年、バイク事故により脊髄を損傷して下半身不随となったが、車いす陸上と出会い、光を見いだす。

2013年には7年間務めた公務員を辞め、競技専念を決意。以降、AbbottWMMシリーズ大会でも表彰台に乗るようになる。2018年には4月にパリマラソン車いすの部で日本人として初優勝を果たし、5月には世界トライアスロンシリーズ横浜大会にも出場し、3位で表彰台に上がるなど挑戦の幅を広げた。

東京パラリンピック出場は逃したが、今年は2024年のパリ大会初出場に向けた勝負の1年になる。その幕開けである東京マラソンでの走りが注目される。

For Hiroki Nishida, 2022 was a frustrating year. While he took 3rd place in Tokyo Marathon 2021 in March, putting him in 7th place in Abbott World Marathon Majors Series XIV, in August he suffered a muscle tear near his shoulder blade during the course of a race in Japan. This led to lingering pain and tingling in his neck and right arm, so he had to cancel the rest of his races. The Tokyo Marathon 2023 will be his return after a long period of rehabilitation.

In 2004, as a third year university student, Hiroki Nishida was involved in a motorcycle accident that injured his spine and left him paralyzed from the waist down. However, his encounter with wheelchair racing shined a ray of light into his life.

In 2013, he decided to leave his seven-year career as a civil servant to dedicate himself full-time to racing. Since then, he has taken the podium-finish several times in the Abbott World Marathon Majors Series. In April 2018, he became the first Japanese athlete to win the Paris Marathon wheelchair event. In May, he competed in World Triathlon Championship Series Yokohama, claiming the podium-finish in 3rd place and showing his breadth as an athlete.

While he missed his chance to compete in the Paralympics in Tokyo, 2023 will be a year of taking on new challenges aimed at securing him a position in the 2024 Paralympics to be held in Paris. It will be exciting to see how he starts out the year in the Tokyo Marathon.

# 海外車いす招待選手 女子

## WHEELCHAIR ATHLETES

## Invited International Athletes - Women's Wheelchair Marathon

\*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。  
\*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

No.  
2001

### スザンナ・スカロニ (アメリカ)

SCARONI, Susannah (USA)



#### プロフィール / PROFILE

DOB : 16 May 1991  
AGE : 31

#### 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:33:17*	ボストン (Boston)	3	2017

2022年、スザンナ・スカロニは好調な1年を過ごした。シカゴマラソンでAbbott WMM大会初の優勝を果たし、ニューヨークシティマラソンも初優勝。出場しなかった東京マラソン2021を除き、他の3大会でも表彰台に上る安定した強さを見せ、AWMM車いすシリーズを初制覇した。大分国際車いすマラソンでも準優勝している。

東京マラソンでは過去に2度、3位入賞を果たしているが、勢いに乗る今年は初優勝への期待も高まる。

5歳のとき交通事故に遭い下半身不随となったが、2002年に障がい者スポーツイベントに参加して車いす陸上を始める。高校時代には車いすバスケットボールにも並行して取り組んだ。大学時代にはスポーツ栄養学を学び、現在は米国オリンピック・パラリンピック委員会でスポーツ栄養士としても活躍している。

パラリンピックは2012年ロンドン大会から連続出場し、東京2020では5000mで金、800mで銅メダルを獲得した。その後、トレーニング中の交通事故で背骨を骨折したが、2022年春に完全復帰。5月には5000mの世界新記録(10分38秒46)も樹立している。

Susannah Scaroni had an excellent 2022. She won her first Abbott World Marathon Majors with the Chicago Marathon and also her first New York City Marathon. With the exception of Tokyo Marathon 2021, which she did not compete in, she secured a podium position in the other three races, demonstrating stability and strength and winning the Abbott World Marathon Majors wheelchair series for the first time. She also placed 2nd in the Oita International Wheelchair Marathon.

She has competed in the Tokyo Marathon twice before, taking 3rd place, but this year she has some momentum going, so expectations are high for her first Tokyo Marathon victory.

At the age of 6, she was involved in a traffic accident that left her paralyzed from the waist down. In 2002 she participated in a sports event for people with disabilities, and began wheelchair racing. During high school she also played wheelchair basketball. In university, she studied sports nutrition, and she's now a sports dietician on the U.S. Paralympic and Olympic Committee.

She has competed in each Paralympics since the 2012 London Paralympics, and in Tokyo 2020 she won the gold for the 5,000 m and the bronze for the 800 m. She was then involved in a traffic accident while in training, fracturing her vertebrae, but she made a total comeback in spring 2022. In May, she set a new world's record for the 5,000 m (10:38.46).

No.  
2002

### マヌエラ・シャー (スイス)

SCHÄR, Manuela (SUI)



#### プロフィール / PROFILE

DOB : 5 Dec. 1984  
AGE : 38

#### 自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:28:17*	ボストン (Boston)	1	2017

マヌエラ・シャーにとって2022年はAbbottWMMシリーズXIVで3位に入るとともに、改めて強さを示した年と言えるのではないだろうか。

4月のボストンマラソンで優勝した約1カ月後、休暇で公園に出かけたとき脚の骨折に見舞われた。手術を受け、辛いリハビリに地道に取り組むと、秋にはレースに復帰。9月末のベルリンマラソンと11月のニューヨークシティマラソンで2位となり、表彰台復帰も果たしたのだ。

8歳だった1993年に公園での事故で下半身不随となり、車いす生活になった。陸上を始めたのは1998年で、当初はスプリント種目中心に取り組んでいたが、マラソンでの才能も開花する。2013年、世界選手権での金メダル獲得を皮切りに、メジャー大会でも上位に食い込むようになる。2019年にはAbbottWMMの6大会全勝の快挙を達成している。

パラリンピックは2004年のアテネ大会から5大会連続で出場し、メダル8個を獲得。うち金2個を含む5個のメダルは東京パラリンピックでつかんだものだ。経験と実績、自信をまとったシャーは今年、3回目の東京マラソン制覇に挑む。

For Manuela Schär, 2022 was a year in which she was able to demonstrate her power yet again by taking 3rd place in Abbott World Marathon Majors Series XIV.

She won 1st place in the Boston Marathon in April, but roughly month later she broke her leg while enjoying off-time in a park. She underwent surgery followed by grueling rehabilitation, but made steady progress and returned to the racing scene in autumn. She made it back to the winner's podium by taking 2nd place in both the Berlin Marathon, held in late September, and the New York City Marathon in November.

In 1993, at the age of eight, Manuela Schär was paralyzed from the waist down in a playground accident, and has used a wheelchair ever since. She began track and field in 1998, and initially focused primarily on sprint events, but she also developed a talent for the marathon. In 2013, she won the gold medal in the World Para Athletics Championships, and ever since she has taken top positions in major competitions. In 2019, she swept all six of the Abbot World Marathon Majors races.

She has competed in all five Paralympics since the 2004 Paralympics in Athens, and has won eight medals. Five of these medals, including two gold medals, were won in the Tokyo Paralympics.

Schär will be bringing experience, a solid track record, and confidence to the table as she takes on her third Tokyo Marathon.

\*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。  
\*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

No. 2003

マディソン・デロザリオ (オーストラリア)

DE ROZARIO, Madison (AUS)



プロフィール / PROFILE

DOB : 24 Nov. 1993  
AGE : 29

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:39:22	シカゴ (Chicago)	4	2017

2022年はボストンマラソンとニューヨークシティマラソンとともに3位となり、AbbottWMMシリーズ XIV で5位に食い込んだ。さらなる躍進を目指す。2023年の幕開けとなる東京マラソンでは初優勝を狙う。初出場だった2019大会は悪天候の影響もあって途中棄権したが、その悔しさを払いのけるような快走を期待したい。

4歳で横断性脊髄炎を発症し、車いす生活となり、最初は車いすバスケットボールや車いすテニスに取り組んだ。2006年から陸上競技を本格的に始めると、2年後にはオーストラリア選手団最年少の14歳で北京パラリンピックに初出場。以来、4大会連続で出場し、メダル6個を獲得。うち3個を2021年の東京パラリンピックで獲得しており、とくにマラソンでは最後まで激しいデッドヒートを演じたマヌエラ・シャーを100分の1秒差で振り切り、1時間38分11秒の大会新で初優勝を果たしている。

AbbottWMM大会やコモンウェルスゲームズなどで何度も表彰台に上がり、経験と実績を積み重ねており、トラック種目で磨いたスピードを武器に今後、マラソンでもさらなる活躍が期待される。

She finished in 3rd place in both the Boston Marathon and the New York City Marathon in 2022, taking 5th place in Abbott World Marathon Majors Series XIV. She'll be looking to achieve even greater success by taking her first 1st place finish in the Tokyo Marathon, the opening race of 2023. The first time she competed in the Tokyo Marathon 2019, she was unable to finish, due in part to the impact of the poor weather. We look forward to bouncing back from that disappointment with some fast racing this year.

At the age of four, Madison de Rozario developed transverse myelitis, and has used a wheelchair ever since. Her first sports were wheelchair basketball and wheelchair tennis. She began competing in track and field events with gusto in 2006, and two years later she competed in the Beijing Paralympics as the youngest member of the Australian team at just 14 years of age. She has competed in every Paralympics since then, and has won six medals. She won three of those medals in the Tokyo 2020 Paralympics held in 2021. In the marathon event, she was in a dead heat until the very end with Manuela Schär, beating her by just 1/100 of a second to win with a new record for the event of 1:38:11.

She has taken a place on the winner's podium several times, such as in Abbott World Marathon Majors and the Commonwealth Games and has built up a wealth of experience and results. We look forward to seeing her use the speed she has built up through track events to achieve further marathon success.

No. 2004

イエナ・フェスマイヤー (アメリカ)

FESEMEYER, Jenna (USA)



プロフィール / PROFILE

DOB : 31 Jan. 1997  
AGE : 33

▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 /Race	順位 /Place	年 /Year
1:50:23	シカゴ (Chicago)	3	2021
1:49:52	シカゴ (Chicago)	3	2022

イエナ・フェスマイヤーは女子車いすランナーの新星だ。東京2020でパラリンピックにデビューし、1500m、5000m(7位)、マラソン(11位)に出場。2021年のシカゴマラソンでは3位に入った。2022年もシカゴで3位に入ったほか、ボストン、ロンドン、ニューヨークシティで5位となり、AbbottWMMシリーズ XIV では9位になった。メジャーマラソンでの存在感を徐々に高めており、初出場となる今年の東京マラソンでどんな走りを見せてくれるのか楽しみだ。

三つ子の一人として生まれたが、先天性の大腿骨近位部欠損症のため、左脚と股関節がない状態で育った。最初は義足をつけてバスケットボールやゴルフなどのスポーツに取り組んでいたが、高校時代の2013年、州のトラック競技会に車いす種目が追加されることになったことから、車いす陸上を始めると、すぐに競技に魅了された。2019年にはアメリカ代表としてパラパンアメリカン競技大会(ペルー・リマ)に出場し、800mで金メダル、400mで銀メダルを獲得。同年には、ロサンゼルスマラソンで準優勝、ロンドンマラソンで3位となっている。

Jenna Fesemyer is a new star in the women's wheelchair racing scene. She made her debut in the Tokyo 2020 Paralympics, competing in the 1,500 m, the 5,000 m (7th place), and the marathon (11th place). At the Chicago Marathon in 2021 she finished in 3rd. In 2022, she also finished 3rd in the Chicago Marathon and 5th in the Boston, London, and New York City marathons, claiming 9th place in Abbott World Marathon Majors Series XIV. She has gradually established a larger presence in the major marathons, so we're excited to see what kind of racing she'll be doing this year, in her first Tokyo Marathon.

One of a triplet, Jenna Fesemyer was born without a left leg or hip socket due to congenital called proximal femoral focal deficiency. She first used a prosthetic leg to take part in sports such as basketball and golf, but while she was a high school student, in 2013, wheelchair events were added to track and field competitions, so she began wheelchair racing and immediately fell in love with the sport. In 2019, she represented the U.S. in the Parapan American Games, held in Lima, Peru, where she won the gold medal in the 800 m and the silver medal in the 400 m. That same year, she won 2nd place in the Los Angeles Marathon and 3rd place in the London Marathon.

\*は非公認記録ですがワールドパラアスレティクス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。  
\*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

No.  
2005

## クリスティ・ドーズ (オーストラリア)

DAWES, Christie (AUS)



### プロフィール / PROFILE

DOB : 3 May 1980

AGE : 42

### ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:37:14*	ボストン (Boston)	6	2017

競技歴25年以上のベテランで、マラソンやトラックレースで豊富な国際経験をもつクリスティ・ドーズ。東京マラソンは2度目の出場になる。前回の2020大会は外国勢唯一の出場で2位に入っているが、強豪たちが顔を揃える今年、どんな走りを見せてくれるか楽しみだ。

パラリンピックは16歳で1996年のアトランタ大会に初出場以来、7大会連続出場。トラック種目で合計3つのメダル(銀2、銅1)を獲得し、東京2020大会ではマラソンで8位(1時間46分44秒)に入賞している。AbbottWMMのメジャー大会にも積極的に出場し、表彰台や入賞経験も多い。2022年はシカゴとニューヨークシティで6位の結果を残している。

10歳のとき交通事故に遭って脊髄を損傷し、車いす生活となったが、1992年バルセロナパラリンピックで活躍する自国選手に憧れ、車いす陸上を始めた。現在は2011年に誕生した息子の子育てと小学校の教師としての仕事を両立させながら、ハイレベルな競技生活も続けている。

A veteran with a racing career over 25 years long, Christie Dawes has extensive experience in global marathons and track races. This will be her second time competing in the Tokyo Marathon. In the 2020 marathon, she was the sole international competitor, finishing in 2nd place. This year, the marathon will be featuring a large number of powerful competitors. What kind of racing will we be able to expect from her?

She first competed in the Paralympics in the 1996 Atlanta Paralympics, at the age of 16. She has since competed in all six Paralympics that followed. She has won a total of three medals in track events (two silvers and one bronze), and in Tokyo 2020 she took 8th place in the marathon (with a finishing time of 1:46:44). She has also actively competed in Abbott World Marathon Majors marathons, with a track record of placing and podium finishes. In 2022, she took 6th place in both the Chicago Marathon and the New York City Marathon.

Christie Dawes suffered a spinal injury in a traffic accident at the age of 10 and began using a wheelchair. She began wheelchair racing after being inspired by the sight of fellow Australians competing in the Barcelona Paralympics in 1992. She continues to compete at a high level while raising her son, who was born in 2011, and working as an elementary school teacher.



# 国内車いす招待選手 女子

## WHEELCHAIR ATHLETES

## Invited Japanese Athletes- Women's Wheelchair Marathon

\*は非公認記録ですがワールドパラアスレチックス(WPA)のランキングに反映されている記録となります。  
\*This record is reflected on the world ranking of World Para Athletics, but are not official record.

### No. 2006 喜納 翼 (沖縄・琉球スポーツサポート)

KINA, Tsubasa (JPN)



#### プロフィール / PROFILE

DOB : 18 May 1990  
AGE : 32

#### ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:35:50	大分国際 (Oita)	2	2019
※日本新記録 (NR)			

2019年に樹立したマラソンアジア記録(1時間35分50秒)保持者。2022年は東京マラソン2021で優勝するなどAbbottWMMシリーズXIVで4位に入った。今年の東京マラソンは強豪選手が揃うなか、2020大会からの連勝を3に伸ばし、世界での存在感をさらに増したいところだ。

幼い頃から取り組んでいたバスケットボールで中学・高校時代には沖縄県代表選手にも選ばれたが、大学1年の時、トレーニング中の事故でバーベルの下敷きとなり、下肢完全まひに。車いす陸上は2013年頃から始め、2016年の大分国際車いすマラソンで初マラソンに挑戦、1時間44分56秒で初優勝。長いリーチと持久力を武器にマラソンを主戦場とする。走り込みを中心に練習を重ね、モットーである「目の前のレースを一つひとつ大事に走る」ことでタイムも着実に縮めている。

2019年にはマラソン世界選手権(ロンドンで)5位入賞。2021年には東京パラリンピックに初出場し、マラソンで7位に(1時間42分33秒)入賞。同年秋の大分国際車いすマラソンでは1時間40分13秒で3度目の優勝を果たした。

Tsubasa Kina holds the record for the fastest marathon in Asia (1:35:50), which she set in 2019. In 2022, she won Tokyo Marathon 2021 and took 4th place in Abbott World Marathon Majors Series XIV. This year's Tokyo Marathon will be bringing together a roster of powerful racers, but she'll be aiming to claim her third consecutive victory since the 2020 marathon, further establishing her presence on the world stage.

She played basketball from a young age, and in junior and senior high school she represented Okinawa Prefecture in competitions. However, while a first year university student, she suffered an accident during training, becoming pinned under a barbell. This left her paralyzed from the waist down. She started competing in wheelchair races in 2013, and raced in her first marathon in the 2016 Oita International Wheelchair Marathon, where she won with a time of 1:44:56. Because of her long reach and endurance, she focuses primarily on marathons. Her practice is focused on training runs, and she's steadily shortening her time, led by the motto that "run each and every race like it's critical."

In 2019, she took 5th place in the World Athletics Championships marathon event (in London). In 2021, she competed in the Paralympics for the first time, in Tokyo, coming in 7th place in the marathon (with a time of 1:42:33). In fall of the same year, she won her third Oita International Wheelchair Marathon with a finishing time of 1:40:13.

### No. 2007 土田 和歌子 (東京・ウィルレイズ)

TSUCHIDA, Wakako (JPN)



#### プロフィール / PROFILE

DOB : 15 Oct. 1974  
AGE : 48

#### ▶自己最高記録 Personal Best

Time	大会名 / Race	順位 / Place	年 / Year
1:34:06*	ボストン (Boston)	1	2011

東京マラソンは2008大会から2016大会まで連続出場し、9連覇を達成。パラリンピックも1994年から冬季2大会、夏季6大会連続出場し、金、銀、銅1を獲得している「車いすアスリートのレジェンド」だ。

2017年からトライアスロンにも挑戦し、2021年の東京2020パラリンピックでは陸上・マラソンとの「1大会二刀流」の偉業を達成し、マラソンでは4位入賞を果たす。東京大会後、「マラソン専念」を発表し、2022年には東京マラソン2021で2位、ロンドンマラソン6位で、AbbottWMMシリーズXIVは6位に入った。

同年11月の大分国際車いすマラソンではスザンナ・スカロニ、喜納翼との競り合いを制し、10年ぶり7回目の優勝を果たした。今年の東京マラソンでは2017年に変更された新コースでの初優勝も期待される。

高校2年生だった1992年、交通事故による脊髄損傷で車いす生活となるも、リハビリ中からスポーツに取り組み、陸上競技は1996年から本格的に始める。

ボストンマラソン5連勝をはじめ、AbbottWMM大会での優勝多数。2013年にマークした1時間38分7秒は当時の世界新記録だった。

Wakako Tsuchida competed in the Tokyo Marathon continuously from 2008 to 2016, winning nine consecutive marathons. She also competed in two Winter Paralympics and six consecutive Summer Paralympics since 1994, winning three gold medals, three silver medals, and one bronze medal. She is truly a legendary wheelchair athlete.

Since 2017, she has also competed in the triathlon. In the Tokyo 2020 Paralympics, held in 2021, she achieved the tremendous accomplishment of competing in both the triathlon and the marathon, and took 4th place in the marathon. Following Tokyo 2020 Paralympics, she announced that she was going to focus exclusively on marathons. She took 2nd place in Tokyo Marathon 2021, held in 2022, 6th place in the London Marathon, and 6th place in Abbott World Marathon Majors Series XIV.

In November of the same year, she won the Oita International Wheelchair Marathon, beating Susannah Scaroni and Tsubasa Kina to claim her seventh victory, the first in 10 years. She holds great promise for winning this year's Tokyo Marathon for the first time since the course was changed in 2017.

In 1992, as a sophomore in high school, she was involved in a traffic accident that damaged her spine and paralyzed her from the waist down. Since then, she has been a wheelchair user. She began playing sports while in rehabilitation, and began throwing herself fully into track and field events from 1996.

She has taken 1st prize in many Abbott World Marathon Majors marathons, such as claiming five consecutive wins in the Boston Marathon. Her 2013 finishing time of 1:38:07 was a new world's record at the time.



# リザルト STATISTICS & RESULTS

## 世界歴代

### パフォーマンストップ50

All-Time Top 50  
World Marathon Performances **077**

## 日本歴代

### パフォーマンストップ50

All-Time Top 50  
Japanese Marathon Performances **079**

### アボット・ワールドマラソンメジャース 歴代トップ50

Abbott World Marathon Majors  
All-Time Top 50 **081**

## 世界主要マラソン大会結果

Results of World's Primary Marathons **083**

### 日本国内 パフォーマンストップ25

Japan All Comers Top 25  
Marathon Performances **085**

### 東京マラソン パフォーマンストップ25

All-Time Top 25  
Tokyo Marathon Performances **086**

## 東京マラソン大会結果

Tokyo Marathon Results **087**





# 大会記録 Course Records

## マラソン Marathon



男子	エリウド・キプチョゲ (ケニア)	2:02:40
Men	KIPCHIGE, Eliud (KEN)	(2021大会)



女子	ブリジッド・コスゲイ (ケニア)	2:16:02
Women	KOSGEI, Brigid (KEN)	(2021大会)

## 車いすマラソン Wheelchair Marathon



男子	鈴木 朋樹 (日本)	1:21:52
Men	SUZUKI, Tomoki (JPN)	(2020大会)



女子	喜納 翼 (日本)	1:40:00
Women	KINA, Tsubasa (JPN)	(2020大会)

## 完走・表彰メダル Finisher / Award Medals

Tokyo Marathon 2023  
Finisher medal



Tokyo Marathon 2023  
Award medals



RUN as ONE - Tokyo Marathon 2023  
Wild Card Award medals



Next Generation  
Athlete Award 2023



# 世界歴代パフォーマンスストップ50 男子

## STATISTICS & RESULTS All-Time Top 50 World Marathon Performances MEN

★今大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2023 (March 5, 2023)

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:01:09	1 KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2022. 09. 25	Berlin
2	2:01:39	KIPCHOGE, Eliud			2018. 09. 16	Berlin
3	2:01:41	2 BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2019. 09. 29	Berlin
4	2:01:53	3 KIPTUM, Kelvin	ケルヴィン・キプタム	KEN	2022. 12. 04	Valencia
5	2:02:37	KIPCHOGE, Eliud			2019. 04. 28	London
6	2:02:40	KIPCHOGE, Eliud			2022. 03. 06	Tokyo
7	2:02:48	4 LEGESE, Birhanu	ビルハヌ・レゲセ	ETH	2019. 09. 29	Berlin
8	2:02:55	5 GEREMEW, Mosinet	モシネト・ゲレメウ	ETH	2019. 04. 28	London
9	2:02:57	6 KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014. 09. 28	Berlin
9	2:02:57	6 EKIRU, Titus	タイタス・エキル	KEN	2021. 05. 16	Milano
11	2:03:00	8 CHEBET, Evans	エバンス・チェベト	KEN	2020. 12. 06	Valencia
11	2:03:00	8 GEAY, Gabriel Gerald	ガブリエル グラルド・ゲイ	TAN	2022. 12. 04	Valencia
13	2:03:02	10 MUTAI, Geoffrey	ジョフリー・ムタイ	KEN	2011. 04. 18	Boston(※)
14	2:03:03	BEKELE, Kenenisa			2016. 09. 25	Berlin
15	2:03:04	11 CHERONO, Lawrence	ローレンス・チェロノ	KEN	2020. 12. 06	Valencia
16	2:03:05	KIPCHOGE, Eliud			2016. 04. 24	London
17	2:03:06	12 MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2011. 04. 18	Boston(※)
18	2:03:13	13 MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014. 09. 28	Berlin
18	2:03:13	13 KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2016. 09. 25	Berlin
18	2:03:13	13 KIPRUTO, Amos	アモス・キプルト	KEN	2022. 03. 06	Tokyo
21	2:03:16	16 WASIHUN, Mule	ムレ・ワシファン	ETH	2019. 04. 28	London
21	2:03:16	LEGESE, Birhanu			2020. 12. 06	Valencia
23	2:03:23	KIPSANG, Wilson			2013. 09. 29	Berlin
24	2:03:29	17 MUTISO, Alexander	アレクサンダー・ムティソ	KEN	2022. 12. 04	Valencia
25	2:03:30	KIPRUTO, Amos			2020. 12. 06	Valencia
26	2:03:32	KIPCHOGE, Eliud			2017. 09. 24	Berlin
27	2:03:34	18 MOLLA, Getaneh	ゲタネ・モラ	ETH	2019. 01. 25	Dubai
★	2:03:36	19 LEMMA, Sisay	シサイ・レマ	ETH	2019. 09. 29	Berlin
28	2:03:36	19 ABDI, Bashir	バシル・アブディ	BEL	2021. 10. 24	Rotterdam
30	2:03:38	21 MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011. 09. 25	Berlin
31	2:03:39	22 TOLA, Tamirat	タミラト・トラ	ETH	2021. 10. 17	Amsterdam
32	2:03:40	23 NEGASA, Herpasa	ヘルパサ・ネガサ	ETH	2019. 01. 25	Dubai
32	2:03:40	23 TOLA, Tamirat	タミラト・トラ	ETH	2022. 12. 04	Valencia
34	2:03:42	KIPSANG, Wilson			2011. 10. 30	Frankfurt
35	2:03:45	KIMETTO, Dennis			2013. 10. 13	Chicago
36	2:03:46	25 ADOLA, Guye	グイ・アドラ	ETH	2017. 09. 24	Berlin
37	2:03:51	26 BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2016. 04. 24	London
37	2:03:51	26 ATANAW, Kinde	キンデ・アタナウ	ETH	2019. 12. 01	Valencia
39	2:03:52	MUTAI, Emmanuel			2013. 10. 13	Chicago
40	2:03:55	28 KIPROP, Reuben	ルベン・キプロブ	KEN	2021. 05. 16	Milano
41	2:03:58	KIPSANG, Wilson			2017. 02. 26	Tokyo
42	2:03:59	29 GEBRSELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブレシラシエ	ETH	2008. 09. 28	Berlin
43	2:04:00	KIPCHOGE, Eliud			2015. 09. 27	Berlin
43	2:04:00	GEREMEW, Mosinet			2018. 01. 26	Dubai
45	2:04:01	LEMMA, Sisay			2021. 10. 03	London
46	2:04:02	30 GEBRESILASE, Leul	レウル・ゲブレシラセ	ETH	2018. 01. 26	Dubai
47	2:04:04	31 KIPSEREM, Marius	マリウス・キプセレム	KEN	2021. 10. 24	Rotterdam
48	2:04:05	KIPCHOGE, Eliud			2013. 09. 29	Berlin
49	2:04:06	TOLA, Tamirat			2018. 01. 26	Dubai
49	2:04:06	32 MENGSTU, Asefa	アセファ・メングストゥ	ETH	2018. 01. 26	Dubai
49	2:04:06	CHERONO, Lawrence			2018. 10. 21	Amsterdam

※ボストンマラソンの記録は 2004 年以降は非公認  
Boston Marathon course is NOT a record eligible standard course (since 2004)

※ 2023 年 2 月 13 日 現在 / As of February 13, 2023



# 世界歴代パフォーマンスストップ50 女子

## STATISTICS & RESULTS All-Time Top 50 World Marathon Performances WOMEN

★今大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2023 (March 5, 2023)

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:14:04	1 KOSGEI, Brigid	ブリジット・コスゲイ	KEN	2019. 10. 13	Chicago
2	2:14:18	2 CHEPNGETICH, Ruth	ルース・チェプンゲティッチ	KEN	2022. 10. 09	Chicago
3	2:14:58	3 BERISO, Amane	アマネ・ベリソ	ETH	2022. 12. 04	Valencia
4	2:15:25	4 RADCLIFFE, Paula	ポーラ・ラドクリフ	GBR	2003. 04. 13	London
5	2:15:37	5 ASSEFA, Tigist	ティギスト・アセファ	ETH	2022. 09. 25	Berlin
6	2:16:02	KOSGEI, Brigid			2022. 03. 06	Tokyo
7	2:16:49	6 GIDEY, Letesenbet	レテセンベト・ギデイ	ETH	2022. 12. 04	Valencia
8	2:17:01	7 KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2017. 04. 23	London
9	2:17:08	CHEPNGETICH, Ruth			2019. 01. 25	Dubai
10	2:17:16	8 JEPCHIRCHIR, Peres	ペレス・ジェプチルチル	KEN	2020. 12. 06	Valencia
11	2:17:18	RADCLIFFE, Paula			2002. 10. 13	Chicago
11	2:17:18	CHEPNGETICH, Ruth			2022. 03. 13	Nagoya
13	2:17:20	9 AYANA, Almaz	アルマズ・アヤナ	ETH	2022. 10. 16	Amsterdam
14	2:17:23	10 YEHUALAW, Yalemzerf	ヤレムゼルフ・エフアラウ	ETH	2022. 04. 24	Hamburg
15	2:17:26	YEHUALAW, Yalemzerf			2022. 10. 02	London
16	2:17:29	11 CHEPKIRUI, Sheila	シェイラ・チェプクルイ	KEN	2022. 12. 04	Valencia
17	2:17:36	12 TESHOME, Tadu	タドゥ・テショメ	ETH	2022. 12. 04	Valencia
18	2:17:41	13 DEGEFA, Worknesh	ウォルクネシュ・デゲファ	ETH	2019. 01. 25	Dubai
19	2:17:42	RADCLIFFE, Paula			2005. 04. 17	London
20	2:17:43	14 JEPKOSGEI, Joyciline	ジョイシリン・ジェブコスゲイ	KEN	2021. 10. 03	London
21	2:17:45	15 CHEMTAI SALPETER, Lonah	ロナー・チェムタイ サルピーター	ISR	2020. 03. 01	Tokyo
22	2:17:56	16 DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2017. 04. 23	London
23	2:17:57	17 TANUI, Angela	アンジェラ・タヌイ	KEN	2021. 10. 17	Amsterdam
24	2:17:58	18 AZIMERAW, Degitu	デギトゥ・アズメロー	ETH	2021. 10. 03	London
★	2:17:58	18 BEKERE, Ashete	アシェテ・ベケレ	ETH	2022. 03. 06	Tokyo
★	2:18:00	20 WANJIRU, Rosemary	ローズマリー・ワンジル	KEN	2022. 09. 25	Berlin
★	2:18:03	21 ABAYECHEW, Tigist	ティギスト・アバイエチェウ	ETH	2022. 09. 25	Berlin
★	2:18:04	22 MELLY, Joan Chelimo	ジョーンチェリモ・メリー	ROU	2022. 04. 17	Seoul
22	2:18:05	23 DIBABA, Genzebe	ゲンゼベ・ディババ	ETH	2022. 10. 16	Amsterdam
30	2:18:07	JEPKOSGEI, Joyciline			2022. 10. 02	London
31	2:18:11	24 CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2018. 09. 16	Berlin
31	2:18:11	24 GEBRESLASE, Gotytom	ゴティトム・ゲブレシラシエ	ETH	2022. 07. 18	Autzen Complex, Eugene, OR
31	2:18:11	24 CHEMUTAI, Fancy	ファンシー・チェムタイ	KEN	2022. 12. 04	Valencia
34	2:18:12	27 ASEFA KEBEDE, Sutume	ストゥメ・アセファ ケベデ	ETH	2022. 04. 17	Seoul
35	2:18:18	BEKERE, Ashete			2021. 10. 03	London
35	2:18:18	GEBRESLASE, Gotytom			2022. 03. 06	Tokyo
37	2:18:20	KOSGEI, Brigid			2019. 04. 28	London
37	2:18:20	28 KORIR, Judith	ジュディス・コリル	KEN	2022. 07. 18	Autzen Complex, Eugene, OR
39	2:18:29	29 SISSON, Emily	エミリー・シソン	USA	2022. 10. 09	Chicago
40	2:18:30	30 DEREJE, Roza	ロザ・テレジェ	ETH	2019. 12. 01	Valencia
41	2:18:31	DIBABA, Tirunesh			2017. 10. 08	Chicago
41	2:18:31	31 CHERUIYOT, Vivian	ビビアン・チェルイヨット	KEN	2018. 04. 22	London
43	2:18:32	32 MEGERTU, Alemu	アレム・メゲルトウ	ETH	2022. 10. 02	London
44	2:18:33	33 ABREHA, Azmera	アズメラ・アブレハ	ETH	2019. 12. 01	Valencia
45	2:18:34	34 AGA, Ruti	ルティ・アガ	ETH	2018. 09. 16	Berlin
46	2:18:35	KOSGEI, Brigid			2018. 10. 07	Chicago
46	2:18:35	CHEPNGETICH, Ruth			2018. 11. 11	Istanbul
48	2:18:35	35 DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2020. 03. 01	Tokyo
49	2:18:37	KEITANY, Mary			2012. 04. 22	London
50	2:18:40	JEPKOSGEI, Joyciline			2020. 12. 06	Valencia
50	2:18:40	KOSGEI, Brigid			2021. 10. 03	London

※ボストンマラソンの記録は 2004 年以降は非公認  
Boston Marathon course is NOT a record eligible standard course (since 2004)

※ 2023 年 2 月 13 日 現在 / As of February 13, 2023

# 日本歴代パフォーマンスストップ50 男子

## STATISTICS & RESULTS All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances MEN

★今大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2023 (March 5, 2023)

Performance Time	記録	Name	名前	Team	所属	Date	日付	Venue	大会名
★ 01	2:04:56	1 鈴木 健吾	SUZUKI, Kengo	富士通		2021.02.28		びわ湖毎日	
	02	2:05:28	鈴木 健吾	富士通		2022.03.06		東京	
★ 03	2:05:29	2 大迫 傑	OSAKO, Suguru	Nike		2020.03.01		東京	
	04	2:05:50	大迫 傑	Nike		2018.10.07		シカゴ	
★ 05	2:06:11	3 設楽 悠太	SHITARA, Yuta	Honda		2018.02.25		東京	
	06	2:06:16	4 高岡 寿成	TAKAOKA, Toshinari	カネボウ	2002.10.13		シカゴ	
★ 07	2:06:26	5 土方 英和	HIJIKATA, Hidekazu	Honda		2021.02.28		びわ湖毎日	
★ 08	2:06:35	6 細谷 恭平	HOSOYA, Kyohei	黒崎播磨		2021.02.28		びわ湖毎日	
★ 09	2:06:45	7 高久 龍	TAKAKU, Ryu	ヤクルト		2020.03.01		東京	
★ 10	2:06:47	8 井上 大仁	INOUE, Hiroto	三菱重工		2021.02.28		びわ湖毎日	
	11	2:06:51	9 藤田 敦史	FUJITA, Atsushi	富士通	2000.12.03		福岡国際	
	11	2:06:51	9 小椋 裕介	OGURA, Yusuke	ヤクルト	2021.02.28		びわ湖毎日	
	13	2:06:54	井上 大仁	MHPS		2018.02.25		東京	
	13	2:06:54	11 上門 大祐	UEKADO, Daisuke	大塚製薬	2020.03.01		東京	
	13	2:06:57	12 犬伏 孝行	INUBUSHI, Takayuki	大塚製薬	1999.09.26		ベルリン	
	13	2:07:05	13 定方 俊樹	SADAKATA, Toshiki	MHPS	2020.03.01		東京	
★ 15	2:07:05	13 吉田 祐也	YOSHIDA, Yuya	GMOインターネットグループ		2020.12.06		福岡国際	
	15	2:07:12	15 大六野 秀敏	DAIROKUNO, Shuho	旭化成	2021.02.28		びわ湖毎日	
	16	2:07:13	16 佐藤 敦之	SATO, Atsushi	中国電力	2007.12.02		福岡国際	
★ 20	2:07:14	17 其田 健也	SONOTA, Kenya	JR 東日本		2022.09.25		ベルリン	
	21	2:07:19	大迫 傑	Nike, ORPJT		2017.12.03		福岡国際	
	22	2:07:20	18 木村 慎	KIMURA, Shin	Honda	2020.03.01		東京	
★ 22	2:07:20	18 菊地 賢人	KIKUCHI, Masato	コニカミノルタ		2021.02.28		びわ湖毎日	
	24	2:07:23	小椋 裕介	ヤクルト		2020.03.01		東京	
	24	2:07:23	其田 健也	JR 東日本		2022.03.06		東京	
	26	2:07:26	20 間谷 賢人	KIKUTANI, Kento	トヨタ紡織	2021.02.28		びわ湖毎日	
	27	2:07:27	21 服部 勇馬	HATTORI, Yuma	トヨタ自動車	2018.12.02		福岡国際	
	27	2:07:27	21 下田 裕太	SHIMODA, Yuta	GMOインターネットグループ	2020.03.01		東京	
	27	2:07:27	21 川内 優輝	KAWAUCHI, Yuki	あいおいニッセイ同和損害保険	2021.02.28		びわ湖毎日	
	30	2:07:31	菊地 賢人	コニカミノルタ		2020.03.01		東京	
★ 30	2:07:31	24 星 岳	HOSHI, Gaku	コニカミノルタ		2022.02.27		大阪・びわ湖毎日	
★ 30	2:07:31	24 湯澤 舜	YUZAWA, Shun	SGホールディングス		2022.03.06		東京	
	33	2:07:35	26 児玉 泰介	KODAMA, Taisuke	旭化成	1986.10.19		北京	
★ 34	2:07:36	27 村本 一樹	MURAMOTO, Kazuki	住友電工		2021.02.28		びわ湖毎日	
	35	2:07:38	28 大塚 祥平	OTSUKA, Shohei	九電工	2020.12.06		福岡国際	
	35	2:07:39	29 今井 正人	IMAI, Masato	トヨタ自動車九州	2015.02.22		東京	
	35	2:07:39	29 一色 恭志	ISSHIKI, Tadashi	GMOインターネットグループ	2020.03.01		東京	
	33	2:07:40	31 谷口 浩美	TANIGUCHI, Hiromi	旭化成	1988.10.16		北京	
	33	2:07:40	31 青木 優	AOKI, Masaru	カネボウ	2021.02.28		びわ湖毎日	
	40	2:07:41	高岡 寿成	カネボウ		2005.02.13		東京	
	40	2:07:41	33 市山 翼	ICHIYAMA, Tsubasa	小森コーポレーション	2021.02.28		びわ湖毎日	
	42	2:07:42	34 作田 将希	SAKUDA, Masaki	JR 東日本	2021.02.28		びわ湖毎日	
★ 42	2:07:42	34 山下 一貴	YAMASHITA, Ichitaka	三菱重工		2022.02.27		大阪・びわ湖毎日	
	44	2:07:44	市山 翼	小森コーポレーション		2023.02.05		別府大分毎日	
	45	2:07:45	設楽 悠太	Honda		2020.03.01		東京	
	46	2:07:47	36 西山 雄介	NISHIYAMA, Yusuke	トヨタ自動車	2022.02.06		別府大分毎日	
	46	2:07:47	36 横田 俊吾	YOKOTA, Shungo	青山学院大学	2023.02.05		別府大分毎日	
	48	2:07:48	38 藤原 新	FUJIWARA, Arata	東京陸協	2012.02.26		東京	
	49	2:07:50	高岡 寿成	カネボウ		2004.10.10		シカゴ	
	49	2:07:50	設楽 悠太	Honda		2019.07.07		ゴールドコースト	
	49	2:07:50	39 丸山 竜也	MARUYAMA, Tatsuya	トヨタ自動車	2022.09.25		ベルリン	

※ 2023年2月13日現在 / As of February 13, 2023

# 日本歴代パフォーマンスストップ50 女子

## STATISTICS & RESULTS All-Time Top 50 Japanese Marathon Performances WOMEN

★今大会出場選手：Competing in Tokyo Marathon 2023 (March 5, 2023)

Performance Time	記録	Name	名前	Company/Team	所属	Date	日付	Venue	大会名
1	2:19:12	1	野口 みずき	NOGUCHI, Mizuki	グローバリー	2005. 09. 25		ベルリン	
2	2:19:24	2	新谷 仁美	NIIYA, Hitomi	積水化学	2023. 01. 15		ヒューストン	
3	2:19:41	3	渋谷 陽子	SHIBUI, Yoko	三井住友	2004. 09. 26		ベルリン	
4	2:19:46	4	高橋 尚子	TAKAHASHI, Naoko	積水化学	2001. 09. 30		ベルリン	
★	5	2:20:29	5	一山 麻緒	ICHIYAMA, Mao	ワコール	2020. 03. 08	名古屋ウィメンズ	
★	6	2:20:52	6	松田 瑞生	MATSUDA, Mizuki	ダイハツ	2022. 01. 30	大阪国際女子	
7	2:21:02		一山 麻緒		ワコール	2022. 03. 06		東京	
8	2:21:11		一山 麻緒		ワコール	2021. 01. 31		大阪国際女子	
9	2:21:17		新谷 仁美		積水化学	2022. 03. 06		東京	
10	2:21:18		野口 みずき		グローバリー	2003. 01. 26		大阪国際女子	
11	2:21:22		渋谷 陽子		三井住友海上	2002. 10. 13		シカゴ	
12	2:21:36	7	安藤 友香	ANDO, Yuka	スズキ浜松 AC	2017. 03. 12		名古屋ウィメンズ	
13	2:21:37		野口 みずき		シスメックス	2007. 11. 18		東京国際女子	
★	14	2:21:42	8	細田 あい	HOSODA, Ai	エディオン	2022. 10. 02	ロンドン	
15	2:21:45	9	千葉 真子	CHIBA, Masako	豊田自動織機	2003. 01. 26		大阪国際女子	
16	2:21:47		高橋 尚子		積水化学	1998. 12. 06		アジア大会バンコク	
17	2:21:47		松田 瑞生		ダイハツ	2020. 01. 26		大阪国際女子	
18	2:21:49		高橋 尚子		積水化学	2002. 09. 29		ベルリン	
19	2:21:51	10	坂本 直子	SAKAMOTO, Naoko	天満屋	2003. 01. 26		大阪国際女子	
20	2:21:51		松田 瑞生		ダイハツ	2021. 03. 14		名古屋ウィメンズ	
21	2:21:55	11	加世田 梨花	KASEDA, Rika	ダイハツ	2022. 09. 25		ベルリン	
22	2:22:02	12	鈴木 亜由子	SUZUKI, Ayuko	日本郵政	2022. 09. 25		ベルリン	
23	2:22:12	13	山口 衛理	YAMAGUCHI, Eri	天満屋	1999. 11. 21		東京国際女子	
24	2:22:13	14	佐藤 早也伽	SATO, Sayaka	積水化学	2022. 09. 25		ベルリン	
25	2:22:17	15	福士 加代子	FUKUSHI, Kayoko	ワコール	2016. 01. 31		大阪国際女子	
26	2:22:19		高橋 尚子		積水化学	2000. 03. 12		名古屋国際女子	
27	2:22:22		安藤 友香		ワコール	2022. 03. 13		名古屋ウィメンズ	
28	2:22:23		松田 瑞生		ダイハツ	2018. 09. 16		ベルリン	
29	2:22:29	16	上杉 真穂	UESUGI, Mao	スターツ	2022. 01. 30		大阪国際女子	
30	2:22:41		安藤 友香		ワコール	2020. 03. 08		名古屋ウィメンズ	
31	2:22:44		松田 瑞生		ダイハツ	2018. 01. 28		大阪国際女子	
32	2:22:46	17	土佐 礼子	TOSA, Reiko	三井住友	2002. 04. 14		ロンドン	
33	2:22:48	18	前田 彩里	MAEDA, Sairi	ダイハツ	2015. 03. 08		名古屋ウィメンズ	
34	2:22:56	19	弘山 晴美	HIROYAMA, Harumi	資生堂	2000. 01. 30		大阪国際女子	
35	2:22:59		安藤 友香		ワコール	2023. 01. 29		大阪国際女子	
★	36	2:23:05	20	松下 菜摘	MATSUSHITA, Natsumi	天満屋	2022. 01. 30	大阪国際女子	
37	2:23:07	21	関根 花観	SEKINE, Hanami	日本郵政	2018. 03. 11		名古屋ウィメンズ	
38	2:23:11		渋谷 陽子		三井海上	2001. 01. 28		大阪国際女子	
39	2:23:11	22	谷本 観月	TANIMOTO, Mizuki	天満屋	2022. 01. 30		大阪国際女子	
40	2:23:14		高橋 尚子		積水化学	2000. 09. 24		シドニー五輪	
41	2:23:19	23	田中 智美	TANAKA, Tomomi	第一生命	2016. 03. 13		名古屋ウィメンズ	
42	2:23:20	24	小原 怜	OHARA, Rei	天満屋	2016. 03. 13		名古屋ウィメンズ	
43	2:23:23	25	重友 梨佐	SHIGETOMO, Risa	天満屋	2012. 01. 29		大阪国際女子	
44	2:23:26	26	大南 博美	OMINAMI, Hiromi	UFJ銀行	2004. 09. 26		ベルリン	
45	2:23:26		弘山 晴美		資生堂	2006. 03. 12		名古屋国際女子	
46	2:23:27		佐藤 早也伽		積水化学	2020. 03. 08		名古屋ウィメンズ	
47	2:23:30	27	小崎 まり	OZAKI, Mari	ノーリツ	2003. 01. 26		大阪国際女子	
48	2:23:30	27	尾崎 好美	OZAKI, Yoshimi	第一生命	2008. 11. 16		東京国際女子	
49	2:23:30	27	前田 穂南	MAEDA, Honami	天満屋	2021. 01. 31		大阪国際女子	
50	2:23:34	30	木崎 良子	KIZAKI, Ryoko	ダイハツ	2013. 03. 10		名古屋ウィメンズ	

※ 2023年2月13日現在 / As of February 13, 2023

# アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50 男子

STATISTICS & RESULTS

Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 MEN

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地	
1	2:01:09	1	KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キプチョゲ	KEN	2022. 09. 25	Berlin
2	2:01:39		KIPCHOGE, Eliud			2018. 09. 16	Berlin
3	2:01:41	2	BEKELE, Kenenisa	ケネニサ・ベケレ	ETH	2019. 09. 29	Berlin
4	2:02:37		Kipchoge, Eliud			2019. 04. 28	London
5	2:02:40		Kipchoge, Eliud			2022. 03. 06	Tokyo
6	2:02:48	3	LEGESE, Birhanu	ビルハヌ・レゲセ	ETH	2019. 09. 29	Berlin
7	2:02:55	4	GEREMEW, Mosinet	モジネット・ゲレミュウ	ETH	2019. 04. 28	London
8	2:02:57	5	KIMETTO, Dennis	デニス・キメット	KEN	2014. 09. 28	Berlin
9	2:03:02	6	MUTAI, Geoffrey	ジヨフリー・ムタイ	KEN	2011. 04. 18	Boston*
10	2:03:03		BEKELE, Kenenisa			2016. 09. 25	Berlin
11	2:03:05		KIPCHOGE, Eliud			2016. 04. 24	London
12	2:03:06	7	MOSOP, Moses	モーゼス・モソップ	KEN	2011. 04. 18	Boston*
13	2:03:13	8	MUTAI, Emmanuel	エマニュエル・ムタイ	KEN	2014. 09. 28	Berlin
13	2:03:13	8	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キプサング	KEN	2016. 09. 25	Berlin
13	2:03:13	8	KIPRUTO, Amos	アモス・キプルト	KEN	2022. 03. 06	Tokyo
16	2:03:16	11	WASIHUN, Mule	ムレ・ワシフン	ETH	2019. 04. 28	London
17	2:03:23		KIPSANG, Wilson			2013. 09. 29	Berlin
18	2:03:32		KIPCHOGE, Eliud			2017. 09. 24	Berlin
19	2:03:36	12	LEMMA, Sisay	シサイ・レマ	ETH	2019. 09. 29	Berlin
20	2:03:38	13	MAKAU, Patrick	パトリック・マカウ	KEN	2011. 09. 25	Berlin
21	2:03:45		KIMETTO, Dennis			2013. 10. 13	Chicago
22	2:03:46	14	ADOLA, Guye	グイ・アドラ	ETH	2017. 09. 24	Berlin
23	2:03:51	15	BIWOTT, Stanley	スタンレー・ビウォット	KEN	2016. 04. 24	London
24	2:03:52		MUTAI, Emmanuel			2013. 10. 13	Chicago
25	2:03:58		KIPSANG, Wilson			2017. 02. 26	Tokyo
26	2:03:59	16	GBRSELASSIE, Haile	ハイレ・ゲブラシラシエ	ETH	2008. 09. 28	Berlin
27	2:04:00		KIPCHOGE, Eliud			2015. 09. 27	Berlin
28	2:04:01		LEMMA, Sisay			2021. 10. 03	London
29	2:04:05		KIPCHOGE, Eliud			2013. 09. 29	Berlin
30	2:04:11		KIPCHOGE, Eliud			2014. 10. 12	Chicago
31	2:04:14	17	TOLA, Tamirat	タミラト・トラ	ETH	2022. 03. 06	Tokyo
32	2:04:15		MUTAI, Geoffrey			2012. 09. 30	Berlin
32	2:04:15		LEGESE, Birhanu			2020. 03. 01	Tokyo
34	2:04:16		KIMETTO, Dennis			2012. 09. 30	Berlin
35	2:04:17		KIPCHOGE, Eliud			2018. 04. 22	London
36	2:04:24	18	KIPRUTO, Benson	ベンソン・キプルト	KEN	2022. 10. 09	Chicago
37	2:04:26		GBRSELASSIE, Haile			2007. 09. 30	Berlin
38	2:04:28	19	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN	2014. 10. 12	Chicago
38	2:04:28	19	KIPCHUMBA, Vincent	ビンセント・キプチュンバ	KEN	2021. 10. 03	London
40	2:04:29		KIPSANG, Wilson			2014. 04. 13	London
41	2:04:32	21	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN	2014. 10. 12	Chicago
42	2:04:38	22	KEBEDE, Tsegay	ツェガエ・ケベデ	ETH	2012. 10. 07	Chicago
43	2:04:39		KIPRUTO, Amos			2022. 10. 02	London
44	2:04:40		MUTAI, Emmanuel			2011. 04. 17	London
45	2:04:41		GEREMEW, Mosinet			2021. 10. 03	London
46	2:04:42		KIPCHOGE, Eliud			2015. 04. 26	London
47	2:04:44		KIPSANG, Wilson			2012. 04. 22	London
48	2:04:47		KIPSANG, Wilson			2015. 04. 26	London
49	2:04:48		LEGESE, Birhanu			2019. 03. 03	Tokyo
50	2:04:49	23	KITATA, Shura	シュラ・キタタ	ETH	2018. 04. 22	London
50	2:04:49	23	ABDI, Bashir	バシル・アブディ	BEL	2020. 03. 01	Tokyo
50	2:04:49	23	TURA, Seifu	セイフ・トゥラ	ETH	2022. 10. 09	Chicago

(52 performances/25 athletes)

※ 2022年12月9日現在 / As of 9 December 2022

ボストンマラソンのコースには 3.23 m/km の下り勾配あり。 / \* Boston Marathon has 3.23 m/km elevation loss



# アボット・ワールドマラソンメジャーズ歴代トップ50 女子

STATISTICS & RESULTS

Abbott World Marathon Majors All-Time Top 50 WOMEN

Performance Time	記録	Name	名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1	2:14:04	1 KOSGEI, Brigid	ブリジット・コスゲイ	KEN	2019. 10. 13	Chicago
2	2:14:18	2 CHEPNGETICH, Ruth	ルース・チェブングティッチ	KEN	2022. 10. 09	Chicago
3	2:15:37	3 ASSEFA, Tigist	ティギスト・アセファ	ETH	2022. 09. 25	Berlin
4	2:16:02	KOSGEI, Brigid			2022. 03. 06	Tokyo
5	2:17:01	4 KEITANY, Mary	メアリー・ケイタニー	KEN	2017. 04. 23	London
6	2:17:26	5 YEHUALAW, Yalemzerf	ヤレムゼルフ・エフアラウ	ETH	2022. 10. 02	London
7	2:17:43	6 JEPKOSGEI, Joyciline	ジョイシリン・ジェブコスゲイ	KEN	2021. 10. 03	London
8	2:17:45	7 CHEMTAI SALPETER, Lonah	ロナー・チェムタイ サルピーター	ISR	2020. 03. 01	Tokyo
9	2:17:56	8 DIBABA, Tirunesh	ティルネシュ・ディババ	ETH	2017. 04. 23	London
10	2:17:58	9 AZMERAW, Degitu	デギトゥ・アズメロー	ETH	2021. 10. 03	London
10	2:17:58	9 BEKERE, Ashete	アシェテ・ベケレ	ETH	2022. 03. 06	Tokyo
12	2:18:00	11 WANJIRU, Rosemary	ローズマリー・ワンジル	KEN	2022. 09. 25	Berlin
13	2:18:03	12 ABAYECHEW, Tigist	ティギスト・アバイエチェウ	ETH	2022. 09. 25	Berlin
14	2:18:07	JEPKOSGEI, Joyciline			2022. 10. 02	London
15	2:18:11	13 CHERONO, Gladys	グラディス・チェロノ	KEN	2018. 09. 16	Berlin
15	2:18:11	13 GEBRESLASE, Gotytom	ゴティトム・ゲブレシラシエ	ETH	2022. 07. 18	Autzen Complex, Eugene, OR
17	2:18:18	BEKERE, Ashete			2021. 10. 03	London
17	2:18:18	GEBRESLASE, Gotytom			2022. 03. 06	Tokyo
19	2:18:20	KOSGEI, Brigid			2019. 04. 28	London
19	2:18:20	15 KORIR, Judith	ジュディス・コリル	KEN	2022. 07. 18	Autzen Complex, Eugene, OR
21	2:18:29	16 SISSON, Emily	エミリー・シソン	USA	2022. 10. 09	Chicago
22	2:18:31	DIBABA, Tirunesh			2017. 10. 08	Chicago
22	2:18:31	17 CHERUIYOT, Vivian	ビビアン・チェルイヨット	KEN	2018. 04. 22	London
24	2:18:32	18 ALEMU, Megertu	アレム・メゲルトウ	ETH	2022. 10. 02	London
25	2:18:34	19 AGA, Ruti	ルティ・アガ	ETH	2018. 09. 16	Berlin
26	2:18:35	KOSGEI, Brigid			2018. 10. 07	Chicago
26	2:18:35	20 DIBABA, Berhane	ベルハネ・ディババ	ETH	2020. 03. 01	Tokyo
28	2:18:37	KEITANY, Mary			2012. 04. 22	London
29	2:18:40	KOSGEI, Brigid			2021. 10. 03	London
30	2:18:42	21 TANUI, Angela	アンジェラ・タヌイ	KEN	2022. 03. 06	Tokyo
31	2:18:43	KORIR, Judith Jeptum			2022. 10. 02	London
32	2:18:51	22 EDESA, Worknesh	ワーケネス・エデサ	ETH	2022. 09. 25	Berlin
33	2:18:54	CHEMTAI SALPETER, Lornah			2021. 10. 03	London
34	2:18:55	DIBABA, Tirunesh			2018. 09. 16	Berlin
35	2:18:58	KOSGEI, Brigid			2020. 10. 04	London
36	2:19:10	23 GEBREKIDAN, Hiwot	ヒウォト・ゲブレキダン	ETH	2022. 03. 06	Tokyo
37	2:19:19	24 MIKITENKO, Irina	イリーナ・ミキテンコ	GER	2008. 09. 28	Berlin
37	2:19:19	KEITANY, Mary			2011. 04. 17	London
39	2:19:25	CHERONO, Gladys			2015. 09. 27	Berlin
40	2:19:27	25 MELLY, Joan Chelimo	ジョーンチェリモ・メリー	ROU	2022. 10. 02	London
41	2:19:30	BEKERE, Ashete			2022. 10. 02	London
42	2:19:36	26 KASTOR, Deena	ディーナ・カスター	USA	2006. 04. 23	London
43	2:19:44	27 KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キブラガト	KEN	2011. 09. 25	Berlin
44	2:19:47	28 CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN	2017. 02. 26	Tokyo
45	2:19:50	29 KIPLAGAT, Edna	エドナ・キブラガト	KEN	2012. 04. 22	London
46	2:19:51	DIBABA, Berhane			2018. 02. 25	Tokyo
47	2:19:57	30 JEPTOO, Rita	リタ・ジェプトゥー	KEN	2013. 10. 13	Chicago
48	2:19:59	31 DEBA, Buzunesh	ブズネシュ・ディバ	ETH	2014. 04. 21	Boston*
49	2:20:09	GEBRESLASE, Gotytom			2021. 09. 26	Berlin
50	2:20:13	KOSGEI, Brigid			2018. 04. 22	London

(50 performances/31 athletes)

※ 2023年2月13日現在 / As of 13 February 2023

ボストンマラソンのコースには 3.23 m/km の下り勾配あり。 / \* Boston Marathon has 3.23 m/km elevation loss

# 世界主要マラソン大会 結果

STATISTICS & RESULTS

Results of World's Primary Marathons

2022年2月~2023年2月 / February 2022 - February 2023

## パリ / Paris 2022.04.03

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	デソ・ゲルミサ	GELMISA, Deso	ETH エチオピア	2:05:07
	2	セイフ・トゥラ	TURA, Seifu	ETH エチオピア	2:05:10
	3	モルアド・アムドゥニ	AMDOUNI, Morhad	FRA フランス	2:05:22
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ジュティス・コリル	KORIR, Judith	KEN ケニア	2:19:48
	2	ファンツ・ジンマ	JIMMA, Fantu	ETH エチオピア	2:22:52
	3	ベス・サド	SADO, Besu	ETH エチオピア	2:23:16

## ボストン / Boston (AbbottWMM) 2022.04.18

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エバンス・チェベト	CHEBET, Evans	KEN ケニア	2:06:51
	2	ローレンス・チェロノ	CHERONO, Lawrence	KEN ケニア	2:07:21
	3	ベンソン・キブルト	KIPRUTO, Benson	KEN ケニア	2:07:27
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ペレス・ジェブチルチル	JEPCHIRCHIR, Peres	KEN ケニア	2:21:01
	2	アバベル・イェシャネー	YESHANEH, Ababel	ETH エチオピア	2:21:05
	3	メアリー・グギ	NGUGI, Mary	KEN ケニア	2:21:32

## オレゴン世界陸上競技選手権大会 / World Athletics Championships Oregon 2022.07.17~07.18

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	タミラト・トラ	TOLA, Tamirat	ETH エチオピア	2:05:36
	2	モシネト・グレメウ	GEREMEW, Mosinet	ETH エチオピア	2:06:44
	3	バシル・アブディ	ABDI, Bashir	BEL ベルギー	2:06:48
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ゴティトム・ゲブレシラシエ	GEBRESLASE, Gotytom	ETH エチオピア	2:18:11
	2	ジュティス・コリル	KORIR, Judith	KEN ケニア	2:18:20
	3	ロナー・チェムタイ サルピーター	CHEMTAI SALPETER, Lonah	ISR イスラエル	2:20:18

## ベルリン / Berlin (AbbottWMM) 2022.09.25

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エリウド・キpchogge	KIPCHOGE, Eliud	KEN ケニア	2:01:09
	2	マーク・コリル	KORIR, Mark	KEN ケニア	2:05:58
	3	タドゥ・アバテ	ABATE, Tadu	ETH エチオピア	2:06:28
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ティギスト・アセファ	ASSEFA, Tigist	ETH エチオピア	2:15:37
	2	ローズマリー・ワンジル	WANJIRU, Rosemary	KEN ケニア	2:18:00
	3	ティギスト・アバエチェウ	ABAYECHEW, Tigist	ETH エチオピア	2:18:03

## ロンドン / London (AbbottWMM) 2022.10.02

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	アモス・キブルト	KIPRUTO, Amos	KEN ケニア	2:04:39
	2	レウル・ゲブレシラセ	GEBRESILASE, Leul	ETH エチオピア	2:05:12
	3	バシル・アブディ	ABDI, Bashir	BEL ベルリン	2:05:19
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ヤレムゼルフ・エファアラウ	YEHUALAW, Yalemzerf	ETH エチオピア	2:17:26
	2	ジョイシリン・ジェブコスゲイ	JEPKOSGEI, Joyciline	KEN ケニア	2:18:07
	3	アレム・メゲルトゥ	MEGERTU, Alemu	ETH エチオピア	2:18:32

## シカゴ / Chicago (AbbottWMM) 2022.10.09

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ベンソン・キブルト	KIPRUTO, Benson	KEN ケニア	2:04:24
	2	セイフ・トゥラ	TURA, Seifu	ETH エチオピア	2:04:49
	3	ジョン・コリル	KORIR, John	KEN ケニア	2:05:01
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team / 国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ルース・チェブゲティッチ	CHEPNGETICH, Ruth	KEN ケニア	2:14:18
	2	エミリー・シソン	SISSON, Emily	USA アメリカ	2:18:29
	3	ビビアン・キブラガト	KIPLAGAT, Vivian	KEN ケニア	2:20:52

ニューヨークシティ / New York City (AbbottWMM) 2022.11.06

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	エバンス・チェベト	CHEBET, Evans	KEN ケニア	2:08:41
	2	シュラ・キタタ	KITATA, Shura	ETH エチオピア	2:08:54
	3	アブディ・ナゲーエ	NAGEEYE, Abdi	NLD オランダ	2:10:31
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	シャロン・ロケディ	LOKEDI, Sharon	KEN ケニア	2:23:23
	2	ロナー・チェムタイ サルピーター	CHEMTAI SALPETER, Lonah	ISR イスラエル	2:23:30
	3	ゴティトム・ゲブレシラシエ	GEBRESLASE, Gotytom	ETH エチオピア	2:23:39

ドバイ / Dubai 2023.02.12

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	アブディサ・トラ	TOLA, Abdisa	ETH エチオピア	2:05:42
	2	テレサ・ゲレタ	GERETA, Deresa	ETH エチオピア	2:05:51
	3	ハイマノート・アレウ	ALEW, Haymanot	ETH エチオピア	2:05:57
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	デラ・ディダ	DIDA, Dera	ETH エチオピア	2:21:11
	2	ルティ・アガ	AGA, Ruti	ETH エチオピア	2:21:24
	3	シラネシュ・イルガ	YIRGA, Siranesh	ETH エチオピア	2:21:59

[Japan] 大阪・びわ湖毎日 / Osaka and Lake Biwa Mainichi 2022.02.27

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	星 岳	HOSHI, Gaku	JPN コニカミノルタ	2:07:31
	2	山下 一貴	YAMASHITA, Ichitaka	JPN 三菱重工	2:07:42
	3	浦野 雄平	URANO, Yuhei	JPN 富士通	2:07:52

[Japan] 名古屋ウィメンズ / Nagoya Women's 2022.03.13

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ルース・チェブングティッチ	CHEPNGETICH, Ruth	KEN ケニア	2:17:18
	2	ロナー・チェムタイ サルピーター	CHEMTAI SALPETER, Lonah	ISR イスラエル	2:18:45
	3	安藤 友香	ANDO, Yuka	JPN ワコール	2:22:22

[Japan] 北海道 / Hokkaido 2022.08.28

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	ルカ・ムセンビ	MUSEMBI, Luka	KEN 東京国際大学	2:10:49
	2	柏 優吾	KASHIWA, Yugo	JPN 東洋大学	2:11:41
	3	青木 優	AOKI, Masaru	JPN カネボウ	2:11:44
	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	山口 遥	YAMAGUCHI, Haruka	JPN AC KITA	2:29:52
	2	青木 奈波	AOKI, Nanami	JPN 岩谷産業	2:33:32
	3	岡田 唯	OKADA, Yui	JPN 大塚製薬	2:36:00

[Japan] 防府読売 / Hofu Yomiuri 2022.12.04

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	中村 祐紀	NAKAMURA, Yuki	JPN 住友電工	2:08:29
	2	山本 翔馬	YAMAMOTO, Syouma	JPN NTT 西日本	2:08:52
	3	橋本 峻	HASHIMOTO, Ryo	JPN GMOインターネットグループ	2:09:12

[Japan] 福岡国際 / Fukuoka International 2022.12.04

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	マル・テフェリ	TEFERI, Maru	ISR イスラエル	2:06:43
	2	ヴィンセント・ライモイ	RAIMOI, Vincent	KEN スズキ	2:07:01
	3	マイケル・ギザエ	GITHAE, Michael	KEN スズキ	2:07:28

[Japan] 大阪国際女子 / Osaka Women's 2023.01.29

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
女子 Women	1	ヘヴン ハイル・デッセ	DESSE, Haven Hailu	ETH エチオピア	2:21:13
	2	メセレット ゴラ・シセイ	SISAY, Meseret Gola	ETH エチオピア	2:22:12
	3	安藤 友香	ANDO, Yuka	JPN ワコール	2:22:59

[Japan] 別府大分毎日 / Beppu Oita Mainichi 2023.02.05

	Place/順位	氏名	Name	所属 Team/国 Nation	Time/ タイム
男子 Men	1	イブラヒム・ハッサン	HASSAN, Ibrahim	DJI ジブチ	2:06:43
	2	ダニエル・キプチュンバ	KIPCHUMBA, Daniel	KEN ケニア	2:06:48
	3	市山 翼	ICHIYAMA, Tsubasa	JPN 小森コーポレーション	2:07:44

# 日本国内 パフォーマンスストップ25

》 STATISTICS & RESULTS 《

Japan All Comers Top 25 Marathon Performances

## 男子 Men

Performance Time 記録	Name 名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1 2:02:40	1 KIPCHOGE, Eliud エリウド・キブチョゲ	KEN	2022.03.06	Tokyo
2 2:03:13	2 KIPRUTO, Amos アモス・キプルト	KEN	2022.03.06	Tokyo
3 2:03:58	3 KIPSANG, Wilson ウィルソン・キブサンダ	KEN	2017.02.26	Tokyo
4 2:04:14	4 TOLA, Tamirat タミラト・トラ	ETH	2022.03.06	Tokyo
5 2:04:15	5 LEGESE, Birhanu ビルハヌ・レゲセ	ETH	2020.03.01	Tokyo
6 2:04:48	LEGESE, Birhanu		2019.03.03	Tokyo
7 2:04:49	6 ABDI, Bashir バシル・アブディ	BEL	2020.03.01	Tokyo
8 2:04:51	7 LEMMA, Sisay シサイ・レマ	ETH	2020.03.01	Tokyo
9 2:04:56	8 SUZUKI, Kengo 鈴木 健吾	JPN	2021.02.28	Otsu
10 2:05:18	9 KEBEDE, Tsegaye ツェガエ・ケベデ	ETH	2009.12.06	Fukuoka
11 2:05:28	SUZUKI, Kengo	JPN	2022.03.06	Tokyo
12 2:05:29	10 OSAKO, Suguru 大迫 傑	JPN	2020.03.01	Tokyo
13 2:05:30	11 CHUMBA, Dickson ディクソン・チュンバ	KEN	2018.02.25	Tokyo
14 2:05:42	CHUMBA, Dickson		2014.02.23	Tokyo
15 2:05:48	12 MOEN, Sondre Nordstad ソンドレ ノールスタッド・モーエン	NOR	2017.12.03	Fukuoka
16 2:05:51	13 KIPKETER, Gideon ギデオンのキブケテル	KEN	2017.02.26	Tokyo
17 2:05:57	14 TOLA, Tadese タデセ・トラ	ETH	2014.02.23	Tokyo
18 2:06:00	15 NEGESSE, Endeshaw エンデショー・ネゲセ	ETH	2015.02.22	Tokyo
19 2:06:10	KEBEDE, Tsegaye		2008.12.07	Fukuoka
20 2:06:11	16 SHITARA, Yuta 設楽 悠太	JPN	2018.02.25	Tokyo
21 2:06:12	17 KITATA, Shura シュラ・キタタ	ETH	2022.03.06	Tokyo
22 2:06:13	KIPSANG, Wilson		2011.03.06	Otsu
23 2:06:15	18 KAROKI, Bedan ビダン・カロキ	KEN	2020.03.01	Tokyo
24 2:06:22	19 EL ABBASSI, El Hassan エルハサン・エルアバシ	BRN	2020.03.01	Tokyo
25 2:06:23	20 MENGSTU, Asefa アセファ・メングストゥ	ETH	2020.03.01	Tokyo

## 女子 Women

Performance Time 記録	Name 名前	Nation 国	Date 日付	Venue 開催地
1 2:16:02	1 KOSGEI, Brigid ブリジット・コスゲイ	KEN	2022.03.06	Tokyo
2 2:17:18	2 CHEPNGETICH, Ruth ルース・チェブングティッチ	KEN	2022.03.13	Nagoya
3 2:17:45	3 CHEMTAI SALPETER, Lonah ロナー・チェムタイ サルピーター	ISR	2020.03.01	Tokyo
4 2:17:58	4 BEKERE, Ashete アシェテ・ベケレ	ETH	2022.03.06	Tokyo
5 2:18:18	5 GEBRESLASE, Gotytom ゴティトム・ゲブレシラシエ	ETH	2022.03.06	Tokyo
6 2:18:35	6 DIBABA, Birhane ベルハネ・ディババ	ETH	2020.03.01	Tokyo
7 2:18:42	7 TANUI, Angela アンジェラ・タヌイ	KEN	2022.03.06	Tokyo
8 2:19:10	8 GEBREKIDAN, Hiwot ヒウォト・ゲブレキダン	ETH	2022.03.06	Tokyo
9 2:19:47	9 CHEPCHIRCHIR, Sarah サラ・チェブチルチル	KEN	2017.02.26	Tokyo
10 2:19:51	DIBABA, Birhane		2018.02.25	Tokyo
11 2:20:29	10 ICHiyAMA, Mao 一山 麻緒	JPN	2020.03.08	Nagoya
12 2:20:30	11 ASEFA KEBEDE, Sutume ストゥム・アセファ ケベデ	ETH	2020.03.01	Tokyo
13 2:20:40	12 AGA, Ruti ルティ・アガ	ETH	2019.03.03	Tokyo
14 2:20:52	13 MATSUDA, Mizuki 松田 瑞生	JPN	2022.01.30	Osaka
15 2:21:01	14 TORA, Helen ヘレン・トラ	ETH	2019.03.03	Tokyo
16 2:21:02	ICHiyAMA, Mao		2022.03.06	Tokyo
17 2:21:05	15 DEMISE, Shure シュレ・デミセ	ETH	2019.03.03	Tokyo
18 2:21:11	ICHiyAMA, Mao		2021.01.31	Osaka
19 2:21:13	16 DESSE, Haven hailu ヘヴン ハイル・デッセ	ETH	2023.01.29	Osaka
20 2:21:17	17 KIRWA, Eunic ユニス・キルワ	BRN	2017.03.12	Nagoya
20 2:21:17	17 NIIYA, Hitomi 新谷 仁美	JPN	2022.03.06	Tokyo
22 2:21:18	19 NOGUCHI, Mizuki 野口 みずき	JPN	2003.01.26	Osaka
23 2:21:19	DIBABA, Birhane		2017.02.26	Tokyo
24 2:21:19	AGA, Ruti		2018.02.25	Tokyo
25 2:21:27	20 KIPROP, Helah ヘラー・キプロブ	KEN	2016.02.28	Tokyo

※ 2023年2月13日現在 / As of February 13, 2023



# 東京マラソン パフォーマンスストップ25

》 STATISTICS & RESULTS 《

All-Time Top 25 Tokyo Marathon Performances

## 男子 Men

Performance Time	記録	Name	名前	Nation	国	Place	順位	Date	日付
1	2:02:40	KIPCHOGE, Eliud	エリウド・キブチョゲ	KEN		1		2022.03.06	
2	2:03:13	KIPRUTO, Amos	アモス・キプルト	KEN		2		2022.03.06	
3	2:03:58	KIPSANG, Wilson	ウィルソン・キブサン	KEN		1		2017.02.26	
4	2:04:14	TOLA, Tamirat	タミラト・トラ	ETH		3		2022.03.06	
5	2:04:15	LEGESE, Birhanu	ビルハヌ・レゲセ	ETH		1		2020.03.01	
6	2:04:48		LEGESE, Birhanu			1		2019.03.03	
7	2:04:49	ABDI, Bashir	バシル・アブディ	BEL		2		2020.03.01	
8	2:04:51	LEMMA, Sisay	シサイ・レマ	ETH		3		2020.03.01	
9	2:05:28	SUZUKI, Kengo	鈴木 健吾	JPN		4		2022.03.06	
10	2:05:29	OSAKO, Suguru	大迫 傑	JPN		4		2020.03.01	
11	2:05:30	CHUMBA, Dickson	ディクソン・チュンバ	KEN		1		2018.02.25	
12	2:05:42		CHUMBA, Dickson			1		2014.02.23	
13	2:05:51	KIPKETER, Gideon	ギデオンのキブケテル	KEN		2		2017.02.26	
14	2:05:57	TOLA, Tadese	タデセ・トラ	ETH		2		2014.02.23	
15	2:06:00	NEGESSE, Endeshaw	エンデショー・ネゲセ	ETH		1		2015.02.22	
16	2:06:11	SHITARA, Yuta	設楽 悠太	JPN		2		2018.02.25	
17	2:06:12	KITATA, Shura	シュラ・キタタ	ETH		5		2022.03.06	
18	2:06:15	KAROKEI, Bedan	ピダン・カロキ	KEN		5		2020.03.01	
19	2:06:22	EL ABBASSI, El Hassan	エルハサン・エルアバシ	BRN		6		2020.03.01	
20	2:06:23	MENGSTU, Asefa	アセファ・メングストゥ	ETH		7		2020.03.01	
21	2:06:25		CHUMBA, Dickson			3		2017.02.26	
22	2:06:30	KITWARA, Sammy	サミー・キトワラ	KEN		3		2014.02.23	
23	2:06:33	KIPROTICH, Stephen	ステイブン・キプロティチ	UGA		2		2015.02.22	
24	2:06:33		KIPRUTO, Amos			3		2018.02.25	
25	2:06:34		CHUMBA, Dickson			3		2015.02.22	

## 女子 Women

Performance Time	記録	Name	名前	Nation	国	Place	順位	Date	日付
1	2:16:02	KOSGEI, Brigid	ブリジット・コスゲイ	KEN		1		2022.03.06	
2	2:17:45	CHEMTAI SALPETER, Lonah	ロナー・チェムタイ サルピーター	ISR		1		2020.03.01	
3	2:17:58	BEKERE, Ashete	アシェテ・ベケレ	ETH		2		2022.03.06	
4	2:18:18	GEBRESLASE, Gotytom	ゴティトム・ゲブレシラシエ	ETH		3		2022.03.06	
5	2:18:35	DIBABA, Birhane	ベルハネ・ディババ	ETH		2		2020.03.01	
6	2:18:42	TANUI, Angela	アンジェラ・タヌイ	KEN		4		2022.03.06	
7	2:19:10	GEBREKIDAN, Hiwot	ヒウォト・ゲブレキダン	ETH		5		2022.03.06	
8	2:19:47	CHEPCHIRCHIR, Sarah	サラ・チェプチルチル	KEN		1		2017.02.26	
9	2:19:51		DIBABA, Birhane			1		2018.02.25	
10	2:20:30	ASEFA KEBEDE, Sutume	ストゥム・アセファ ケベデ	ETH		3		2020.03.01	
11	2:20:40	AGA, Ruti	ルティ・アガ	ETH		1		2019.03.03	
12	2:21:01	TOLA, Helen	ヘレン・トラ	ETH		2		2019.03.03	
13	2:21:02	ICHIYAMA, Mao	一山 麻緒	JPN		6		2022.03.06	
14	2:21:05	DEMISE, Shure	シュレ・デミセ	ETH		3		2019.03.03	
15	2:21:17	NIIYA, Hitomi	新谷 仁美	JPN		7		2022.03.06	
16	2:21:19		DIBABA, Birhane			2		2017.02.26	
17	2:21:19		AGA, Ruti			2		2018.02.25	
18	2:21:27	KIPROP, Helah	ヘラー・キプロブ	KEN		1		2016.02.28	
19	2:21:42	CHEPYEGO, Kaptich Selly	カプッチ・セリー チェビエゴ	KEN		4		2020.03.01	
20	2:21:42	CRAGG, Amy	エイミー・クラッグ	USA		3		2018.02.25	
21	2:21:50	KIPLAGAT, Florence	フローレンス・キブラガト	KEN		4		2019.03.03	
22	2:21:51	GOBENA, Amane	アマネ・ゴベナ	ETH		2		2016.02.28	
23	2:21:56	GIRMA, Tigist	ティギスト・ギルマ	ETH		5		2020.03.01	
24	2:22:07		DEMISE, Shure			4		2018.02.25	
25	2:22:23	TSEGAYE, Tirfi	ティルフィ・ツェガエ	ETH		1		2014.02.23	

※ 2021 大会終了時 / As of Tokyo Marathon 2021

# 東京マラソン2021 大会結果

STATISTICS & RESULTS

Tokyo Marathon 2021 Results

カテゴリー	順位	氏名	国 or 所属	タイム	備考
Category	Place	Name	Nation	Time	Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1 エリウド・キプチョゲ KIPCHOGE, Eliud KEN ケニア 2:02:40 NCR			
		2 アモス・キプルト KIPRUTO, Amos KEN ケニア 2:03:13 NCR			
		3 タミラト・トラ TOLA, Tamirat ETH エチオピア 2:04:14			
		4 鈴木 健吾 SUZUKI, Kengo JPN 千葉・富士通 2:05:28			
		5 シュラ・キタタ KITATA, Shura ETH エチオピア 2:06:12			
		6 ラバン・コリル KORIR, Laban KEN ケニア 2:06:37			
		7 其田 健也 SONOTA, Kenya JPN 東京・JR 東日本 2:07:23			
		8 湯澤 舜 YUZAWA, Shun JPN 京都・SGホールディングス 2:07:31			
	女子 (Women)	1 ブリジット・コスゲイ KOSGEI, Brigid KEN ケニア 2:16:02 NCR			
		2 アシェテ・ベケレ BEKERE, Ashete ETH エチオピア 2:17:58			
		3 ゴティトム・ゲブレシラシエ GEBRESLASE, Gotytom ETH エチオピア 2:18:18			
		4 アンジェラ・タヌイ TANUI, Angela KEN ケニア 2:18:42			
		5 ヒウオト・ゲブレキダン GEBREKIDAN, Hiwot ETH エチオピア 2:19:10			
		6 一山 麻緒 ICHIYAMA, Mao JPN 京都・フコール 2:21:02			
		7 新谷 仁美 NIIYA, Hitomi JPN 東京・積水化学 2:21:17			
		8 サラ・ホール HALL, Sara USA アメリカ 2:22:56			
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1 マルセル・フグ HUG, Marcel SUI スイス 1:22:16			
		2 鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki JPN 東京・トヨタ自動車 1:29:12			
		3 西田 宗城 NISHIDA, Hiroki JPN 大阪・バカラバシフィック 1:29:55			
		3 樋口 政幸 HIGUCHI, Masayuki JPN 千葉・ブームジャパン 1:29:55			
		5 吉田 竜太 YOSHIDA, Ryota JPN 東京・SUS株式会社 1:30:07			
		6 ジョンボーイ・スミス SMITH, Johnboy GBR イギリス 1:31:05			
		7 洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota JPN 福岡・Yahoo! 1:32:08			
		8 渡辺 勝 WATANABE, Sho JPN 福岡・凸版印刷 1:33:14			
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1 喜納 翼 KINA, Tsubasa JPN 沖縄・琉球スポーツサポート 1:40:21			
		2 土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako JPN 東京・ウィルレイズ 1:44:58			
	準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1 松井 俊介 MATSUI, Shunsuke JPN 千葉・松戸市陸協 2:18:41			
	準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1 恒川 涼 TSUNEKAWA, Ryo JPN 埼玉・埼玉陸協 2:49:08			
Next Generation Athlete 男子 (Men)	1 細谷 翔馬 HOSOYA, Shoma JPN 宮城・帝京大学 2:09:18				
Next Generation Athlete 女子 (Women)	1 高橋 ひより TAKAHASHI, Hiyori JPN 新潟・東京農業大学 2:59:31				
10km	ジュニア&ユース男子 Junior & Youth (Men)	1 関野 稜介 SEKINO, Ryosuke JPN 33:35			
	ジュニア&ユース女子 Junior & Youth (Women)	1 山崎 めい YAMAZAKI, Mei JPN 40:12			
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1 松川 和史 MATUKAWA, Kazufumi JPN 37:57			
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1 増田 汐里 MASUDA, Shiori JPN 35:58			
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1 三國 文敬 MIKUNI, Fuminori JPN 45:05			
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1 小野 沙織 ONO, Saori JPN 1:00:39			
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1 秋元 優弥 AKIMOTO, Yuya JPN 37:15			
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1 幸長 菜央 YUKINAGA, Nao JPN 43:18			
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1 長谷川 秀一 HASEGAWA, Syuichi JPN 47:39			
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1 松尾 和枝 MATUO, Kazue JPN 1:00:37			

NCR : New Course Record

# 東京マラソン2020 大会結果

## STATISTICS & RESULTS

## Tokyo Marathon 2020 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ビルハヌ・レゲセ LEGESE, Birhanu	ETH エチオピア	2:04:15	②
		2	バシル・アブティ ABDI, Bashir	BEL ベルギー	2:04:49	
		3	シサイ・レマ LEMMA, Sisay	ETH エチオピア	2:04:51	
	女子 (Women)	1	ロナー・チェムタイサルピーター CHEMTAI SALPETER, Lonah	ISR イスラエル	2:17:45	CR
		2	ベルハネ・ディババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:18:35	CR
		3	ストゥム・アセファケベデ ASEFA KEBEDE, Sutume	ETH エチオピア	2:20:30	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	JPN 千葉・トヨタ自動車	1:21:52	CR
		2	渡辺 勝 WATANABE, Sho	JPN 福岡・凸版印刷	1:30:00	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・ヤフー	1:30:04	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	喜納 翼 KINA, Tsubasa	JPN 沖縄・タイヤランド沖縄	1:40:00	CR
		2	クリスティーン・ドーズ DAWES, Christie	AUS オーストラリア	1:53:23	
		3	安川 祐里香 YASUKAWA, Yurika	JPN 千葉・日本オラクル	1:59:18	

CR : Course Record NR : National Record ② = 2年連続優勝 / 2-time winner

# 東京マラソン2019 大会結果

## STATISTICS & RESULTS

## Tokyo Marathon 2019 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ビルハヌ・レゲセ LEGESE, Birhanu	ETH エチオピア	2:04:48	
		2	ピダン・カロキ KAROKI, Bedan	KEN 東京・横浜 DeNA	2:06:48	
		3	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:08:44	
	女子 (Women)	1	ルティ・アガ AGA, Ruti	ETH エチオピア	2:20:40	
		2	ヘレン・トラ TOLA, Helen	ETH エチオピア	2:21:01	
		3	シュレ・デミセ DEMISE, Shure	ETH エチオピア	2:21:05	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	マルセル・フグ HUG, Marcel	SUI スイス	1:30:44	
		2	ダニエル・ロマンチュク ROMANCHUK, Daniel	USA アメリカ	1:34:26	
		3	エルンスト・バンダイク VAN DYK, Ernst	RSA 南アフリカ	1:34:41	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	マニュエラ・シャー SCHAR, Manuela	SUI スイス	1:46:57	②
		2	タチアナ・マクファーデン MCFADDEN, Tatyana	USA アメリカ	1:48:54	
		3	スザンナ・スカロニ SCARONI, Susannah	USA アメリカ	1:54:32	
	準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	Faherty Ciaran CIARAN, Faherty	IRL アイルランド	2:18:47	
	準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	Chunyu Tsao TSAO, Chunyu	TPE 台湾	2:36:14	
	Next Generation Athlete 男子 (Men)	1	サイモン・カリウキ KARIUKI, Simon	KEN 埼玉・日本薬科大学	2:09:41	
Next Generation Athlete 女子 (Women)	1	川戸 希望 KAWATO, Nozomi	JPN 京都・京都産業大学	2:38:43		
10km	ジュニア&ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	佐藤 樹 SATO, Tatsuki	JPN 福島	32:10	
	ジュニア&ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	佐藤 華ルイズ SATO, Hanaruizu	JPN 福島	37:44	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	田口 勉 TAGUCHI, Tsutomu	JPN 埼玉	31:03	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	武川 泰幸 MUKAWA, Yasuyuki	JPN 北海道	38:09	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	村岡 芳水 MURAOKA, Yoshimi	JPN 千葉	51:07	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	佐藤 良憲 SATO, Yoshinori	JPN 東京	39:17	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	村上 あゆみ MURAKAMI, Ayumi	JPN 東京	50:25	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	宅島 徹 TAKUSHIMA, Toru	JPN 東京	42:54	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	高橋 祐子 TAKAHASHI, Yuuko	JPN 千葉	57:42	②

② = 2年連続優勝 / 2-time winner

# 東京マラソン2018 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 《

Tokyo Marathon 2018 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:05:30	
		2	設楽 悠太 SHITARA, Yuta	JPN 埼玉・Honda	2:06:11	
		3	アモス・キプルト KIPRUTO, Amos	KEN ケニア	2:06:33	
	女子 (Women)	1	ベルハネ・ディババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:19:51	
		2	ルティ・アガ AGA, Ruti	ETH エチオピア	2:21:19	
		3	エイミー・クラッグ CRAGG, Amy	USA アメリカ	2:21:42	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:26:23	
		2	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	JPN 千葉・トヨタ自動車	1:26:24	
		3	エルンスト・バンダイク VAN DYK, Ernst	RSA 南アフリカ	1:31:30	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	マニエラ・シャー SCHAR, Manuela	SUI スイス	1:43:25	
		2	タチアナ・マクファーデン MCFADDEN, Tatyana	USA アメリカ	1:44:51	
		3	喜納 翼 KINA, Tsubasa	JPN 沖縄・タイヤランド沖縄	1:46:17	
	準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	大森 滯 OMORI, Rei	JPN 大阪・中央学院大学	2:18:11	
	準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	山本 明日香 YAMAMOTO, Asuka	JPN 和歌山・大阪芸術大学	2:34:26	
Next Generation Athlete 男子 (Men)	1	サイモン・カリウキ SIMON, Kariuki	KEN 埼玉・日本薬科大学	2:10:00		
Next Generation Athlete 女子 (Women)	1	山本 明日香 YAMAMOTO, Asuka	JPN 和歌山・大阪芸術大学	2:34:26		
10km	ジュニア&ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	井上 大輝 INOUE, Taiki	JPN 日本	32:36	
	ジュニア&ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	千葉 彩有花 CHIBA, Sayuka	JPN 日本	38:04	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	嶋崎 康介 SHIMAZAKI, Kosuke	JPN 日本	30:05	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 日本	39:12	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	金野 由美子 KONNO, Yumiko	JPN 日本	47:30	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	小島 弘暉 KOJIMA, Hiroki	JPN 日本	37:32	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	吉田 早織 YOSHIDA, Saori	JPN 日本	44:14	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 日本	43:29	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	高橋 祐子 TAKAHASHI, Yuuko	JPN 日本	54:06	

# 東京マラソン2017 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 《

Tokyo Marathon 2017 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ウィルソン・キプサンク KIPSANG, Wilson	KEN ケニア	2:03:58	CR
		2	ギデオン・キプケテル KIPKETER, Gideon	KEN ケニア	2:05:51	
		3	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:06:25	
	女子 (Women)	1	サラ・チェpchirchir CHEPCHIRCHIR, Sarah	KEN ケニア	2:19:47	CR
		2	ベルハネ・ディババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:21:19	CR
		3	アマネ・ゴベナ GOBENA, Amane	ETH エチオピア	2:23:09	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	渡辺 勝 WATANABE, Sho	JPN 福岡・TOPPAN	1:28:01	
		2	マルセル・フグ HUG, Marcel	SUI スイス	1:28:01	
		3	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	JPN 千葉・関東パラ陸協	1:28:02	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	アマンダ・マグロリー MCGRORY, Amanda	USA アメリカ	1:43:27	
		2	マニエラ・シャー SCHAR, Manuela	SUI スイス	1:43:27	
		3	スザンナ・スカロニ SCARONI, Susannah	USA アメリカ	1:43:29	
	準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	近藤 秀一 KONDO, Shuichi	JPN 静岡・東京大学	2:14:13	
	準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	白石 莉理 SHIRAIISHI, Riri	JPN 大阪・大阪芸術大学	2:43:19	
10km	ジュニア&ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	吉田 健太 YOSHIDA, Kenta	JPN 茨城	33:22	
	ジュニア&ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	小林 菜海 KOBAYASHI, Mami	JPN 千葉	37:03	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	佐野 純一郎 SANNO, Junichiro	JPN 京都	23:55	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	武川 泰幸 MUKAWA, Yasuyuki	JPN 北海道	39:23	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	金野 由美子 KONNO, Yumiko	JPN 東京	46:05	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	大橋 哲 OHASHI, Tetsu	JPN 神奈川	38:00	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	高橋 由香里 TAKAHASHI, Yukari	JPN 愛知	47:45	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	遠田 祐貴 TODA, Yuuki	JPN 新潟	38:02	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	ベッカーマン 直美 BECKERMAN, Naomi	JPN 神奈川	53:09	

CR : Course Record



# 東京マラソン2016 大会結果

STATISTICS & RESULTS

Tokyo Marathon 2016 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	フェイス・リレサ LILESA, Feyisa	ETH エチオピア	2:06:56	
		2	バーナード・キピエゴ KIPYEGO, Bernard	KEN ケニア	2:07:33	
		3	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:07:34	
	女子 (Women)	1	ヘラー・キプロプ KIPROP, Helah	KEN ケニア	2:21:27	CR
		2	アマネ・ゴベナ GOBENA, Amane	ETH エチオピア	2:21:51	CR
		3	エドナ・キブラガト KIPLAGAT, Edna	KEN ケニア	2:22:36	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	クート・フェンリー FEARNLEY, Kurt	AUS オーストラリア	1:26:00	CR
		2	エルンスト・バンダイク VAN DYK, Ernst	RSA 南アフリカ	1:26:01	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・ヤフー	1:26:01	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・八千代工業	1:41:04	CR⑨
		2	タチアナ・マクファーデン MCFADDEN, Tatyana	USA アメリカ	1:41:14	
		3	中山 和美 NAKAYAMA, Kazumi	JPN 神奈川・アクセンチュア	1:56:58	
準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	橋本 峻 HASHIMOTO, Ryo	JPN 大分・青山学院大学	2:14:38		
準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	ルース・シャーロット・クロフト CROFT, Ruth Charlotte	NZL ニュージーランド	2:40:59		
10km	ジュニア & ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	藤井 優吾 FUJII, Yugo	JPN 東京	34:07	
	ジュニア & ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	門間 由来 MOMMA, Yura	JPN 宮城	38:39	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	佐藤 友祈 SATO, Tomoki	JPN 静岡	24:33	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	安川 祐里香 YASUKAWA, Yurika	JPN 神奈川	27:04	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	40:01	⑤
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	金野 由美子 KONNO, Yumiko	JPN 東京	49:01	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	小島 弘暉 KOJIMA, Hiroki	JPN 埼玉	39:24	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	澤 麻衣子 SAWA, Maiko	JPN 滋賀	43:15	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	41:11	③
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 東京	48:20	

CR : Course Record ③ = 3年連続優勝 / 3-time winner ⑤ = 5年連続優勝 / 5-time winner ⑨ = 9年連続優勝 / 9-time winner

# 東京マラソン2015 大会結果

STATISTICS & RESULTS

Tokyo Marathon 2015 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks	
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	エンデショー・ネゲセ NEGESSE, Endeshaw	ETH エチオピア	2:06:00		
		2	スティーブン・キプロティチ KIPROTICH, Stephen	UGA ウガンダ	2:06:33		
		3	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:06:34		
	女子 (Women)	1	ベルハネ・ティババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:23:15		
		2	ヘラー・キプロプ KIPROP, Helah	KEN ケニア	2:24:03		
		3	ティキ・ゲラナ GELANA, Tiki	ETH エチオピア	2:24:26		
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:30:23		
		2	鈴木 朋樹 SUZUKI, Tomoki	JPN 千葉	1:30:36		
		3	吉田 竜太 YOSHIDA, Ryota	JPN 東京	1:30:36		
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・八千代工業	1:46:30	⑧	
		準エリート男子 Semi-Elite (Men)	1	猪浦 舜 INOURA, Shun	JPN 埼玉・駒澤大学	2:17:54	
		準エリート女子 Semi-Elite (Women)	1	大和田 啓実 OOWADA, Hiromi	JPN 東京	2:46:39	
10km	ジュニア & ユース男子 Junior & Youth (Men)	1	佐藤 亜星 SATO, Asei	JPN 宮城	32:53		
	ジュニア & ユース女子 Junior & Youth (Women)	1	原田 紗枝 HARADA, Sae	JPN 千葉	37:14		
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	嶋崎 康介 SHIMAZAKI, Kosuke	JPN 東京	27:07		
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	41:38	④	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	近藤 寛子 KONDO, Hiroko	JPN 滋賀	47:18		
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	萩原 和輝 HAGIWARA, Kazuki	JPN 東京	40:27		
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	村上 あゆみ MURAKAMI, Ayumi	JPN 東京	45:06		
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	42:51	②	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	乾 麻理子 INUI, Mariko	JPN 東京	53:31		

② = 2年連続優勝 / 2-time winner ④ = 4年連続優勝 / 4-time winner ⑧ = 8年連続優勝 / 8-time winner

# 東京マラソン2014 大会結果

STATISTICS & RESULTS

Tokyo Marathon 2014 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ディクソン・チュンバ CHUMBA, Dickson	KEN ケニア	2:05:42	CR
		2	タデセ・トラ TOLA, Tadese	ETH エチオピア	2:05:57	CR
		3	サミー・キトワラ KITWARA, Sammy	KEN ケニア	2:06:30	CR
	女子 (Women)	1	ティルフィ・ツェガエ TSEGAYE, Tirfi	ETH エチオピア	2:22:23	CR
		2	ベルハネ・ディババ DIBABA, Birhane	ETH エチオピア	2:22:30	CR
		3	ルーシー・カブー KABUU, Lucy	KEN ケニア	2:24:16	CR
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:30:43	
		2	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 長崎・シーズアスリート	1:30:44	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:34:45	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:08	⑦
10km	U-18 男子 U-18 (Men)	1	黒田 雄紀 KURODA, Yuki	JPN 神奈川	32:41	
	U-18 女子 U-18 (Women)	1	千葉 悠里奈 CHIBA, Yurina	JPN 宮城	37:31	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	弘岡 正樹 HIROOKA, Masaki	JPN 神奈川	26:40	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	40:18	③
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	青木 洋子 AOKI, Yoko	JPN 東京	51:11	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	小磯 夏樹 KOISO, Natsuki	JPN 東京	35:25	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	幸長 菜央 YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉	44:35	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	長谷川 秀一 HASEGAWA, Shuichi	JPN 兵庫	41:05	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	ベッカーマン 直美 BECKERMAN, Naomi	JPN 神奈川	50:09	

CR : Course Record ③ = 3年連続優勝 / 3-time winner ⑦ = 7年連続優勝 / 7-time winner

# 東京マラソン2013 大会結果

STATISTICS & RESULTS

Tokyo Marathon 2013 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	デニス・キメット KIMETTO, Dennis	KEN ケニア	2:06:50	CR
		2	マイケル・キピエゴ KIPYEGO, Michael	KEN ケニア	2:06:58	CR
		3	バーナード・キピエゴ KIPYEGO, Bernard	KEN ケニア	2:07:53	
	女子 (Women)	1	アベル・ケベデ KEBEDE, Aberu	ETH エチオピア	2:25:34	
		2	イエシ・イセイアス ESAYIAS, Yeshi	ETH エチオピア	2:26:01	
		3	イリーナ・ミキテンコ MIKITENKO, Irina	GER ドイツ	2:26:41	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・シーズアスリート	1:27:53	
		2	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:29:07	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・イベックス・マーケティング	1:34:42	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:29	⑥
10km	U-18 男子 U-18 (Men)	1	藤 飛翔 FUJI, Tsubasa	JPN 福島	34:34	
	U-18 女子 U-18 (Women)	1	胡口 奈穂 KOGUCHI, Nao	JPN 福島	42:21	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山口 充弘 YAMAGUCHI, Mitsuhiro	JPN 神奈川	26:22	②
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	兼子 未希 KANEKO, Miki	JPN 東京	34:06	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	鈴木 卓 SUZUKI, Taku	JPN 新潟	44:34	②
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	宮城 好子 MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	55:19	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	渡辺 峻佑 WATANABE, Ryosuke	JPN 東京	42:40	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	樋口 敦子 HIGUCHI, Atsuko	JPN 新潟	51:06	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	星川 望 HOSHIKAWA, Nozomu	JPN 東京	51:46	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 大阪	55:14	②

CR : Course Record ② = 2年連続優勝 / 2-time winner ⑥ = 6年連続優勝 / 6-time winner

# 東京マラソン2012 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 《

Tokyo Marathon 2012 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	マイケル・キピエゴ KIPYEGO, Michael	KEN ケニア	2:07:37	
		2	藤原 新 FUJIWARA, Arata	JPN 東京・東京陸協	2:07:48	
		3	スティーブン・キプロティチ KIPROTICH, Stephen	UGA ウガンダ	2:07:50	
	女子 (Women)	1	アツェデ・ハブタム HABTAMU, Atsede	ETH エチオピア	2:25:28	CR
		2	イエシ・イセイアス ESAYIAS, Yeshi	ETH エチオピア	2:26:00	
		3	ヘレナ・キロップ KIROP, Helena	KEN ケニア	2:26:02	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:29:26	
		2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・チームサンディスク	1:29:31	
		3	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:30:37	
車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ	1:48:31	⑤	
10km	U-18 男子 U-18 (Men)	1	齋藤 将輝 SAITO, Masaki	JPN 福島	33:43	
	U-18 女子 U-18 (Women)	1	嶋原 優子 SHIGIHARA, Yuko	JPN 福島	41:34	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山口 充弘 YAMAGUCHI, Mitsuhiro	JPN 神奈川	26:59	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	重田 雅敏 SHIGETA, Masatoshi	JPN 東京	53:02	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	山田 敦子 YAMADA, Atsuko	JPN 兵庫	58:23	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	佐藤 嵩仁 SATO, Takahito	JPN 神奈川	41:43	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	田口 恵 TAGUCHI, Megumi	JPN 東京	1:02:34	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	46:12	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	小林 信江 KOBAYASHI, Nobue	JPN 大阪	54:52	

CR : Course Record ⑤ = 5年連続優勝 / 5-time winner

# 東京マラソン2011 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 《

Tokyo Marathon 2011 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ハイル・メコネン MEKONNEN, Hailu	ETH エチオピア	2:07:35	
		2	ポール・ビウォット BIWOTT, Paul	KEN ケニア	2:08:17	
		3	川内 優輝 KAWAUCHI, Yuki	JPN 埼玉・埼玉陸協	2:08:37	
	女子 (Women)	1	樋口 紀子 HIGUCHI, Noriko	JPN 京都・ワコール	2:28:49	
		2	タチアナ・ペトロワ PETROVA, Tatiana	RUS ロシア	2:28:56	
		3	渋谷 陽子 SHIBUI, Yoko	JPN 東京・三井住友海上	2:29:03	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:25:38	CR
		2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:26:13	CR
		3	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:30:17	
車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:40:08	CR④	
10km	一般男子 (Men)	1	三野 貴史 MINO, Takashi	JPN 千葉	32:18	
	一般女子 (Women)	1	伊豫田 歩 IYOTA, Ayumi	JPN 茨城	43:38	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	庄司 和浩 SHOJI, Kazuhiro	JPN 茨城	24:29	CR
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	八木 陽平 YAGI, Yohei	JPN 東京	46:35	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	宮城 好子 MIYAGI, Yoshiko	JPN 埼玉	52:26	CR
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	高田 泰志 TAKADA, Taishi	JPN 埼玉	37:20	CR
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	幸長 菜央 YUKINAGA, Nao	JPN 埼玉	45:37	CR
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	守屋 英海 MORIYA, Hidemi	JPN 東京	44:04	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	乾 麻理子 INUI, Mariko	JPN 東京	1:01:49	

CR : Course Record ④ = 4年連続優勝 / 4-time winner

# 東京マラソン2010 大会結果

STATISTICS & RESULTS

Tokyo Marathon 2010 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	藤原 正和 FUJIWARA, Masakazu	JPN 埼玉・Honda	2:12:19	
		2	藤原 新 FUJIWARA, Arata	JPN 東京・JR 東日本	2:12:34	
		3	佐藤 敦之 SATO, Atsushi	JPN 広島・中国電力	2:12:35	
	女子 (Women)	1	アレフティナ・ビクティミロワ BIKTIMIROVA, Alevtina	RUS ロシア	2:34:39	
		2	ロベ・グタ GUTA, Robe	ETH エチオピア	2:36:29	
		3	スタ・オラル OLARU, Nuta	ROU ルーマニア	2:36:42	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	山本 浩之 YAMAMOTO, Hiroyuki	JPN 福岡	1:35:19	
		2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:40:07	
		3	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:40:20	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:53:01	③
10km	一般男子 (Men)	1	本橋 佑哉 MOTOHASHI, Yuya	JPN 千葉・我孫子消防	33:51	
	一般女子 (Women)	1	矢藤 尚美 YATO, Naomi	JPN 静岡・N-RC	44:34	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	川口 幸治 KAWAGUCHI, Yukiharu	JPN 千葉・オーエックス	28:29	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	舟橋 剛二 FUNABASHI, Koji	JPN 静岡	46:41	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	斎藤 玉貴 SAITO, Tamaki	JPN 山形・バンバンクラブ	55:12	CR
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	矢島 一也 YAJIMA, Kazuya	JPN 神奈川・小田原養護同窓	37:27	CR
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉	47:30	CR④
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川	45:41	②
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	近藤 千津子 KONDO, Chizuko	JPN 東京	1:12:47	

CR : Course Record ② = 2年連続優勝 / 2-time winner ③ = 3年連続優勝 / 3-time winner ④ = 4年連続優勝 / 4-time winner

# 東京マラソン2009 大会結果

STATISTICS & RESULTS

Tokyo Marathon 2009 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	サリム・キブサング KIPSANG, Salim	KEN ケニア	2:10:27	
		2	前田 和浩 MAEDA, Kazuhiro	JPN 福岡・九電工	2:11:01	
		3	高橋 謙介 TAKAHASHI, Kensuke	JPN 愛知・トヨタ自動車	2:11:25	
	女子 (Women)	1	那須川 瑞穂 NASUKAWA, Mizuho	JPN 千葉・アルゼ	2:25:38	CR
		2	佐伯 由香里 SAHAKU, Yukari	JPN 千葉・アルゼ	2:28:55	CR
		3	土佐 礼子 TOSA, Reiko	JPN 東京・三井住友海上	2:29:19	CR
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:33:11	③
		2	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡	1:37:28	
		3	廣道 純 HIROMICHI, Jun	JPN 大分・TDKラムダ	1:42:33	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・サノフィ・アベンティス	1:46:31	②
10km	一般男子 (Men)	1	山本 伸幸 YAMAMOTO, Nobuyuki	JPN 石川・鹿島AC	33:38	
	一般女子 (Women)	1	渡辺 美保 WATANABE, Miho	JPN 東京・順天高校	37:36	②
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	庄司 和浩 SHOJI, Kazuhiro	JPN 茨城・チームしまだ	25:36	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	高崎 瑞貴 TAKASAKI, Mizuki	JPN 神奈川	29:07	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	福本 真秀 FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川・SWAC	44:30	CR②
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	仁茂田 ルリ子 NIMODA, Ruriko	JPN 東京・バンバンクラブ	57:24	CR
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	今野 雄太 KONNO, Yuta	JPN 神奈川・横浜ウインズ	38:41	CR②
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉・MJRC	49:18	③
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	関 哲也 SEKI, Tetsuya	JPN 神奈川・ホールディング	43:41	CR
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	田結庄 彩知 TAINOSHO, Sachi	JPN 東京	1:17:31	

CR : Course Record ② = 2年連続優勝 / 2-time winner ③ = 3年連続優勝 / 3-time winner



# 東京マラソン2008 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 《

Tokyo Marathon 2008 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ビクトル・ロスリン ROTHLIN, Victor	SUI スイス	2:07:23	CR
		2	藤原 新 FUJIWARA, Arata	JPN 東京・JR 東日本	2:08:40	CR
		3	ジュリアス・ギタヒ GITAH, Julius	KEN 東京・日清食品	2:08:57	CR
	女子 (Women)	1	クラウディア・ドレハー DREHER, Claudia	GER ドイツ	2:35:35	
		2	水谷 理紗 MIZUTANI, Risa	JPN 茨城・筑波大学	2:48:59	
		3	加瀬沢 好美 KASEZAWA, Yoshimi	JPN 神奈川・秦野運動公園	2:51:18	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN 福岡・C's Athlete	1:27:15	CR②
		2	花岡 伸和 HANAOKA, Nobukazu	JPN 千葉	1:29:42	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN 福岡・SUNDISK	1:32:46	
車いす女子 Wheelchair (Women)	1	土田 和歌子 TSUCHIDA, Wakako	JPN 東京・ヒューマンラスト	1:45:19	CR	
10km	一般男子 (Men)	1	伴 卓磨 BAN, Takuma	JPN 東京・モントブラン	33:28	
	一般女子 (Women)	1	渡辺 美保 WATANABE, Miho	JPN 東京・順天高校	35:36	CR
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	松浦 辰雄 MATSUURA, Tatsuo	JPN 福島 福島身障陸連	24:33	CR②
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	八巻 智美 YAMAKI, Tomomi	JPN 福島・FALD	28:28	CR
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	福本 真秀 FUKUMOTO, Masahide	JPN 神奈川	45:34	CR
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	今泉 晶子 IMAIZUMI, Akiko	JPN 東京	1:00:32	CR
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	今野 雄太 KONNO, Yuta	JPN 神奈川・横浜ウインズ	39:18	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN 千葉・MJRC松戸	49:28	②
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	小堤 進 OTSUZUMI, Susumu	JPN 茨城・チームリボン	51:26	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	大内 敦子 OUCHI, Atsuko	JPN 埼玉	1:13:30	

CR : Course Record ② = 2年連続優勝 / 2-time winner

# 東京マラソン2007 大会結果

》 STATISTICS & RESULTS 《

Tokyo Marathon 2007 Results

カテゴリー	Category	順位 Place	氏名 Name	国 or 所属 Nation	タイム Time	備考 Remarks
マラソン Marathon	男子 (Men)	1	ダニエル・ジェンガ NJENGA, Daniel	KEN ヤクルト	2:09:45	
		2	佐藤 智之 SATO, Tomoyuki	JPN 旭化成	2:11:22	
		3	入船 敏 IRIFUNE, Satoshi	JPN カネボウ	2:12:44	
	女子 (Women)	1	新谷 仁美 NIYA, Hitomi	JPN 豊田自動織機	2:31:01	
		2	谷川 真理 TANIGAWA, Mari	JPN アミノバイタル AC	2:49:54	
		3	田中 光 TANAKA, Hikaru	JPN 旭化成東京 JC	2:50:02	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	副島 正純 SOEJIMA, Masazumi	JPN シーズアスリート	1:32:21	
		2	廣道 純 HIROMICHI, Jun	JPN TDK ラムダ	1:37:45	
		3	洞ノ上 浩太 HOKINOUE, Kota	JPN SUNDISK	1:43:12	
10km	一般男子 (Men)	1	西郷 祐一郎 SAIGO, Yuuichirou	JPN 千葉	33:14	
	一般女子 (Women)	1	グレタ・トラスコット TRUSCOTT, Greta	AUS オーストラリア	37:46	
	車いす男子 Wheelchair (Men)	1	松浦 辰雄 MATSUURA, Tatsuo	JPN 福島身障陸連	26:23	
	車いす女子 Wheelchair (Women)	1	藤田 道子 FUJITA, Michiko	JPN 宮城車いす MC	29:23	
	視覚障害者男子 Visually Impaired (Men)	1	石井 勝己 ISHII, Katsumi	JPN 植村整形外科	49:47	
	視覚障害者女子 Visually Impaired (Women)	1	坂下 左代子 SAKASHITA, Sayoko	JPN JD やじろペー	1:04:53	
	知的障害者男子 Intellectually Challenged (Men)	1	大久保 健史 OOKUBO, Takeshi	JPN 葛飾養護 OB	39:18	
	知的障害者女子 Intellectually Challenged (Women)	1	山中 のぞみ YAMANAKA, Nozomi	JPN MJRC 松戸	49:12	
	移植者男子 Organ Transplant Recipients (Men)	1	守屋 英海 MORIYA, Hidemi	JPN 東京	46:10	
	移植者女子 Organ Transplant Recipients (Women)	1	石川 友子 ISHIKAWA, Tomoko	JPN 神奈川	1:09:48	



# コース・運営 COURSE & OPERATIONS

## 通過予想時刻

Time Estimate at Different Locations 097

## 医療救護体制

Medical Aid 101

## コース高低差

Course Elevation 098

## サステナビリティへの取り組み

Sustainable Projects 102

## ペース早見表

Pace Guide 099

## 収容関門

Cut-Off Checkpoints 100

# 大会関係者ウェア / Staff Gears

## COMPETITION OFFICIALS (審判員)



## MEDICAL



## VOLUNTEER



## PACKET PICK-UP

## RACE DAY

## RUNNING POLICE



## RACE OFFICIALS





# 通過予想時刻(1km毎)

スタート/車いす・車いす10.7km 9:05 マラソン・10.7km 9:10

## 》 COURSE & OPERATIONS 《 Time Estimate at Different Locations

km	車いす先頭 Lead Wheelchair	車いす最後尾 Rearmost Wheelchair	ランナー先頭 Lead Runner	ポリコムゾーン先頭 Start of Highest Traffic Time	ポリコムゾーン最後尾 End of Highest Traffic Time	ランナー最後尾 Rearmost Runner	地点
0.0	9:05:00	9:05:00	9:10:00	9:10:00	9:25:00	9:40:00	東京都庁第一本庁舎前
1.0	9:06:56	9:08:05	9:12:54	9:14:12	9:33:24	9:49:11	新宿三井ビルディング前
2.0	9:08:53	9:11:10	9:15:49	9:18:24	9:41:48	9:58:22	新宿ピカデリー前
3.0	9:10:49	9:14:15	9:18:43	9:22:36	9:50:12	10:07:33	富久町西交差点
4.0	9:12:46	9:17:19	9:21:38	9:26:48	9:58:36	10:16:44	合羽坂下交差点
5.0	9:14:42	9:20:24	9:24:32	9:31:00	10:07:00	10:25:44	武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス前
6.0	9:16:38	9:23:29	9:27:27	9:35:12	10:14:36	10:32:59	東京理科大学双葉ビル前
7.0	9:18:35	9:26:34	9:30:21	9:39:24	10:22:12	10:40:15	後楽橋交差点手前
8.0	9:20:31	9:29:39	9:33:15	9:43:36	10:29:48	10:47:30	「MT-O 神保町」前
9.0	9:22:28	9:32:44	9:36:10	9:47:48	10:37:24	10:54:45	淡路町交差点
10.0	9:24:24	9:35:49	9:39:04	9:52:00	10:45:00	11:02:01	アキバCOビル前
10.59	9:25:33	9:37:38	9:40:47	9:54:36	10:49:36	11:06:18	上野広小路折り返し
11.0	9:26:21	9:38:53	9:41:59	9:56:24	10:52:48	11:09:16	セイキ第一ビル前
12.0	9:28:17	9:41:58	9:44:53	10:00:48	11:00:36	11:19:25	ヒューリック神田須田町ビル前
13.0	9:30:13	9:45:03	9:47:48	10:05:12	11:08:24	11:29:53	三井本館前
14.0	9:32:10	9:48:08	9:50:42	10:09:36	11:16:12	11:40:21	東京証券会館前
15.0	9:34:06	9:51:13	9:53:36	10:14:00	11:24:00	11:50:49	日本橋浜町タワー前
16.0	9:36:03	9:54:18	9:56:31	10:18:24	11:32:12	12:00:27	ドミノ・ピザ東日本橋店
17.0	9:37:59	9:57:23	9:59:25	10:22:48	11:40:24	12:09:33	蔵前一丁目交差点
18.0	9:39:55	10:00:27	10:02:20	10:27:12	11:48:36	12:18:38	駒形橋西詰交差点手前
19.0	9:41:52	10:03:32	10:05:14	10:31:36	11:56:48	12:27:44	駒形CAビル前
20.0	9:43:48	10:06:37	10:08:09	10:36:00	12:05:00	12:36:49	蔵前橋上
21.0	9:45:45	10:09:42	10:11:03	10:40:00	12:13:00	12:45:55	りそな銀行本所支店
21.0975	9:45:56	10:10:00	10:11:20	10:40:23	12:13:47	12:46:49	「HF 両国レジデンス」前
22.0	9:47:41	10:12:47	10:13:57	10:44:00	12:21:00	12:55:08	「高橋」バス停前
23.0	9:49:37	10:15:52	10:16:52	10:48:00	12:29:00	13:04:21	シグマ印刷ビル前
23.95	9:51:28	10:18:47	10:19:38	10:51:48	12:36:36	13:13:06	富岡八幡宮折り返し
24.0	9:51:34	10:18:57	10:19:46	10:52:00	12:37:00	13:13:33	毛利ビル前
25.0	9:53:30	10:22:01	10:22:41	10:56:00	12:45:00	13:22:40	「アルテシモ シェルト」前
26.0	9:55:27	10:25:06	10:25:35	11:00:12	12:53:00	13:31:33	「BOZO」前
27.0	9:57:23	10:28:11	10:28:30	11:04:24	13:01:00	13:40:27	緑一丁目交差点
28.0	9:59:20	10:31:16	10:31:24	11:08:36	13:09:00	13:49:20	蔵前橋上
29.0	10:01:16	10:34:21	10:34:18	11:12:48	13:17:00	13:58:13	ファミリーマート 台東柳橋一丁目店
30.0	10:03:12	10:37:26	10:37:13	11:17:00	13:25:00	14:06:31	明治座前
31.0	10:05:09	10:40:31	10:40:07	11:21:12	13:34:12	14:14:39	第2山万ビル前
32.0	10:07:05	10:43:35	10:43:02	11:25:24	13:43:24	14:22:47	日本橋高島屋SC前
33.0	10:09:02	10:46:40	10:45:56	11:29:36	13:52:36	14:30:56	銀座ダイヤモンドシライシ 銀座本店前
34.0	10:10:58	10:49:45	10:48:51	11:33:48	14:01:48	14:39:39	日比谷マリンビル前
35.0	10:12:54	10:52:50	10:51:45	11:38:00	14:11:00	14:48:57	八洲電機(株)本社前
36.0	10:14:51	10:55:55	10:54:39	11:42:24	14:26:36	14:58:15	港区区役所前交差点先
37.0	10:16:47	10:59:00	10:57:34	11:46:48	14:42:12	15:07:33	三田NNビル前
37.48	10:17:43	11:00:28	10:58:58	11:48:55	14:49:41	15:12:01	田町駅折り返し
38.0	10:18:44	11:02:05	11:00:28	11:51:12	14:57:48	15:17:30	日本電気(株)前
39.0	10:20:40	11:05:09	11:03:23	11:55:36	15:13:24	15:30:01	ル・パン・コティディアン 芝公園店前
40.0	10:22:36	11:08:14	11:06:17	12:00:00	15:29:00	15:42:32	CJビル前
41.0	10:24:33	11:11:19	11:09:12	12:04:06	15:38:34	15:55:03	丸の内警察署 日比谷公園前交番前
42.0	10:26:29	11:14:24	11:12:06	12:08:12	15:48:08	16:07:34	郵船ビルディング前
42.195	10:26:52	11:15:00	11:12:40	12:09:00	15:50:00	16:10:00	和田倉門交差点

### 〈タイム算出方法の説明〉

- 1) 車いす先頭は2020大会記録を、ランナー先頭は2021大会記録をオープンペースにして算出。
- 2) 車いす最後尾は制限時間(2時間10分)をオープンペースに。
- 3) ランナー最後尾はスタート30分後(9:40)にスタートラインを通過し、各関門間を関門閉鎖時刻を元にオープンペースに。



# コース高低差

## 》 COURSE & OPERATIONS 《

## Course Elevation

公認の条件 ①スタートとフィニッシュの2点間の直線距離は、そのレースの全距離の50%以下とする。  
②スタートとフィニッシュの2点間標高の減少は、1000分の1kmを超えない。

Location	Nearest Address	距離 Distance (km)	標高 Elevation	高低差 (m)
Tokyo Metropolitan Government Bldg. No.1	2-8-1 Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku	0.0	40.3	0.0
Shinjuku Mitsui Building	2-1-1 Nishi-shinjuku, Shinjuku-ku	1.0	38.8	1.5
Shinjuku Piccadilly Cinema	3-15-15 Shinjuku, Shinjuku-ku	2.0	33.8	6.5
Tomihisacho crossroad	9 Tomihisacho, Shinjuku-ku	3.0	32.3	8.0
Kappazaka-shita crossroad	2 Katamachi, Shinjuku-ku	4.0	19.7	20.6
Musashino Art University Ichigaya Campus	1-4 Ichigayatamachi, Shinjuku-ku	5.0	12.5	27.8
Tokyo University of Science Futaba Bldg.	1-8-1 Kagurazaka, Shinjuku-ku	6.0	6.3	33.9
Koraku-Brdg. crossroad	1-2 Koraku, Bunkyo-ku	7.0	3.3	37.0
「MT-O Jinbocho」	1-14-3 Jinbocho Kanda, Chiyoda-ku	8.0	3.7	36.6
Awajicho crossroad	1-2 Awajicho, Kanda, Chiyoda-ku	9.0	4.7	35.6
Akiba CO Bldg.	3-16-12 Sotokanda, Chiyoda-ku	10.0	3.6	36.7
Turning point of Uenohirokoji	3-29 Ueno, Taito-ku	10.59	4.5	35.7
Seiki Daiichi Bldg.	5-2-2 Sotokannda, Chiyoda-ku	11.0	3.6	36.7
Hulic Kanda Sudacho Bldg.	1-16-5 Kanda Sudacho, Chiyoda-ku	12.0	4.7	35.6
Mitsui Main Building	2-1-1 Nihonbashimuromachi, Chuo-ku	13.0	4.7	35.6
The Tokyo Shoken Building Inc.	1-5-8 Nihonbashikayabacho, Chuo-ku	14.0	2.3	38.0
TKM Nihonbashi Hamacho Tower	2-1-10 Nihonbashihamacho, Chuo-ku	15.0	1.6	38.7
Domino's Pizza Higashi-Nihonbashi	9-15 Nihonbashiyokoyamacho, Chuo-ku	16.0	3.0	37.3
Kuramae 1-chome crossroad	3-20 Asakusabashi, Taito-ku	17.0	2.4	37.9
Komagatabashi-Nishi crossroad	1-12 Komagata, Taito-ku	18.0	5.3	35.0
Komagata CA Bldg.	2-4-5 Komagata, Taito-ku	19.0	5.2	35.1
Kuramae Bridge	2 Kuramae, Taito-ku to 2 Yokoami, Sumida-ku	20.0	8.0	32.3
Resona Bank, Limited. Honjo Branch	1-16-1 Midori, Sumida-ku	21.0	1.3	38.9
「HF Ryogoku Residence」	1-9-3 Midori, Sumida-ku	21.0975	1.3	39.0
Bus Stop at 「Takabashi」	12 Takabashi, Koto-ku	22.0	0.9	39.4
Sigma Printing Bldg.	2-16-10 Fukagawa, Koto-ku	23.0	0.7	39.6
Turning point of Tomioka Hachimangu	1-26 Tomioka, Koto-ku	23.95	0.3	40.0
Mori Bldg.	1-25-3 Tomioka, Koto-ku	24.0	0.4	39.9
「ARTESS MO SCEL」	1-9-13 Fukagawa, Koto-ku	25.0	0.9	39.4
「BOZO」	2-10-6 Tokiwa, Koto-ku	26.0	0.9	39.4
Midori 1-chome crossroad	4-31 Ryogoku, Sumidaku	27.0	1.1	39.2
Kuramae Bridge	2 Yokoami, Sumida-ku to 2 Kuramae, Taito-ku	28.0	8.0	32.3
FamilyMart Taito Higashi-Yanagibashi 1-chome	1-3-10 Yanagibashi, Taito-ku	29.0	3.7	36.6
Meijiza	2-31-1 Nihonbashihamacho, Chuo-ku	30.0	1.7	38.6
Yamaman Bldg. 2	6-7 Nihonbashikoamicho, Chuo-ku	31.0	2.2	38.1
Nihombashi Takashimaya S.C.	2-5-1 Nihonbashi, Chuo-ku	32.0	3.9	36.4
GINZA DIAMOND SHIRAIISHI Ginza Head office	1-5-1 Ginza, Chuo-ku	33.0	3.2	37.1
Hibiya Marine Bldg.	1-5-1 Yurakucho, Chiyoda-ku	34.0	1.9	38.4
Yashima Denki Co., Ltd.	3-1-1 Shinbashi, Minato-ku	35.0	3.6	36.7
Minato City Hall crossroad	1-4 Shibakoen, Minato-ku	36.0	3.4	36.9
Mita NN Bldg.	4-1-23 Shiba, Minato-ku	37.0	3.7	36.6
Turning point of Tamachi Station	5 Shiba, Minato-ku	37.48	4.0	36.3
NEC	5-7-1 Shiba, Minato-ku	38.0	3.4	36.9
Le Pain Quotidien	3-3 Shibakoen, Minato-ku	39.0	3.3	37.0
CJ Bldg.	2-7-4 Nishi-Shinbashi, Minato-ku	40.0	3.5	36.8
Hibiya crossroad (in front of Police BOX)	1-1 Hibiyakoen, Chiyoda-ku	41.0	2.0	38.3
Yusen Bldg.	2-3-2 Marunouchi, Chiyoda-ku	42.0	3.0	37.3
Wadakura-Gate crossroad	1-2 Marunouchi, Chiyoda-ku	42.2	2.8	37.5

# ペース早見表

## 》》 COURSE & OPERATIONS 》》

## Pace Guide

### マラソン Marathon

1 km	5 km	10km	15km	20km	Half 21.0975km	25km	30km	35km	40km	Marathon 42.195km	
2:50	14:10	28:20	42:30	56:40	59:47	1:10:50	1:25:00	1:39:10	1:53:20	1:59:33	
2:51	14:15	28:30	42:45	57:00	1:00:08	1:11:15	1:25:30	1:39:45	1:54:00	2:00:15	
2:52	14:20	28:40	43:00	57:20	1:00:29	1:11:40	1:26:00	1:40:20	1:54:40	2:00:58	●2:01:09
2:53	14:25	28:50	43:15	57:40	1:00:50	1:12:05	1:26:30	1:40:55	1:55:20	2:01:40	
2:54	14:30	29:00	43:30	58:00	1:01:11	1:12:30	1:27:00	1:41:30	1:56:00	2:02:22	
2:55	14:35	29:10	43:45	58:20	1:01:32	1:12:55	1:27:30	1:42:05	1:56:40	2:03:04	
2:56	14:40	29:20	44:00	58:40	1:01:53	1:13:20	1:28:00	1:42:40	1:57:20	2:03:46	
2:57	14:45	29:30	44:15	59:00	1:02:14	1:13:45	1:28:30	1:43:15	1:58:00	2:04:29	○2:04:56
2:58	14:50	29:40	44:30	59:20	1:02:35	1:14:10	1:29:00	1:43:50	1:58:40	2:05:11	
2:59	14:55	29:50	44:45	59:40	1:02:56	1:14:35	1:29:30	1:44:25	1:59:20	2:05:53	
3:00	15:00	30:00	45:00	1:00:00	1:03:18	1:15:00	1:30:00	1:45:00	2:00:00	2:06:35	
3:01	15:05	30:10	45:15	1:00:20	1:03:39	1:15:25	1:30:30	1:45:35	2:00:40	2:07:17	
3:02	15:10	30:20	45:30	1:00:40	1:04:00	1:15:50	1:31:00	1:46:10	2:01:20	2:07:59	
3:03	15:15	30:30	45:45	1:01:00	1:04:21	1:16:15	1:31:30	1:46:45	2:02:00	2:08:42	
3:04	15:20	30:40	46:00	1:01:20	1:04:42	1:16:40	1:32:00	1:47:20	2:02:40	2:09:24	
3:05	15:25	30:50	46:15	1:01:40	1:05:03	1:17:05	1:32:30	1:47:55	2:03:20	2:10:06	
3:06	15:30	31:00	46:30	1:02:00	1:05:24	1:17:30	1:33:00	1:48:30	2:04:00	2:10:48	
3:07	15:35	31:10	46:45	1:02:20	1:05:45	1:17:55	1:33:30	1:49:05	2:04:40	2:11:30	
3:08	15:40	31:20	47:00	1:02:40	1:06:06	1:18:20	1:34:00	1:49:40	2:05:20	2:12:13	
3:09	15:45	31:30	47:15	1:03:00	1:06:27	1:18:45	1:34:30	1:50:15	2:06:00	2:12:55	
3:10	15:50	31:40	47:30	1:03:20	1:06:49	1:19:10	1:35:00	1:50:50	2:06:40	2:13:37	▲2:14:04
3:15	16:15	32:30	48:45	1:05:00	1:08:34	1:21:15	1:37:30	1:53:45	2:10:00	2:17:08	△2:19:12
3:20	16:40	33:20	50:00	1:06:40	1:10:20	1:23:20	1:40:00	1:56:40	2:13:20	2:20:39	
3:25	17:05	34:10	51:15	1:08:20	1:12:05	1:25:25	1:42:30	1:59:35	2:16:40	2:24:10	
3:30	17:30	35:00	52:30	1:10:00	1:13:50	1:27:30	1:45:00	2:02:30	2:20:00	2:27:41	
3:35	17:55	35:50	53:45	1:11:40	1:15:36	1:29:35	1:47:30	2:05:25	2:23:20	2:31:12	
3:40	18:20	36:40	55:00	1:13:20	1:17:21	1:31:40	1:50:00	2:08:20	2:26:40	2:34:43	
3:45	18:45	37:30	56:15	1:15:00	1:19:07	1:33:45	1:52:30	2:11:15	2:30:00	2:38:14	
3:50	19:10	38:20	57:30	1:16:40	1:20:52	1:35:50	1:55:00	2:14:10	2:33:20	2:41:45	

### 車いすマラソン Wheelchair Marathon

1 km	5 km	10km	15km	20km	Half 21.0975km	25km	30km	35km	40km	Marathon 42.195km	
1:50	9:10	18:20	27:30	36:40	38:41	45:50	55:00	1:04:10	1:13:20	1:17:21	●1:17:47
1:51	9:15	18:30	27:45	37:00	39:02	46:15	55:30	1:04:45	1:14:00	1:18:04	○1:18:37
1:52	9:20	18:40	28:00	37:20	39:23	46:40	56:00	1:05:20	1:14:40	1:18:46	
1:53	9:25	18:50	28:15	37:40	39:44	47:05	56:30	1:05:55	1:15:20	1:19:28	
1:54	9:30	19:00	28:30	38:00	40:05	47:30	57:00	1:06:30	1:16:00	1:20:10	
1:55	9:35	19:10	28:45	38:20	40:26	47:55	57:30	1:07:05	1:16:40	1:20:52	
2:00	10:00	20:00	30:00	40:00	42:12	50:00	1:00:00	1:10:00	1:20:00	1:24:23	
2:05	10:25	20:50	31:15	41:40	43:57	52:05	1:02:30	1:12:55	1:23:20	1:27:54	
2:10	10:50	21:40	32:30	43:20	45:43	54:10	1:05:00	1:15:50	1:26:40	1:31:25	
2:15	11:15	22:30	33:45	45:00	47:28	56:15	1:07:30	1:18:45	1:30:00	1:34:56	▲1:35:42
2:20	11:40	23:20	35:00	46:40	49:14	58:20	1:10:00	1:21:40	1:33:20	1:38:27	△1:35:50
2:25	12:05	24:10	36:15	48:20	50:59	1:00:25	1:12:30	1:24:35	1:36:40	1:41:58	
2:30	12:30	25:00	37:30	50:00	52:45	1:02:30	1:15:00	1:27:30	1:40:00	1:45:29	
2:35	12:55	25:50	38:45	51:40	54:30	1:04:35	1:17:30	1:30:25	1:43:20	1:49:00	
2:40	13:20	26:40	40:00	53:20	56:16	1:06:40	1:20:00	1:33:20	1:46:40	1:52:31	
2:45	13:45	27:30	41:15	55:00	58:01	1:08:45	1:22:30	1:36:15	1:50:00	1:56:02	

●男子世界記録ペース Men's World Record  
▲女子世界記録ペース Women's World Record

○男子日本記録ペース Men's Japanese National Record  
△女子日本記録ペース Women's Japanese National Record

# 収容関門

## 》 COURSE & OPERATIONS 《

## Cut-Off Checkpoints

- 交通・警備、競技運営上、下記の地点で収容関門閉鎖を行います。収容関門閉鎖後は競技を続けることはできません。閉鎖時刻後、コース上に残っている参加者は審判員の指示に従って、最後尾の収容バスに乗車します。
- 閉鎖時刻前でも、審判員が明らかに閉鎖時刻までに到達できないと判断した場合は、競技中止を指示することがあります。
- Due to traffic, security, as well as operational reasons, the race course will close at the following points listed below. Continuation of the race will not be allowed after the closing of the checkpoint. Participants on the course after closing will be required to follow the instructions of race officials and move promptly to sidewalks to board either a sweep bus at the next checkpoint or the final sweep bus behind the very last runner.
- Runners who are still on the race course, but are not likely to finish before the allotted time, may be ordered to stop by the race judges even before the designated time limit.

収容関門 Checkpoint	場所 Location	マラソン閉鎖時刻 Cut-off time for Marathon	車いす閉鎖時刻 Cut-off time for Wheelchair marathon
4.9km	市谷見附交差点 The crossing of Ichigayamitsuke	10:25 (1hr 15min)*	9:25 (20min)
11.1km	外神田五丁目交差点 The crossing of Sotokannda 5-chome	11:10 (2hr 00min)	9:45 (40min)
15.4km	久松町交差点 The crossing of Hisamatsucho	11:55 (2hrs 45min)	—
20.9km	緑一丁目交差点 The crossing of Midori 1-chome	12:45 (3hrs 35min)	10:10 (1hr 05min)
24.7km	深川一丁目交差点 The crossing of Fukagawa 1-chome	13:20 (4hrs 10min)	—
29.2km	浅草橋交差点 The crossing of Asakusabashi	14:00 (4hrs 50min)	10:40 (1hr 35min)
33.5km	数寄屋橋交差点 The crossing of Sukiyabashi	14:35 (5hrs 25min)	—
37.8km	芝五丁目交差点 The crossing of Shiba 5-chome	15:15 (6hrs 05min)	—

※ 閉鎖時刻の( )内はスタートからの経過時間 / Time in parentheses is lap time from start.

### 競技途中で棄権する場合

収容関門以外で途中棄権する場合は、コース上の「審判員(グレーのスタッフウェア)」に途中棄権することを申告します。

- ① 直近の収容関門まで行き、収容バスに乗車します。
- ② 最後尾の収容バスに乗車します。

### In case of retiring the race

If retiring at points other than the above checkpoints, please report to the judge (gray jacket staff) and choose either of the following two alternatives to proceed.

- ① Go to the nearest checkpoint and board the sweep bus.
- ② Board the sweep bus behind the last runner.

# 医療救護体制

## 》 COURSE & OPERATIONS 《

Medical Aid

東京マラソンでは、世界一安全・安心なマラソン大会を目指し、出場されるランナーはもちろん、沿道で応援される方や大会に関わる医療専門ボランティア、スタッフの安全・安心を第一に考えた体制作りを行っています。

### 医療救護体制と AED の配備

東京マラソン医療救護スタッフは、医師・看護師・救急救命士・トレーナー・救護ボランティアで構成され、それぞれが救護所・救護車・モバイル隊・BLS隊・ランドクターの役割に分かれて活動します。また、コース上にはAEDを配備しています。

The Tokyo Marathon is committed to organizing the safest marathon in the world, not only for the participants but as well as for spectators, staff, and volunteers.

### AED Deployment

In Tokyo Marathon, the Tokyo Marathon medical aid staff consist of medical doctors, nurses, paramedics, trainers, and medical volunteers. They fulfill their respective duties within the assigned teams as follows: aid station, medical vehicle, Run Doctors, bike teams, and BLS team. AED are stationed as follows:

役割	AEDの台数	概要
救護所・医務室・リカバリーステーション	25台	スタートからフィニッシュまでコース全域に、前半は約5kmごと、後半は約2kmごとに計25カ所の救護所・医務室があります。救護所には医師、看護師、トレーナーが常駐しており、ランナーへの応急処置を行います。また、更衣エリアのある施設には応急手当を行うリカバリーステーションを設置しています。
BLS隊	40台	コース沿道には約1kmごとに40隊がAEDやその他の応急手当が可能な資器材を持ち、待機しています。BLS隊は配置された場所の近くで傷病者が発生した場合に、すぐに駆けつけ、医師などの医療スタッフや、救急車が到着するまでの間、応急手当を行います。
BLSサポート隊	42台	救護所とBLS隊の間約500m付近を最低2人以上1組の37隊でサポートします。
モバイル隊	24台	救急救命士が2人1組となり、コース上を24隊に分かれて、クロスバイク(自転車)に乗り、AEDやバッグバルブマスク、バイタルサイン測定機等、応急処置を行うための資器材を持ち、巡回します。緊急事態の際はいち早く駆け付け、心肺蘇生法や応急処置を行います。
ランドクター	AEDは持たない	医師が一定の間隔とペースで走りながら、ランナーの突発事故に対して、周囲の医療スタッフと協力して救命処置を行います。

医療救護に関する数字の詳細 → P14

AED: 自動体外式除細動器  
BLS: 一次救命処置

Functions	Number of AEDs	General Outline
Medical Stations	25	For every 5km in the first half of the race, and for every 2-3km in the second half of the course, there are total of 25 medical and first aid station available to provide first - aid treatment.
BLS Teams	40	Along the course, there are total of 40 teams (every 1km) on standby with AEDs and other emergency first aid equipment. In case of illness or injury, the BLS Team will provide aid until the arrival of the medical staff and/or ambulance.
BLS Support Teams	42	37 teams of at least 2 people are on patrol, covering the locations between medical stations and BLS teams (about 500m in distance)
AED Bike Teams	24	24 teams, consisting of two paramedics, are on patrol on bikes with AED and other first aid medical equipment, such as bag valve mask and vital sign indicators. In case of emergency, the staff will come to the scene immediately to provide first aid and CPR (cardio-pulmonary resuscitation).
Running Doctors	No AED	In case of emergency, the Running Doctors will work together with the medical staff to provide first aid. They will run in certain pace with set distance in between along the course.

For details → P14

AED: Automated External Defibrillator  
BLS: Basic Life Support

### 東京マラソンメディカル情報

トレーニング  
情報

スポーツ  
栄養情報

体調管理・  
医療情報

アンチ・  
ドーピング情報

救急救命  
情報

[www.marathon.tokyo/participants/medical/](http://www.marathon.tokyo/participants/medical/)



bystander:  
救急現場に居合わせた人  
(発見者、同伴者等)



# サステナビリティへの取り組み

## 》 COURSE & OPERATIONS 《

## Sustainable Projects

一般財団法人東京マラソン財団では、国際社会が取り組んでいる持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、チャリティ事業、スポーツボランティア活動をはじめ、オフィシャルパートナーと連携して、東京マラソンを通じたサステナビリティ(持続可能な大会運営)への取り組みを推進しています。また、東京マラソン財団スポーツレガシー事業では、ダイバーシティ・共生社会の実現への支援を行っております。東京マラソン財団を通じたサステナビリティへの取り組みを推進し、多様性、協働性への理解を深め、新しいライフスタイルづくりや、よりよい共生社会に繋げてまいります。

In an effort to achieve the Sustainable Development Goals (SDGs) the international community has set out to pursue, the Tokyo Marathon Foundation has been launching sustainability initiatives as part of the Tokyo Marathon events (sustainable event management) including charity projects and sports volunteering activities in cooperation with official partners. In addition, the Tokyo Marathon Foundation Sports Legacy Project works to achieve a diverse and peaceful society. The Tokyo Marathon Foundation will continue to promote sustainability initiatives, diversity and cooperation, and create new lifestyles and a society where we can all coexist together.

### ダイバーシティに関する取り組み Diversity Initiatives

LGBTQ+(性的マイノリティ)、障害の有無など関わらず、誰もが参加しやすいインクルーシブな社会をつくるための大会運営に取り組んでいます。

We work to run our events in a way that will contribute to creating a more inclusive society for everyone that accepts the LGBTQ+ community and does not discriminate based on disabilities.



#### 誰でも応援エリア(バリアフリー応援スポット)の設置 (設置場所: フィニッシュエリア)

##### Barrier-free spectating area at the finish line

スポーツをする・見る・支える全ての人々へ、バリアフリー実現に向けたきっかけとなるダイバーシティ・共生社会の実現への支援に繋がります。  
※東京マラソン財団スポーツレガシー事業の寄付金を活用して運営します。

We hope for our barrier-free initiatives to support those who play, watch, and cheer on sports to lead to achieving a diverse society where we can all coexist.

\*These initiatives are funded through the donations to the Tokyo Marathon Foundation Sports Legacy Project.

フィニッシュラインに向かうランナーが見られるだけでなく、フィニッシュ後の車いす選手やエリート選手が間近に見られる場所へご招待しています。(事前申込制、受付は終了)

This area allows the spectators to see the home straight where runners head to the finish line, as well as the elite runners and wheelchair athletes passing through right in front of them, after their finish.  
(Advance application is already closed.)



誰でも更衣室ロゴマーク  
Universal Changing Room logo mark



プライドハウス東京ロゴマーク  
Pride House Tokyo logo mark



プライドハウス東京の活動内容はこちら  
Pride House Tokyo official website

#### 誰でも更衣室の設置 (設置場所: スタート・10.7kmフィニッシュ・フィニッシュエリア)

##### Universal Changing Rooms at the start, 10.7km finish and finish areas

多様な性のあり方に対応した運営及び正しい知識や情報の普及・啓発をプライドハウス東京のアドバイスのもと運営ノウハウを構築しています。

※プライドハウス東京は、当財団とスポーツイベントにおけるダイバーシティの促進について協定を締結しております。(2019年)

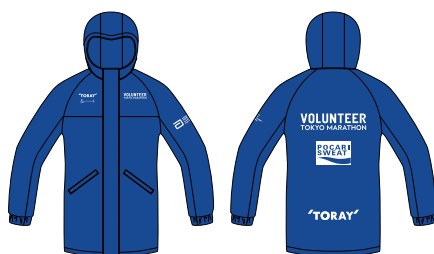
With advice from Pride House Tokyo on the proper information regarding sexuality, how best to share said information, and how to operate events in a way that accommodates all sexualities, we are working to improve our own operational know-how. The foundation has also signed an agreement with Pride House Tokyo to promote diversity in sporting events. (2019)

オフィシャルパートナーとの取組み

Initiatives with Official Partners

大会を支えていただいているオフィシャルパートナーに持続可能な大会運営のサポートをいただいております。

We are grateful to our official partners for their support in helping us to sustainably run this event.

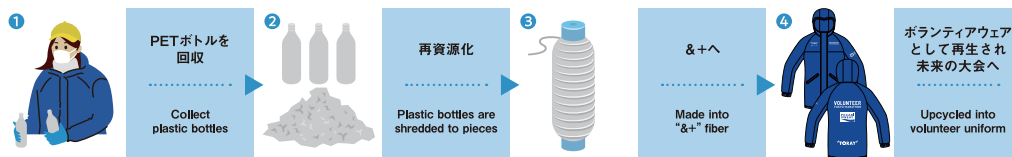


東しのリサイクル繊維ブランド「&+®(アンドプラス)」

Toray's Recycled Fiber Brand &+® (And plus)

前大会から引き続き、東し株式会社(東京マラソン2023オフィシャルパートナー)のリサイクル繊維ブランド&+®(アンドプラス)と連携し、サステナブルな社会の実現に向けてリサイクル活動を推進します。大会当日にランナーに提供した給水(スポーツドリンク・水)のPETボトルは、繊維にリサイクルされ、ボランティアウェア(2025大会予定)に生まれ変わります。

This year again, as part of a continued initiative, the Tokyo Marathon Foundation will collaborate with &+® (And plus), a recycled fiber brand, from Toray Industries, Inc. (A Tokyo Marathon 2023 official partner) to recycle the event items in order to help realize a sustainable society. The PET bottles (sports drinks, water) provided to the runners on race day will be recycled into material for volunteer uniforms (for the 2025 marathon).



水循環型手洗いスタンドを設置

Water recirculating pump for hand wash

安全・安心な大会を運営するため、2021大会より花王株式会社(東京マラソン2023オフィシャルパートナー)より様々な衛生対策のアドバイス・サポートを受け、10.7kmフィニッシュエリア・マラソンフィニッシュエリアに水循環型の手洗いスタンドを設置します。使用した水の98%以上をその場で循環するため、排水を減らします。

Since 2021, Tokyo Marathon 2023 official partner Kao Corporation has been advising event hygiene measures, and hand-washing stations using recycled water will be installed at the 10.7 km finish line and marathon finish line. To reduce water waste, the water recirculating pump will be used allowing recirculation of 98% or more of water.

サステナビリティへの取組みについての詳細は右記の二次元コードからご確認ください。

For more information on our sustainability initiatives, please see the 2D code on the right.







## 関連イベント RELATED EVENTS

東京ランニングフェスタ

Tokyo RUNNING FESTA

106

東京マラソンファミリーラン2023

Tokyo Marathon Family Run 2023

110

東京マラソンEXPO 2023 /  
東京マラソン2023ランナー受付

Tokyo Marathon EXPO 2023 /  
Tokyo Marathon 2023 Packet Pick-up

107

マラソン祭り

111

東京マラソン  
フレンドシップラン2023

Tokyo Marathon Friendship Run 2023

109

## 関連イベント / Related Events

### 東京ランニングフェスタ <https://www.marathon.tokyo/events/running-festa/>

開催日: 2023年2月25日(土)～3月31日(金)

## TOKYO RUNNING FESTA

東京マラソン2023<2023年3月5日(日)開催>に向け、出場するランナーだけでなく、ご支援いただく方々と一緒に、街中を盛り上げ、活性化していく施策として「東京ランニングフェスタ」を実施いたします。

・Twitter、Instagram、Google Mapsによる情報発信



Twitter



Instagram

### 東京マラソンEXPO 2023 <https://www.marathon.tokyo/events/expo/>



開催日: 2023年3月2日(木)・3日(金) 10:00～21:00  
(入場は20:30まで)

3月4日(土) 10:00～18:00(入場は17:30まで)

※入場無料

※新型コロナウイルス感染症の状況などにより、実施内容等を変更する場合があります。

会場

東京ビッグサイト南展示棟 南1～4ホール  
東京都江東区有明3-11-1



Event Date

March 2 and 3, 2023: 10:00 a.m. - 9:00 p.m. (JST)

(Visitors must enter before 8:30 p.m.)

March 4, 2023: 10:00 a.m. - 6:00 p.m. (JST)

(Visitors must enter before 5:30 p.m.)

\*Admission free.

\*The outlined information is subject to change depending on the situation surrounding COVID-19.

Venue

Tokyo Big Sight South Halls 1-4  
3-11-1, Ariake, Koto-ku, Tokyo,



### 東京マラソンバーチャルEXPO 2023 <https://www.marathon.tokyo/events/virtual-expo/>



開催日: 2023年2月17日(金)～3月17日(金)

会場

仮想都市空間サービスREV WORLDS  
「東京マラソンEXPO会場駅」

※入場にはスマートフォンが必要です。



Event Date

From February 17 (Fri) to March 17 (Fri), 2023

Venue

Virtual Cityscape Service REV WORLDS

"Tokyo Marathon EXPO Event Station"

\*You need a smartphone app to join this virtual

EXPO (available in Japanese) or you can enjoy

it on your web browser (available in English as well).

To check out this event on your browser, visit

<https://www.marathon.tokyo/events/virtual-expo/>



### 東京マラソンフレンドシップラン 2023 <https://www.marathon.tokyo/events/friendshiprun/>



開催日: 2022年2月25日(土) 7:00～  
3月5日(日) 17:00

種目: バーチャル形式5km

定員: 合計2,500名

国内外のランナー同士が交流を深め、結束を高めることを目的にバーチャルで開催

Event Date

7 a.m. on February 25 (Sat) until 5 p.m. on March 5 (Sun), 2023 (JST)

Distance

Virtual 5km

Field Size

2,500 runners

This year, we will launch the Tokyo Marathon Friendship Run 2023 virtually for the first time.

### 東京マラソンファミリーラン 2023 <https://www.marathon.tokyo/events/familyrun/>



東京マラソンの盛り上がりを幅広い世代の方に味わってほしい ——

ファミリーランは、こうした思いから東京マラソン当日に親子で楽しめるファンランイベントとして誕生しました。大会のコースが変更となった2017年からは、東京マラソン前日祭として開催してきましたが、今回、再び大会の当日に戻ってきます。会場を丸の内エリアに移し、子どもたちが誰よりも早くマラソンの「フィニッシュゲート」を駆け抜けます！

**"We want people of all ages to enjoy the excitement of the Tokyo Marathon...."**

This thought is what first motivated us to create the "Family Run", a fun run event where the whole family can enjoy on the Tokyo Marathon race day.

Due to the marathon course change in 2017, the Family Run has moved to the day before the race, however this time, we are excited to announce that the event will be back on the race day at the finish area of the Tokyo Marathon, where kids will be the first ones to cross the finish line before the elite athletes!

開催日: 2023年3月5日(日)

開催場所: 第一生命日比谷ファースト及び東京マラソン  
フィニッシュエリア周辺

種目: ファンラン約1km(記録計測はありません)

1) 一般 2) 車いす

定員: 400組800名

Event Date

March 5 (Sun), 2023

Venue

Dai-ichi Seimei Hibiya First and Tokyo Marathon Finish Area

Event

Fun Run (About 1.0km) \*This event will not be timed.

1) General 2) Wheelchair

Maximum Number of Entrants

400 pairs (total 800 ppl)



# 東京ランニングフェスタ

》 RELATED EVENTS 《

Tokyo RUNNING FESTA



「東京マラソン2023」<2023年3月5日(日)開催>に向けて、東京のランニングシーンを盛り上げましょう！  
「ランフェス缶バッジ」をゲットしてステキな特典を受けよう！



## 公式ウェブサイト

<https://www.marathon.tokyo/events/running-festa/>

## 特典期間

2023年2月25日(土)～3月31日(金)

協力店舗や施設で「ランフェス缶バッジ」を提示するとステキな特典が受けられます！  
ランニング好きな皆さんにも、ランナーを応援している皆さんにも、嬉しい特典が盛りだくさんです！

※特典を受けられる期間が上記の期間と異なる場合があります。営業時間なども事前にご確認ください。

協力店舗や施設の詳細はこちら ▶ <https://www.marathon.tokyo/events/running-festa/gifts>

※今後の感染状況により、予告なく変更・中止させて頂く場合がございますのでご了承下さい。

## ランフェス缶バッジの配付期間

2023年1月下旬より～

対象のランニングイベントや協力施設で「ランフェス缶バッジ」をゲット。

※各施設の営業時間などは、事前にご確認ください。

対象イベント・協力施設詳細はこちら ▶ <https://www.marathon.tokyo/events/running-festa/distributions>

※今後の感染状況により、予告なく変更・中止させて頂く場合がございますのでご了承下さい。

## 公式SNSアカウントにて、随時最新情報発信中

ぜひ公式Instagramアカウント、Twitterアカウント、GoogleMapsのフォローやチェックをお願いします！

Instagram ▶ <https://www.instagram.com/tokyorunningfesta/>

Twitter ▶ [https://twitter.com/tokyo42195\\_week](https://twitter.com/tokyo42195_week)

GoogleMaps ▶ <https://maps.app.goo.gl/83h6jxRBMZx7J6g19?g-st=ig>



Instagram



Twitter



GoogleMaps

## Instagramで「東京ランニングフェスタ」についての投稿募集！

缶バッジ特典をゲットした方は、Instagramで、ハッシュタグ「#TokyoRunningFesta #東京ランフェス」を入れて投稿してください。楽しい情報、うれしい情報を、ランフェス仲間に共有しましょう♪(缶バッジをもらったイベント、特典を受けた店舗など、東京ランニングフェスタに参加したときの感想…などメッセージをお待ちしています)

※投稿いただいた方には、抽選でプレゼント【詳細は後日お知らせします】

## お問い合わせ・協力施設お申込み

各種お問い合わせはこちら ▶ <https://forms.gle/Mwa9xy6w6UbzLhWEA>



## アンケートご協力のお願い

皆さまのご感想・コメント等を下記フォームよりお寄せください。

アンケートフォーム(Google Forms)はこちら ▶ <https://forms.gle/ZgM6cixJoVtuo28n9>

※回答いただいた方には、抽選でプレゼント【詳細は後日お知らせします】



## フォトギャラリー

・2022年10月開催時 ▶ <https://legacyhalf.tokyo/event/running-festa/index.html>



# 東京マラソンEXPO 2023/東京マラソン2023 ランナー受付

▶▶ RELATED EVENTS ▶▶

Tokyo Marathon EXPO 2023 / Tokyo Marathon 2023 Packet Pick-up



東京マラソンEXPO 2023については、東京マラソン2023のメインビジュアルに使用されている「ONE STEP AHEAD」のメッセージのもと、それぞれの方法で少しずつ前に、皆さんと「走る楽しさ」のその一歩先へ向かうために、東京マラソンEXPO 2023の準備を行っております。

東京マラソン 2023オフィシャルパートナーの出展ブースを中心に最新のスポーツギア、スポーツアパレルの販売等、多くのデモンストレーションを予定しています。

Along with the message of "One Step Ahead" which is being used as the main visual for the Tokyo Marathon 2023, preparations are in progress each slightly forward step of the way to make the Tokyo Marathon EXPO 2023 an event one in which everyone can get a taste for the joys of running.

Plans are in motion for a large number of demonstrations, including sales of the latest sports gear and apparel, with the Tokyo Marathon EXPO 2023 Official Partners front and center. Further, we are on the lookout for exhibitors offering goods or services that can connect us to all kinds of running lifestyles of running.

## 【東京マラソンEXPO 2023】

**期間** 3月2日(木)・3日(金) **10:00~21:00 (入場は20:30まで)**  
3月4日(土) **10:00~18:00 (入場は17:30まで)**  
※入場無料

**会場** 東京ビッグサイト南展示棟 南1~4ホール  
東京都江東区有明3-11-1  
【最寄り駅】  
りんかい線 国際展示場駅より徒歩約12分  
ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅より徒歩約7分

## 【Tokyo Marathon EXPO 2023】

**Date** March 2 and 3, 2023: 11:00 a.m. - 9:00 p.m. (JST)  
(Visitors must enter before 8:30 p.m.)  
March 4, 2023: 10:00 a.m. - 6:00 p.m. (JST)  
(Visitors must enter before 5:30 p.m.)  
\*The Tokyo Marathon EXPO is free admission.

**Location** Tokyo Big Sight South Halls 1-4  
3-11-1, Ariake, Koto-ku, Tokyo  
【Nearest Train Station】  
Rinkai Line : Kokusai-Tenjiyo Station (12min walk)  
Yurikamome Line : Tokyo Big Sight Station (7min walk)

## 【東京マラソン2023ランナー受付】

**期間** 3月2日(木)・3日(金) **10:00~20:30**  
3月4日(土) **10:00~17:30**  
※上記受付期間内に、必ずランナー本人が受付を行ってください。

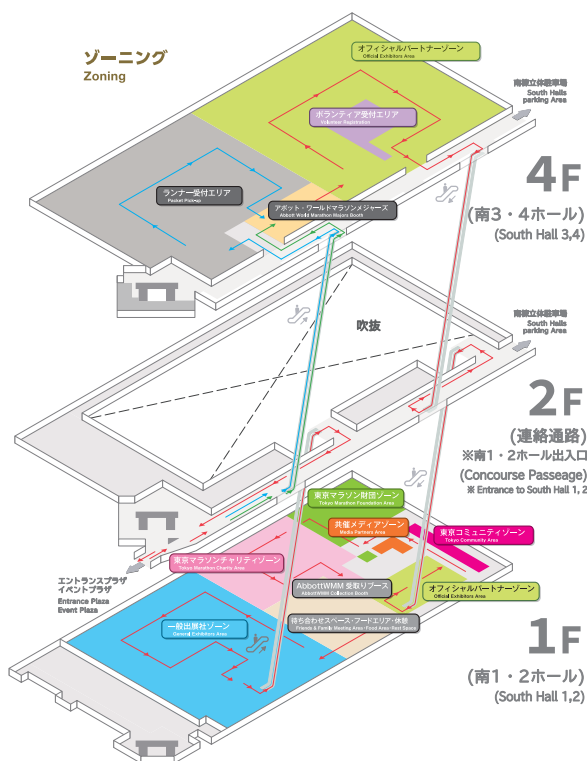
**会場** 東京ビッグサイト南展示棟 南3ホール  
東京都江東区有明3-11-1  
【最寄り駅】  
りんかい線 国際展示場駅より徒歩約12分  
ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅より徒歩約7分

## 【Tokyo Marathon 2023 Packet Pick-up】

**Date** March 2 and 3, 2023 : 10:00a.m. – 8:30 p.m. (JST)  
March 4, 2023 : 10:00a.m. – 5:30 p.m. (JST)  
\*The registered runner must complete the packet pick-up in person within the above times.

**Location** Tokyo Big Sight South Hall 3  
3-11-1, Ariake, Koto-ku, Tokyo  
【Nearest Train Station】  
Rinkai Line : Kokusai-Tenjiyo Station (12min walk)  
Yurikamome Line : Tokyo Big Sight Station (7min walk).

※新型コロナウイルス感染症の状況などにより、実施内容等を変更する場合があります。  
\*The outlined information is subject to change depending on the situation surrounding COVID-19.



# 東京マラソンEXPO 2023/東京マラソン2023 ランナー受付

RELATED EVENTS Tokyo Marathon EXPO 2023 / Tokyo Marathon 2023 Packet Pick-up

## 東京マラソンEXPO 2023 会場 MAP Tokyo Marathon EXPO 2023 Floor Map

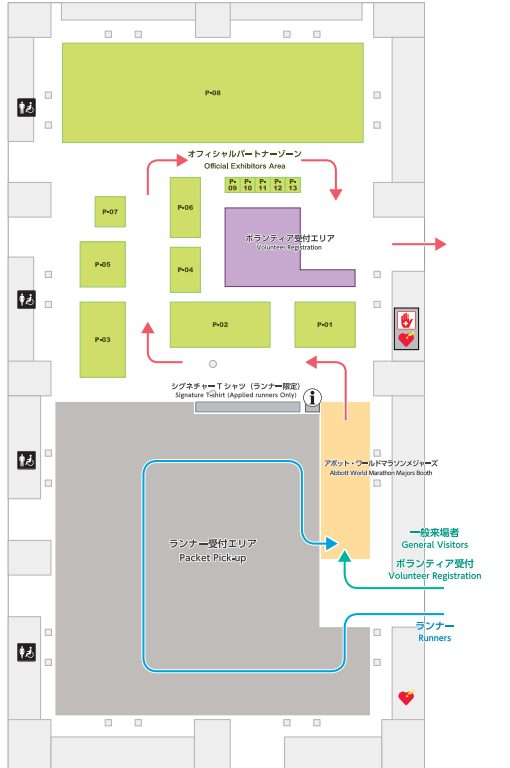
会場 Venue 東京ビッグサイト南展示棟  
Tokyo Big Sight South Halls

- 総合案内 Information
- 救護室 Medical office
- AED自動体外式除細動器 Emergency defibrillators (AEDs)
- トイレ Restrooms
- 東京マラソンEXPO 2023 出展社事務局 Tokyo Marathon EXPO 2023 office

### 南1・2ホール (1F) South Halls 1-2



### 南3・4ホール (4F) South Halls 3-4



出展カテゴリ Exhibitor Categories: Shops, Promotion, TRIY, 体験 Trials, プレゼント(無料配布) Free Samples

#### オフィシャルパートナーゾーン Official Exhibitors Area

- P-03 東京メトロ
- P-02 スタートコーポレーション株式会社
- P-08 アシックスジャパン株式会社
- P-01 大塚製薬株式会社
- P-04 近畿日本ツーリスト
- P-06 セイコーグループ株式会社
- P-05 第一生命保険株式会社
- P-14 久光製薬株式会社
- P-15 花王株式会社
- P-07 株式会社バネケン
- P-09 凸版印刷株式会社
- P-13 日本光電工業株式会社
- P-10 佐川急便株式会社
- P-11 オールスポーツコミュニティ
- P-12 国士館大学

#### 東京コミュニティゾーン Tokyo Community Area

- T-01 一般社団法人中央区観光協会
- T-02 新宿区・新宿観光協会
- T-03 江東区
- T-04 千代田区+千代田区観光協会
- T-05 東京観光情報センター
- T-06 2025年 世界陸上・デフリンピック 東京開催
- T-07 東京2020大会アーカイブ資産等展示
- T-08 青柳マラソン

#### 東京マラソン財団ゾーン Tokyo Marathon Foundation Area

- F-01 東京マラソン2023オフィシャルショップ
- F-02 小澤清彦株式会社
- F-04 AbsorbWMM吸汗剤ブース

#### 東京マラソンチャリティゾーン Tokyo Marathon Charity Area

- F-03 東京マラソン2023チャリティ(RWH寄付先団体ブース)

#### 共催メディアゾーン Media Partners Area

- M-01 フジテレビジョン
- M-02 株式会社産経新聞
- M-03 読売新聞
- M-04 東京新聞

#### 海外出展社ゾーン Overseas Exhibitors Area

- O-01 Starg
- O-02 SMART ENERGY
- O-03 MO Sports

#### 一般出展社ゾーン General Exhibitors Area

- G-01 アルベ東京 スポーツデポ
- G-02 スーパーボウズゼノリア
- G-03 ホカ
- G-04 アンダーアーマー
- G-05 オンジャパン株式会社
- G-06 サッカー
- G-07 ZAMST
- G-08 コラント
- G-09 ガーミン
- G-10 SHOKU / フォーカルポイント株式会社
- G-11 株式会社ツインズ
- G-12 アルコインターナショナル株式会社
- G-13 パワースポーツ
- G-14 BODYMAKER
- G-15 コンディショニングラボ
- G-16 株式会社「アミノバイタル」
- G-17 L-BALANCE EYES
- G-18 ファイテン株式会社
- G-19 ポーラー ジャパン
- G-20 岡山県
- G-21 塩崎ナリ(トリド安全株式会社)

- G-22 ゼロシューズ・インジジ
- G-23 MAURTEN JAPAN
- G-24 大正製薬株式会社
- G-25 カシオ計算機株式会社
- G-26 CEP
- G-27 COROS
- G-28 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会
- G-29 日本用品株式会社
- G-30 シドニーマラソン日本事務局
- G-31 1UP
- G-32 株式会社ニューハイフ
- G-33 金津磐梯山・権代湖合宿の郷を創る協議会
- G-34 最新マラソン2023
- G-35 環境省気候変動・スポーツ
- G-36 株式会社 COOLKNOT JAPAN
- G-37 フルータグ株式会社
- G-38 カナカ ATHLETE 010

#### サンプリングブース Sampling Booth

- S-01 全国ご当地マラソン協議会
- S-02 Tarzan
- S-03 Race Result AG

# 東京マラソンファミリーラン2023

▶ RELATED EVENTS ▶

Tokyo Marathon Family Run 2023



## FAMILY RUN TOKYO MARATHON 2023

東京マラソンと同日開催のペア・ファンラン1km。主役は子どもたち全員！  
どんなエリート選手よりも早く、フィニッシュゲートを駆け抜けます。

東京マラソンファミリーラン2023は東京マラソンと同日に開催し、誰よりもいち早く子供たちがマラソンフィニッシュライン(東京駅・行幸通り)を駆け抜けます！ご家族やお仲間など、小学生のお子様と保護者のペアでランニングを楽しみましょう！

Tokyo Marathon Family Run 2023 will be held on the same day as the Tokyo Marathon and the kids will get to run through the marathon finish line (Tokyo Station, Gyoko-dori Avenue) before anyone else! Designed for elementary school children to run with a parent or a guardian, this event welcomes families and friends to experience the joy of running.

**開催日時:** 2023年3月5日(日) 雨天決行  
8時30分 受付開始  
9時25分 ファンランスタート  
10時00分 ファンラン終了  
10時30分 イベント終了

**開催場所:** 第一生命日比谷ファースト(旧:DNタワー21)及び、  
第東京マラソンフィニッシュエリア周辺

**コース:** 第一生命日比谷ファースト前 ~ 丸の内通り ~ 東京駅前・  
行幸通り(マラソンフィニッシュゲート)

**スターター:** 田中智美さん(第一生命グループ女子陸上部コーチ)

**ゲスト:** M高史さん(東京マラソン財団スポーツレガシー事業 チャリティ・アンバサダー/ものまねアスリート芸人)

**応援サポーター:** 駒澤大学体育会応援指導部ブルーベガサス

**定員:** 400組800名  
内訳 1) 一般: 390組 2) 車いす: 10組

**参加対象:** 以下の条件にあてはまる、小学生と大人(保護者)のペア  
1) 一般 10分以内に完走できること。  
2) 車いす 小学生または大人、もしくはその両方が車いす利用者であること。なおかつ10分以内に完走できること。  
車いすの種類は問いませんが、事前に確認をさせていただきます。

※日本語以外を母国語とされる方は、日本語の日常会話とリーディングが可能であること。また、事前送付物を国内居住地にて受け取ることが可能であること。

**参加料:** 1組4,500円(税込)

**特典:** 完走メダル、フィニッシャータオル、完走証、東京ランニングフェスタ缶バッジ、オリジナルフェイスカバー、ドリンク 等

**申込方法:** 東京マラソン2023公式ウェブサイト  
(<https://www.marathon.tokyo/events/familyrun/>) より受付  
※申込受付は先着順となります。

**申込期間:** 2022年12月26日(月)10:00から2023年1月24日(火)17:00まで  
※申込受付は先着順となりますので、定員になり次第終了します。

**主催:** 一般財団法人東京マラソン財団  
**後援:** 観光庁、東京都  
**協賛:** 第一生命保険株式会社  
**協力:** 千代田区商店街連合会、千代田観光まちづくり実行委員会、  
神田スポーツ店連絡協議会、皇居周辺ランナーサポート施設、  
ランニングクラブ等連絡会

**Date:** Sunday, March 5, 2023 (rain or shine)  
9:25 a.m. Fun Run starts  
10:00 a.m. Fun Run ends  
10:30 a.m. Event ends

**Location:** Dai-ichi Seimei Hibiya First (formerly DN Tower 21) and the Tokyo Marathon finish area

**Course:** Dai-ichi Seimei Hibiya First — Marunouchi Naka-dori Avenue — Tokyo Station/Gyoko-dori Avenue (Marathon finish line)

**Guest:** M Takashi (Tokyo Marathon Foundation Sports Legacy Program Charity Ambassador/athlete impressionist comedian)

**Maximum Entrants:** 400 pairs (800 runners)  
1) General participants: 390 pairs 2) Wheelchair users: 10 pairs  
Eligibility: Elementary school students and accompanying adult (parent or guardian) who meet the following criteria  
1) General participants: Participants must be able to complete the race within 10 minutes.  
2) Wheelchair participants: Either an elementary school student or an adult, or both, must be wheelchair users.  
Participants must be able to complete the race within 10 minutes.  
Any type of wheelchair is acceptable, but they will be inspected in advance.

\*Non-native Japanese speakers need to be able to read and speak Japanese at a conversational level. Participants must also be able to receive advanced letters at their place of residence in Japan.

**Entry Fee:** JPY 4,500 per pair (Incl. tax)

**Participation Gifts:** Finisher's medal, finisher's towel, finisher's certificate, Tokyo Running Festa button badge, original face cover, drink  
Apply through the Tokyo Marathon 2023 official website (<https://www.marathon.tokyo/events/familyrun/>)  
\*First-come, first-served  
\*All details are available only in Japanese.

**Application Period:** Monday, December 26, 2022, 10:00 a.m. – Tuesday, January 24, 2023, 5:00 p.m.  
\*First-come, first-served; applications close when the capacity is reached

**Organizer:** Tokyo Marathon Foundation  
**Supporting Organization:** Japan Tourism Agency, Tokyo Metropolitan Government  
**Presenting Partner:** The Dai-ichi Life Insurance Company, Limited



フィニッシャータオル  
Finisher's Towel



完走メダル  
Finisher's Medal



ランフェスタ缶バッジ  
Running Festa button badge



2021 PHOTOS



2021 VIDEOS



# 東京マラソンフレンドシップラン2023

▶ RELATED EVENTS ▶

Tokyo Marathon Friendship Run 2023



## Friendship Run

TOKYO MARATHON 2023

### バーチャル形式のランイベントを開催！ さらに、浅草でフィニッシュゲートをくぐる「リアルフィニッシュ」と 「日本文化体験」を仲間と共に楽しむチャンス！

東京マラソンフレンドシップラン2023は外国人ランナーと日本人ランナーによる国際交流を通じたファンランイベントとして、2012年から実施しております。今回はバーチャルランとリアルフィニッシュを設置して開催いたします。また、東京マラソン2023では3大会振りに海外ランナーの受け入れを行います。海外からお越しの外国人ランナーへのおもてなしと日本の文化に触れていただきながら、交流を楽しみましょう！

The Tokyo Marathon Friendship Run was first held in 2012 as a fun run event to foster relationships between Japanese runners and international runners visiting Japan. This year's event will be held with a virtual run and an in-person finish line event. Since the Tokyo Marathon 2023 will be welcoming international runners for the first time in four years, we expect that many international runners can join this event and experience Japan's hospitality and culture.

開催日時：2023年2月25日(土) 7:00～3月5日(日) 17:00  
※バーチャルラン、リアルフィニッシュ  
※リアルフィニッシュは3月4日(土)のみ  
定員：2,500名 ※全カテゴリー総数

Date and Time: Saturday, February 25, 2023, 7:00 a.m. – Sunday, March 5, 2023, 5:00 p.m.  
\*Virtual run, event continues throughout the above period.  
\*In-person finish line event takes place on Saturday, March 4.  
Maximum Entrants: 2,500 \*Total number of runners in all categories

カテゴリー・参加費：3種(下記①～③)※②については国内在住限定

Entry Categories and Fees: 2 categories below \*See the next page for details on the in-person finish line event \*Participants includes those who entered through official tours.

	種別	バーチャルラン Virtual Run	リアルフィニッシュ In-person Finish Line	参加特典メダル Participant Medal	日本文化体験 Japanese cultural experience	参加費(税込) Entry Fee (incl. tax)
①	バーチャルラン& リアルフィニッシュ in 浅草 Virtual Run & In-person Finish Line in Asakusa	○	○	○	○	4,000円 4,000 JPY
②	バーチャルラン Virtual Run	○	—	○(国内在住限定) Japan residents only	—	2,000円 ※送料含む 2,000 JPY
③		○	—	—	—	無料 Free

申込受付：2023年1月16日(月)より開始予定  
距離：5km/1回  
※ランキング(アプリ計測)あり/ランニングコースは自由  
申込方法：東京マラソン2023公式ウェブサイトより登録  
(先着順、定員になり次第受付終了)  
<https://www.marathon.tokyo/en/events/friendshiprun/>  
利用アプリ：ASICS Runkeeper™ (ランニングアプリ)  
参加条件：満12歳以上  
※20歳未満の場合は保護者からの同意が必要です  
※ご自身のスマートフォンにて指定アプリをダウンロード、  
操作可能な方  
主催：一般財団法人東京マラソン財団  
後援：観光庁、東京都  
協賛：近畿日本ツーリスト  
協力：協同組合浅草商店連合会

Entry Period: Starting on Monday, January 16, 2023  
Distance: 5 km in one go \*Design your own course and record your run using a running app.  
How to Apply: Register through the Tokyo Marathon 2023 official website (first-come, first-served basis; applications close when the capacity is reached)  
<https://www.marathon.tokyo/en/events/friendshiprun/>  
App to Use: ASICS Runkeeper™  
Eligibility: Runners aged 12 and above on the race day.  
\*Parental consent is required for runners aged under 20.  
\*Runners must be able to download and use the running app on their own devices.  
Organizer: Tokyo Marathon Foundation  
Supporting Organization: Japan Tourism Agency, Tokyo Metropolitan Government  
Presenting Partner: Kinki Nippon Tourist Co., Ltd.  
Community Partner: Asakusa Shops Federation

#### ①「バーチャルラン&リアルフィニッシュ in 浅草」の詳細

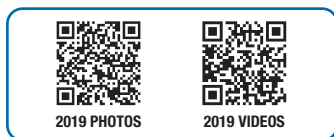
東京マラソン2023の前日、フィニッシュゲートを浅草に設けます。3年ぶりに世界各国から集まるリアルフィニッシュ参加ランナーは、ランニングアプリを使用したバーチャルのファンラン(5km)だけでなく、仲間とともにフィニッシュゲートをくぐる喜びを共感できます！さらに、修学旅行スタイルで、選りすぐりの「日本文化体験」で交流を深め、存分にお楽しみいただけます。  
開催日時：2023年3月4日(土) 9:00～17:00(予定)  
場所：隅田公園リバーサイドギャラリー、他  
住所：〒111-0033 東京都台東区花川戸1-1

#### ① "Virtual Run & In-person Finish Line Event in Asakusa"

An in-person finish line will be set up in Asakusa on the day before the Tokyo Marathon 2023.

For the first time in four years, runners from around the world will be able to share in the joy of not only the virtual 5 km fun run using a running app but also of crossing a in-person finish line with their friends. In addition, there will be fun Japanese cultural experiences to deepen cultural exchanges with international runners.

Date and Time: Saturday, March 4, 2023, 9:00 a.m. – 5:00 p.m. (provisional)  
Place: Sumida Park Riverside Gallery, etc.  
Address: 1-1 Hanakawado, Taito-ku, Tokyo 111-0033



■「ASICS Runkeeper™」について  
東京マラソン2023 オフィシャルパートナーであるアシックスが提供するランニングアプリです。  
アプリの詳細はこちら▶ <https://runkeeper.com/cms/ja/>



参加特典メダル  
Participant Medal



ランフェスタバッジ  
Running Festa button badge



東京都 ランナー応援イベント2023

# マラソン祭り

2023年  
3月5日(日)

## 当日沿道からランナーのみなさんを応援します!

### Event for Cheering on the Runners

東京マラソン2023【2023年3月5日(日)】の開催に合わせ、  
コース沿道では、熱気あふれるパフォーマンスが盛りだくさん。

The Tokyo Marathon will also feature exciting performance along  
the marathon course.



#### 新宿/飯田橋エリア

Shinjuku/Iidabashi Area

- 1 防衛省前  
Ministry of Defense

#### 神田/人形町エリア

Kanda/Ningyocho Area

- 2 岩波神保町ビル前  
Iwanami Jimbocho Building
- 3 NBF小川町ビルディング前  
NBF Ogawamachi Building
- 4 コレド日本橋前  
COREDO Nihonbashi
- 5 中央区立茅場橋南児童遊園  
Chuo-ku Kayababashi-Minami Children's Playground
- 6 べんてるビル前  
Pentel Building
- 7 リガール日本橋人形町前  
Legare Nihonbashi Ningyocho Building

#### 浅草/両国/深川エリア

Asakusa/Ryogoku/Fukagawa Area

- 8 浅草雷門南  
Asakusa Kaminarimon South
- 9 江東区深川ふれあいセンター前  
Koto-ku Fukagawa Fureai Center
- 10 富岡八幡宮前  
Tomioka Hachiman Shrine
- 11 江東区立油堀川公園  
Koto-ku Aburahorigawa Park
- 12 みずほ銀行本所支店前  
Mizuho Bank Honjo Branch
- 13 第一ホテル両国前  
Dai-Ichi Hotel Ryogoku

#### 日本橋/銀座エリア

Nihombashi/Ginza Area

- 14 トルナーレ日本橋浜町前  
Tornare Nihonbashi Hamacho Building
- 15 東京日本橋タワー前  
Tokyo Nihombashi Tower

#### 芝/高輪/皇居エリア

Shiba/Takanawa/Imperial Palace Area

- 16 港区立芝公園  
Minato-ku Shiba Park
- 17 日比谷国際ビル前  
Hibiya Kokusai Building
- 18 東京駅前・行幸通り(フィニッシュ)  
Tokyo Station/Gyoko-dori Ave. (Finish)



東京都スポーツ推進大使  
ゆりこ  
Tokyo Sports Promotion  
Ambassador Yuriko

※天候等によりイベントが中止または会場・内容・時間等が変更となる場合があります。

\*The event program and schedule are subject to change or cancellation due to inclement weather or other factors.

※イベント及びホームページは英語対応していません。 \*Please note that all events will be held in Japanese.

# マラソン祭り

▶ RELATED EVENTS ▶

Marathon Festa



お問い合わせ先 | Inquiries

マラソン祭り事務局 MARATHON FESTA office **03-6865-1959** (in Japanese)

公式ウェブサイト | Official Website

<http://www.tokyo42195festa.jp> (in Japanese)

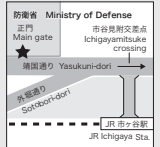













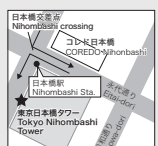
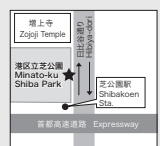


マラソン祭り 検索

※交通規制が実施されます。詳しくは大会公式WEBサイトをご覧ください。 <https://www.marathon.tokyo/about/traffic/>

\*Traffic restrictions will be in place along the course on marathon day. For information, please see the following website <https://www.marathon.tokyo/about/traffic/>



### ランナー応援イベント会場アクセスマップ Event Venue Access Maps

<p><b>1 防衛省前</b> Ministry of Defense 新宿区市谷本村町5-1【最寄駅: 曙橋・市ヶ谷】 5-1 Ichigaya Hommuracho, Shinjuku-ku [Nearest station: Akebonobashi, Ichigaya]</p>  <p>4.5km 09:20 10:20</p>	<p><b>2 岩波神保町ビル前</b> Iwanami Jimbocho Building 千代田区神田神保町2-1【最寄駅: 神保町】 2-1 Kanda Jimbocho, Chiyoda-ku [Nearest station: Jimbocho]</p>  <p>8.1km 09:35 10:45</p>	<p><b>3 NBF小川町ビルディング前</b> NBF Ogawamachi Building 千代田区神田小川町1-3-1【最寄駅: 小川町・淡路町】 1-3-1 Kanda Ogawamachi, Chiyoda-ku [Nearest station: Ogawamachi, Awajicho]</p>  <p>8.8km 09:35 10:55</p>	<p><b>4 コレド日本橋前</b> COREDO Nihonbashi 中央区日本橋1-4-1【最寄駅: 日本橋】 1-4-1 Nihonbashi, Chuo-ku [Nearest station: Nihonbashi]</p>  <p>13.5km 09:50 11:35</p>
<p><b>5 中央区立茅場橋南児童遊園</b> Chuo-ku Kayabashi-Minami Children's Playground 中央区日本橋茅場町1-1-1【最寄駅: 茅場町】 1-1-1 Nihonbashi Kayabacho, Chuo-ku [Nearest station: Kayabacho]</p>  <p>14.2km 10:00 11:40</p>	<p><b>6 ぺんてるビル前</b> Pentel Building 中央区日本橋小網町7-2【最寄駅: 茅場町・水天宮前】 7-2 Nihonbashi Koamicho, Chuo-ku [Nearest station: Kayabacho, Suitengumae]</p>  <p>14.3km 09:50 11:40</p>	<p><b>7 リガレ日本橋人形町前</b> Legare Nihonbashi Ningyocho Building 中央区日本橋人形町1-12-11【最寄駅: 人形町・水天宮前】 1-12-11 Nihonbashi Ningyocho, Chuo-ku [Nearest station: Ningyocho, Suitengumae]</p>  <p>14.6km 09:50 11:45</p>	<p><b>8 浅草雷門南</b> Asakusa Kaminarimon South 台東区雷門2-4-1 勸形樓西詰交差点【最寄駅: 浅草】 2-4-1 Kaminarimon, Taito-ku [Nearest station: Asakusa]</p>  <p>18.3km 10:00 12:20</p>
<p><b>9 江東区深川ふれあいセンター前</b> Koto-ku Fukagawa Fureai Center 江東区平野1-2-3【最寄駅: 清澄白河】 1-2-3 Hirano, Koto-ku [Nearest station: Kiyosumi-shirakawa]</p>  <p>22.7km 10:15 13:00</p>	<p><b>10 富岡八幡宮前</b> Tomioka Hachiman Shrine 江東区富岡1-20-3【最寄駅: 門前仲町】 1-20-3 Tomioka, Koto-ku [Nearest station: Monzen-nakacho]</p>  <p>23.9km 10:20 13:10</p>	<p><b>11 江東区立油堀川公園</b> Koto-ku Aburahorigawa Park 江東区門前仲町1-20-1【最寄駅: 門前仲町】 1-20-1 Monzen-nakacho, Koto-ku [Nearest station: Monzen-nakacho]</p>  <p>24.6km 10:20 13:20</p>	<p><b>12 みずほ銀行本所支店前</b> Mizuho Bank Honjo Branch 墨田区両国4-31-11【最寄駅: 両国】 4-31-11 Ryogoku, Sumida-ku [Nearest station: Ryogoku]</p>  <p>27.0km 10:30 13:40</p>
<p><b>13 第一ホテル両国前</b> Dai-ichi Hotel Ryogoku 墨田区横綱1-6-1【最寄駅: 両国】 1-6-1 Yokoi, Sumida-ku [Nearest station: Ryogoku]</p>  <p>27.4km 10:30 13:45</p>	<p><b>14 トルナーレ日本橋浜町前</b> Tornare Nihonbashi Hamacho Building 中央区日本橋浜町3-3-1【最寄駅: 水天宮前】 3-3-1 Nihonbashi Hamacho, Chuo-ku [Nearest station: Suitengumae]</p>  <p>30.3km 10:40 14:10</p>	<p><b>15 東京日本橋タワー前</b> Tokyo Nihonbashi Tower 中央区日本橋2-7-1【最寄駅: 日本橋】 2-7-1 Nihonbashi, Chuo-ku [Nearest station: Nihonbashi]</p>  <p>31.9km 10:45 14:20</p>	<p><b>16 港区立芝公園</b> Minato-ku Shiba Park 港区芝公園4-8-4【最寄駅: 芝公園】 4-8-4 Shiba-koen, Minato-ku [Nearest station: Shibakoen]</p>  <p>38.7km 11:00 15:25</p>
<p><b>17 日比谷国際ビル前</b> Hibiya Kokusai Building 千代田区内幸町2-2-3【最寄駅: 内幸町】 2-2-3 Uchisaiwaicho, Chiyoda-ku [Nearest station: Uchisaiwaicho]</p>  <p>40.4km 11:10 15:50</p>	<p><b>18 東京駅前・行幸通り(フィニッシュ)</b> Tokyo Station/Gyoko-dori Ave. (Finish) 千代田区丸の内1-2【最寄駅: 東京】 ※行幸通りは都営丸の内線丸の内駅まで。 1-2 Marunouchi, Chiyoda-ku [Nearest station: Tokyo] *There are off limits areas.</p>  <p>42.1km 12:15 16:05</p>		







# 取材案内・その他 MEDIA INFORMATION

スタートエリアマップ

Start Area Map

115

大会データ年次推移

Statistics by Year

123

フィニッシュエリアマップ

Finish Area Map

116

経緯

History

124

報道取材要領

Media Guidelines

117

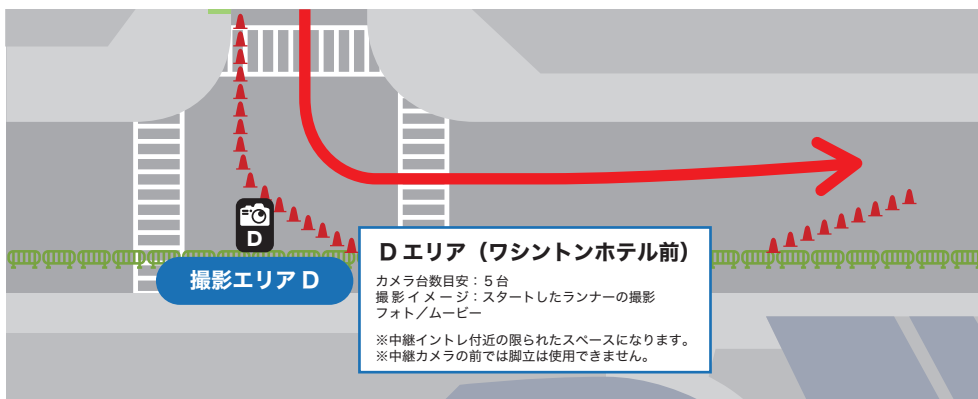
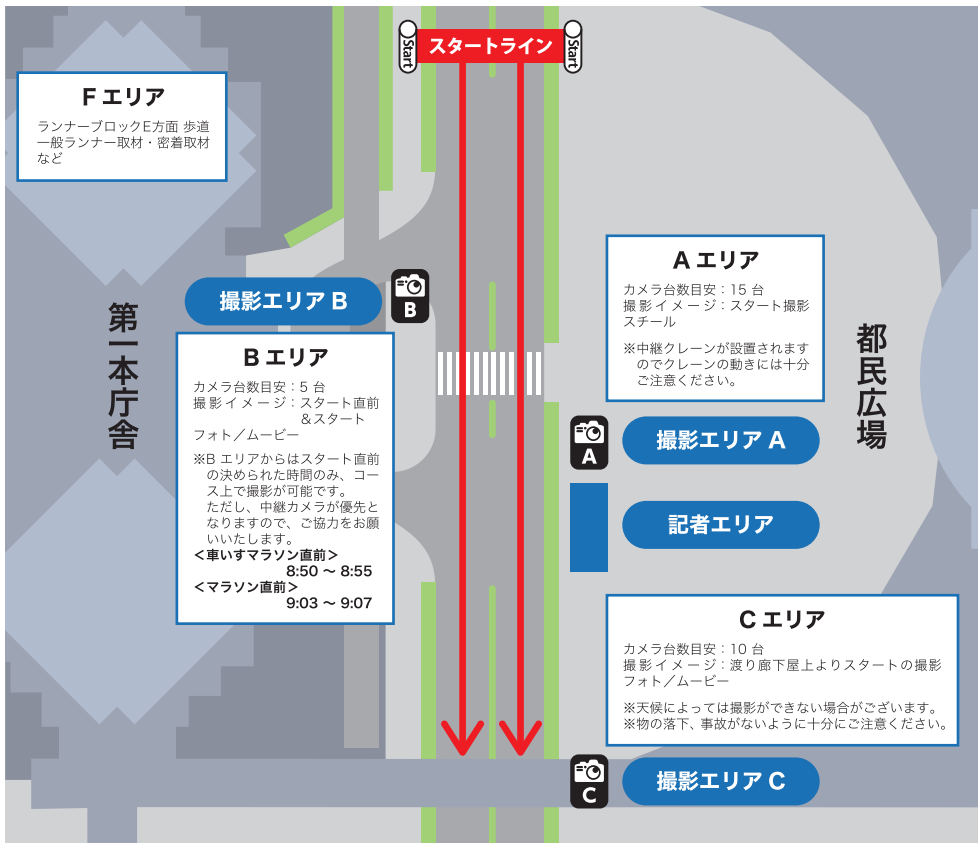
東京マラソン財団概要

Tokyo Marathon Foundation  
Corporate Profile

126

# Start Area Map

ランナー走行方向  
Runner flow



## ■ ADカード及びカメラマンビブス分類一覧

ADカード分類 Credential Category	中継局 OFFICIAL BROADCASTER		報道 Media		オフィシャル Official		
媒体カテゴリ Media Category	中継社 (フジテレビ・ニッポン放送) Broadcaster (Nippon Television, Nippon Broad Casting System)		取材メディア Media coverage		オフィシャル パートナー Official Partner	代表取材社・ 財団オフィシャル TOKYO MARATHON FOUNDATION Official	
	中継クルー Broadcast Crew	ランナー伴走スタッフ Crew accompanying guest runner	ムービー (ENG) Video (ENG)	スチールカメラ Still camera crew	記者 Reporter/Writer (and General Media)	スチール Camera crew	スチール Camera crew
ビブス Bib					ADカードのみ ※撮影する場合は ビブス着用 Media credential only *Wear a bib when taking photographs		
	ピンク Pink	ピンク Pink	イエロー Yellow	グリーン Green		ブルー Blue	オレンジ Orange



7F メディアセンター Media Center  
選手会見 Elite Press Conference  
表彰式 Awards Ceremony

ミックスゾーン Mixed Zone

**FINISH**

行幸通り  
Gyoko-dori Ave.

丸ビル  
Marunouchi Bldg.

関係者出入口

Tokyo Marathon 2023  
Course

発行©東京マラソン財団  
無断転載禁ず  
Copyright  
©TOKYO MARATHON  
FOUNDATION  
All rights reserved.

※入場規制が行われております。必ずADカードの携帯をお願いいたします。  
※Access to this area will be restricted. Media members are required to carry their media credential at all times.

## 》 MEDIA INFORMATION 》

### 共通注意事項 (必ずお読みください)

1	本大会は、スタートの東京都庁からフィニッシュの東京駅前・行幸通りまで、公道上で行われるレースとなるため、取材撮影エリアには制限がございます。大会が定めたメディアエリア以外での撮影は行えません。各エリアでは係員の指示に従ってください。
2	本取材で撮影された写真、映像につきましては、 <b>報道利用のみ(販売不可)</b> となりますので、予めご了承ください。
3	取材希望場所により集合場所と誘導が異なりますので予めご確認ください。
4	車道、中央分離帯内、歩道橋、陸橋上での取材撮影はできません。
5	歩道での取材は、一般の通行の妨げとならないように厳重にご注意いただき、各エリア担当者、競技審判員、警察官の指示に従ってください。スタート及びフィニッシュエリアは手荷物検査等がございますのでご協力をお願いいたします。
6	各エリアとも、専用の駐車場はありません。また大会当日は、交通規制が行われておりますので、お車でのご来場はご遠慮ください。
7	コース及び会場周辺で無人航空機(ドローン等)の飛行はご遠慮ください。
8	レース後の会見は、マラソン男女1位、マラソン日本人男女1位、車いす男女1位の会見を予定しておりますが、会見とは別にインタビューを希望される選手については、幹事社(産経新聞社)にご連絡をお願いいたします。
9	当日現地取材の皆様につきましては、大会終了後速やかにカメラマンビブスの返却をお願いいたします。

#### ◆ワイヤレスマイク使用について◆

A帯使用の際は通常通り特ラ連機構へ申請のうえ運用してください。新周波数帯(470MHz~714MHz及び1.2GHz帯)使用の際はTVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会へ申請のうえ運用してください。

B型、C型、D型は運用に制限はありませんが、混信等の場合は当事者同士で調整願います。

#### ◆救護所の撮影について◆

各救護所内での取材や撮影は、一切禁止とさせていただきます。ご協力のほどよろしくお願いたします。

#### ◆撮影エリアの許諾について◆

各撮影エリアにつきましては各所轄の警察署に申請中です。現在掲載している撮影取材場所は変更になる場合がございますので、ご了承ください。

大会開催可否については、大会当日朝5:00までに大会公式ウェブサイトにてお知らせします。



## Precautions (\*You MUST read below)

- 1 The marathon will start at the Tokyo Metropolitan Government Building and finish on Gyoko-dori in front of Tokyo Station. The course will consist of city streets, so restrictions apply to where media coverage is possible. Please follow the instructions given by the staff in each area.
- 2 Please be aware that the photographs and videos produced during the course of coverage can only be used for news coverage (commercial use is prohibited).
- 3 Assembly time and locations may vary between coverage areas. Please confirm this information in advance.
- 4 Filming and photography are not permitted on streets, on medians, on pedestrian bridges, or on overpasses.
- 5 Please comply with bag inspections in the start and finish areas.
- 6 There are no media parking spaces in any areas. Traffic restrictions will be in place on the day of the marathon, so please do not come by automobile.
- 7 Do not operate unmanned aerial vehicles (drones, etc.) near the course or event site.
- 8 Following the marathon, press conferences will be held for the first place men and women winners, the first place Japanese men and women winners, and the first place men and women wheelchair marathon winners.
- 9 Please promptly return camera operator bibs when the marathon ends.

### ① Wireless microphone use

To use Type A wireless microphones, submit a request to the Specified Radio microphone User's Federation as usual. For new frequency bands (470MHz to 714MHz and 1.2GHz), submit a request to the TV White Space Usage System Operation Coordination Council. There are no restrictions on using Type B, C, or D. If signal interference occurs, coordinate the use of frequencies with other users.

### ② Photography in aid stations

No coverage or photography is allowed in the aid stations.

### ③ Approval for photography areas

We have submitted approval for each photography area to the relevant police station. Please note that the photography areas currently shown in this guide may be subject to change.

Final go / no-Go decision will be announced on the official website by 5:00 a.m. on the race day.

### テレビ・ラジオの取材及び放送権における注意事項

車道(コース上)を使用したコース内の取材は、フジテレビとニッポン放送のみを原則とし、許可の出ている媒体以外はコース内での取材は出来ません。また、レースの中継映像はタワー分岐で各局に分配します。**映像の使用はスポーツニュース協会の申し合わせに従って、フジテレビ系全国ネット 9:00から11:50までのエリートマラソン中継終了後**となりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

#### (1) 中継スケジュール

##### ◎ テレビ中継 3月5日(日)

■フジテレビ(関東ローカル)	8:30～9:00	直前番組
(全国ネット)	9:00～11:50	エリートレース中継
(関東ローカル)	12:00～13:00	市民マラソン中継
■フジテレビ(CS)	8:50～11:00	車いすマラソン中継
(CS)	13:00～16:20	市民マラソン中継

※ FOD・TVerでもLIVE配信

##### ◎ ラジオ中継 3月5日(日)

■ニッポン放送	9:00～12:00	「ニッポン放送スポーツスペシャル 東京マラソン2023実況中継」
---------	------------	----------------------------------

#### (2) 映像使用条件

##### その他

※各社独自取材の映像については、事前に取材申請をした上で、大会当日に撮影された写真・映像を大会開催日より8日以内に報道利用する場合は申請の必要はありません。大会開催日より9日以降に使用される場合は、財団広報部へ申請してください。

※大会中の映像、写真、記事、記録、参加者の氏名、年齢、住所(国名、都道府県名または市町村名)等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権及び肖像権は主催者に属します。

※財団が著作権を有する写真・映像を使用する際は、財団の事前の許可を得た上で、以下のようなクレジット表記が必要です。『©東京マラソン財団』または『©TOKYO MARATHON FOUNDATION』

※有料使用の場合、映像は60秒以内60,000円(その後1秒につき1,000円)、写真は1カットにつき30,000円の課金となります(消費税別)。また、分岐映像以外を使用する場合のテクニカルコスト(蔵出し料、テープ代等)は実費負担となります。ただし、東京マラソン財団が大会のPRに貢献すると判断する場合、料金は応相談とします。

#### 中継映像(タワー分岐素材)の使用条件

番組	使用条件
・共催メディア ・スポーツニュース協会認定番組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用尺は3分以内まで</li> <li>・分岐後24時間以内は申請不要</li> <li>・分岐後24時間以降は東京マラソン財団と中継局への申請、使用許諾が必要</li> <li>・使用料は無料</li> <li>・放送回数無制限</li> </ul>
・その他番組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用尺は3分以内まで</li> <li>・事前に東京マラソン財団と中継局への申請、使用許諾が必要</li> <li>・使用料は原則有料、再放送は原則都度課金</li> </ul>

#### 独自取材映像・写真の使用条件

番組	使用条件
・共催メディア ・スポーツニュース協会認定番組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に東京マラソン財団への取材申請、許諾が必要</li> <li>・使用料は無料、放送回数無制限</li> <li>・大会開催前に取材申請し、大会開催日より8日以内に使用する場合は申請不要</li> <li>・大会開催日より9日以降は、プロパティ使用申請が必要</li> </ul>
・その他番組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に東京マラソン財団への取材申請、許諾が必要</li> <li>・使用料は原則有料、再放送は原則都度課金</li> <li>・大会開催前に取材申請し、大会開催日より8日以内に使用する場合は申請不要(使用料は無料)</li> <li>・大会開催日より9日以降は、プロパティ使用申請が必要</li> </ul>

##### お問合せ先

○東京マラソン財団 マーケティング本部 広報部 TEL: 03-5500-6639 MAIL: press\_tm@tokyo42195.org

##### 申請先

<https://www.marathon.tokyo/media/media-section/>



## Warnings on television and radio coverage and broadcast rights

Coverage inside of the racecourse using the roads (on the course) is limited to Fuji Television and Nippon Broadcasting System. No other media are allowed to provide coverage inside of the racecourse unless specifically permitted. The live video of the race will be distributed to each media station via tower. **Following a request from the sports news association, please note that the usage of the video will have to be after the elite marathon live coverage from 9:00 to 11:50 on the Fuji TV national network.**

### ● Television broadcast on March 5 (Sun)

- Fuji Television (Kanto region local network) 8:30 a.m. to 9:00 a.m. Tokyo Marathon 2023 pre-race program
- Fuji Television (Nationwide network) 9:00 a.m. to 11:50 a.m. Live broadcast of elite marathon
- Fuji Television (Kanto region local network) 12:00 p.m. to 1:00 p.m. Live broadcast of mass marathon
- Fuji Television (CS) 8:50 a.m. to 11:00 a.m. Live broadcast of wheelchair marathon
- Fuji Television (CS) 1:00 p.m. to 4:20 p.m. Live broadcast of mass marathon

\*Live streaming will also be available on FOD and TVer

### ● Radio Broadcast on March 5 (Sun)

- Nippon Broadcasting System 9:00 a.m. to Noon  
Nippon Broadcasting System Sports Special -Tokyo Marathon 2023 live broadcast

#### 1. Use of the footage provided by the host broadcaster

Usage Purpose	Usage Conditions
- Programs of the Media Partners - Sports news programs registered with the Sports News Association	<ul style="list-style-type: none"> <li>· Length of footage segment is maximum 3 minutes.</li> <li>· Application is not required if the coverage is used within 24 hours of its distribution; an application must be submitted to the Foundation and the host broadcaster for approval for usage after 24 hours of its distribution.</li> <li>· Usage fee is free and no limit to the number of airing.</li> </ul>
- Other programs*	<ul style="list-style-type: none"> <li>· Length of footage segment is maximum 3 minutes.</li> <li>· An application must be submitted in advance to the Foundation for approval.</li> <li>· Usage fees are generally involved, and re-airing requires additional cost.</li> </ul>

#### 2. Use of the videos/photographs of your own coverage

Usage Purpose	Usage Conditions
- Programs of the Media Partners - Sports news programs registered with the Sports News Association	<ul style="list-style-type: none"> <li>· An application must be submitted in advance to the Foundation for approval.</li> <li>· Usage fee is free and no limit to the number of airing.</li> <li>· Application for coverage is submitted before the race day, and the videos/photographs taken on the race day is to be used within 8 days from the race day will not require an application; for usage following the 8 days will require a separate application.</li> <li>· Media usage after 9 days following the race day will require the submission of Permission Request Form.</li> </ul>
- Other programs*	<ul style="list-style-type: none"> <li>· An application must be submitted in advance to the Foundation for approval.</li> <li>· Usage fees is generally involved, and the fee will be charged for each airing.</li> <li>· Application for coverage is submitted before the race day, and the media taken on the race day is to be used within 8 days from the race day will not require an application (usage fee is free in this case).</li> <li>· Media usage after 9 days following the race day will require the submission of Permission Request Form.</li> </ul>

- Applications must be submitted to the Foundation's Public Relations Dept. even when you use video or photographs taken on your own. The Tokyo Marathon Foundation will pass them to Fuji Television.

- The rights to show or print video, photographs, articles, records, applicants' names, applicants' ages, applicants' addresses (country names, prefecture names, and city/town/village names), etc., on television, in newspapers, in magazines, on the Internet, etc., and the associated portrait rights, belong to the organizer.

\*A usage fee of 60,000 yen will apply for footage segments lasting up to one minute. An additional 1,000 yen usage fee will apply for each additional second. And a fee of 30,000 yen will apply for each photo.

Actual technical costs (archive retrieval costs, tape costs, etc.) apply when using video other than the footage of relayed coverage. Costs may be negotiable when the Foundation's Public Relations Dept. finds that the use of paid materials would contribute to the marathon's PR efforts.

#### Contact

○ Public Relations Dept., Tokyo Marathon Foundation TEL :03-5500-6639 MAIL :press\_tm@tokyo42195.org

#### Destination

<https://www.marathon.tokyo/media/media-section/>



### 財団所有の映像および写真の使用について

#### 1. 報道・大会告知（パブリシティ）での使用

報道または東京マラソンの概要、趣旨、活動などの告知（パブリシティ）を目的とした使用を希望される場合が該当します。申請には「プロパティ使用申請書」（媒体名・番組名、発売日・放送日等）及び企画書を提出してください。



【申請書式】大会公式ウェブサイトのプロパティ使用申請フォーム

<https://www.marathon.tokyo/media/media-section> より、申請ください。

- 東京マラソンに関する写真・映像は、主催者である財団に無断で撮影及び使用することはできません。
- 事前に取材申請をした上で、大会当日に撮影された写真・映像を大会開催日より8日以内に報道利用する場合には、申請の必要はありません。大会開催日より9日以降に使用される場合は、別途申請が必要となります。※共催メディアは除きます。
- 財団が撮影した公式記録写真から、大会を象徴する代表的なカット（シーン）をまとめて提供しています。これらの中から使用する場合は、原則として使用料はかかりません（素材の送料等の実費は別途）。公式写真・映像サービス提供社の写真・映像を使用する場合は、同社が別途定める使用料をお支払ください。
- 写真・映像の二次使用、無断転載は禁止です。
- 東京マラソンの映像に関しては、中継担当テレビ局のOA映像となります。使用の際は、実況とスーパーを消してご利用ください。
- 参加者（ボランティア及び応援等の方を含む）による写真・映像の撮影は、私的な利用に限り認めています。撮影された写真・映像は、私的利用の範囲を超えて使用することはできませんのでご注意ください。
- 映像の使用はスポーツニュース協会の申し合わせに従い、フジテレビ系全国ネット 9:00 から 11:50 までのエリートマラソン中継終了後となります。

使用者	申請方法／規定	使用できるプロパティ	料金
報道機関 (共催メディア含む)	大会開催前に取材申請し、大会開催日より8日以内に使用する場合は申請不要。大会開催日より9日以降は、プロパティ申請書が必要。	写真	①財団所有の写真・映像を使用する場合は無償 ②公式写真・映像サービス提供社の写真・映像を使用する場合は有償。
		映像	

#### 2. 報道・大会告知（パブリシティ）以外での使用

##### ● 報道機関による商業利用を目的としない使用

報道機関（新聞社・放送局・出版社・通信社等）により、出版物や WEB サイト、テレビ等のメディアで部分的に使用し、商業利用を目的としない場合に限りです。

【申請書式】大会公式ウェブサイトのプロパティ使用申請フォームより、申請ください。

東京マラソンの写真・映像などを主目的に使用する場合、及び東京マラソンの名称をタイトルやサブタイトルに使用する出版物、DVD、WEB サイト、アプリ等については、別途ライセンス契約が必要となり、ロイヤリティが発生します。（下記に従って手続きを行ってください）

##### ● 【写真使用料】消費税別（東京マラソン財団の素材）

媒体	1 カット	1/2 ページ	片 1 ページ	見開・表 4	表 1・カバー・帯
雑誌・新聞・フリーペーパー・社内報・機関紙	30,000円	35,000円	50,000円	80,000円	100,000円
書籍	30,000円	35,000円	50,000円	80,000円	100,000円
WEBニュース（記事中使用）	30,000円				
テレビ放送	30,000円	・複数波による同時再送信を含む。 ・再放送は 1 年内 2 回まで含む。それを超える使用は、都度 1 カット換算。 ・PPV、ダウンロード販売、DVD 等で販売する場合は、別途 東京マラソン財団へお問い合わせください。			

##### ● 【映像使用料】消費税別（東京マラソン財団の素材）※スポーツニュース協会規定は別となります

媒体	60秒まで	以後毎秒	備考
テレビ放送 (ニュース、情報番組等)	60,000円	1,000円	・複数波による同時再送信を含む。 ・再放送は 1 年内 2 回まで含む。それを超える使用は、都度 1 カット換算。 ・PPV、ダウンロード販売、DVD 等で販売する場合は、別途東京マラソン財団へお問い合わせください。
WEBニュース（記事中使用）	30,000円	1,000円	

##### ● 商業利用を目的とする使用 ※大会オフィシャルパートナーの協賛権利に抵触しない場合に限りです。

商品の製造・販売、サービスの提供、販売促進（景品を含みます）などへの使用を指し、別途ロイヤリティが発生します。利用者については、報道機関、一般企業、団体を問いません。

【申請書式】大会公式ウェブサイトのプロパティ使用申請フォーム <https://www.marathon.tokyo/media/media-section/> より、申請ください。



## Using the Videos and Photographs Owned by the Foundation

### 1. Usage in media coverage, race announcement (publicity)

Applies to usage of media coverage and for announcements (publicity) about the Tokyo Marathon's overview, objectives and activities. To apply, submit the "Property Usage Application (media name, program name, sales date, broadcast date, etc.) and a written plan. Application Form Please apply using the Property Usage Application Form found on the Tokyo Marathon's official website <https://www.marathon.tokyo/media/media-section/>



- (1) The usage of and taking of photographs and videos of the Tokyo Marathon is prohibited without permission by the Foundation.
- (2) No application is required if the press application was submitted in advance and the photographed images and videos on the race day are intended for media use within eight days from the race day. A separate application is required if the images and videos will be used after the ninth day from the race day. Note: Media partners are exempt.
- (3) Among the official photographs taken by the Foundation, a bundle of images (scenes) that best signify the race will be provided. No fees will apply, as a general rule, when these official images are used (Separate fees will apply for shipping of the materials). Please pay fees that are separately determined by the company that provides official image and video services when using official images and videos taken by the company.
- (4) Secondary use and unauthorized reproduction of the images and videos are strictly prohibited.
- (5) The videos of the Tokyo Marathon will be the ones aired by the relaying TV station. Remove any commentary and subtitles when using the videos.
- (6) The taking of photographs and videos by participants, including volunteers and supporters, is permitted as long as they are for private use. Please note that the taking of such photographs and videos cannot be used beyond the scope of private use.
- (7) Following a request from the sports news association, the usage of race video will have to be after the elite marathon live coverage from 9:00 to 11:50 on the Fuji Television national network.

User	Application Method/Regulations	Properties permitted to use	Application Method/Regulations
Press (Including media partners)	No application required if a media coverage application was submitted in advance and the images/videos are used within eight days from the race day. A property application form is required for use after the ninth day from the race day.	Photograph	(1) Free of charge when using the photographs and videos owned by the Foundation.
		Video	(2) Fees apply when using photographs and videos taken by the company that provides official photo and video services.

### 2. Use other than for News Coverage and Event Publicity

- (1) Use by news media for non-commercial purposes  
This applies to partial use by media organizations (newspaper, broadcasters, publishers, news agencies, etc.) for published materials, website, TV programs, etc. for non-commercial purposes.

◆ Please download the Permission Request Form from the official website and submit a filled-out form.

\*When using the Tokyo Marathon photographs and videos for things other than for news coverage and event publicity, or for publications, DVDs, websites, applications, etc. that use the Tokyo Marathon name as a title or subtitle, a separate licensing contract is required, and license usage fees (royalties) will be incurred. Please refer to the following list for usage fees, etc.

[Photograph Usage Fees (JPY)] Consumption tax not included.

Media outlet	Cut	Half page	Full page	Double-page spread, back cover	Front cover, book jacket, wraparound band
Magazine, Newspaper, Free newspaper, In-house newsletter, Bulletin	30,000	35,000	50,000	80,000	100,000
Books	30,000	35,000	50,000	80,000	100,000
Web-based news (use in articles)	30,000				
TV broadcast	30,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>· Includes simultaneous retransmissions over multiple channels.</li> <li>· Up to two rebroadcasts per year.</li> <li>· Use exceeding the above limits is converted to a single cut and the separate fee is charged for each cut.</li> <li>· Provide detailed plan to the Tokyo Marathon Foundation when distributing by PPV, download sales or DVD.</li> </ul>			

[Video Usage Fees (JPY)] Consumption tax not included (Regulations of Sports News Association will separately apply).

Media outlet	Up to 60 seconds	Every second thereafter	Remarks
TV broadcasts (News, information programs, etc.)	60,000	1,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>· Includes simultaneous retransmissions over multiple channels.</li> <li>· Up to two rebroadcasts per year.</li> <li>· Use exceeding the above limit is converted into single clips and the separate fee is charged for each cut.</li> <li>· Provide detailed plan to the License Management Office when distributing by PPV, download sales or DVD</li> </ul>
Web-based news (Use in articles)	30,000	1,000	

- (2) Use for Commercial Purposes

\*Restricted to cases in which use does not conflict with the sponsorship rights of the event's official partners  
This refers to use for product production and sales, provision of services, and sales promotion (including gifts), and royalties will be separately incurred. This applies regardless of whether users are the news media, companies or organizations.

◆ Please go to the Media Section page <https://www.marathon.tokyo/media/media-section/> and click the "Permission Request Form", enter all the necessary information and submit the Form.

# 大会データ年次推移

## 》 MEDIA INFORMATION 《

## Statistics by Year

開催日/Race day		2007 2/18(Sun)	2008 2/17(Sun)	2009 3/22(Sun)	2010 2/28(Sun)	2011 2/27(Sun)	2012 2/26(Sun)	2013 2/24(Sun)	2014 2/23(Sun)	2015 2/22(Sun)	2016 2/28(Sun)	2017 2/26(Sun)	2018 2/25(Sun)	2019 3/3(Sun)	2020 3/1(Sun)	2021 2022 3/6(Sun)
定員 Capacity	マラソン Marathon	25,000	25,000	30,000	32,000	※6 33,000	※5 35,500	※5 35,500	※5 35,500	※4 35,500	※3 36,500	※2 35,500	※2 35,500	※1 37,500	37,500	24,700
	10km	5,000	5,000	5,000	3,000	3,000	※7 500	※7 500	※7 500	※7 500	※7 500	※7 500	※7 500	※7 500	500	300
	定員合計 Total	30,000	30,000	35,000	35,000	36,000	36,000	36,000	36,000	36,000	37,000	36,000	36,000	38,000	38,000	25,000

マラソン Marathon		出走者 (うち海外ランナー) Starters (International starters)	2007 26,058 (1,030)	2008 27,386 (1,719)	2009 30,164 (2,338)	2010 32,080 (2,248)	2011 33,353 (2,502)	2012 35,954 (2,613)	2013 36,228 (2,972)	2014 35,556 (5,057)	2015 35,310 (5,305)	2016 36,173 (6,443)	2017 35,378 (6,241)	2018 35,911 (6,385)	2019 37,604 (7,896)	2020 193 (33)	2021 19,057 (93)
		完走者 Finishers	25,102	26,665	29,128	30,182	32,415	34,678	34,819	34,126	34,049	34,697	33,974	34,542	35,460	165	18,272
		完走率 Finisher ratio(%)	96.3	97.4	96.6	94.1	97.2	96.5	96.1	96.0	96.4	95.9	96.0	96.2	94.3	85.5	95.9
男女比率 Men/Women ratio(%)	Men	77.7	77.8	78.3	78.9	76.1	78.9	79.9	79.7	78.8	78.1	77.3	77.1	76.8	84.3	82.4	
	Women	22.3	22.2	21.7	21.1	23.9	21.1	20.1	20.3	21.2	21.9	22.7	22.9	23.2	15.7	17.6	

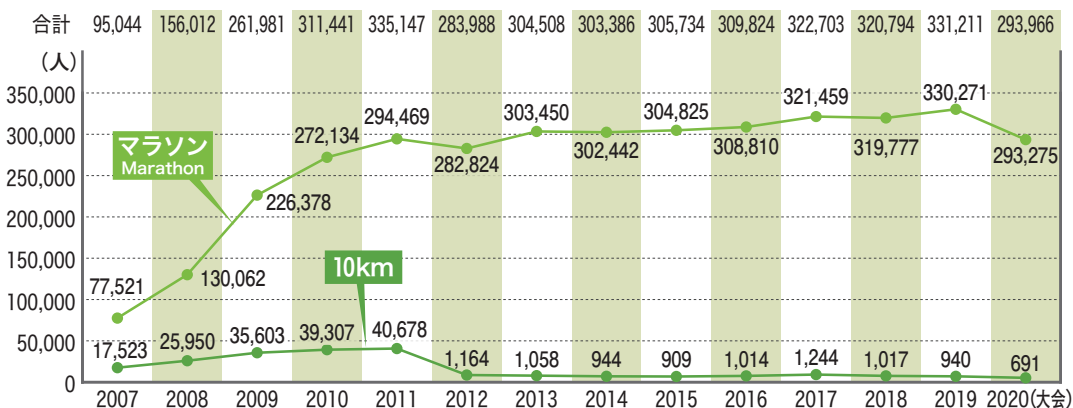
10km		出走者 Starters	2007 4,812	2008 5,040	2009 4,808	2010 2,948	2011 3,096	2012 453	2013 448	2014 474	2015 487	2016 475	2017 446	2018 337	2019 348	2020 —	2021 131
		完走者 Finishers	4,720	4,898	4,635	2,919	3,086	451	432	458	478	468	439	329	343	—	127
		完走率 Finisher ratio(%)	98.1	97.2	96.4	99.0	99.7	99.6	96.4	96.6	99.2	98.5	98.4	97.6	98.6	—	96.9
男女比率 Men/Women ratio(%)	Men	72.5	72.9	55.4	52.2	71.0	69.4	65.3	68.3	64.0	72.0	69.0	64.7	67.9	—	72.4	
	Women	27.5	27.1	44.6	47.8	29.0	30.6	34.7	31.7	36.0	28.0	31.0	35.3	32.1	—	27.6	

チャリティランナー出走者数 Charity runner starters	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	—	—	—	—	694	1,673	2,128	2,473	2,756	2,846	2,831	3,687	4,670	—	934

- ※1 抽選対象 26,370人(エリート、車いすマラソンエリート、RUN as ONE -Tokyo Marathon(準エリート国内・海外・学生)、ONE TOKYO先行、チャリティランナー、都民エントリーを除く)
- ※2 抽選対象 26,370人(エリート、車いすマラソンエリート、RUN as ONE -Tokyo Marathon(準エリート国内・海外・学生)、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)
- ※3 抽選対象 27,370人(エリート、車いすマラソンエリート、RUN as ONE -Tokyo Marathon(準エリート国内・海外・学生)、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)
- ※4 抽選対象 28,400人(エリート、準エリート、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)
- ※5 抽選対象 29,400人(エリート、ONE TOKYO先行、チャリティランナーを除く)
- ※6 抽選対象 32,000人(チャリティランナー1,000人除く)
- ※7 抽選対象 400人(復興支援事業除く)
- ※8 小数点第二位を四捨五入しているため100%にならない場合あり
- ※9 規模縮小し、エリートの部のみ開催(一般の部中止)

- \*1 26,370 runners chosen by the drawing (excluding Elite, Elite Wheelchair, Tokyo Resident Entry, elite athletes, RUN as ONE, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
- \*2 27,370 runners chosen by the drawing (excluding Elite, Elite Wheelchair, Tokyo Resident Entry, elite athletes, RUN as ONE, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
- \*3 28,400 runners chosen by the drawing (excluding Elite, Semi-Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
- \*4 29,400 runners chosen by the drawing (excluding Elite, premium members of ONE TOKYO and Charity runners)
- \*5 32,000 runners chosen by the drawing (excluding 1,000 Charity runners)
- \*6 400 runners chosen by the drawing (excluding the runners invited through the educational program under the Great East Japan Earthquake recovery efforts)
- \*7 Percentages are rounded to one decimal place.

### 申込人数の推移(※抽選対象) Changes in number of applicants\*



- ※マラソン、10kmの募集人数は年により異なります。 \* Marathon & 10km entry places available vary by year.
- ※2021、2023大会は権利移行等あるため記載しておりません。 \* The number of Tokyo Marathon 2021, 2023 applicants is not available due to entry deferral, etc.

# 経緯

## 》 MEDIA INFORMATION 》

2004年	4月	東京都と日本陸連で平成17年度に大都市マラソンを開催することを目標に協議を開始
2005年	2月 23日	「東京大都市マラソン開催準備委員会」を設置・開催
	10月 20日	東京都と日本陸連で「東京マラソンに関する基本合意」締結
	11月 21日	東京マラソン組織委員会を設立
2007年	2月 18日	東京マラソン2007
2008年	2月 17日	東京マラソン2008
	9月	IAAF ロードレースラベリング「シルバーラベル」取得
2009年	3月 22日	東京マラソン2009
	9月 16日	IAAF ロードレースラベリング「ゴールドラベル」取得
2010年	2月 28日	東京マラソン2010 東京マラソンファミリーラン初開催
	6月 30日	一般財団法人東京マラソン財団設立
	12月 15日	チャリティ事業開始
2011年	2月	東京マラソンウィーク初実施
	2月 23日	東京マラソン財団公式クラブONE TOKYO 開設
	2月 27日	東京マラソン2011
	4月 1日	東京マラソン財団事務所移転
2012年	2月 25日	東京マラソンフレンドシップラン初開催
	2月 26日	東京マラソン2012
	10月 1日	ワールドマラソンメジャーズ (WMM)に加入 ※現アボット・ワールドマラソンメジャーズ (AbbottWMM)
2013年	2月 24日	東京マラソン2013
	5月 12日	ランナーサポート施設『ジョグポート有明』開設 ※2022年3月31日閉館
	6月	警備救護強化プロジェクト発足
2014年	2月 23日	東京マラソン2014
	6月 27日	スポーツレガシー事業開始 RUN as ONE - Tokyo Marathon プログラム導入
2015年	2月 22日	東京マラソン2015
	6月 30日	大会ロゴリニューアル 車いすマラソン国際化
2016年	2月 28日	東京マラソン2016 (10回記念大会)
	3月	新コース発表 (2017大会) RUN as ONE - Tokyo Marathon プログラムに学生を追加 (2017大会)
	10月 6日	東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ「VOLUNTAINER」開設
2017年	2月 26日	東京マラソン2017
	3月	チャリティランナー定員4,000人に増員
	12月	2019大会より開催日を3月第1日曜日に設定
2018年	2月 25日	東京マラソン2018
	6月	マラソン定員を2,000人増員(うちチャリティランナーは1,000人)マラソン・10km合わせて38,000人
2019年	3月 3日	東京マラソン2019
	5月 18日	東京マラソン財団オフィシャルイベント「有明・お台場リレーハーフマラソン」開催
	11月 15日	World Athletics ロードレースラベリング「プラチナラベル」取得
2020年	3月 1日	東京マラソン 2020 ※規模縮小し、エリートのみ開催(一般の部中止)
	9月 17日	東京マラソン 2021の開催日を10月17日(日)から2022年3月6日に延期し、2022大会の開催は断念
2022年	3月 6日	東京マラソン 2021 ※2021年10月より延期し、22大会は不開催
	4月 22日	東京レガシーハーフマラソン 2022 大会要項発表
	6月 23日	東京マラソン 2023 大会要項発表
	10月 16日	東京レガシーハーフマラソン 2022
2023年	3月 5日	東京マラソン 2023

# History

## » MEDIA INFORMATION »

2004	April		Tokyo Metropolitan Government, together with JAAF (Japan Association Of Athletics Federations), started discussions toward holding a big-city marathon in 2005
2005	February	23	Tokyo Marathon Preparatory Committee established and first meeting held
	October	20	Tokyo Metropolitan Government and JAAF signed the Basic Agreement on the Tokyo Marathon
	November	21	Tokyo Marathon Organizing Committee established
2007	February	18	Tokyo Marathon 2007
2008	February	17	Tokyo Marathon 2008
	September		Tokyo Marathon receives "Silver Label" from IAAF Road Race Labeling
2009	March	22	Tokyo Marathon 2009
	September	16	Tokyo Marathon receives "Gold Label" from IAAF Road Race Labeling
2010	February	28	Tokyo Marathon 2010
			Tokyo Marathon Family Run inaugurated
	June	30	Tokyo Marathon Foundation established
	December	15	Tokyo Marathon Charity program introduced
2011	February		Tokyo Marathon Week introduced
		23	Tokyo Marathon Foundation Official club "ONE TOKYO" established
		27	Tokyo Marathon 2011
	April	1	Tokyo Marathon Foundation Office relocated
2012	February	25	Tokyo Marathon Friendship Run inaugurated
		26	Tokyo Marathon 2012
	October	1	Tokyo Marathon joined the World Marathon Majors (WMM)* *Currently called:Abbott World Marathon Majors (AbbottWMM)
2013	February	24	Tokyo Marathon 2013
	May	12	JOGPORT ARIAKE (runner support facility) opened *Closing on March 31, 2022
	June		SAFE & SECURE Project inaugurated
2014	February	23	Tokyo Marathon 2014
	June	27	Sports Legacy Program started RUN as ONE – Tokyo Marathon program introduced
2015	February	22	Tokyo Marathon 2015
	June	30	New logo introduced Internationalization of the wheelchair marathon announced
2016	February	28	Tokyo Marathon 2016 (tenth anniversary)
	March		New course announced (Tokyo Marathon 2017) The Semi-Elite (Students) category added to the RUN as ONE – Tokyo Marathon 2017 program
	October	6	Tokyo Marathon Foundation's official volunteer club "VOLUNTAINER" established
2017	February	26	Tokyo Marathon 2017
	March		Charity runner capacity increased to 4,000
	December		Commencement dates of the 2019 edition and subsequent marathons set to the first Sunday of March
2018	February	25	Tokyo Marathon 2018
	Jun		Runner capacity for the marathon increased by 2,000 (1,000 of which will be charity runners) totaling to 38,000
2019	March	3	Tokyo Marathon 2019
	May	18	Official event "ARIAKE / ODAIBA Relay Half Marathon"
	November	15	Tokyo Marathon receives "Platinum Label" from World Athletics Road Race Labeling
2020	March	1	Tokyo Marathon 2020
	October		Tokyo Marathon 2021 race date changed to October 17 (Sun.), 2021
2022	March	6	Tokyo Marathon 2021 *Postponed from October 2021. The Tokyo Marathon 2022 was not held.
	April	22	Tokyo Legacy Half Marathon 2022 Race Information announced
	June	23	Tokyo Marathon 2023 Race Information announced
	October	6	Tokyo Legacy Half Marathon 2022
2023	March	5	Tokyo Marathon 2023



# 東京マラソン財団 概要

## 》 MEDIA INFORMATION 《

## Tokyo Marathon Foundation Corporate Profile

### 設立目的

この法人は、東京マラソンを安定的に運営し、国内外から多くのランナーが集う世界最高水準の大会へと発展させるとともに、ランニングスポーツの普及振興を通じて、都民の健康増進と豊かな都民生活の形成に寄与することを目的とする。

### Foundation Objectives

The main objective in establishing the Tokyo Marathon Foundation is to build a race that meets the world's highest standard while gathering runner from all over the world to spread running of sports to create better and healthier lifestyles.

#### 大会会長/役員名簿 Chairperson / Board Members

2023大会会長	Chairperson	尾縣 貢	OGATA, Mitsugi		
最高顧問	Supreme Advisers	石原 慎太郎	ISHIHARA, Shintaro	河野 洋平	KONO, Yohei
名誉顧問	Honorary Adviser	帖佐 寛章	CHOSA, Hiroaki		
顧問	Adviser	櫻井 孝次	SAKURAI, Koji		
評議員	Council Members				
潮田 勉	USHIODA, Tsutomu	中村 倫治	NAKAMURA, Rinji	川瀬 航司	KAWASE, Koji
野間 達也	NOMA, Tatsuya	横山 英樹	YOKOYAMA, Hideki	瀬古 利彦	SEKO, Toshihiko
				高橋 尚子	TAKAHASHI, Naoko
				細田 正典	HOSODA, Masanori

#### 理事 Executive Board Members

理事長	伊藤 静夫	副理事長	佐々木 秀之	President / CEO	ITO, Shizuo	Vice President	SASAKI, Hideyuki
理事	末村 智子	鈴木 一弘	平澤 哲哉	Trustee	SUEMURA, Tomoko	SUZUKI, Kazuhiro	HIRASAWA, Tetsuya
	河野 和久	山澤 文裕	延與 桂		KOUNO, Kazuhisa	YAMASAWA, Fumihiko	ENYO, Katura
	山本 謙治	鈴木 英穂	浦崎 秀行		YAMAMOTO, Kenji	SUZUKI, Hideo	URASAKI, Hideyuki
	築田 真由美	田中 利雄	岡 達生		TSUKUDA, Mayumi	TANAKA, Toshio	OKA, Tatsuo
	東山 正行	平塚 和則	伊藤 弘一		HIGASHIYAMA, Masayuki	HIRATSUKA, Kazunori	ITO, Koichi
	櫻庭 裕志	坪内 雅男	後藤 隆宏		SAKURABA, Hiroshi	TSUBOUCHI, Masao	GOTOU, Takahiro
	秋田 一樹	矢作 和昭	新井 悟		AKITA, Kazuki	YAHAGI, Kazuaki	ARAI, Satoru
	有森 裕子	塩谷 裕一	清原 元輔		ARIMORI, Yuko	ENYA, Yuichi	KIYOHARA, Motosuke
	風間 明	松原 正典	桑島 俊彦		KAZAMA, Akira	MATSUBARA, Masanori	KUWAJIMA, Toshihiko
	山本 浩	友岡 新	金 哲彦		YAMAMOTO, Hiroshi	TOMOOKA, Shin	KIN, Tetsuhiko
	清水 真	池田 証志			SHIMIZU, Makoto	IKEDA, Akashi	
	室城 信之	清水 孝幸			MUROKI, Nobuyuki	SHIMIZU, Takayuki	

#### 監事 Auditors

久故 雅幸	KYUKO, Masayuki	小林 久美	KOBAYASHI, Kumi
-------	-----------------	-------	-----------------

#### 概要

理事長	伊藤 静夫
副理事長	佐々木 秀之
事務局長	武田 文彦
事業担当局長/レースディレクター	早野 忠昭
参与	戸部 節三 筑井 賢次
経営企画室長	酒井 謙介
管理本部長	大熊 正浩
マーケティング本部長	櫻井 大
運営統括本部長	新城 薫
運営統括副本部長	柴田 光
事業本部長	林 良
事業本部副本部長(シニアマネージャー)	加藤 智久
社会協働事業本部長	山本 悦子
社会協働事業副本部長(兼ボランティア事業部長)	村澤 雅弘
設立	2010年6月30日
設立者	東京都、 公益財団法人 日本陸上競技連盟
基本財産	2.4億円

所在地：〒135-0063 東京都江東区有明3丁目7-26

有明フロンティアビルB棟8階

代表電話：TEL 03-5500-6677

<https://tokyo42195.org>

#### Profile

President / CEO	ITO, Shizuo
Vice-President	SASAKI, Hideyuki
Director General / COO	TAKEDA, Fumihiko
Race Director / CSO	HAYANO, Tadaaki
Advisors	TOBE, Setsuzo TSUKUI, Kenji
Integrated Business Planning Director	SAKAI, Kensuke
Administrative Director	OOKUMA, Masahiro
Marketing Director	SAKURAI, Dai
Race Management Director	SHINJO, Kaoru
Race Management Vice Director	SHIBATA, Hikaru
Business Development Director	HAYASHI, Ryo
Business Development Vice Director	KATO, Tomohisa
Civic Relations Director	YAMAMOTO, Etsuko
Civic Relations Vice Director / Volunteer Manager	MURASAWA, Masahiro
Date of Establishment	June 30, 2010
Founders	Tokyo Metropolitan Government, Japan Association of Athletics Federations
Total Assets	240 million JPY

Address : Ariake Frontier Building, Tower B, 8F, 3-7-26,

Ariake, Koto-ku, Tokyo, 135-0063, Japan

Tel : +81-3-5500-6677

<https://tokyo42195.org>



# MEDIA GUIDE